SII

IC DICTIONARY

取扱説明書（保証書付）

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、各機能を十分にご理解の上、正しくお取り扱いくださいますようにお願い申し上げます。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

KMJ3H47AA

SR-G10000

セイコーインスツル株式会社

© セイコーインスツル株式会社
・本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
・本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。

その他の商標や製品は、各々を所有する企業の商標です。

〒272-0023　千葉県市川市南八幡3-21-10
セイコーインスツル株式会社「CPサービスセンター」電話：047（320）4696
[受付時間] 9:00～12:00　13:00～17:00 月曜日～金曜日（土・日・祝日を除く）

〒261-8507　千葉県千葉市美浜区中瀬1-8
セイコーインスツル株式会社　パーソナル機器事業部

セイコーインスツル株式会社 ホームページ
http://www.sii.co.jp/

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a paticular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

本製品は、充電式リチウムイオン電池を使用しています。
不要になった電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

＜最寄りのリサイクル協力店へ＞
詳細は、社団法人電池工業会小型二次電池再資源化推進センターホームページをご参照ください。
ホームページ：http://www.jbrc.com

安全上のご注意

このたびは「IC Dictionary SR-G10000」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

本取扱説明書では、本機を正しくお使いいただき、使用するかたや周りの人への危害や損害を未然に防止するために、文頭に下記のマークを付けています。

注意 この表示を無視して注意事項を守らない取り扱いをすると、使用者が障害を負ったり、本機の破損、データの損失など使用上に重大な物的損害をこうむる可能性があります。

この記号のある説明は、禁止事項（してはいけない）を表します。
禁止内容にあてはまるような使い方は、絶対に行わないでください。

この記号のある説明は、本機を正常に使用するために、必ずしなければいけない行為です。説明に従って正しく行ってください。

取り扱い上のご注意

下記の事項に当てはまる様な使いかたは絶対に行わないでください。故障、変形等の原因となります。

次のような場所での使用や保管、放置
直射日光のあたる場所や自動車内・暖房器具のそばなど温度が非常に高いところ（特に夏期直射日光下でしめきった車のシートやダッシュボードの上など）
ホコリの多い場所 / 風呂場など水滴、湿けの多いところ / 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ / 病院内や航空機内などの携帯電話の使用が禁止されているところ

磁気カード類に近づけない
磁気カード（キャッシュカード、クレジットカード、プリペイドカードなど）と一緒に持ち歩いたり、保管しないでください。スピーカーの磁気（磁力）により磁気カードが使えなくなることがあります。

医療電子機器に近づけない
ペースメーカーなどの電子機器をお使いの方は、本機を胸ポケットに入れての持ち運びはお避けください。ペースメーカー等に磁気（磁力）の影響を与えることがあります。また、磁気（磁力）で医療電子機器や周辺の電子機器等に影響を及ぼす恐れがありますので近づけないでください。

上に重いものを置かない
表示部表面を強く押したり、本などの重いものを載せないでください。

曲げたり、ひねったり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない

キーを、先のとがった硬いもので操作したり、必要以上に強く押さない

飲物等をこぼさない
コーヒー、ジュース等を飲みながら操作するときは、ご注意ください。

改造したり、ご自分での修理はしない

合成皮革製品、ゴム製品等と密着させて長期間の使用や保管、放置をしない
化学変化等により双方が融けてくっついたり、変色したりして本機表面を傷めることがあります。

表面の汚れを取る場合に、シンナー・ベンジン・アルコール等の揮発性溶剤やぬれた布は、使用しないでください。変質、変色等で表面の仕上げを傷めることがあります。

はじめてお使いになるときは、付属のACアダプタで内蔵のリチウムイオン電池をフル充電し、「リセット」スイッチを押してからお使いください。（18ページ参照）

お手入れの際はきれいな柔らかい布などを使用してください。特に汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞っておふきください。

寒いとき暖房をつけた直後など、表示部表面に露（水滴）がつく場合があります。乾いたきれいな柔らかい布などで軽く拭きとってから使用してください。

本機へのカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。データが破壊されたり、故障することがあります。

電池を除いた本体を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

電池について

本機は、充電式のリチウムイオン電池を使っています。
電池が充電できなくなった場合など、電池の交換に関しては、セイコーインスツル株式会社「CP サービスセンター」へご相談ください。(☞246 ページ)

- 電池は、付属の AC アダプタを本機に接続し、充電してからお使いください。
- 電池残量は、本機画面右上の 電池マーク表示で知ることができます。

  : 十分です。　: 少し少なくなりました。

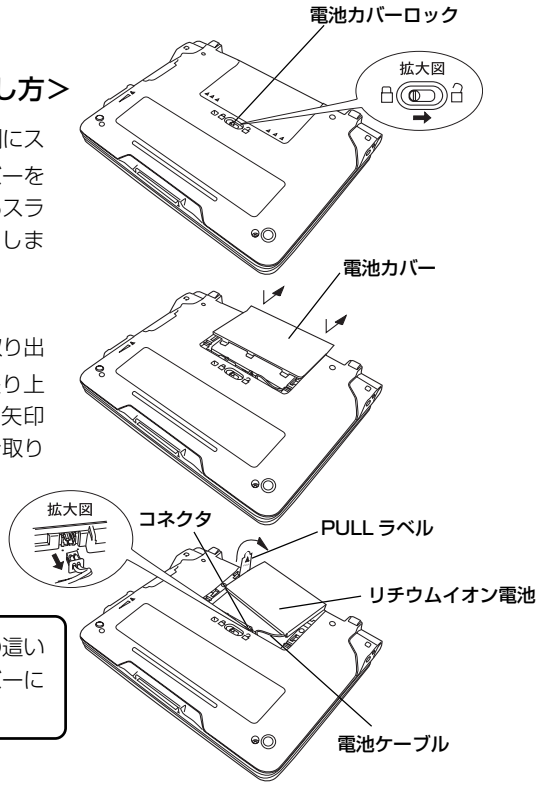
  : 少なくなりました。　: なくなりました。充電してください。

  電池残量が、なくなると 本機画面右上に マークが表示され、画面上に「電池がなくなりました。充電して下さい。」というメッセージが表示されたのち電源がオフになります。この場合は、電池を充電してください。(☞19 ページ)
- 万一、漏れた液体が皮膚や衣服に付着した場合は、きれいな水で洗い流し、目に入った時は、きれいな水で洗い流した後、ただちに医師の治療を受けてください。
- 不要になった電池は、本体と一緒に廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。(☞ 巻頭)

<リチウムイオン電池の取りはずし方>

1 本体底面の電池カバーロックを右側にスライドしロックを解除し、電池カバーを本機の後面側へ指で軽く押しながらスライドさせ、電池カバーを取りはずします。

2 リチウムイオン電池に貼ってある取り出し用の PULL ラベルを上に引っ張り上げて電池を取りだし、コネクタを矢印(右図中)の向きに引き出し、電池を取りはずします。



注意

電池の取り付け時には、電池ケーブルの這い回しに注意し、電池ケーブルを電池カバーに挟まないようご注意ください。

表示文字、画面について

* 実際の表示画面は改良のため、本書に使用している説明用画面と多少異なる場合があります。予めご了承ください。
* 本機の表示画面は、カードスロットにシルカカード・レッドの取り付けがなされていない状態での表示をしています。
* 各辞書の表示画面は、「標準表示」「大きい表示」「もっと大きい表示」「小さい表示」「もっと小さい表示」に、新漢語林は「標準表示」「大きい表示」「もっと大きい表示」「小さい表示」に切り替えることができます。
  この取扱説明書で使用している画面の表示例は、基本的に「標準表示」で表わしています。

(表示字体と印刷字体の違いについて)

* 表示される文字は、印刷字体と異なる場合があります。
* 表示ドットの関係で、簡略化した文字が表示される場合があります。
* 横線の多い漢字や表示サイズが小さい場合等は、横線を何本か省略している場合があります。
* 画数の多い漢字や表示サイズが小さい場合等は、正確な表示ができませんのでご了承ください。
* 16x16 ドットの漢字の使用フォントは JIS 規格 X0208-1983 準拠のセイコーエプソン(株)製のフォントをセイコーエプソン(株)の承諾を得て使用しています。
* 新漢語林の親字 (96×96 ドットフォント) は平成明朝体及び平成明朝体準拠のフォントを使用しております。
* 平成明朝体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。

TFT 白黒液晶画面について

液晶画面は、有効画素99.99%以上の高精密度管理の下に製造されておりますが、ごくわずか(0.01%以下)の画素で点灯しなかったり、常時点灯する場合があります。
また特性上、見る角度によって明るさにむらが見える場合があります。
これらは、故障ではありません。予めご了承ください。

目　次

製品概要 8
製品構成 8
各部の名称とはたらき 9
機能と特徴 12
収録辞典 15

ご購入後、初めてご使用になるときは 18
充電について 19
リセットについて 20
カードスロットについて 20
イヤホンとボリューム調整について 22
ストラップについて 23

基本操作 24
基本的な使いかた 24
単語帳の使いかた 31
凡例のみかた 35

「複数辞書一括検索」を使う 37
見出し語を検索する 37

「例文・成句検索」（複数の辞書から同時検索）を使う 39
例文を検索する 39
成句を検索する 42

「マルチ例文検索」を使う 45
例文を検索する 45

「新英和大辞典」を使う 47
見出し語を検索する 47
見出し語に付随する例文や解説を見る 49
見出し語に付随する成句を見る 50
派生語、複合語を検索する 51
特定の英単語を含む例文を検索する 52
特定の英単語を含む成句を検索する 55

「英和辞典」を使う 57
見出し語を検索する 57
見出し語に付随する例文や解説を見る 59
見出し語に付随する成句を見る 60
派生語、複合語を検索する 61
特定の英単語を含む例文を検索する 62
特定の英単語を含む成句を検索する 64
訳語から見出し語を検索する 66

「英和活用辞典」を使う 67
見出し語とその用例を検索する 67
連語関係から用例を検索する 70
連語に関係なく例文を検索する 73
訳語から見出し語を検索する 75

「和英辞典」を使う 77
見出し語を検索する 77
複合語を検索する 79

「オックスフォード英英・類語辞典」を使う . 81
英英辞典の見出し語を検索する 81
見出し語に付随する例文を見る 83
見出し語に付随する成句を見る 84
派生語、複合語を検索する 85
類語を検索する 86
特定の英単語を含む例文を検索する 88
特定の英単語を含む成句を検索する 90

「コウビルドの辞典」を使う 93
「コウビルド英英辞典」の見出し語を検索する . 93
見出し語の例文を見る 95
見出し語に付随する成句を見る 96
「Collins Dictionary of Idioms」の見出し語を検索する 97
「Collins Dictionary of Phrasal Verbs」の見出し語を検索する 98
「Collins English Usage for Learners」の見出し語を検索する 99
「コウビルドの辞典」の例文を検索する 100
「Wordbank」の例文を検索する 103
特定の英単語を含む成句を検索する 105
文法についての項目を検索する（1） 107
文法についての項目を検索する（2） 109

「コリンズ類語辞典」を使う 111
見出し語を検索する 111

スペルチェック 113
（うろ覚えのスペルでも簡単検索）

「英英百科事典」を使う 115
見出し語を検索する 115
キーワードから見出し語を検索する 117

「ブリタニカ国際大百科事典」を使う 119
日本語で見出し語を検索する 119
英語で見出し語を検索する 121
キーワードから見出し語を検索する 123
ジャンル別事典から検索する 125

「大辞泉」を使う 127
見出し語を検索する（大辞泉） 127
ことばの末尾から検索する（逆引き大辞泉） 129
慣用句を検索する 131
アルファベットで見出し語を検索する 133
分野別小事典から検索する 135

「明鏡国語辞典」を使う 137
見出し語を検索する 137
類語を検索する 139
敬語コラムを見る 141

「新漢語林」を使う 143
漢字を部首画数、部首内画数で検索する ... 143
漢字を音訓読み、部首読みで検索する 145
漢字の部首解説を見る 147
特定の漢字から始まる熟語を検索する ... 148
新漢語林に収録されている熟語を検索する ... 149

「日本語大シソーラス」を使う 151
単語を入力して検索する 151
言葉の分類から検索する 153

「英会話とっさのひとこと辞典」を使う 155
会話文（日本語）の語句から検索する 155
会話文（英語）の語句から検索する 157
場面から検索する 159

「カタカナ語辞典」を使う 161

「英語文型・文例辞典」を使う 163
目次から検索する 163
例文を検索する 165

電卓を使う 167

操作環境の設定と著作権表示 169

カード単語帳削除 172

お気に入り辞書登録 173

ジャンプ機能 174
（辞書から辞書へ関連語検索）

履歴機能 190

文字サイズ切替機能 192

訳表示切替機能 193

表示スタイル切替機能 194

ツイン検索機能 196

補助機能 197

ジーニアス英和大辞典のデータについて ... 198

リーダーズ英和辞典のデータについて 200

Oxford Dictionary of Englishのデータについて 202

Oxford Thesaurus of Englishのデータについて ... 216

コリンズ類語辞典のデータについて ... 218

文型・文例辞典のデータについて ... 220

ローマ字 / かな対応表 228

故障かなと思うまえに 230

製品仕様 231

索引 232

Operating Manual 233

保証、修理等について 246
無料修理規定 247

製品概要

ここでは、製品構成、本体の各部の名称とはたらき、機能と特徴など製品の概要について説明します。

製品構成

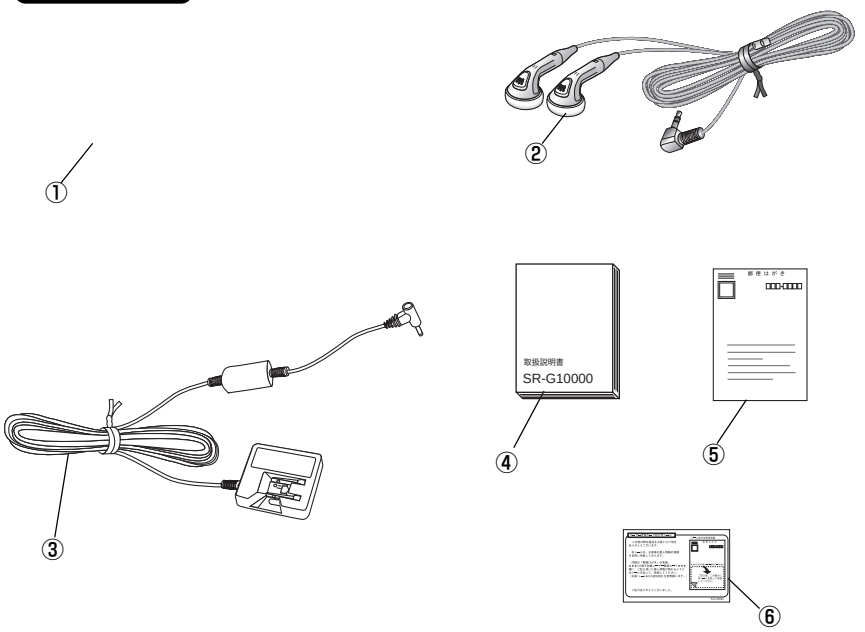
箱をあけたら、内容物をご確認ください。
万一、欠品あるいは内容物に損傷がある場合には、お手数ですがお買い求めの販売店にご連絡ください。なお、各構成品は、消耗品として単品で１本あるいは１台単位でお買い求めいただけます。（取扱説明書、アンケートはがき、セキュリティーシールを除く。）
ご注文時には、名称・型番・数量をご指示ください。

No.	名　称	型　番	数　量	備　考
①	本体	SR-G10000	1	※
②	イヤホン	DBE100	1	
③	AC アダプタ	AD85S	1	
④	SR-G10000 取扱説明書	KMJ1H47AA	1	
⑤	アンケートはがき	―	1	
⑥	セキュリティシール	―	1	

表中の番号は、下図の内容物の番号に対応しています。

※：リチウムイオン電池が本体に装着されています。

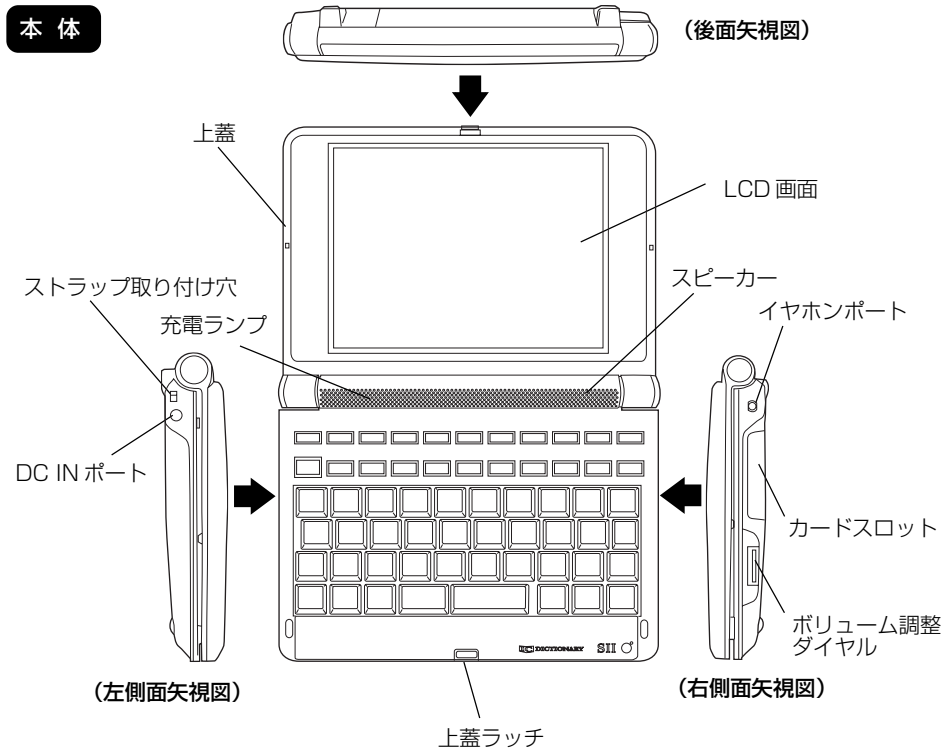
内容物

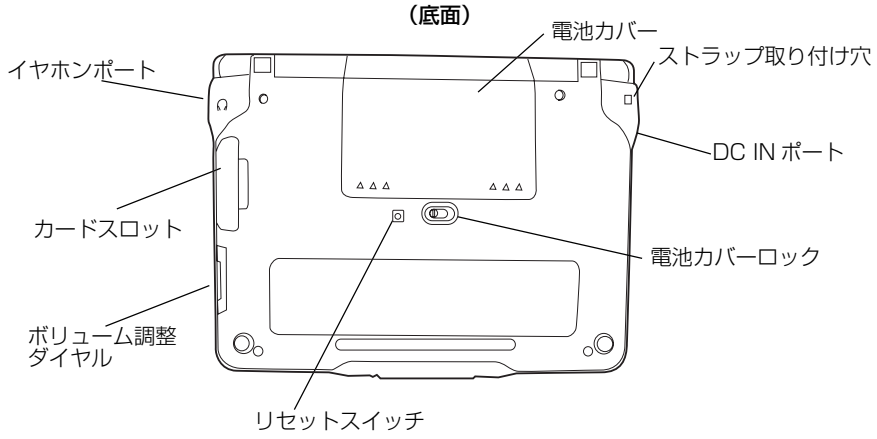


各部の名称とはたらき

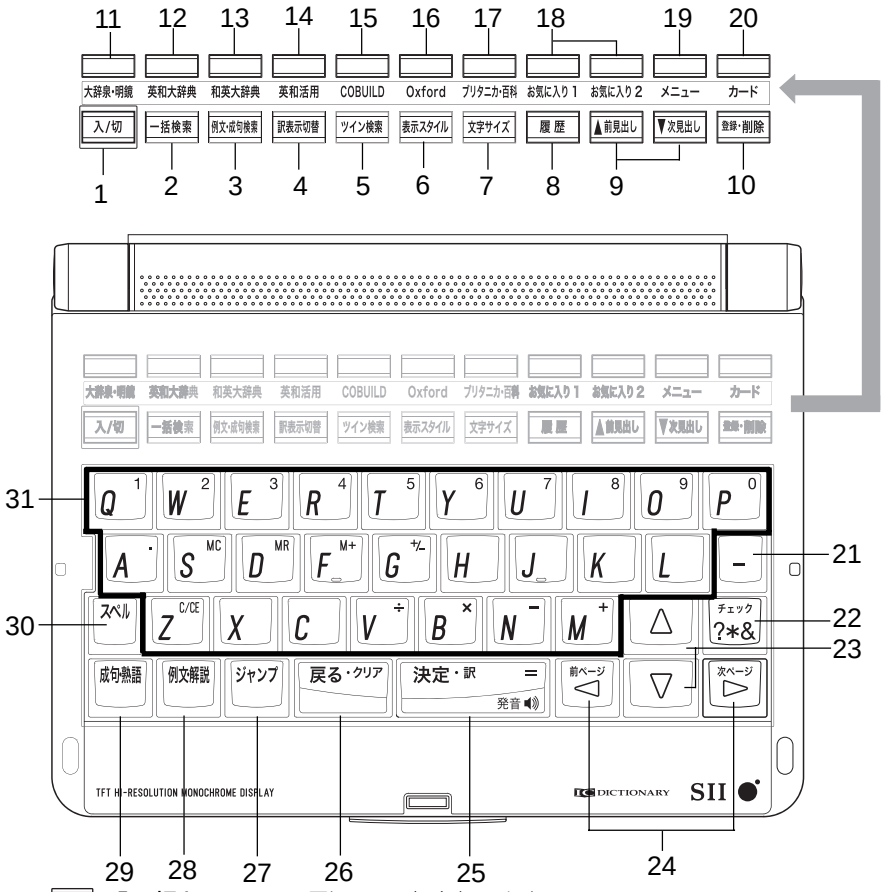
ここでは、本体の各部の名称とはたらきについて説明します。

本 体





キー配列と説明



1. 入/切 **入 / 切キー**
電源の入 / 切を行います。
(辞書のモード選択キーでも電源が入ります。ただし切るときは 入/切 キーを押します。)

2. 一括検索 **一括検索キー**
複数の辞書を一括検索する機能を選択します。

3. 例文・成句検索 **例文・成句検索キー**
例文・成句検索、マルチ例文検索のモードを選択します。

4. 訳表示切替 **訳表示切替キー**
訳表示を全文表示と早見表示に切替えます。

5. ツイン検索 **ツイン検索キー**
訳表示画面を表示したまま他の辞書モードでの検索をします。

6. 表示スタイル **表示スタイルキー**
(1) プレビュー表示画面で、プレビュー画面を下に表示する/右に表示するを切替えます。
(2) 全画面表示で、行間標準/行間大/罫線表示を切替えます。
(3) 例文・成句検索では、キーワードのセンタリング切替えをします。

7. 文字サイズ **文字サイズ切替えキー**
画面表示の文字サイズ (5 段階) を切替えます。

8. 履歴 **履歴キー**
一度検索した語句を表示します。

9. ▼次見出し / ▲前見出し **見出し送りキー**
(1) 見出しリストの順で画面を送ります。
(2) 1 ページごとに画面を送ります。

10. 登録・削除 **登録/削除キー**
(1) 全画面表示された見出し語を単語帳に登録します。
(2) お気に入り辞書の登録をします。
(3) 単語帳に登録された見出し語を削除します。
(4) 入力した文字を 1 文字削除します。
(5) 履歴を削除します。

11. 大辞泉・明鏡 **大辞泉・明鏡キー**
大辞泉、明鏡辞典のモードを選択します。

12. 英和大辞典 **英和大辞典キー**
新英和大辞典、英和辞典のモードを選択します。

13. 和英大辞典 **和英大辞典キー**
新和英大辞典のモードを選択します。

14. 英和活用 **英和活用キー**
英和活用大辞典のモードを選択します。

15. COBUILD **COBUILD キー**
コウビルド英英辞典 、コリンズ類語辞典、Collins Dictionary of Idioms、Collins Dictionary of Phrasal Verbs、Collins English Usage for Learners、Collins Intermediate English Grammar、Wordbank のモードを選択します。

16. Oxford **Oxford キー**
Oxford Dictionary of English、Oxford Thesaurus of English のモードを選択します。

17. ブリタニカ・百科 **ブリタニカ・百科キー**
Britannica Concise Encyclopedia、ブリタニカ国際大百科事典 のモードを選択します。

18. お気に入り 1 / お気に入り 2 **お気に入り 1,2 キー**
登録したお気に入りの辞典のモードを選択します。

19. メニュー **メニューキー**
新漢語林、日本語大シソーラス、英会話とっさのひとこと辞典、パーソナルカタカナ語辞典、論文のための英語文型・文例辞典、電卓、環境設定、カード単語帳削除、著作権表示のモードを選択します。

20. カード **カードキー**
シルカカード (別売) の内容を表示します。

21. - **ハイフンキー**
ハイフンまたは長音を入力します。

22. チェック ?*& **チェックキー**
?、*または &
(1) 単語帳に登録された単語にチェックマークを付けます。
(2) ? :スペルがわからないとき、1 文字の代わりに使います。
(3) * :スペルがわからないとき、複数文字の代わりに使います。
(4) & : 複数の入力文字列を区切ります。

23. ▽ / △ **上下カーソルキー**
(1) カーソルを上下に動かします。
(2) 1 行ずつ画面を上下に移動させます。

24. 前ページ / 次ページ **ページ送りキー**
(1) カーソルを左右に動かします。
(2) 1 ページごとに画面を動かします。

25. 決定・訳 発音 **決定 / 訳キー**
(1) 見出し語を決定して解説 / 訳を表示します。
(2) 機能を決定して実行します。
(3) 発音 マークの付いている単語・文章を発音します。

26. 戻る・クリア **戻るキー**
(1) ひとつ前の状態 (画面) に戻ります。
(2) 入力文字を一括クリアします。

27. ジャンプ **ジャンプキー**
全画面表示の中の単語や参照マーク先へジャンプします。

28. 例文解説 **例文・解説キー**
見出し語に関連する例文または解説を表示します。

29. 成句熟語 **成句・熟語キー**
見出し語に関連する成句 (英和、英英) または熟語 (新漢語林) を表示します。

30. スペル **スペルキー**
英単語のスペルをチェックします。

31. **文字 / 数字入力キー**
英数字を入力します。

複数の印字があるキー (複合キー) は、使用する場面に応じて自動的に機能が変わります。

機能と特徴

■最高スペックの英語特化電子辞書

[☞ 15ページ]

「新和英大辞典」·「新英和大辞典」のダブル収録。多数の老舗ブランドの英語辞典の収録。実社会での英語の実体が分かるコーパス辞書群の収録。収録例文数の充実を図りました。

■大型辞書の表示に適した大画面

[☞ 231ページ]

収録の大型辞書の表示に合わせ、640X480 ドット（VGA サイズ）の高精細ワイド画面を採用。しかも 16 階調のグレースケールで、百科事典の画像資料等を鮮明に表示します。

■発音機能

[☞ 57, 93,155ページ]

「ジーニアス英和大辞典」·「コウビルド英英辞典」の見出し語と「英会話とっさのひとこと辞典」の例文を発音します。音声は、本体右側面の音声ボリューム調整ダイヤルで容易に調整することができます。また、付属のイヤホンを使って音声を聴くこともできます。

■マルチ例文検索

[☞ 45ページ]

英語系辞書から、複数のキーワードの条件付けを行って、例文を検索することができます。

■訳表示切替（早見機能）機能

[☞ 193ページ]

訳表示画面を全文表示と早見表示（見出し語と訳語または簡易解説だけを表示）を切替えて見ることができ、目的の訳語または簡易解説をすばやく見つけることができます。

■ツイン検索機能

[☞ 196ページ]

訳画面を表示したまま、画面の下半分を使って複数辞書一括検索で、他の見出し語を検索し表示することができます。

■表示スタイル切替え機能

[☞ 194ページ]

入力画面では、訳画面プレビューを画面の下側に表示するか、画面の右側に表示するかを切替えることができます。また、訳画面の全画面表示では、行間標準/行間大/罫線付き表示に切替えることができたり、例文 · 成句検索では、キーワードのセンタリングが行えるなど、お好みの見やすい表示スタイルを選択することができます。

■お気に入り辞書登録

[☞ 173ページ]

よく使う辞書２冊を２つの専用キーに割り当てることができます。

■シルカカード * 機能

[☞ 20ページ]

専用のシルカカード · レッド（別売）を装着して、追加辞書などを内蔵の辞書等と一緒に使用することができます。

■リチウムイオン充電池（AC アダプタ付属）

[☞ 19ページ]

電源にリチウムイオン充電池を採用。繰り返し充電してお使いいただけます。

●複数辞書一括検索機能

[☞ 37ページ]

入力した文字列（アルファベット·かな）に該当することばを複数の辞書から一括して検索することができます。(シルカカードをお使いの場合は、シルカカードも含みます。)

●リアルタイム検索（すばやく便利な見出し検索）

[☞ 26ページ]

１文字入力するごとに見出し語の検索が行われ、該当する見出し語を即座にリスト表示します。目的の見出し語をすばやく見つけることができます。

●プレビュー機能（近い語も同時に検索・閲覧）

[☞ 26ページ]

語を検索すると、画面が2分割表示されます。上画面には、検索した語だけでなく、例えば、国語辞典なら読みが、英和辞典ならスペルが、頭から一致する語から順にリスト表示されます。下画面には、上画面で選んだ見出し語の解説/訳がプレビュー表示されて素早く閲覧でき、語彙の世界が広がります。

●ジャンプ機能（辞書から辞書へ関連語検索）

[☞ 174ページ]

解説や訳文の中の参照記号や単語から、関連語の解説にジャンプすることができます。関連語の解説が他の辞書にあっても、改めて辞書モードを選択することなく、すぐにその解説や訳文を見ることができます。

●例文・成句検索（複数の辞書から同時検索）

[☞39ページ]

入力した英単語（単数または複数）を使った例文または成句を、英和辞典、和英辞典、英和活用辞典、コウビルドの辞典、オックスフォードの辞典、Wordbank からダイレクトに検索します。(シルカカードをお使いの場合は、シルカカードの英語系辞書も含みます。)

●単語帳

[☞ 31ページ]

各辞書モードで検索した見出し語 · 例文 · 成句 · 熟語、または例文検索機能で検索した例文、成句検索機能で検索した成句を計 1,000 件まで登録できます。(シルカカードをお使いの場合は、シルカカードも含みます。) 必要なときにすぐに辞書画面を呼び出すことができます。

●履歴機能

[☞ 190ページ]

一度検索した見出し語は100件まで履歴として記録します。もう一度同じ単語を調べるときは、履歴を使って簡単に調べることができます。(シルカカードをお使いの場合は、シルカカードも含みます。)

●スペルチェック（うろ覚えのスペルでも簡単検索）

[☞ 113ページ]

あいまいなスペルを入力しても、発音やスペルの似ている英単語が候補としてリスト表示されます。正確なスペルがわからない英単語でも、調べることができます。

●変化形検索機能

[☞ 114ページ]

スペルキーを押すと、入力が変化形であれば、原形を表示します。

●凡例表示

[☞ 35ページ]

それぞれの辞書の特徴や辞書の使い方を見ることができます。

●文字列リンク機能（操作の途中で辞書切り換え） [☞ 197ページ]

辞書モードを切り換えた時に、既に入力した文字列をそのまま次の辞書モードに引き継ぎます。見出し語を入力している途中で辞書を切り換えても、同じ文字を再入力する必要はありません。

●文字サイズ切替 [☞ 192ページ]

画面表示の文字サイズを辞書ごとに大きく、または小さく表示させることができます。文字を大きくすると、小さい文字まではっきりと見ることができます。文字を小さくすると 1 行に収まる文字数が増え、長い英文などが読みやすくなります。

●環境設定機能 [☞ 169ページ]

本機を使いやすくするために、操作環境の設定を変えることができます。

●電卓 [☞ 167ページ]

12 桁 1 メモリーの四則演算ができます。

○オープンオン機能 [☞ 197ページ]

本機の上蓋を開けると自動的に電源のオンができます。

○モードキーパワーオン機能 [☞ 197ページ]

モードキーで電源 ON できます。

○レジューム機能 [☞ 197ページ]

電源を切っても、そのときの状態（表示画面）を保持するので、次に電源を入れたとき、前回の状態から操作を始めることができます。

○オートパワーオフ機能 [☞ 197ページ]

設定した時間（初期設定は約 3 分間）、キー操作がない場合は自動的に電源が切れて、電池のムダな消耗を防ぎます。

○オートリピート機能 [☞ 197ページ]

ページ送りキー、カーソルキーは押し続けると、繰り返し機能する（早送りする）オートリピート機能がついています。

収録辞典

収録辞典の著作権一覧

●『デジタル大辞泉』© Shogakukan
発行所／株式会社 小学館
※『デジタル大辞泉』は、書籍版『大辞泉（増補・新装版）』に基づいて新語を増補し、最新の内容に編集しなおしたものです。
※書籍版の漢字項目は収録されておりません。
※『逆引き大辞泉』は、『デジタル大辞泉』の全項目について「逆引き（後方一致）検索」を行うことができます。
本機に収録した辞典の内容は、小学館発行の『大辞泉（増補・新装版）』に基づき、小学館のご協力を得て編集してあります。
●『新英和大辞典 第６版』© 2002, 2006　株式会社研究社
編集代表　竹林　滋
本機に収録した辞典の内容は、『新英和大辞典 第６版』に基づき、研究社のご協力を得て編集してあります。
●『新和英大辞典 第５版』© 2003, 2004 株式会社研究社
渡邉敏郎、Edmund R. Skrzypczak、Paul Snowden　編
本機に収録した辞典の内容は、『新和英大辞典 第５版』に基づき、研究社のご協力を得て編集してあります。
●『新編 英和活用大辞典』©1995, 2003 株式会社研究社
編集代表　市川繁治郎
本機に収録した辞典の内容は、『新編英和活用大辞典』に基づき、研究社のご協力を得て編集してあります。
●『リーダーズ英和辞典（第２版）』©1999, 2002　株式会社研究社
松田徳一郎編集代表、　発行所／株式会社 研究社
本機に収録した辞典の内容は、『リーダーズ英和辞典（第２版）』に基づき、研究社のご協力を得て編集してあります。また、書籍版にない約 1500 語を増補してあります。
●『リーダーズ・プラス』©1994, 2002　株式会社研究社
松田徳一郎編集代表、　発行所／株式会社 研究社
本機に収録した辞典の内容は、『リーダーズ・プラス』に基づき、研究社のご協力を得て編集してあります。
●『ジーニアス英和大辞典』© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2001-2002
本機に収録した辞典の内容は、小西友七・南出康世編集主幹『ジーニアス英和大辞典』に基づき、大修館書店のご協力を得て編集してあります。『ジーニアス英和大辞典』は小西友七・南出康世氏と大修館書店の著作物です。
●『ナノテクノロジー用語英和辞典』© MEZAKI Reiji & Taishukan 2004
目崎令司 編　発行　大修館書店
本機に収録した辞典の内容は、目崎令司 編『ナノテクノロジー用語英和辞典』を大修館書店のご協力を得て編集してあります。『ナノテクノロジー用語英和辞典』は目崎令司氏と大修館書店の著作物です。
※『ナノテクノロジー用語英和辞典』は電子版であり、対応する書籍は発行されておりません。
●『日本語大シソーラス ―― 類語検索大辞典』© 2003-2006 by YAMAGUCHI Tasuku & Taishukan
発行所／株式会社 大修館書店
本機に収録した辞典の内容は、大修館書店発行の『日本語大シソーラス ―― 類語検索大辞典』に基づき、大修館書店のご協力を得て編集してあります。

●『新漢語林』© Tadashi Kamata, Torataro Yoneyama & Taishukan, 2004
著者／鎌田正・米山寅太郎、 発行所／株式会社 大修館書店
本機に収録した辞典の内容は、鎌田正・米山寅太郎編集の『新漢語林』を大修館書店のご協力を得て編集してあります。『新漢語林』は鎌田正・米山寅太郎氏と大修館書店の著作物です。

●『明鏡国語辞典』© Kitahara Yasuo & Taishukan, 2002-2004
編者 北原保雄 発行 大修館書店
本機に収録した辞典の内容は、北原保雄編集の『明鏡国語辞典』を大修館書店のご協力を得て編集してあります。『明鏡国語辞典』は北原保雄と大修館書店の著作物です。

●Oxford Dictionary of English 2e © Oxford University Press 2003

●Oxford Thesaurus of English 2e © Oxford University Press 2004

●Collins COBUILD Advanced Learner's English Dictionary new digital edition 2004
© HarperCollins Publishers 2004

●Collins Compact Thesaurus 2nd edition published 1999
© HarperCollins Publishers 1993, 1999.

●5-million-Wordbank from the Bank of English® © HarperCollins Publishers 2001

●Collins COBUILD Dictionary of Phrasal Verbs 2nd edition published in 2002
© HarperCollins Publishers 1989, 2002

●Collins COBUILD Dictionary of Idioms 2nd edition published in 2002
© HarperCollins Publishers 1995, 2002

●Collins COBUILD English Usage for Learners 2nd edition published in 2004
© HarperCollins Publishers 1992, 2004

●Collins COBUILD Intermediate English Grammar 2nd edition published in 2004
© HarperCollins Publishers 2004

●Audio data for Collins COBUILD Advanced Learner's English Dictionary new digital edition 2004 © HarperCollins Publishers 2004

●Britannica Concise Encyclopedia © 2006 Encyclopædia Britannica, Inc.
ブリタニカ百科事典, エンサイクロペディアブリタニカ, Britannica, Encyclopædia Britannica は、米国 Encyclopædia Britannica, Inc. の米国、日本およびその他の国における登録商標です。

●ブリタニカ国際大百科事典 電子辞書対応小項目版 © 2006 Britannica Japan Co., Ltd./ Encyclopædia Britannica, Inc.
ブリタニカ百科事典, エンサイクロペディアブリタニカ, Britannica, Encyclopædia Britannica は、米国 Encyclopædia Britannica, Inc. の米国、日本およびその他の国における登録商標です。

●『英会話とっさのひとこと辞典』©1998 Ichiro Tatsumi, Sky Heather Tatsumi
巽一朗、巽スカイ・ヘザー著 発行所／株式会社 DHC
本機に収録した辞典の内容は、巽一朗、巽スカイ・ヘザー著『英会話とっさのひとこと辞典』に基づき、株式会社 DHC の協力を得て編集してあります。

●『英会話とっさのひとこと辞典 CD』©1999 Ichiro Tatsumi, Sky Heather Tatsumi, DHC Corporation

●『科学技術論文、報告書その他の文書に必要な英語文型・文例辞典』
日本図書館協会選定図書『科学技術論文、報告書その他の文書に必要な英語文型・文例辞典』CD-ROM 版（小倉一浩監修）を本機に収録したものです。

●『パーソナル カタカナ語辞典』©1999
金田一春彦監修、 発行所／株式会社 学習研究社
本機に収録した辞典の内容は、金田一春彦監修『パーソナル カタカナ語辞典』に基づき、学習研究社の協力を得て編集してあります。

●画面表示用の一部のフォントにはリョービのビットマップフォントを採用しています。
© 2005 RYOBI LIMITED

収録辞典の内容について

※この電子辞書（本機）に格納されている各辞典のデータは、著作権法によって保護されており、私的使用の範囲を超えての転載・複製などは禁じられています。また、この電子辞書に格納されている各辞典のデータを引用した著作物を公表する場合には、出典名・発行所を必ず明記してください。

※この電子辞書（本機）に格納されている各辞典のデータは、図・表・付録などを除き、原則として書籍版の本文テキストデータ（文字データ）の大半を収録しています。内容は、書籍版に基づいていますので、各辞典の書籍版発行年時点の記述内容となっております。また、画面表示の都合上などにより、各辞典発行元の監修に基づいて書籍版の内容を改変した部分があります。

※**本機に収録した各辞典は、出版されているそれぞれの書籍版辞典に基づいて作成しています。それぞれの辞典における誤記（誤植）、誤用につきまして、弊社ではその責任を負いかねますので何卒ご了承ください。**

このIC Dictionary に格納されているデータは著作権法によって保護されており、無断で転載・複製することはできません。

MPEG Layer-3 audio decoding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

収録辞典の記述内容についてのお問い合わせ先

本機に収録されている各辞典の記述内容についてのご質問等は、下記までお問合せください。

○『デジタル大辞泉』の記述内容についてのお問合せ：
小学館ユーザーサポート 電話：0120-665527

○『新英和大辞典 第６版』・『新和英大辞典 第５版』・『新編英和活用大辞典』・『リーダーズ英和辞典（第２版）』・『リーダーズ・プラス』の記述内容についてのお問合せ：
株式会社 研究社 電話：03（3288）7711

○『ジーニアス英和大辞典』・『ナノテクノロジー用語英和辞典』・『日本語大シソーラス ーー 類語検索大辞典』の記述内容についてのお問合せ：
株式会社 大修館書店 電話：03（3294）2355

○『新漢語林』・『明鏡国語辞典』・の記述内容についてのお問合せ：
株式会社 大修館書店 電話：03（3294）2352

○『Oxford Dictionary of English 2e』・『Oxford Thesaurus of English 2e』の記述内容についてのお問合せ：
オックスフォード大学出版局 株式会社 電話：03（3459）6489

○『Britannica Concise Encyclopedia』および『ブリタニカ国際大百科事典 電子辞書対応小項目版』の記述内容についてのお問合せ：
ブリタニカ・ジャパン株式会社 電話：03（5436）1388

○『英会話とっさのひとこと辞典』および『英会話とっさのひとこと辞典CD』の記述内容についてのお問合せ：
株式会社 DHC 電話：03（3585）1581

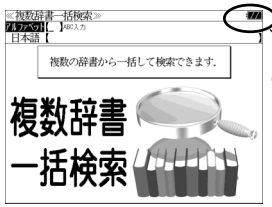
○『科学技術論文、報告書その他の文書に必要な英語文型・文例辞典』の記述内容についてのお問合せ： 著作権者及び（有）小倉書店にお問い合わせ下さい。
電話：0466（61）1211 FAX：0466（61）1212 E-mail：Info@ogurashoten.co.jp

○『パーソナルカタカナ語辞典』の記述内容についてのお問合せ：
株式会社 学習研究社 デジタルコンテンツ事業部 電話：03（3493）3286

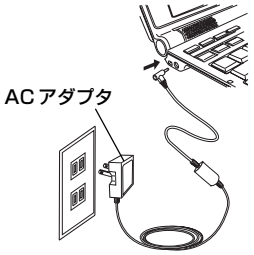
ご購入後、初めてご使用になるときは

ご購入後、初めてご使用になるときは、下記の手順にしたがって本機をお使いになれる状態までもっていきます。

1 本機の上蓋を開くと、電源が入ります。画面の右上の電池マークで電源の状態を確認して充電します。



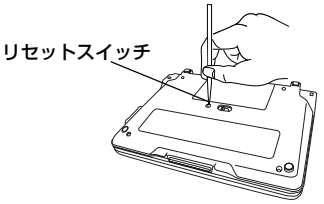
- 画面右上には、電池の残量を示す電池マークが表示されます。
  <電池マークと電源状態>
  - ：十分です。
  - ：少し少なくなりました。
  - ：少なくなりました。
  - ：なくなりました。充電してください。
- 電池の残量がなくなると「電池がなくなりました。充電して下さい。」というメッセージが表示され、電源がオフされます。
- 充電には、付属のACアダプタを使って行います。フル充電には、空の状態から約３時間かかります。
- 充電のしかたについては、「充電について」（☞ 19ページ）



2 リセット操作をします。

<u>本機を初めてご使用になるときまたは電池充電後は、本機裏面のリセットスイッチ（丸い穴）を細い棒で押して、必ずリセット操作を行ってください。</u>

- リセットのしかたについては、「リセットについて」（☞ 20ページ）



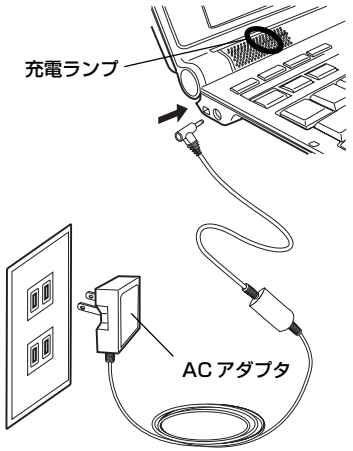
複数辞書一括検索の初期画面が表示され、本機をお使いになることができます。

操作環境の設定については、「操作環境の設定と著作権表示」（169ページ）を参照してください。

充電について

右図を参照の上、本機の電源を切り、ACアダプタを本機に接続して充電してください。充電を開始すると、向かって左側のスピーカー部の下にある充電ランプがオレンジ色に点灯します。
充電が終了すると充電ランプの色がグリーンに変わり充電の終了を知らせます。

- 本機は、電源としてリチウムイオン電池を使用しています。電池の残量がなくなると「電池がなくなりました。充電して下さい。」というメッセージが表示され、電源がオフされます。使用を中止し、充電してください。
- 充電には、付属のACアダプタを使って行います。フル充電には、空の状態から約３時間かかります。

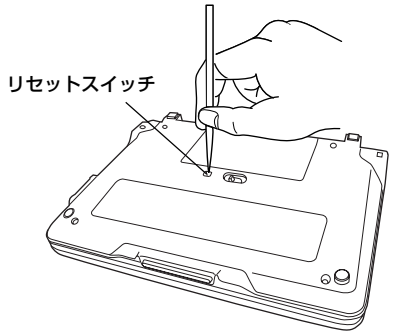


⚠ 注意

- ACアダプタは必ず付属のものをお使いください。
- ACアダプタの適用電源は日本国内または北米国の家庭用電源です。それ以外の電源（海外でのご使用）ではそのままではお使いになれませんのでご注意ください。
- 本機は、必ず付属のACアダプタを使って、内蔵のリチウムイオン電池を充電してください。
- ACアダプタのDCプラグの先端部および本機の電源ジャックには触らないでください。
- 水のかかる場所等では、絶対に使用しないでください。感電や事故の原因になることがあります。
- ACアダプタの上に布団、毛布などを置いての使用や、熱器具の近くでは使用しないでください。発熱・変形・故障等の原因になることがあります。
- 異常を感じたら、すぐ使用を中止してください。
- ご使用にならない時は必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。

リセットについて

本機裏面のリセットスイッチ（丸い穴）を細い棒で押して、リセット操作を行います。



注意

- リセット操作を行いませんと、文字が正しく表示されなかったり、異常電流等により、電池が著しく消耗したりする場合があります。
- すでに本機を使用していた場合、リセット操作を行うと、電卓のメモリーは全て消去されます。

カードスロットについて

本機には、追加辞書用のシルカカード＊（別売）専用のカードスロットがあります。

＊シルカ（商標出願中）は電子辞書本体に辞書を追加できるSIIオリジナルカードの愛称です。

本機には、右のいずれかの表記のあるシルカカード・レッドをお使いください。

SILUCA シルカRed
SILUCA シルカRed
SILUCA シルカRed

- カードが何も挿入されていない場合、[カード] を押すと「カードが挿入されていません。」と表示されます。
- シルカカードレッド以外のカードを挿入した場合、[カード] を押すと「このカードは使用できません。」と表示されます。
- カード挿入時は、一部機能が制限されることがあります。

シルカカード・レッドの取り付けかた

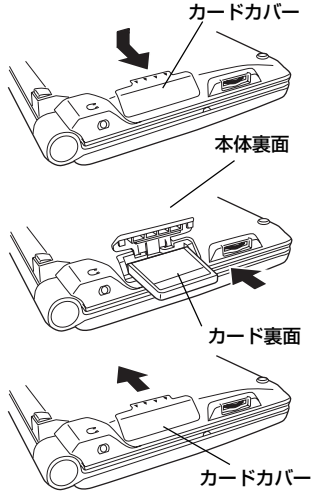
シルカカードを取り付ける前に、必ず本機の電源を切り、本機の上蓋を閉じてから行ってください。

① カードカバーを親指で軽く押しながら、矢印の方向へスライドさせて開けます。

② シルカカードの向きを間違えないで、図のように押し込みます。

＊ シルカカードの裏面が本機の裏面と同じ向きになります。
＊ シルカカードはカチッと音がするまで確実に奥まで押し込んでください。

③ カードカバーを戻して、矢印の方向にスライドさせて確実に閉めます。



⚠ 注意

- シルカカードの表裏を間違えてセットしないでください。破損の原因になります。
- カードカバーは90度以上開かないでください。無理に開きますと、ヒンジ部分が破損する恐れがあります。

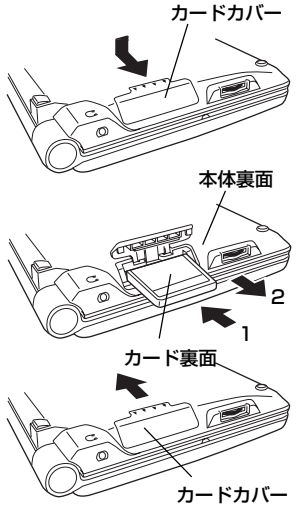
シルカカード・レッドの取り出しかた

シルカカードを取り出す前に、必ず本機の電源を切り、本機の上蓋を閉じてから行ってください。

① カードカバーを親指で軽く押しながら開けます。

② シルカカードを指で押し込み、ゆっくり離すと取り出すことができます。
（ロックが外れ、カードが少し出てきます。）

③ カードカバーを戻して、確実に閉めます。

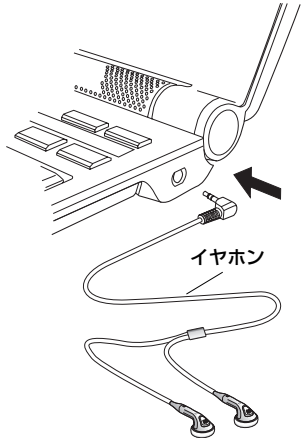


イヤホンとボリューム調整について

（イヤホンについて）

イヤホンを使って音声を聞く場合、付属の専用イヤホンをお使いください。

イヤホンジャックは本機右側面にあります。
奥までしっかりと差し込んでください。



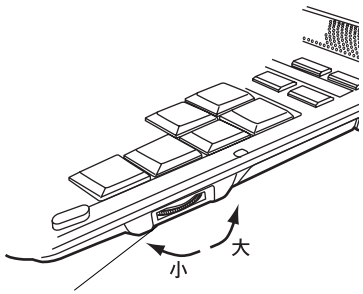
⚠ 注意

- ボリューム調整はイヤホンを耳から離して行ってください。
- 付属の専用イヤホン以外は使用しないでください。本機の故障や耳を痛める原因となることがあります。

（ボリューム調整について）

音声のボリューム調整は、本機右側面の下方にあるボリューム調整ダイヤルを使って行います。

ボリューム調整ダイヤルを、向こう側に回すと音量が大きくなります。
ボリューム調整ダイヤルを、手前側に回すと音量が小さくなります。



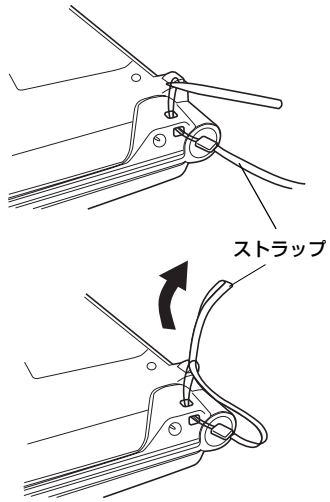
ボリューム調整ダイヤル

ストラップについて

本機左側面のストラップ用孔に市販のストラップをつけることができます。

① ストラップの細い方のひもを孔にさしこみ、つまようじなどの先の細いもので引き出します。

② 太い方のひもを、引き出した細いひもの中に確実に通し、引っ張ります。



⚠ 注意

- ストラップを持って振り回さないでください。故障・けがの原因となることがあります。

基本操作

基本的な使いかた

英和辞典のモードを例に、本機の基本的な使いかたを説明します。

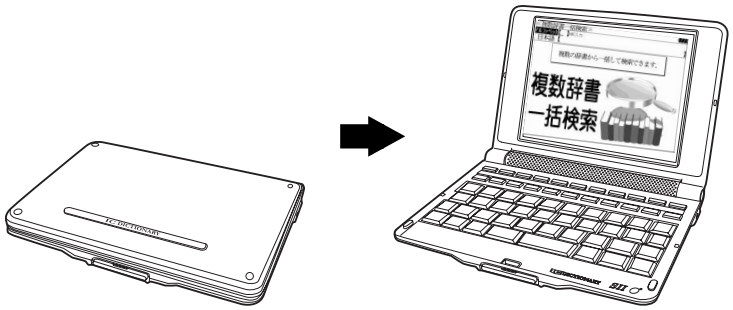
1. 電源の入／切

●電源を入れる場合

電源は、次の３とおりの方法で入れることができます。

A. 本機を閉めた状態から開けます。（オープンオン機能）

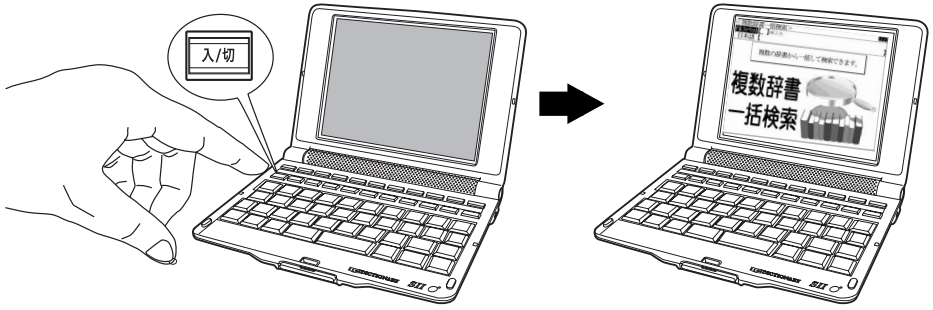
本機の上蓋を開けると、自動的に電源が入り、前に使っていたときの最後の状態が表示されます。（オープンオン機能 ☞ 197 ページ）



B. 電源が切れた状態から 入/切 を押します。

電源が入り、前に使っていたときの最後の状態が表示されます。

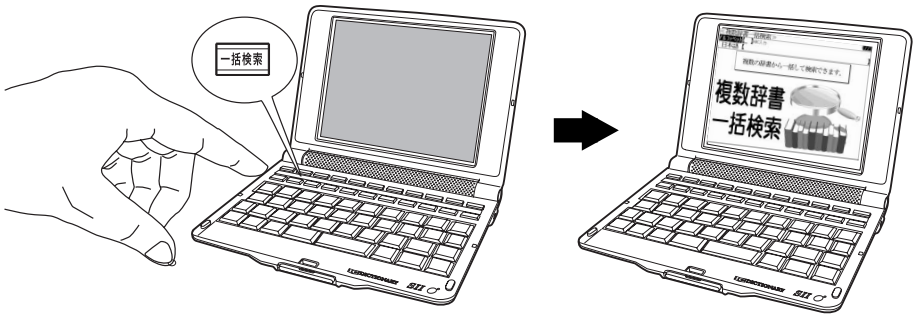
（レジューム機能 ☞ 197 ページ）



C. 電源が切れた状態から辞書モードキーを押します。（モードキーパワーオン機能）

電源が入り、押した辞書モードの初期画面が表示されます。

（モードキーパワーオン機能 ☞ 197 ページ）



●電源を切る場合

電源は、次の２とおりの方法で切ることができます。

A. 電源が入った状態から 入/切 を押します。

（注意）本機を閉めただけでは電源は切れません。

B. オートパワーオフの設定時間以上、キー操作がない場合。（オートパワーオフ機能）

設定した時間（初期設定は約３分間）、キー操作がない場合は自動的に電源が切れて、電池のムダな消耗を防ぎます。（オートパワーオフ機能☞ 197ページ）

2. 辞書モードの選択

辞書モードキーを押すと対応する辞書モードを選択することができます。

一括検索 ：「複数辞書一括検索」
例文・成句検索 ：「例文・成句検索」、「マルチ例文検索」*
履歴 ：「履歴」
大辞泉・明鏡 ：「大辞泉」、「明鏡国語辞典」*
英和大辞典 ：「新英和大辞典」、「英和辞典」*
和英大辞典 ：「新和英大辞典」
英和活用 ：「英和活用大辞典」
COBUILD ：「コウビルド& Wordbank」、「コリンズ類語辞典」*
Oxford ：「ODE/OTE」
ブリタニカ百科 ：「ブリタニカ国際大百科事典」、「Britannica Concise Encyclopedia」*
お気に入り１ ：「お気に入り１に登録した辞書」
お気に入り２ ：「お気に入り２に登録した辞書」
メニュー ：「メニュー」
カード ：「カード」

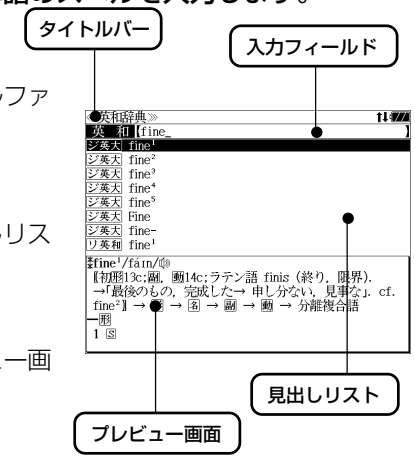
*：キーを再度押すと交互に切り替わります。

3. 文字入力

文字 / 数字入力キーを使って、英単語のスペルを入力します。

例：「fine」と入力します。

英単語を入力した場合は、入力したアルファベットがそのまま表示されます。



（リアルタイム検索）

1 文字入力するごとに、該当する見出しリストが変わります。

（プレビュー機能）

下画面には選択された見出しのプレビュー画面（解説／訳の一部）が表示されます。

- 一括検索の場合は、該当する見出し語を表示します。入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。
- 大辞泉（アルファベット検索を除く）、明鏡国語辞典、新和英大辞典、ジーニアス英和大辞典と英和活用大辞典の訳語検索、ブリタニカ国際大百科事典と英会話とっさのひとこと辞典の日本語検索、日本語大シソーラスの類語検索、漢語林では、アルファベットのキーでローマ字入力すると、自動的にひらがなに変換されて表示されます。
- カタカナ語辞典の読み検索では、ローマ字入力した文字がカタカナで表示されます。
- ローマ字入力と「かな」の対応については、「ローマ字 / かな対応表」（☞ 228 ページ）を参照してください。

入力文字の訂正

入力した文字を、1 文字ずつ訂正することができます。

例：誤って「fibe」と入力した文字を「fine」に訂正する場合

【fibe_　】

前ページ を 2 回押して、「b」の下へカーソルを移動します。

【fibe　】

1 文字削除するために、前消・削除 を押します。

【fie　】

文字を入力すると、カーソルのある文字の前に入ります。

【fine　】

「n」を入力します。

- 入力した最後の文字の削除は単に 前消・削除 を押します。
- 戻る・クリア を押すと、入力したすべての文字が削除されます。

一部を省略した入力（ワイルドカード）

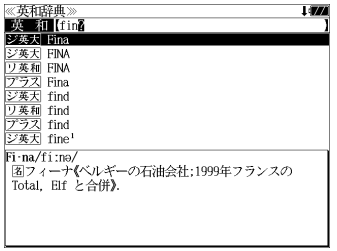
チェック ?*& を使ってワイルドカード「?、*」を入力すると、一部を省略して入力することができます。ことばの読みやスペルの一部がわからなくても、見出し語を検索することができます。

? わからない部分の 1 文字の代わりをします。複数の「?」を入力する場合は 次ページ を押してから再度 チェック ?*& を押します。

* わからない部分の複数文字の代わりをします。入力は チェック ?*& を2回押します。ただし、*は、複数入力できません。

例：「fin?」と入力します。

「fin」で始まる見出し語が表示されます。「?」が 1 文字の代わりをするので、全体で 4 文字の見出し語だけがリスト表示されます。



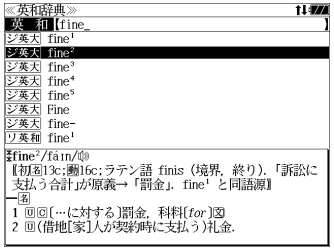
例：「fi*e」と入力します。

「fi」で始まり「e」で終わる見出し語が表示されます。「*」が複数文字の代わりをするので、文字数に関係なく、該当する全ての見出し語がリスト表示されます。

4. 見出し語の選択

表示された見出しリストから、調べたい見出し語を選択します。

例：[▽] を1回押して、「[ジ英大] fine²」を選択します。（反転表示させます。）



＜見出しリストのスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつスクロールします。

[▼次見出し] / [▲前見出し] ：1ページごとスクロールします。

- プレビュー画面は選択された見出し語に応じて変わります。

辞書記号

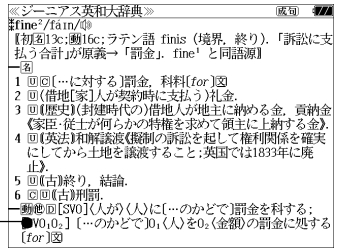
研英大	新英和大辞典
研和大	新和英大辞典
ジ英大	ジーニアス英和大辞典
リ英和	リーダーズ英和辞典
プラス	リーダーズ・プラス
英活用	英和活用大辞典
ナノテク	ナノテクノロジー用語英和辞典
ODE	Oxford Dictionary of English
OTE	Oxford Thesaurus of English
COB	コウビルド英英辞典
CCT	コリンズ類語辞典
IDM	Collins COBILD Dictionary of Idioms
PHV	Collins COBILD Dictionary of Phrasal Verbs
USAGE	Collins COBILD English Usage for Learners
GRAM	Collins COBILD Intermediate English Grammar
WB	Wordbank
B·ENCY	Britannica Concise Encyclopedia
B·百科	ブリタニカ国際大百科事典
大辞泉	大辞泉
明鏡	明鏡国語辞典
日シソ	日本語大シソーラス
新漢語	新漢語林
英会話	英会話とっさのひとこと辞典
カタカナ	パーソナルカタカナ語辞典
科技英	論文のための英語文型・文例辞典

5. 解説 / 訳の全画面表示

[決定・訳] を押して、選択した見出し語の解説 / 訳の全画面表示にします。

[決定・訳] を押すと、🔊 マーク付きの見出し語を発音します。

- 画面に 🔊 マークがない場合は [決定・訳] を押しても無効になります。

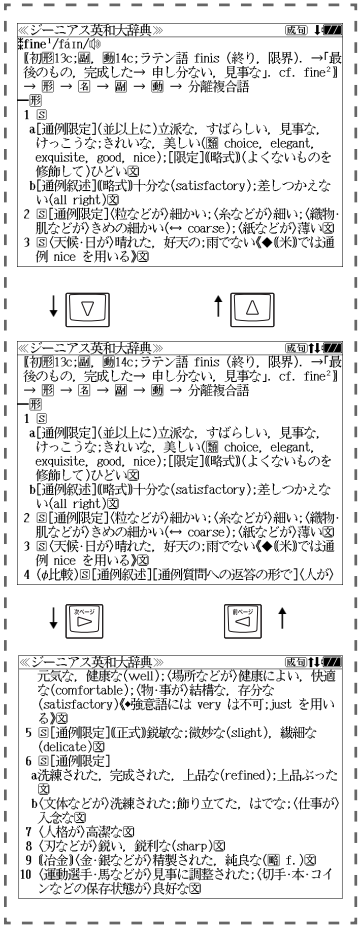


全画面表示

6. 画面のスクロール

画面をスクロールさせると、画面の続きを見ることができます。

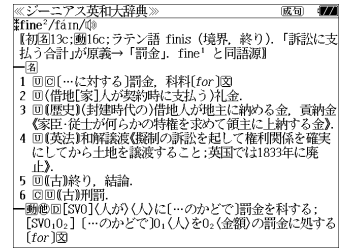
画面右上に ⬇ が表示された場合は、画面に表示しきれない内容があります。



[▽] / [△] **を使うと、画面は1行ずつスクロールされます。**

[◁前ページ] / [▷次ページ] **を使うと、画面は1ページごとスクロールされます。**

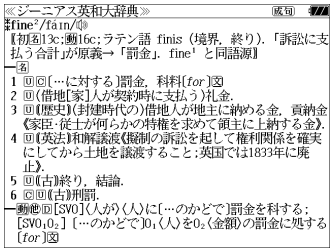
[▼次見出し] / [▲前見出し] **を使うと、見出しリストの順で、次の見出し語または1つ前の見出し語の解説 / 訳の画面になります。**



1つ前の状態（画面）に戻る

戻る・クリア を使うと、操作の途中で、1つ前の状態に戻ってやり直すことができます。

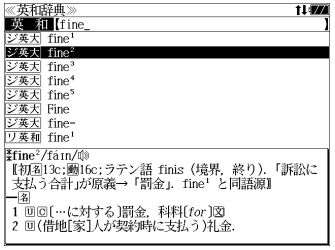
見出しの選択、文字入力のやり直しに便利です。



（見出しリスト／プレビュー表示）

見出しの選択のやり直しができます。

↓ 戻る・クリア　決定・訳 ↑



（入力画面）

文字の入力のやり直しができます。

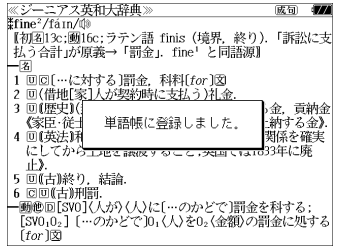
↓ 戻る・クリア　fine + ▽ ↑

単語帳の使いかた

各辞書モードで検索した見出し語・例文・成句・熟語、または例文検索機能で検索した例文、成句検索機能で検索した成句を計 1,000 件まで登録できます。（本体および追加したシルカカード内蔵の辞書の合計）必要なときにすぐに辞書画面を呼び出すことができます。

見出し語、成句・熟語の登録

見出し語または成句・熟語の解説／訳の全画面表示のとき、登録・削除 を押すとその見出し語または成句・熟語を単語帳に登録することができます。



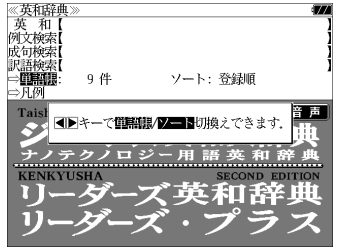
例：「fine²」の全画面表示の場合
（☞ 28 ページ）

- 見出し語・成句・熟語または例文は計1,000件まで登録できます。（本体および追加したシルカカード内蔵の辞書の合計）
- 大辞泉と逆引き大辞泉は同じ単語帳になります。
- ジーニアス英和大辞典、ナノテクノロジー用語英和辞典、リーダーズ英和辞典、リーダーズ・プラスは同じ単語帳になります。
- コウビルド英英辞典 、Collins Dictionary of Idioms、Collins Dictionary of Phrasal Verbs、Collins English Usage for Learners、Collins Intermediate English Grammar、Wordbank は同じ単語帳になります。
- 同じ見出し語または成句・熟語を登録すると、その語は単語帳の先頭に登録し直されます。

登録した単語の呼出し

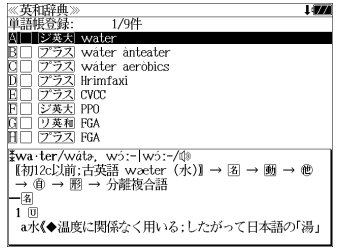
英和大辞典 を1回または2回押して、「英和辞典」の画面にします。

▽ / △ を使って、［単語帳］を選択します。



決定・訳 を押します。

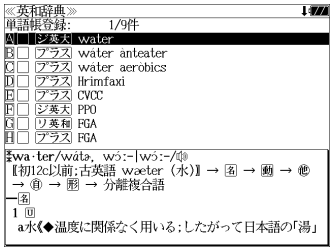
初期設定では、新しく登録した順に単語が表示されます。



（画面の一例）

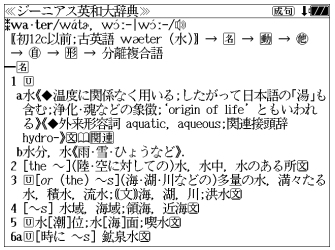
▽ / △ を使って、目的の単語を選択します。

例：「ジ英大 water」



決定・訳 を押します。

選択した単語の解説／訳が全画面表示されます。



＜単語帳のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつスクロールします。

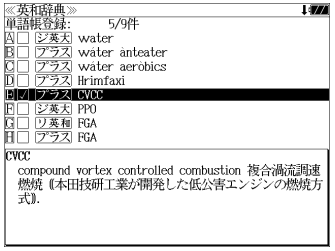
前ページ ◁ / 次ページ ▷ ：1ページごとスクロールします。

（単語の先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと全画面表示が直接表示されます。）

登録した単語にチェックマークをつける

単語帳を呼出し、▽ / △ を使って、目的の単語を選択します。

例：「プラス CVCC」



チェック ?*& を押すと、チェックボックスにチェックマークをつけることができます。

- 再度 チェック ?*& を押すと、チェックマークを消去することができます。

登録した単語の削除

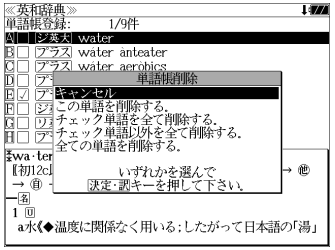
（選択した単語のみ削除する）

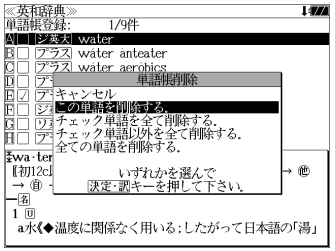
▽ / △ を使って、単語帳から削除したい単語を選んで 単語·削除 を押します。

例：「ジ英大 water」を削除する

初期設定では、「キャンセル」が選択されます。

▽ / △ を使って、「この単語を削除する。」を選択して、決定・訳 を押します。





（チェックマークが付いた単語を全て削除する）

▽ / △ を使って「チェック単語を全て削除する。」を選択し、決定・訳 を押します。

（チェックマークが付いていない単語を全て削除する）

▽ / △ を使って「チェック単語以外を全て削除する。」を選択し、決定・訳 を押します。

（全ての単語を削除する）

▽ / △ を使って「全ての単語を削除する。」を選択し、決定・訳 を押します。

（削除をやめる）

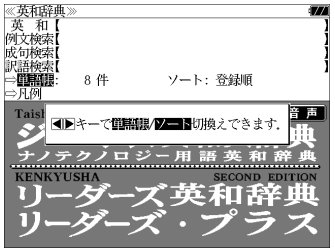
▽ / △ を使って「キャンセルする。」を選択し、決定・訳 を押します。

- シルカカード内蔵の辞書から各辞書の単語帳に登録された単語を削除する場合、対象となるシルカカードをカードスロットに挿入し、各辞書の単語帳から個別に削除します。
- シルカカード内蔵の各辞書から単語帳に登録された単語を全て削除する場合、メニュー を押し、「Hカード単語帳削除」を選択して、カード単語帳に登録された全ての単語を削除します。
（☞「カード単語帳削除」172ページ）

単語の表示順（ソート）の変更

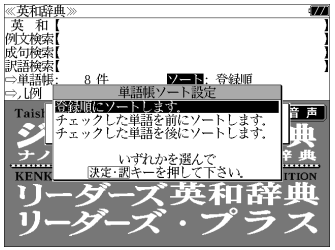
英和大辞典 を１回または２回押して、「英和辞典」の画面にします。

▽ / △ を使って、［単語帳］を選択します。



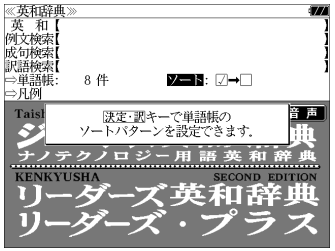
次ページ を押し[ソート]を反転表示にして、決定・訳 を押します。

初期設定では、「登録順にソートします。」が選択されています。



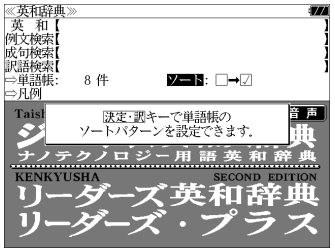
（チェックマークが付いた単語から表示する）

▽ / △ を使って「チェックした単語を前にソートします。」を選択し、決定・訳 を押します。



（チェックマークが付いていない単語から表示する）

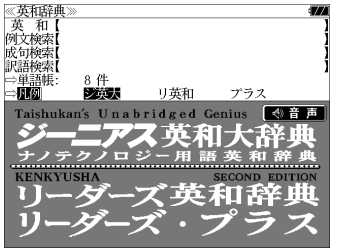
▽ / △ を使って「チェックした単語を後にソートします。」を選択し、決定・訳 を押します。



凡例のみかた

それぞれの辞書の特徴や辞書の使い方を見ることができます。

例：「ジーニアス英和大辞典」の凡例を見ます。



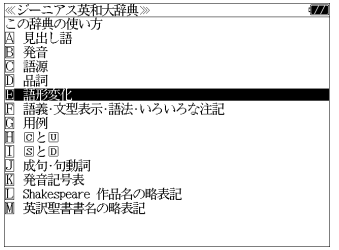
英和大辞典 を１回または２回押して、「英和辞典」の画面にします。

▽ / △ を使って、［凡例］を選択します。

- 「英和辞典」の場合は、複数の辞書が収録されているので、前ページ / 次ページ を使って、見たい辞書を選択し反転表示にします。
  - ・ジ英大：ジーニアス英和大辞典
  - ・リ英和：リーダーズ英和辞典
  - ・プラス：リーダーズプラス

決定・訳 を押し ▽ / △ を使って、項目を選択します。

例：「E 語形変化」を選択



（項目の先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。）

- 凡例によっては、もう一度小項目を選択する場合があります。

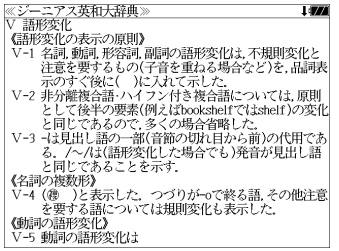
決定・訳 を押すと、凡例が表示されます。

＜凡例のスクロール＞

▽ / △ ：１行ずつスクロールします。

前ページ / 次ページ ：１ページごとスクロールします。

▼次見出し / ▲前見出し ：１項目ごとスクロールします。



MEMO

「複数辞書一括検索」を使う

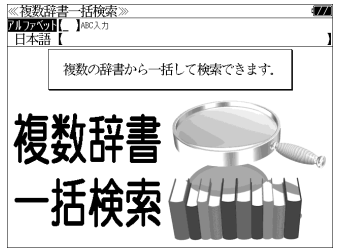
入力した文字列（アルファベット・かな）に該当することばを複数の辞書から一括して検索することができます。（シルカカードをお使いの場合は、シルカカードも含みます。）

見出し語を検索する

例：「ちょうり」を一括検索する

1 **[一括検索] を押して一括検索の画面を表示させます。**

［アルファベット］が反転表示されます。



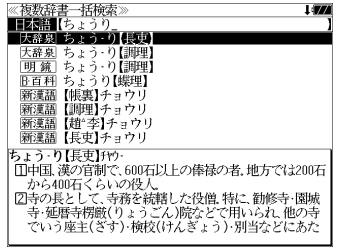
2 **[▽] / [△] を使って、入力方法を選択します。**

例：「日本語」を選択

3 **文字 / 数字入力キーを使って、調べたいことばを入力します。**

例：ローマ字で、「CHOURI」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストと、プレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に完全一致する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。
- シルカカードの場合は、辞書記号の頭にカードマーク（■）が表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

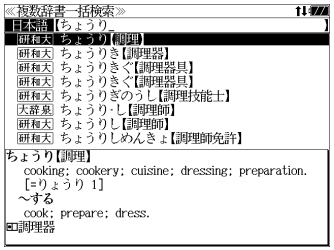
4 ▽ / △ **を使って、調べたい見出し語を選択します。**

例：「 研和大 ちょうり【調理】」を選択

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



5 決定・訳 **を押します。**

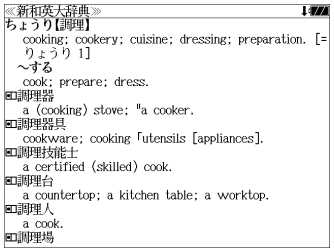
選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：同一辞書見出しリスト順



「例文・成句検索」（複数の辞書から同時検索）を使う

入力した英単語（単数または複数）を使った例文を、英和辞典、和英辞典、英和活用辞典、コウビルドの辞典、オックスフォードの辞典、Wordbankから検索します。（シルカカードをお使いの場合は、シルカカードの英語系辞書も含みます。）

例文を検索する

収録の複数の英和、英英、和英辞典から調べたい英単語を含む例文の英単語のスペルを入力して、検索することができます。複数語入力の場合の語順指定や英和・英英・和英辞典の検索優先順位も指定することができます。

例：「come」と「real」を含む例文を調べる

1 例文・成句検索 **を1回または2回押して、「例文・成句検索」の画面にします。**

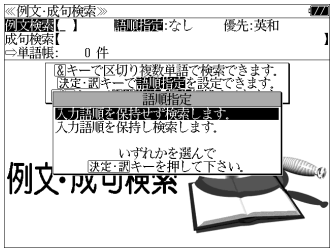
英和大辞典 を押すたびに「例文・成句検索」と「マルチ例文検索」の初期画面が交互に表示されます。

[例文検索]と[語順指定] が反転表示されます。

2 決定・訳 **を押し、** ▽ / △ **を使って、［語順指定］を設定します。**

例：「入力語順を保持せず検索します。」を選択

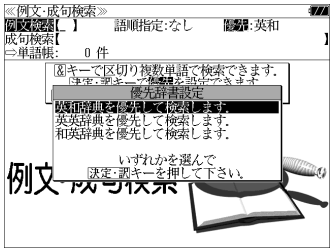
- 複数の単語を入力した場合、「入力語順を保持せず検索します。」を選択すると、入力した順に関係なく単語を使う例文を検索します。
- 複数の単語を入力した場合、「入力語順を保持し検索します。」を選択すると、入力した順に単語を使う例文を検索します。



3 決定・訳 **を押し、** ▷次ページ / ◁前ページ **を使って、［優先］を選択します。**

4 [決定・訳] を押し、[▽] / [△] を使って、［優先辞書設定］を選択します。

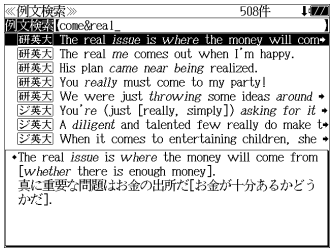
例：そのまま［英和辞典を優先して検索します。］を選択



5 [決定・訳] を押し、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「come&real」と入力

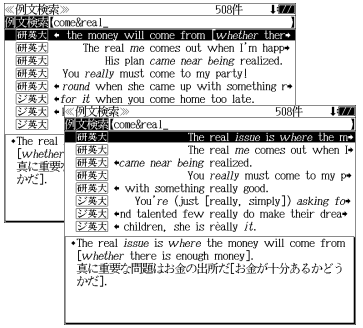
入力した英単語を含む例文リストと、プレビュー（例文解説の一部）が表示されます。



- 画面の右上に該当する例文の数が表示されます。1000以上ある場合は「1000件以上」と表示されます。
- 複数の英単語を [?*&] を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む例文リストが表示されます。
- 「英単語＆」と入力すると、その英単語の変化形を使っている例文も検索します。
  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている例文を検索します。
- 「語順指定：なし」を指定した場合、＆は正転表示されますが、「語順指定：あり」を指定した場合、＆が反転表示されます。
- 入力した英単語を含む例文がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。
- シルカカードの場合は、辞書記号の頭にカードマーク（■）が表示されます。

6 [表示スタイル] を押すと、キーワードセンタリング機能がはたらき、入力キーワードが中央にそろうセンター表示を行えます。

この例の場合は、キーワードが「come」と「real」の複数語なので、キーワードセンタリングは、[表示スタイル] を押すごとに、センタリングされるキーワードが「come」と「real」に切替わった後に、元に戻ります。



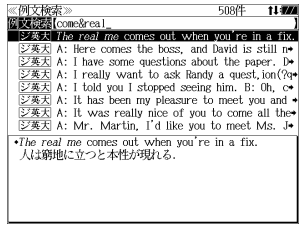
- ☞「表示スタイル切替機能」194ページ

7 [▽] / [△] を使って、調べたい例文を選択します。

例：「ジ英大 The real me comes out when you're in a fix.」を選択

＜例文リストのスクロール＞

[▽] / [△]　：1行ずつ　[▼次見出し] / [▲前見出し]　：ページごと



8 [決定・訳] を押します。

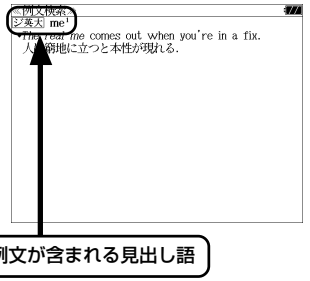
選択した例文の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△]　：1行ずつ

[◁前ページ] / [▷次ページ]　：ページごと

[▼次見出し] / [▲前見出し]　：見出しリスト順



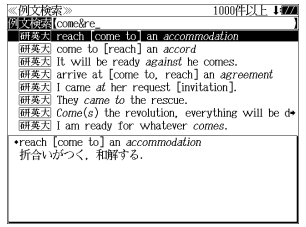
- [▼次見出し] / [▲前見出し] を使うと、全画面表示のまま、次または1つ前の例文解説を表示することができます。手順 **4** で表示した例文リストの順で表示されます。
- 例文の全画面表示から、その例文が含まれる見出し語の画面にジャンプすることができます。（☞ 180ページ）

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、例文を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで例文を検索できます。

例：「come&re」と入力

ただし、「＆」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。



成句を検索する

収録の複数の英和、英英、和英辞典から調べたい英単語を含む成句の英単語のスペルを入力して、検索することができます。

例：「take」と「care」を含む成句を調べる

1 [例文・成句検索] を押します。

［例文・成句検索］の画面が表示されます。
[例文検索]と[語順指定］が反転表示されます。

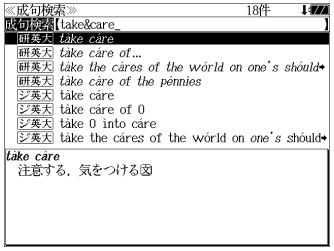
2 ▽ / △ を使って、［成句検索］を選択します。

[成句検索]が反転表示されます。

3 文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「take&care」と入力

入力した英単語を含む成句リストと、プレビュー（成句解説の一部）が表示されます。



- 画面の右上に該当する成句の数が表示されます。1000以上ある場合は「1000件以上」と表示されます。
- 複数の英単語を チェック ?*& を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む成句リストが表示されます。
- 「英単語＆」と入力すると、その英単語の変化形を使っている成句も検索します。
  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている成句を検索します。
- 入力した英単語を含む成句がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。
- シルカカードの場合は、辞書記号の頭にカードマーク（ ）が表示されます。

4 ▽ / △ を使って、調べたい成句を選択します。

例：「ジ英大 take o into care 」を選択

＜成句リストのスクロール＞

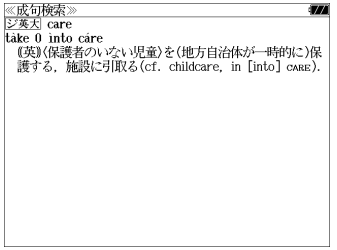
▽ / △ ：1行ずつ
▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

5 決定・訳 を押します。

選択した成句の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ
◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：見出しリスト順



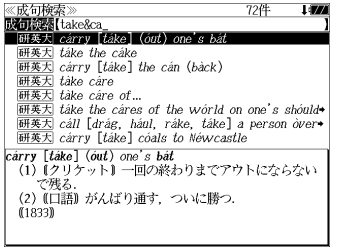
- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または1つ前の成句解説を表示することができます。手順**4**で表示した成句リストの順で表示されます。
- 成句の全画面表示から、その成句が含まれる見出し語の画面にジャンプすることができます。（☞ 180ページ）

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、成句を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで成句を検索できます。

例：「take&ca」と入力

ただし、「＆」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。



MEMO

「マルチ例文検索」を使う

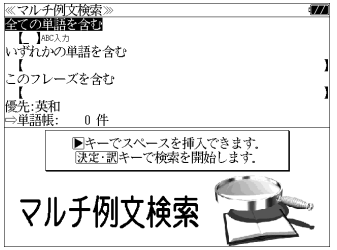
[全ての単語を含む]、[いずれかの単語を含む]、[このフレーズを含む]、[優先辞書]の条件付けをして、英和辞典、和英辞典、英和活用辞典、コウビルドの辞典、オックスフォードの辞典、Wordbankから例文を検索します。(シルカカードをお使いの場合は、シルカカードの英語系辞書も含みます。)

例文を検索する

収録の複数の英和、英英、和英辞典から、[全ての単語を含む]、[いずれかの単語を含む]、[このフレーズを含む]、[優先辞書]の条件付けをして例文を検索することができます。
条件付けの入力は任意で、未入力のところがあってもかまいません。また、[全ての単語を含む]、[いずれかの単語を含む]では、複数の語を入力することもできます。その際には、[次ページ] を使ってスペースを入力してください。入力条件を全て満たす例文が検索されます。

1 **[例文成句検索] を1回または2回押して、「マルチ例文検索」の画面にします。**

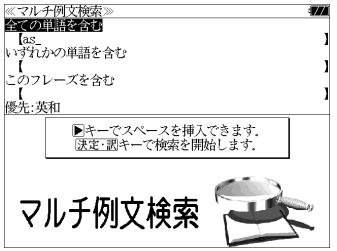
[例文成句検索] を押すたびに「マルチ例文検索」と「例文・成句検索」の初期画面が交互に表示されます。
[全ての単語を含む] が反転表示されます。



2 **[全ての単語を含む] を入力したい場合は、文字/数字入力キーを使って、単語を入力します。この条件を付けたくない場合は、何も入力しません。**

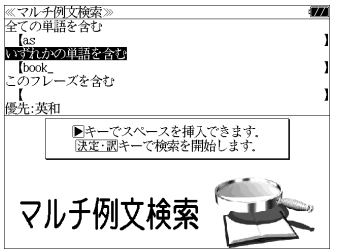
例:「as」を入力

- 複数の単語も指定できます。単語間は、[次ページ] を使ってスペースで区切ります。
- この条件を付けたくない場合は、何も入力せず、[▽] / [△] を使って付けたい条件に移行し、付けたい条件を反転表示させます。



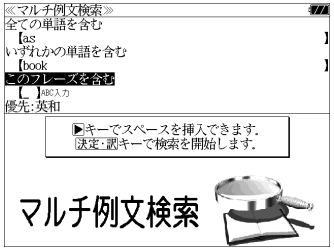
3 **[▽] / [△] または [▼次見出し] / [▲前見出し] を使って、[いずれかの単語を含む] を選択し、[いずれかの単語を含む] を入力したい場合は、文字/数字入力キーを使って、単語を入力します。この条件を付けたくない場合は、何も入力しません。**

例:「book」を入力



- 複数の単語も指定できます。単語間は、▷ を使ってスペースで区切ります。
- この条件を付けたくない場合は、何も入力せず、▽ / △ を使って付けたい条件に移行し、付けたい条件を反転表示させます。

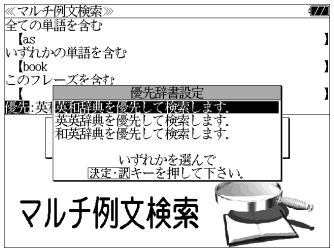
4 ▽ / △ を使って、[このフレーズを含む] を選択し、[このフレーズを含む] を入力したい場合は、文字 / 数字入力キーを使って、単語を入力します。この条件を付けたくない場合は、何も入力しません。



例：何も入力しない

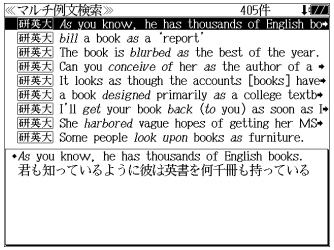
- フレーズは、1つだけ入力できます。単語間は、▷ を使ってスペースを入れます。
- この条件を付けたくない場合は、何も入力せず、▽ / △ を使って付けたい条件に移行し、付けたい条件を反転表示させます。

5 ▽ / △ を使って、[優先] を選択し、決定・訳 を押し、▽ / △ を使って、[優先辞書設定] を設定します。



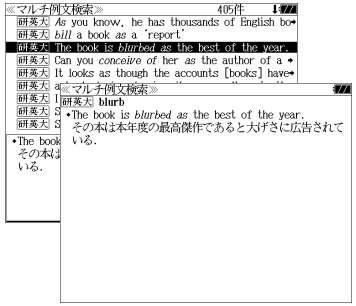
例：「英和辞典を優先して検索します。」を選択

6 検索条件を全て入力したら、▽ / △ を使って、反転表示を [優先] 以外に移動し、決定・訳 を押します。



検索条件にあった例文のリストが表示されます。

7 ▽ / △ を使って、調べたい例文を選択し、決定・訳 を押すと、選択した例文が全画面表示されます。



例：「研英大 The book is blurbed as the best of the year.」を選択

「新英和大辞典」を使う

研究社「新英和大辞典 第六版」の内容を収録しました。

- 付随する例文、解説は［例文・解説］キーで、成句は［成句・熟語］キーを使って簡単に見ることができます。
- 部分的にスペルのわからない英単語も検索できます。
- 派生語、複合語も直接検索できます。
- 【例文検索】
  入力した英単語（単数または複数）を使った例文を「新英和大辞典 第六版」のデータからピックアップして、その意味を解説します。また、語順指定条件つきで検索ができます。
- 【成句検索】
  入力した英単語（単数または複数）を使った成句を「新英和大辞典 第六版」のデータからピックアップして、その意味を解説します。

見出し語を検索する

例：「respect」の英和訳を研究社新英和大辞典を使って調べる

1 英和大辞典 を 1 回または 2 回押して、「新英和大辞典」の画面にします。

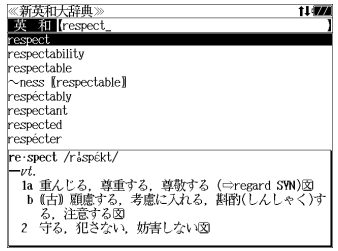
英和大辞典 を押すたびに「新英和大辞典」と「英和辞典」の初期画面が交互に表示されます。

[英和]が反転表示されます。

2 文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「respect」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（英和訳の一部）が表示されます。

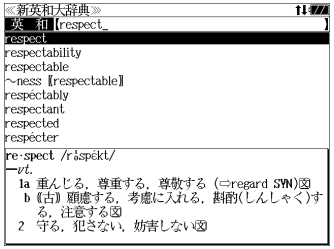


- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

3 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：そのまま「respect」を選択



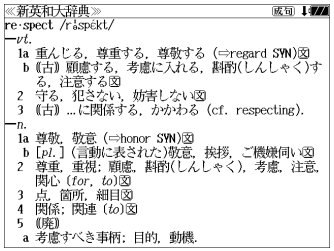
＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

次見出し / 前見出し ：ページごと

4 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の英和訳が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

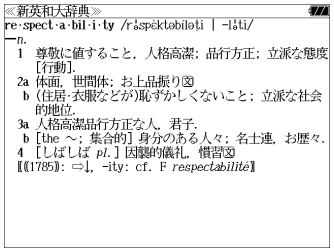
前ページ / 次ページ ：ページごと

次見出し / 前見出し ：見出しリスト順

5 次見出し を押します。

見出し語を送ります。

例：次の見出し語「respectability」の全画面表示になります。



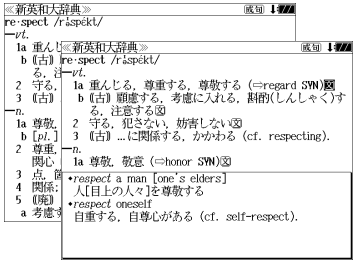
見出し語に付随する例文や解説を見る

新英和大辞典で、調べた英単語に付随する例文や解説を見ることができます。

例：「respect」に付随する例文を調べる

1 「respect」の全画面表示から 例文解説 を押します。

画面の中で最初の例文/解説マークに関連するプレビュー（例文解説の一部）が表示されます。



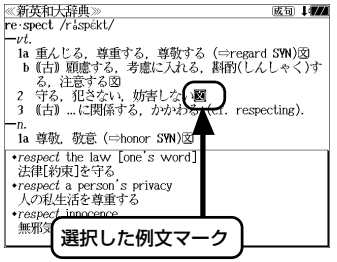
- 見出し語に付随する例文は、全画面表示（標準）でのみ見ることができます。（早見表示（標準）、全画面表示（全文）、早見表示（全文）では使用できません。）
  （☞「訳表示切替機能」193 ページ）
- 再度 例文解説 または 戻る・クリア を押すと英和訳の全画面表示に戻ります。
- 例文や解説は、英和訳の全画面表示に例文マークや解説マークがあるときに見ることができます。例文 / 解説マークが表示されていないときは、予め画面をスクロールし、例文 / 解説マークが見えるようにします。

  例文マーク: 文　解説マーク: 🕮
- 英和訳の全画面表示に例文 / 解説マークがない場合は、「例文・解説がありません。」と表示されます。

2 ▽ / △ / 前ページ / 次ページ を使って、調べたい例文 / 解説を選択します。

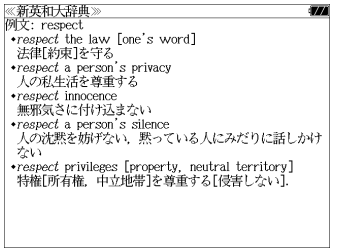
例：３つ目の例文マークを選択

選択した例文マークが反転表示に変わります。



3 決定・訳 を押します。

選択した例文 / 解説マークの内容が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

- 次見出し / 前見出し を使うと、例文 / 解説を終了し、次または 1 つ前の見出し語の英和訳の全画面表示になります。

見出し語に付随する成句を見る

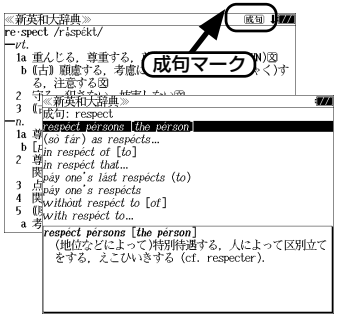
新英和大辞典で、調べた見出し語に付随する成句を検索することができます。

例：「respect」に付随する成句を調べる

1 「respect」の英和訳の全画面表示から 成句熟語 を押します。

英和訳の全画面表示で、表示された見出し語に付随する成句があるときは、画面右上に［成句］マークが表示されます。

見出し語に付随する成句リストとプレビュー（成句解説の一部）が表示されます。



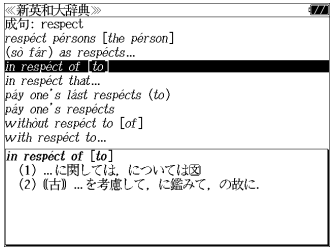
- 見出し語に付随する成句は、全画面表示（標準）でのみ見ることができます。（早見表示（標準）、全画面表示（全文）、早見表示（全文）では使用できません。）（☞「訳表示切替機能」193ページ）

2 ▽ / △ を使って、調べたい成句を選択します。

例：「in respect of [to]」を選択

＜成句リストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ
前ページ / 次ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

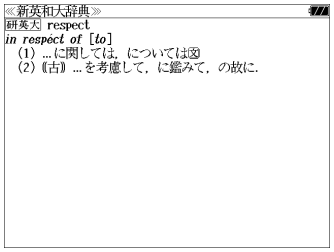


3 決定・訳 を押します。

選択した成句の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ
前ページ / 次ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：成句リスト順



- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または1つ前の成句解説を表示することができます。手順**1**で表示した成句リストの順で表示されます。

派生語、複合語を検索する

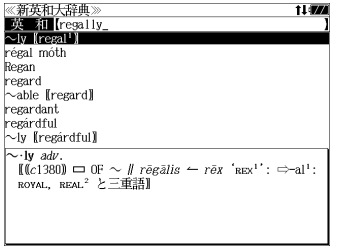
派生語、分離複合語を直接検索することができます。

例：「regally」を調べる

1 「新英和大辞典」の初期画面から文字/数字入力キーを使って、派生語のスペルを入力します。

例：「regally」と入力

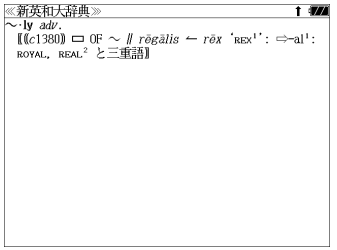
見出しリストに変化の形と元になる見出し語（～ly〖regal[1]〗）が表示されます。



2 決定・訳 を押します。

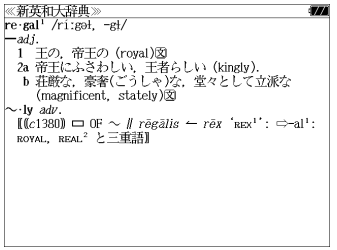
「regal[1]」の派生語「regally」の解説になります。

画面をスクロールし、元になる見出し語の解説を見ることもできます。



3 前ページ を1回押します。

「regal[1]」の英和訳が全画面表示されます。



特定の英単語を含む例文を検索する

新英和大辞典で、入力した英単語（単／複数）を含む成句を検索します。

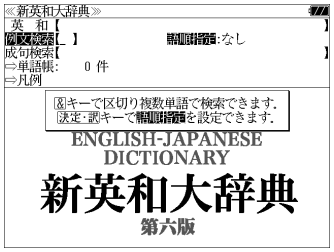
例：「keep」と「up」を含む例文を調べる

1 英和大辞典 を１回または２回押して、「新英和大辞典」の画面にします。

英和大辞典 を押すたびに「新英和大辞典」と「英和辞典」の初期画面が交互に表示されます。

2 ▽ / △ を使って、［例文検索］を選択します。

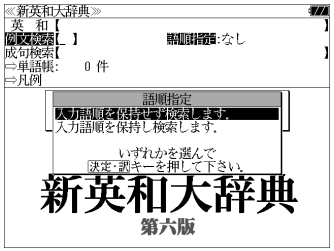
［例文検索］が反転表示されます。



3 決定・訳 を押し、▽ / △ を使って、[語順指定]を設定します。

例：「入力語順を保持せず検索します。」を選択

- 複数の単語を入力した場合、「入力語順を保持せず検索します。」を選択すると、入力した順に関係なく単語を使う例文を検索します。
- 複数の単語を入力した場合、「入力語順を保持し検索します。」を選択すると、入力した順に単語を使う例文を検索します。



4 決定・訳 を押し、文字／数字入力キーを使って、調べたい例文に含まれる英単語のスペルを入力します。

例：「keep&up」と入力

入力した英単語を含む例文リストと、プレビュー（成句解説の一部）が表示されます。

- 「&」を入力する前は前方一致です。
- 画面の右上に該当する例文の数が表示されます。1000以上ある場合は「1000件以上」と表示されます。
- 複数の英単語を チェック ?*& を使って「&」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む例文リストが表示されます。
- 「英単語 &」と入力すると、その英単語の変化形を使っている例文も検索します。

  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている例文を検索します。
- 「語順指定：なし」を指定した場合、&は正転表示されますが、「語順指定：あり」を指定した場合、&が反転表示されます。
- 入力した英単語を含む例文がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

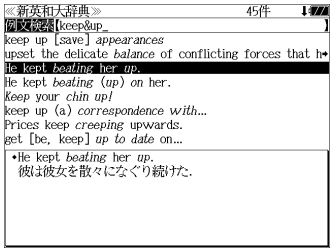
5 ▽ / △ を使って、調べたい例文を選択します。

例：「 He kept beating her up.」を選択

＜例文リストのスクロール＞

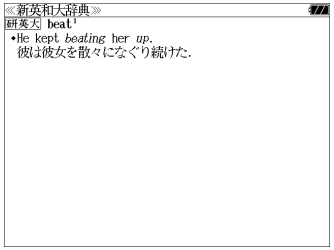
▽ / △ ：1 行ずつ

次見出し / 前見出し ：ページごと



6 決定・訳 **を押します。**

選択した例文の解説が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ ◁ / ▷ 次ページ ：ページごと

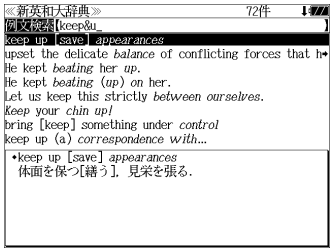
▼次見出し / ▲前見出し ：例文リスト順

- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または 1 つ前の例文を表示することができます。手順**4**で表示した例文リストの順で表示されます。

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、例文を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで例文を検索できます。

例：「keep&u」と入力



ただし、「&」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。

特定の英単語を含む成句を検索する

新英和大辞典で、入力した英単語（単／複数）を含む成句を検索します。

例：「keep」と「up」を含む成句を調べる

1 英和大辞典 **を 1 回または 2 回押して、「新英和大辞典」の画面にします。**

英和大辞典 を押すたびに「新英和大辞典」と「英和辞典」の初期画面が交互に表示されます。

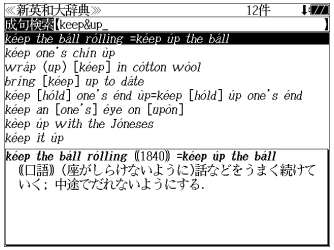
2 ▽ / △ **を使って、［成句検索］を選択します。**

［成句検索］が反転表示されます。

3 **文字／数字入力キーを使って、調べたい成句に含まれる英単語のスペルを入力します。**

例：「keep&up」と入力

入力した英単語を含む成句リストと、プレビュー（成句解説の一部）が表示されます。



- 複数の英単語を ?+& を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む成句リストが表示されます。
- 「&」を入力する前は前方一致です。
- 「英単語 &」と入力すると、その英単語の変化形を使っている成句も検索します。

  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている成句を検索します。
- 入力した英単語を含む成句がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

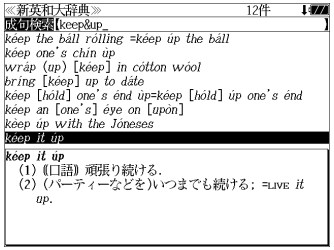
4 ▽ / △ **を使って、調べたい成句を選択します。**

例：「keep it up」を選択

＜成句リストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



5 決定・訳 / 発音 **を押します。**

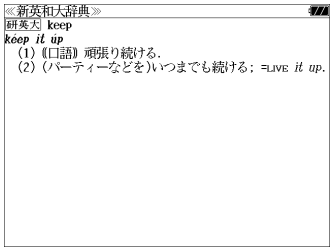
選択した成句の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：成句リスト順



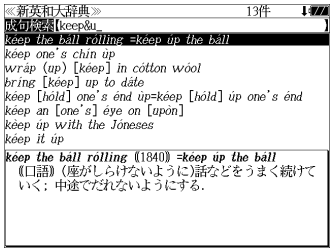
- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または1つ前の成句解説を表示することができます。手順 **3** で表示した成句リストの順で表示されます。

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、成句を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで成句を検索できます。

例：「keep&u」と入力

ただし、「&」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。



「英和辞典」を使う

大修館書店「ジーニアス英和大辞典」、「ナノテクノロジー用語英和辞典」*および研究社「リーダーズ英和辞典 第２版」「リーダーズ･プラス」の４冊の内容を収録しました。

*書籍版は発行されていません。

- 付随する例文、解説は［例文・解説］キーで、成句は［成句・熟語］キーを使って簡単に見ることができます。
- 『ジーニアス英和大辞典」では見出し語を発音させることができます。
- 『ジーニアス英和大辞典」「リーダーズ英和辞典」「リーダーズ・プラス」を使って、見出し語の訳語から見出し語を逆に検索することができます。
- 部分的にスペルのわからない英単語も検索できます。
- 派生語、複合語も直接検索できます。
- 【例文検索】
  入力した英単語（単数または複数）を使った例文を「ジーニアス英和大辞典」「リーダーズ英和辞典」「リーダーズ・プラス」３冊のデータからピックアップして、その意味を解説します。また、語順指定条件つきで検索ができます。
- 【成句検索】
  入力した英単語（単数または複数）を使った成句を「ジーニアス英和大辞典」「リーダーズ英和辞典」「リーダーズ・プラス」３冊のデータからピックアップして、その意味を解説します。

見出し語を検索する

例：「respect」の英和訳をリーダーズ英和辞典を使って調べる

1 英和大辞典 **を１回または２回押して、「英和辞典」の画面にします。**

英和大辞典 を押すたびに「英和辞典」と「新英和大辞典」の初期画面が交互に表示されます。

2 **文字/数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。**

例：「respect」と入力

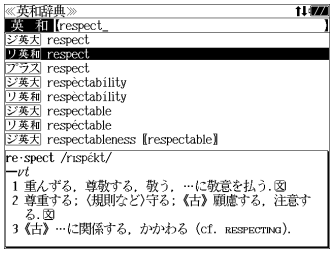
入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（英和訳の一部）が表示されます。

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

3 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「リ英和 respect」を選択



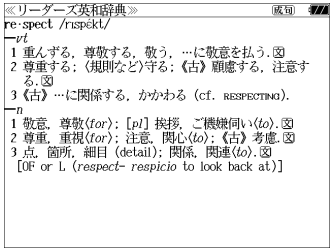
＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

次見出し / 前見出し ：ページごと

4 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の英和訳が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

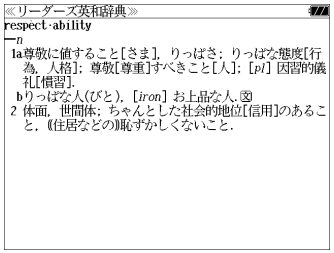
前ページ / 次ページ ：ページごと

次見出し / 前見出し ：見出しリスト順

5 次見出し を押します。

各辞書は別々に見出し語を送ります。

例：リーダーズ英和辞典の次の見出し語「respectability」の全画面表示になります。



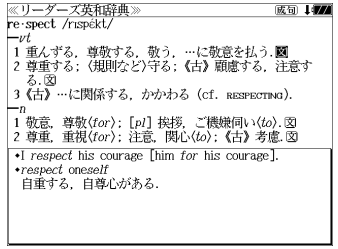
見出し語に付随する例文や解説を見る

英和辞典で、調べた見出し語に付随する例文や解説を見ることができます。

例：リーダーズ英和辞典の「respect」に付随する例文を調べる

1 「respect」の英和訳の全画面表示から 例文解説 を押します。

画面の中で最初の例文/解説マークに関連するプレビュー（例文解説の一部）が表示されます。

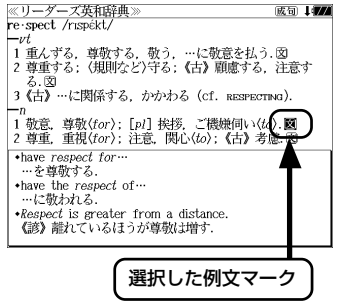


- 再度 例文解説 または 戻る・クリア を押すと英和訳の全画面表示に戻ります。
- 見出し語に付随する例文は、全画面表示（標準）でのみ見ることができます。（早見表示（標準）、全画面表示（全文）、早見表示（全文）では使用できません。）
  （☞「訳表示切替機能」193ページ）
- 例文や解説は、英和訳の全画面表示に例文マークや解説マークがあるときに見ることができます。例文/解説マークが表示されていないときは、予め画面をスクロールし、例文/解説マークが見えるようにします。　例文マーク: 文　解説マーク: 📖
- 英和訳の全画面表示に例文/解説マークがない場合は、「例文・解説がありません。」と表示されます。

2 ▽ / △ / 前ページ / 次ページ を使って、調べたい例文/解説を選択します。

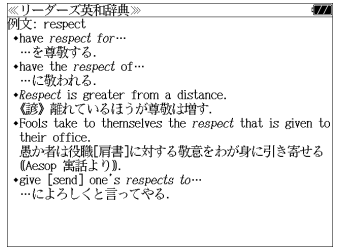
例：3つ目の例文マークを選択

選択した例文マークが反転表示に変わります。



3 決定・訳 を押します。

選択した例文/解説マークの内容が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

- 次見出し / 前見出し を使うと、例文/解説を終了し、次または1つ前の見出し語の英和訳の全画面表示になります。

見出し語に付随する成句を見る

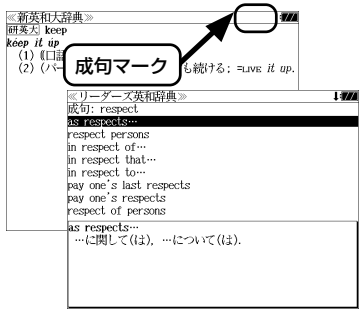
英和辞典で、調べた見出し語に付随する成句を検索することができます。

例：リーダーズ英和辞典の「respect」に付随する成句を調べる

1 「respect」の英和訳の全画面表示から [成句/熟語] を押します。

英和訳の全画面表示で、表示された見出し語に付随する成句があるときは、画面右上に［成句］マークが表示されます。

見出し語に付随する成句リストとプレビュー（成句解説の一部）が表示されます。



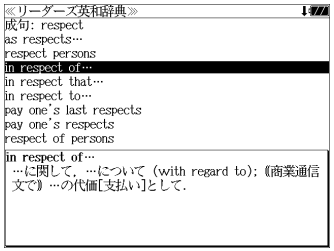
- 見出し語に付随する成句は、全画面表示（標準）でのみ見ることができます。（早見表示（標準）、全画面表示（全文）、早見表示（全文）では使用できません。）（☞「訳表示切替機能」193ページ）

2 [▽] / [△] を使って、調べたい成句を選択します。

例：「in respect of …」を選択

＜成句リストのスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ
[前ページ] / [次ページ] ：ページごと
[▼次見出し] / [▲前見出し] ：ページごと

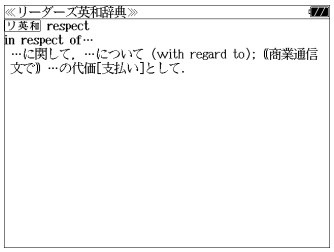


3 [決定・訳 発音] を押します。

選択した成句の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ
[前ページ] / [次ページ] ：ページごと
[▼次見出し] / [▲前見出し] ：成句リスト順



- [▼次見出し] / [▲前見出し] を使うと、全画面表示のまま、次または1つ前の成句解説を表示することができます。手順**1**で表示した成句リストの順で表示されます。

派生語、複合語を検索する

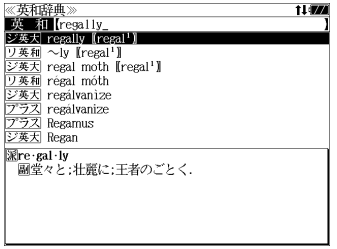
派生語、分離複合語を直接検索することができます。

例：リーダーズ英和辞典で「regally」を調べる

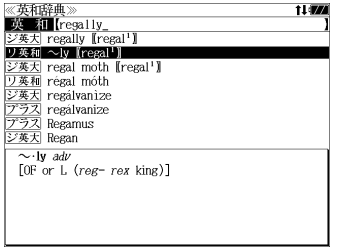
1 「英和辞典」の初期画面から文字/数字入力キーを使って、派生語のスペルを入力します。

例：「regally」と入力

見出しリストに変化の形と元になる見出し語（～ly〖regal[1]〗）が表示されます。



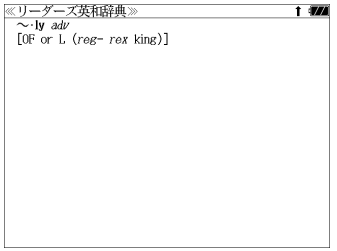
2 [▽] / [△] を使って、「[リ英和] ～ly〖regal[1]〗」を選択します。



3 [決定・訳 発音] を押します。

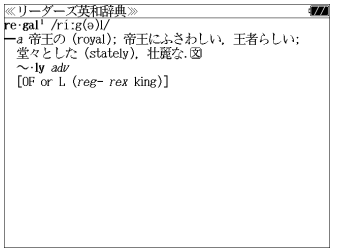
リーダーズ英和辞典の「regal[1]」の派生語「regally」の解説になります。

画面をスクロールし、元になる見出し語の解説を見ることもできます。



4 [前ページ] を押します。

「regal[1]」の英和訳が全画面表示されます。



[決定・訳 発音]（発音）を押すと、🔊 マーク付きの見出し語を発音します。

特定の英単語を含む例文を検索する

入力した英単語（単／複数）を含む例文を「ジーニアス英和大辞典」「リーダーズ英和辞典」「リーダーズ・プラス」３冊の全データの中から検索します。

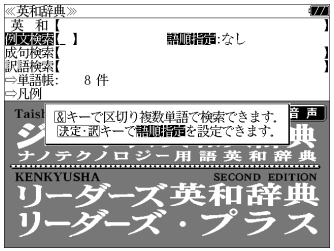
例：「keep」と「up」を含む例文を調べる

1 英和辞典 を１回または２回押して、「英和辞典」の画面にします。

英和大辞典 を押すたびに「新英和大辞典」と「英和辞典」の初期画面が交互に表示されます。

2 ▽ / △ を使って、［例文検索］を選択します。

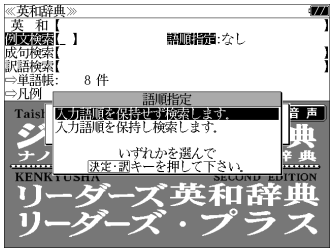
［例文検索］が反転表示されます。



3 決定・訳 を押し、▽ / △ を使って、[語順指定]を設定します。

例：「入力語順を保持せず検索します。」を選択

- 複数の単語を入力した場合、「入力語順を保持せず検索します。」を選択すると、入力した順に関係なく単語を使う例文を検索します。
- 複数の単語を入力した場合、「入力語順を保持し検索します。」を選択すると、入力した順に単語を使う例文を検索します。

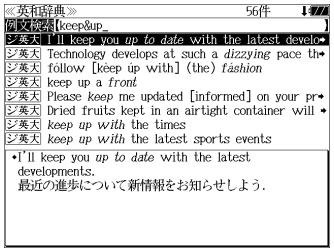


4 決定・訳 を押し、文字／数字入力キーを使って、調べたい例文に含まれる英単語のスペルを入力します。

例：「keep&up」と入力

入力した英単語を含む例文リストと、プレビュー（例文解説の一部）が表示されます。

- 「&」を入力する前は前方一致です。
- 画面の右上に該当する例文の数が表示されます。1000以上ある場合は「1000件以上」と表示されます。



- 複数の英単語を ｸﾘｱ/&* を使って「&」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む例文リストが表示されます。
- 「英単語＆」と入力すると、その英単語の変化形を使っている例文も検索します。
  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている例文を検索します。
- 「語順指定：なし」を指定した場合、＆は正転表示されますが、「語順指定：あり」を指定した場合、＆が反転表示されます。
- 入力した英単語を含む例文がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

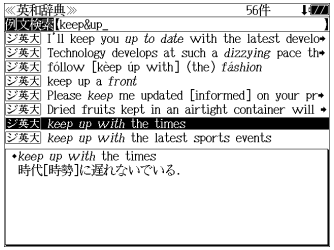
5 ▽ / △ を使って、調べたい例文を選択します。

例：「keep up with the times」を選択

＜例文リストのスクロール＞

▽ / △ ：１行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



6 決定・訳 を押します。

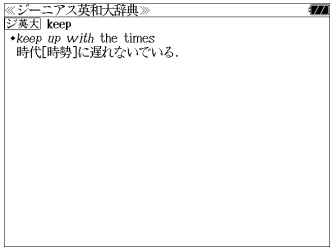
選択した例文の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：１行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：例文リスト順

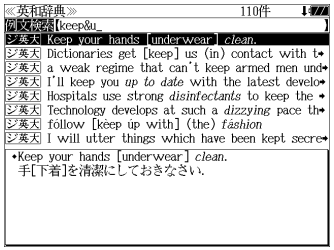


- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または１つ前の例文を表示することができます。手順**4**で表示した例文リストの順で表示されます。

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、例文を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで例文を検索できます。

例：「keep&u」と入力



ただし、「&」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。

特定の英単語を含む成句を検索する

入力した英単語（単／複数）を含む成句を「ジーニアス英和大辞典」「リーダーズ英和辞典」「リーダーズ・プラス」３冊の全データの中から検索します。

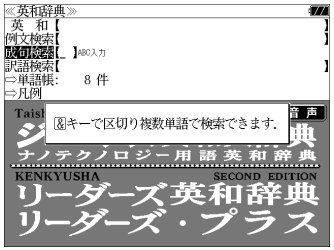
例：「keep」と「up」を含む成句を調べる

1 英和大辞典 を１回または２回押して、「英和辞典」の画面にします。

英和大辞典 を押すたびに「英和辞典」と「新英和大辞典」の初期画面が交互に表示されます。

2 ▽ / △ を使って、［成句検索］を選択します。

［成句検索］が反転表示されます。



3 文字／数字入力キーを使って、調べたい成句に含まれる英単語のスペルを入力します。

例：「keep&up」と入力

入力した英単語を含む成句リストと、プレビュー（成句解説の一部）が表示されます。

- 複数の英単語を チェック/&* を使って「&」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む成句リストが表示されます。
- 成句はジーニアス英和大辞典の成句、リーダーズ英和辞典の成句、リーダーズ・プラスの成句の順に表示されます。
- 「&」を入力する前は前方一致です。
- 「英単語 &」と入力すると、その英単語の変化形を使っている成句も検索します。

  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている成句を検索します。
- 入力した英単語を含む成句がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

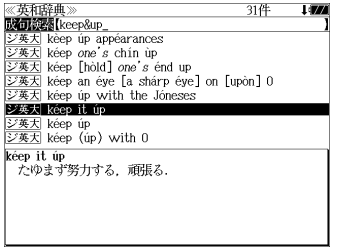
4 ▽ / △ を使って、調べたい成句を選択します。

例：「 ジ英大 keep it up」を選択

＜成句リストのスクロール＞

▽ / △ ：１行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



5 決定・訳 を押します。

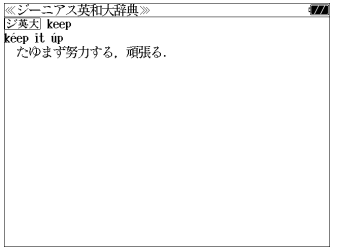
選択した成句の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：１行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：成句リスト順



- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または１つ前の成句解説を表示することができます。手順 **3** で表示した成句リストの順で表示されます。

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、成句を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで成句を検索できます。

例：「keep&u」と入力

ただし、「&」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。

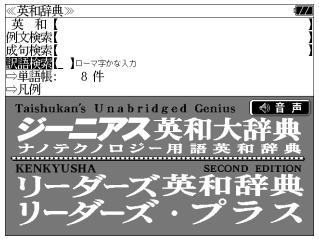
訳語から見出し語を検索する

見出し語の訳語から、「ジーニアス英和大辞典」「リーダーズ英和辞典」「リーダーズ・プラス」３冊の全データの中から見出し語を和英検索できます。

例：「敬う」に対応する見出し語を調べる

1 英和辞典の初期画面から ▽ / △ を使って、［訳語検索］を選択します。

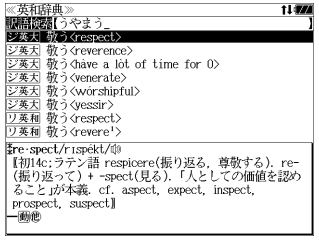
［訳語検索］が反転表示されます。



2 文字/数字入力キーを使って、調べたい日本語を入力します。

例：ローマ字で、「UYAMAU」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストと、プレビュー（見出し語画面の一部）が表示されます。

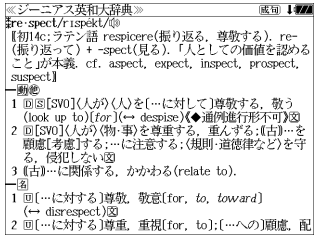


- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

3 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択し、決定・訳 を押します。

例：そのまま「ジ英大 敬う〈respect〉」を選択



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、アルファベット順に次または1つ前の見出し語の全画面表示になります。

「英和活用辞典」を使う

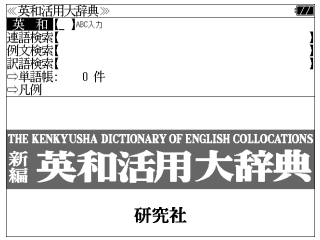
研究社「新編 英和活用大辞典」の内容を収録しました。

- 見出し語の用例を連語関係別に［例文・解説］キーで簡単に見ることができます。
- 連語パターンを指定して、入力した連語から用例を検索できます。
- 入力した英単語（単数または複数）を使った例文を英和活用大辞典の中から検索します。
- 見出し語の訳語から見出し語を逆に検索できます。

見出し語とその用例を検索する

例：「lane」の英和訳と用例を調べる

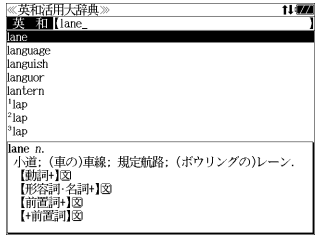
1 英和活用 を押して、「英和活用大辞典」の画面にします。



2 文字/数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「lane」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（英和訳の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

3 [▽] / [△] を使って、調べたい見出し語を選択します。

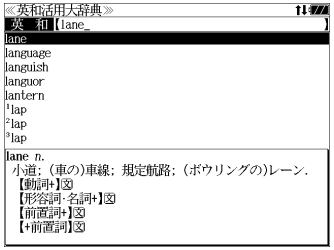
例：「lane」を選択

この例では既に目的の見出し語「lane」が選択されています。

＜見出しリストのスクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ

[▼次見出し] / [▲前見出し] ：ページごと



4 [決定・訳] を押します。

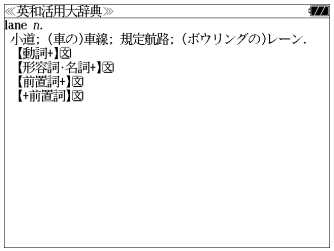
選択した見出し語が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ

[前ページ] / [次ページ] ：ページごと

[▼次見出し] / [▲前見出し] ：見出しリスト順

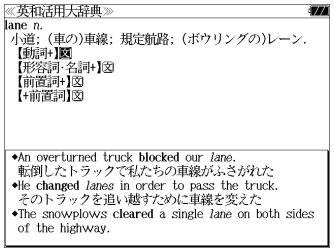


5 [例文解説] を押します。

画面の中で最初の例文マークが反転され、見出し語を使った連語関係のプレビュー（用例の一部）が表示されます。

- 再度 [例文解説] または [戻る・クリア] を押すと英和訳の全画面表示に戻ります。

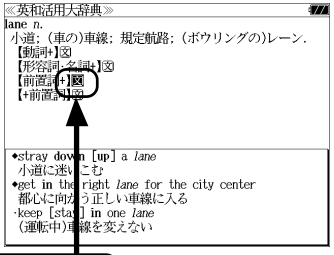
例文マーク: 文



6 [▽] / [△] / [前ページ] / [次ページ] を使って、調べたい連語関係の例文マークを選択します。

例：３つ目の例文マークを選択

選択した例文マークが反転表示に変わります。



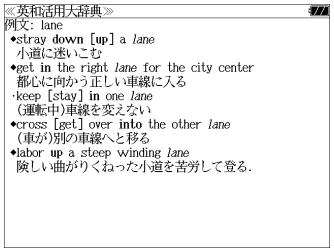
7 [決定・訳] を押します。

選択した連語関係の用例が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ

[前ページ] / [次ページ] ：ページごと

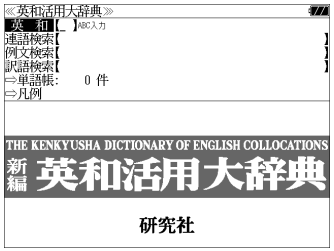


- [▼次見出し] / [▲前見出し] を使うと、用例を終了し、次または 1 つ前の見出し語の全画面表示になります。

連語関係から用例を検索する

例：「get」と「into」が連語関係になっている例文を調べる

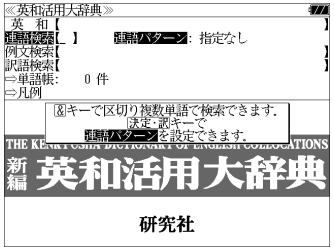
1 英和活用 を押して、「英和活用大辞典」の画面にします。



2 ▽ / △ を使って、［連語検索］を選択します。

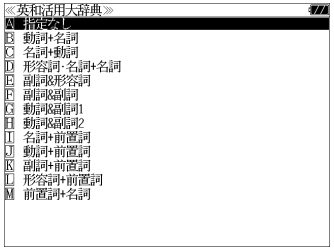
［連語検索］が反転表示されます。

［連語パターン］は「指定なし」になっています。



3 決定・訳 を押します。

連語関係のパターンが表示されます。

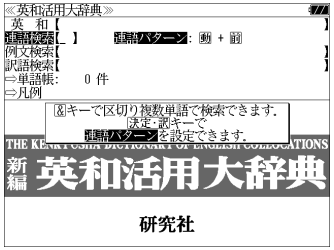


4 ▽ / △ を使って、連語パターンを選択し、決定・訳 を押します。

例：「J 動詞＋前置詞」を選択

選択した連語パターンの連語を入力できます。

- 先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。



5 文字／数字入力キーを使って、連語に含まれる英単語（単数または複数）を入力します。

例：「get&into」と入力

入力した英単語を含む例文リストと、プレビュー（例文解説の一部）が表示されます。

- 画面の右上に該当する例文の数が表示されます。1000以上ある場合は「1000件以上」と表示されます。
- 複数の英単語を チェック ?*& を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む例文リストが表示されます。
- 「＆」を入力する前は前方一致です。
- 「英単語＆」と入力すると、その英単語の変化形を使っている例文も検索します。
  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている例文を検索します。
- 入力した英単語を含む例文がない場合、または選択した連語パターンに合致しない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

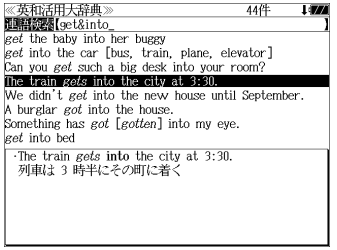
6 ▽ / △ を使って、調べたい例文を選択します。

例：「The train gets into the city at 3:30.」を選択

＜例文リストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



7 決定・訳 を押します。

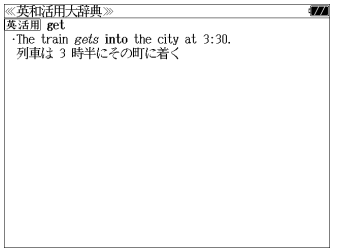
選択した例文の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：見出しリスト順



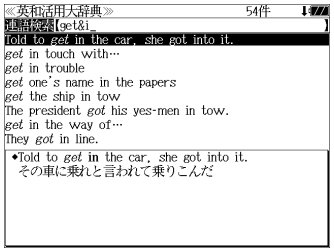
- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または 1 つ前の例文解説を表示することができます。手順 **5** で表示した例文リストの順で表示されます。

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、例文を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで例文を検索できます。

例：「get&i」と入力

ただし、「＆」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。

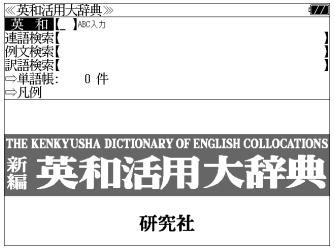


連語に関係なく例文を検索する

入力した英単語（単数または複数）を使った例文を、連語に関係なく英和活用大辞典に収録された全ての例文から検索します。

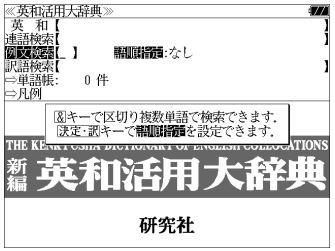
例：「try」と「hard」を含む例文を調べる

1 英和活用 **を押して、「英和活用大辞典」の画面にします。**



2 ▽ / △ **を使って、［例文検索］を選択します。**

［例文検索］が反転表示されます。

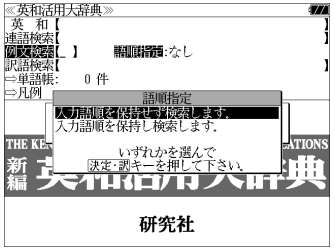


3 決定・訳 **を押し、** ▽ / △ **を使って、［語順指定］を設定します。**

例：「入力語順を保持せず検索します。」を選択

- 複数の単語を入力した場合、「入力語順を保持せず検索します。」を選択すると、入力した順に関係なく単語を使う例文を検索します。

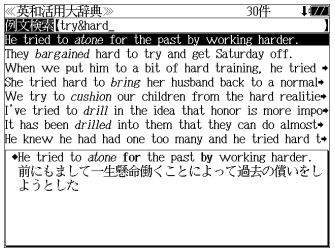
「入力語順を保持し検索します。」を選択すると、入力した順に単語を使う例文を検索します。



4 決定・訳 **を押し、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。**

例：「try&hard」と入力

入力した英単語を含む例文リストと、プレビュー（例文解説の一部）が表示されます。



- 画面の右上に該当する例文の数が表示されます。1000以上ある場合は「1000件以上」と表示されます。
- 複数の英単語を [?*&] を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む例文リストが表示されます。
- 「＆」を入力する前は前方一致です。
- 「英単語 ＆」と入力すると、その英単語の変化形を使っている例文も検索します。
  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている例文を検索します。
- 入力した英単語を含む例文がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

5 [▽] / [△] を使って、調べたい例文を選択します。

例：「They bargained hard to try and get Saturday off.」を選択

＜例文リストのスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ

[▼次見出し] / [▲前見出し] ：ページごと

6 [決定・訳] を押します。

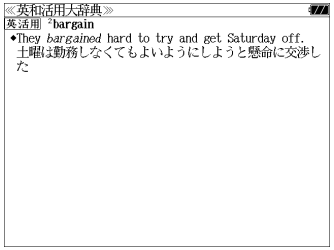
選択した例文の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ

[前ページ] / [次ページ] ：ページごと

[▼次見出し] / [▲前見出し] ：見出しリスト順



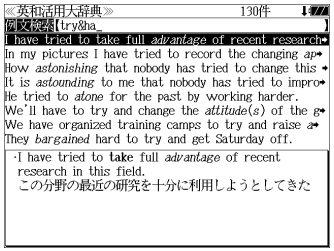
- [▼次見出し] / [▲前見出し] を使うと、全画面表示のまま、次または1つ前の例文解説を表示することができます。手順 **4** で表示した例文リストの順で表示されます。

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、例文を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで例文を検索できます。

例：「try&ha」と入力

ただし、「＆」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。

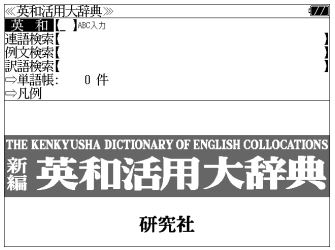


訳語から見出し語を検索する

見出し語の訳語から見出し語を和英検索できます。

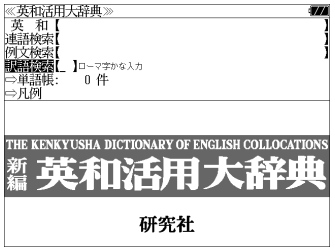
例：「境界」に対応する見出し語を調べる

1 [英和活用] を押して、「英和活用大辞典」の画面にします。



2 [▽] / [△] を使って、［訳語検索］を選択します。

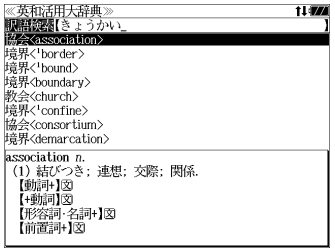
［訳語検索］が反転表示されます。



3 文字/数字入力キーを使って、調べたい日本語を入力します。

例：ローマ字で、「KYOUKAI」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストと、プレビュー（見出し語画面の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

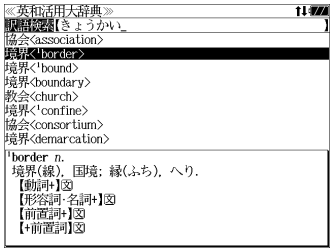
4 ▽ / △ **を使って、調べたい見出し語を選択します。**

例：「境界〈[1]border〉」を選択

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



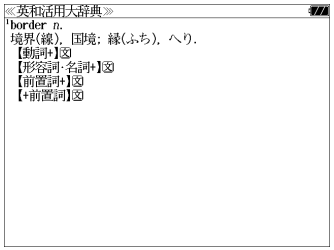
5 決定・訳 **を押します。**

選択した見出し語が全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと



- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、アルファベット順に次または 1 つ前の見出し語の全画面表示になります。

「和英辞典」を使う

研究社「新和英大辞典 第５版」の内容を収録しました。（写真、図表、一部の付録は除く）

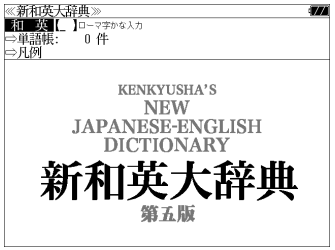
見出し語を検索する

例：「要求」の和英訳を調べる

1 英和活用 **を押します。**

「新和英大辞典」の画面が表示され、[和英] が反転表示されます。

- 反転表示されていない場合は △ を使って反転表示にします。



2 **文字 / 数字入力キーを使って、調べたい日本語を入力します。**

例：ローマ字で、「YOUKYUU」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストと、プレビュー（和英訳の一部）が表示されます。

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

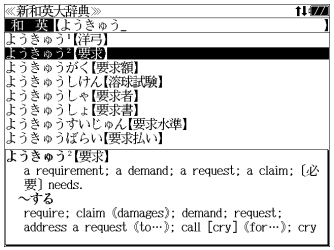
3 ▽ / △ **を使って、調べたい見出し語を選択します。**

例：「要求」を選択

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



4 決定・訳 **を押します。**

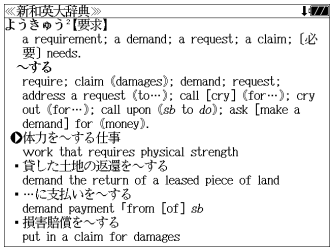
選択した見出し語の和英訳が全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：見出しリスト順



複合語を検索する

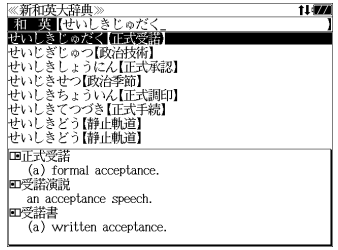
和英辞典の複合語を直接検索することができます。

例：「正式受諾」の和英訳を調べる

1 **和英辞典の初期画面から、文字/数字入力キーを使って、複合語を直接入力します。**

例：ローマ字で、「SEISHIKIJYUDAKU」と入力

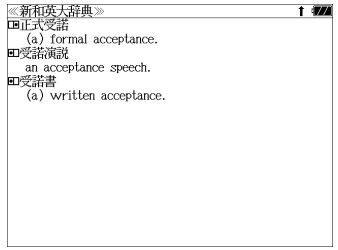
ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストと、プレビュー（和英訳の一部）が表示されます。



2 決定・訳 **を押します。**

複合語の解説部分が表示されます。

複合語の元の見出し語が後に来るパターンには □■ 、見出し語が前に来るパターンには ■□ の記号が複合語の頭に付きます。



3 **必要に応じて画面をスクロールします。**

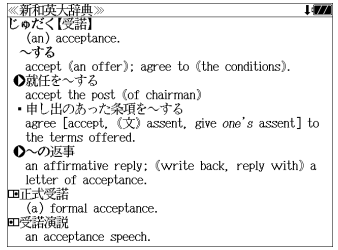
例：前ページ を1回押します。

見出し語の和英訳が表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと



MEMO

「オックスフォード英英・類語辞典」を使う

オックスフォード大学出版局「Oxford Dictionary of English 第２版」と Oxford Thesaurus of English 第２版」の内容を収録しました。 （一部の付録は除く）

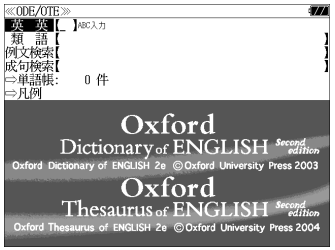
- 【英英】
  入力した見出し語を「Oxford Dictionary of English」の中から検索します。
  部分的にスペルのわからない英単語も検索できます。
  付随する例文、解説は［例文・解説］キーで、成句は［成句・熟語］キーを使って簡単に見ることができます。
- 【類語】
  入力した英単語の類語を「Oxford Thesaurus of English」を使って検索します。
- 【例文検索】
  入力した英単語（単数または複数）を使った例文を「Oxford Dictionary of English」と「Oxford Thesaurus of English」の中から検索します。
- 【成句検索】
  入力した英単語（単数または複数）を使った成句を「Oxford Dictionary of English」のデータからピックアップして、その意味を解説します。

英英辞典の見出し語を検索する

例：英英辞典で、「public」の意味を調べる

1 Oxford を押して、「ODE/OTE」の画面にします。

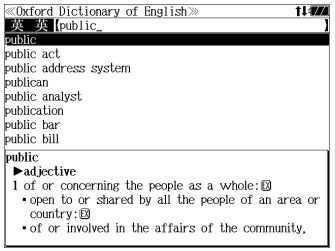
［英英］が反転表示されます。



2 文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「public」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。
  見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。

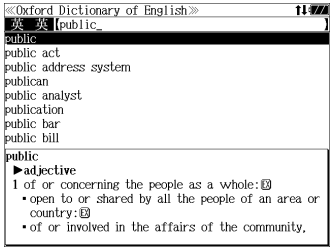
●「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

3 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「public」を選択

この例では既に目的の見出し語「public」が選択されています。



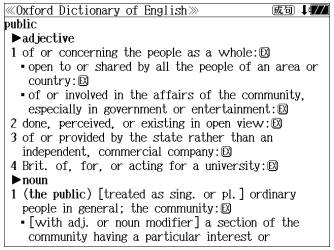
＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

次見出し / 前見出し ：ページごと

4 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

次見出し / 前見出し ：見出しリスト順

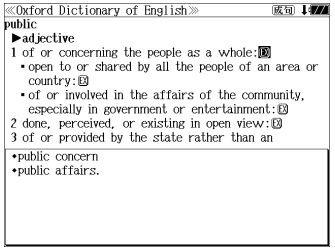
見出し語に付随する例文を見る

英英辞典で、調べた英単語に付随する例文を見ることができます。

例：「public」に付随する例文を調べる

1 「public」の解説の全画面表示から 例文解説 を押します。

画面の中で最初の例文マークに関連するプレビュー（例文解説の一部）が表示されます。



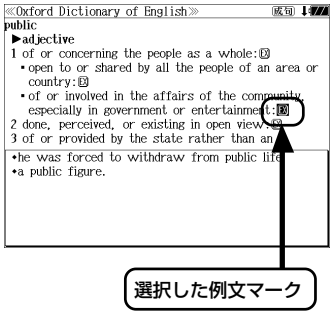
- 再度 例文解説 または 戻る・クリア を押すと解説の全画面表示に戻ります。
- 見出し語に付随する例文は、全画面表示（標準）でのみ見ることができます。（早見表示（標準）、全画面表示（全文）、早見表示（全文）では使用できません。）
（☞「訳表示切替機能」193ページ）
- 例文は、解説の全画面表示に例文マークがあるときに見ることができます。例文マークが表示されていないときは、予め画面をスクロールし、例文マークが見えるようにします。

  例文マーク: EX
- 解説の全画面表示に例文マークがない場合は、「例文・解説がありません。」と表示されます。

2 ▽ / △ / 前ページ / 次ページ を使って、調べたい例文を選択します。

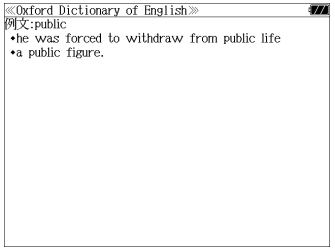
例：3番目の例文マークを選択

選択した例文マークが反転表示に変わります。



3 決定・訳 を押します。

選択した例文マークの内容が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

- 次見出し / 前見出し を使うと、例文を終了し、次または1つ前の見出し語の解説の全画面表示になります。

見出し語に付随する成句を見る

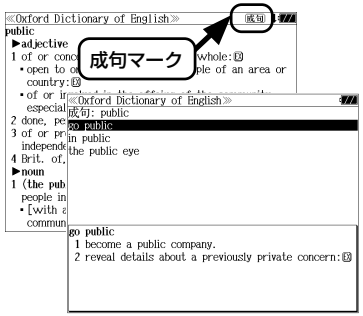
英英辞典で、調べた見出し語に付随する成句を検索することができます。

例：「public」に付随する成句を調べる

1 public の解説の全画面表示から [成句/熟語] を押します。

解説の全画面表示で、表示された見出し語に付随する成句があるときは、画面右上に［成句］マークが表示されます。

見出し語に付随する成句リストとプレビュー（成句解説の一部）が表示されます。



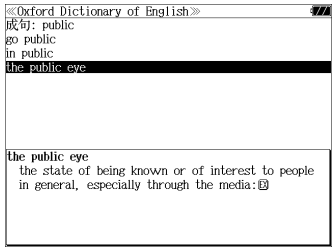
- 見出し語に付随する成句は、全画面表示（標準）でのみ見ることができます。（早見表示（標準）、全画面表示（全文）、早見表示（全文）では使用できません。）（☞「訳表示切替機能」193ページ）

2 [▽] / [△] を使って、調べたい成句を選択します。

例：「the public eye」を選択

＜成句リストのスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ
[前ページ] / [次ページ] ：ページごと
[▼次見出し] / [▲前見出し] ：ページごと

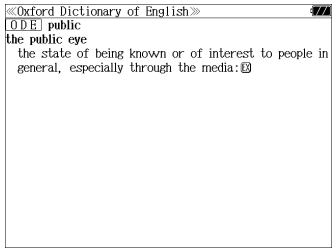


3 [決定・訳] を押します。

選択した成句の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ
[前ページ] / [次ページ] ：ページごと
[▼次見出し] / [▲前見出し] ：成句リスト順



- [▼次見出し] / [▲前見出し] を使うと、全画面表示のまま、次または1つ前の成句解説を表示することができます。手順**1**で表示した成句リストの順で表示されます。

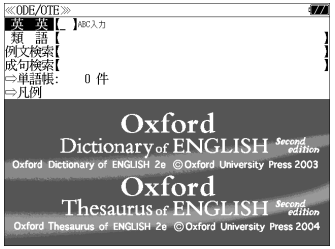
派生語、複合語を検索する

英英辞典の派生語、分離複合語を直接検索することができます。

例：英英辞典で、「publicization」を調べる

1 [Oxford] を押して、「ODE/OTE」の画面にします。

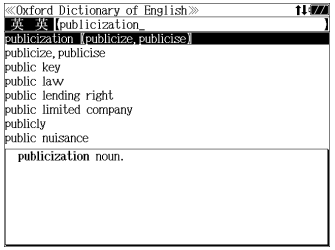
［英英］が反転表示されます。



2 文字/数字入力キーを使って、派生語のスペルを入力します。

例：「publicization」と入力

見出しリストに入力した派生語と元になる単語（publicization〖publicize, publicise〗）が表示されます。

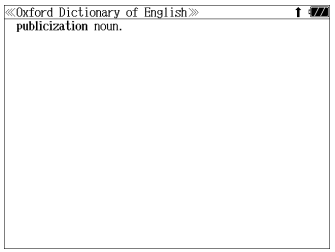


3 [決定・訳] を押します。

派生語の元になる見出し語の解説が表示されます。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ
[前ページ] / [次ページ] ：ページごと

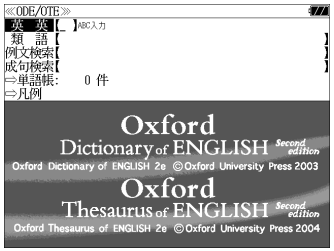


類語を検索する

類語辞典で、類語を検索することができます。

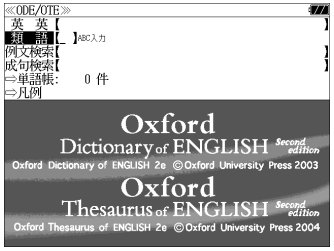
例：類語辞典で「fresh」の類語を調べる

1 Oxford を押して、「ODE/OTE」の画面にします。



2 ▽ / △ を使って、［類語］を選択します。

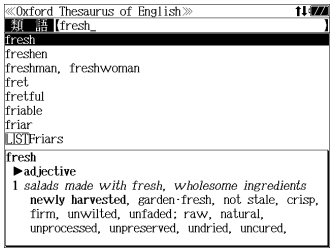
［類語］が反転表示されます。



2 文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「fresh」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（類語の一部）が表示されます。



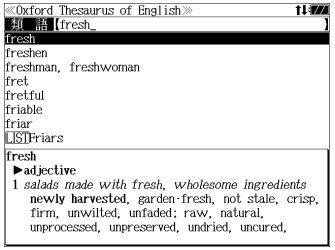
- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

3 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「fresh」を選択

この例では既に目的の見出し語「fresh」が選択されています。



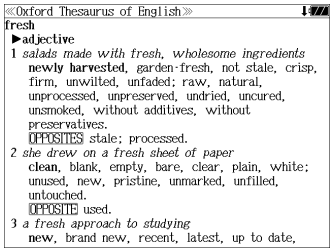
＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

4 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の類語が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

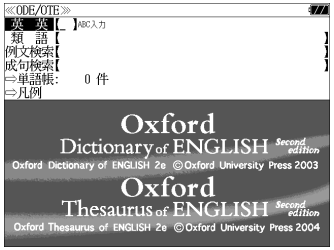
▼次見出し / ▲前見出し ：見出しリスト順

特定の英単語を含む例文を検索する

入力した英単語（単数または複数）を使った例文を、「Oxford Dictionary of English」と「Oxford Thesaurus of English」に収録された全ての例文から検索します。

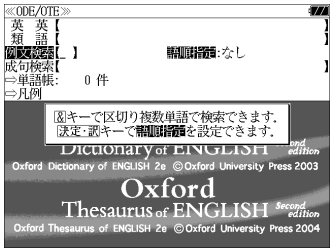
例：「take」と「all」を含む例文を調べる

1 Oxford を押して、「ODE/OTE」の画面にします。



2 ▽ / △ を使って、［例文検索］を選択します。

［例文検索］が反転表示されます。



3 決定・訳 を押し、▽ / △ を使って、［語順指定］を設定します。

例：「入力語順を保持せず検索します。」を選択

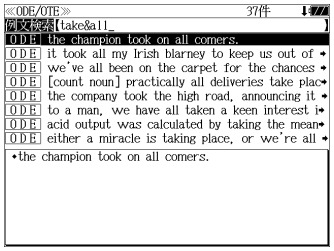
- 複数の単語を入力した場合、「入力語順を保持せず検索します。」を選択すると、入力した順に関係なく単語を使う例文を検索します。

  「入力語順を保持し検索します。」を選択すると、入力した順に単語を使う例文を検索します。

4 決定・訳 を押し、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「take&all」と入力

入力した英単語を含む例文リストと、プレビュー（例文解説の一部）が表示されます。



- 画面の右上に該当する例文の数が表示されます。1000以上ある場合は「1000件以上」と表示されます。
- 複数の英単語を チェック ?*& を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む例文リストが表示されます。
- 「＆」を入力する前は前方一致です。
- 「英単語 &」と入力すると、その英単語の変化形を使っている例文も検索します。
  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている例文を検索します。
- 入力した英単語を含む例文がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

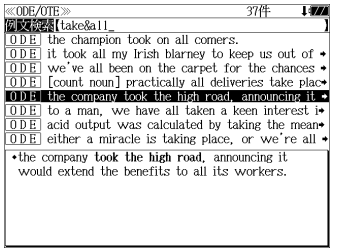
5 ▽ / △ を使って、調べたい例文を選択します。

例：「ODE the company took the high road, announcing it ➡ 」を選択

＜例文リストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



6 決定・訳 を押します。

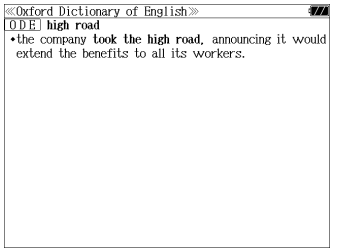
選択した例文の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：例文リスト順



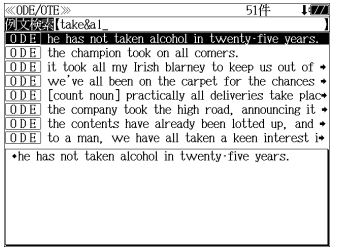
- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または 1 つ前の例文解説を表示することができます。手順 **4** で表示した例文リストの順で表示されます。

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、例文を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで例文を検索できます。

例：「take&al」と入力

ただし、「＆」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。

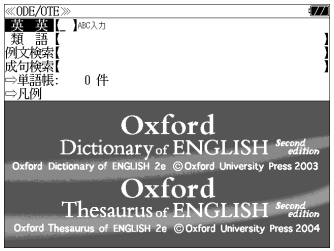


特定の英単語を含む成句を検索する

入力した英単語（単／複数）を含む成句を、「Oxford Dictionary of English」の全データの中から検索します。

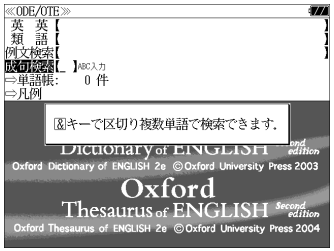
例：「put」と「back」を含む成句を調べる

1 Oxford を押して、「ODE/OTE」の画面にします。



2 ▽ / △ を使って、［成句検索］を選択します。

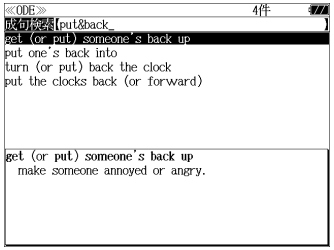
［成句検索］が反転表示されます。



3 文字／数字入力キーを使って、調べたい成句に含まれる英単語のスペルを入力します。

例：「put&back」と入力

入力した英単語を含む成句リストと、プレビュー（成句解説の一部）が表示されます。



- 複数の英単語を チェック ?*& を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む成句リストが表示されます。
- 「&」を入力する前は前方一致です。
- 「英単語＆」と入力すると、その英単語の変化形を使っている成句も検索します。

  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている成句を検索します。
- 入力した英単語を含む成句がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

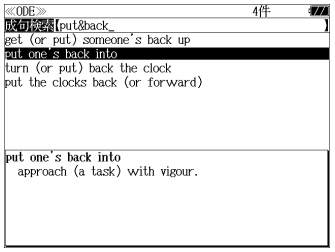
4 ▼次見出し / ▲前見出し と ▽ / △ を使って、調べたい成句を選択します。

例：「put one's back into」を選択

＜成句リストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



5 決定・訳 を押します。

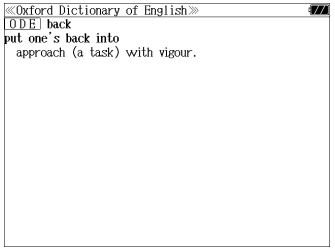
選択した成句の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：成句リスト順



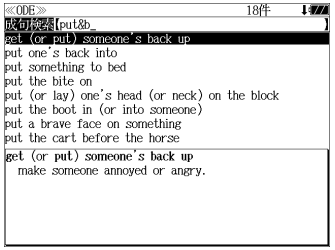
- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または 1 つ前の成句解説を表示することができます。手順 **3** で表示した成句リストの順で表示されます。

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、成句を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで成句を検索できます。

例：「put&b」と入力

ただし、「&」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。



MEMO

「コウビルドの辞典」を使う

コウビルドの辞典５冊と Wordbank * の内容を収録しました。

「コウビルド英英辞典 New digital edition」（改訂第３版オリジナル電子増補版）
「Collins Dictionary of Idioms」
「Collins Dictionary of Phrasal Verbs」
「Collins English Usage for Learners」
「Collins Intermediate English Grammar」

* Wordbank とは『The Bank of English』から採られた用例データです。

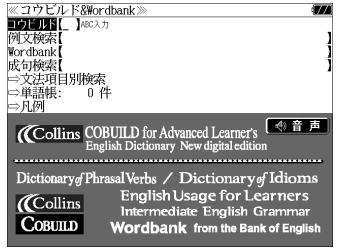
- 見出し語に付随する例文、解説は［例文・解説］キーで、成句は［成句・熟語］キーを使って簡単に見ることができます。
- 部分的にスペルのわからない英単語も検索できます。
- 派生語、複合語も直接検索できます。
- コウビルド英英辞典の見出し語の発音を聞くことができます。
- 【例文検索】
  入力した英単語（単数または複数）を使った例文を「コウビルド英英辞典 」、「Collins Dictionary of Idioms」、「Collins Dictionary of Phrasal Verbs」、「Collins English Usage for Learners」、「Collins Intermediate English Grammar」の例文からピックアップします。
- 【成句検索】
  入力した英単語（単数または複数）を使った成句を「コウビルド英英辞典 」、「Collins Dictionary of Idioms」、「Collins Dictionary of Phrasal Verbs」からピックアップします。

「コウビルド英英辞典」の見出し語を検索する

例：「pace」の意味を調べる

1 COBUILD を１回または２回押して、「コウビルド & Wordbank」の画面にします。

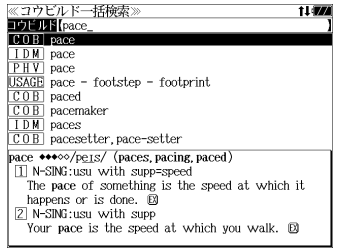
COBUILD を押すたびに「コウビルド &Wordbank」と「コリンズ類語辞典」の初期画面が交互に表示されます。



2 文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「pace」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（解説の一部）が表示されます。

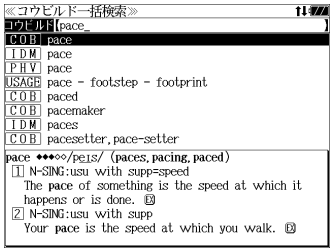


- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

3 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「COB pace」を選択



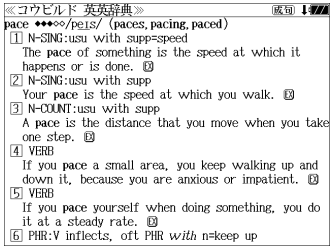
＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

次見出し / 前見出し ：ページごと

4 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

次見出し / 前見出し ：同一辞書見出しリスト順

- 次見出し / 前見出し を押すと、全画面表示のまま、同一辞書見出しリスト順に次または1つ前の見出し語の解説の全画面表示になります。

決定・訳（発音）を押すと、🔊 マーク付きの見出し語を発音します。

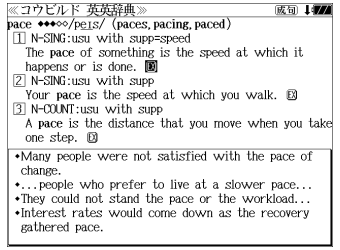
見出し語の例文を見る

英英辞典で、調べた見出し語に付随する例文を見ることができます。

例：コウビルド英英辞典の「pace」に付随する例文を調べる

1 「pace」の解説の全画面表示から 例文解説 を押します。

画面の中で最初の例文マークに関連するプレビュー（例文解説の一部）が表示されます。



- 再度 例文解説 または 戻る・クリア を押すと解説の全画面表示に戻ります。
- 見出し語に付随する例文は、全画面表示（標準）でのみ見ることができます。（早見表示（標準）、全画面表示（全文）、早見表示（全文）では使用できません。）
（☞「訳表示切替機能」193ページ）
- 例文は、解説の全画面表示に例文マークがあるときに見ることができます。例文マークが表示されていないときは、予め画面をスクロールし、例文マークが見えるようにします。

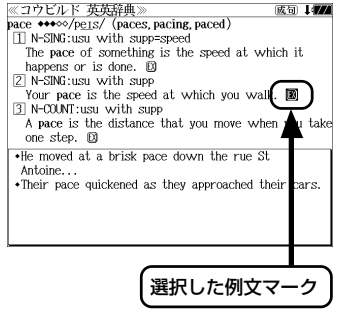
例文マーク: EX

- 解説の全画面表示に例文マークがない場合は、「例文・解説がありません。」と表示されます。

2 ▽ / △ / 前ページ / 次ページ を使って、調べたい例文を選択します。

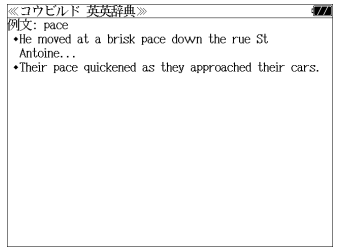
例：2番目の例文マークを選択

選択した例文マークが反転表示に変わります。



3 決定・訳 を押します。

選択した例文マークの内容が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

- 次見出し / 前見出し を使うと、例文を終了し、同一辞書見出しリスト順に次または1つ前の見出し語の解説の全画面表示になります。

見出し語に付随する成句を見る

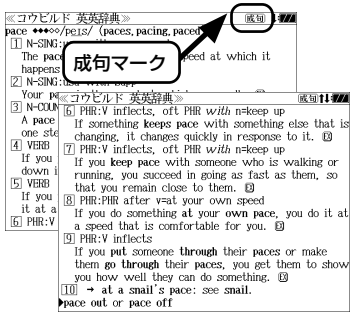
英英辞典で、調べた見出し語に付随する成句を検索することができます。

例：コウビルド英英辞典の「pace」に付随する成句を調べる

1 「pace」の解説の全画面表示から [成句/熟語] を押します。

解説の全画面表示で、表示された見出し語に付随する成句があるときは、画面右上に［成句］マークが表示されます。

解説の最後に収録されている成句が表示されます。



- 見出し語に付随する成句は、全画面表示（標準）でのみ見ることができます。（早見表示（標準）、全画面表示（全文）、早見表示（全文）では使用できません。）（☞「訳表示切替機能」193ページ）

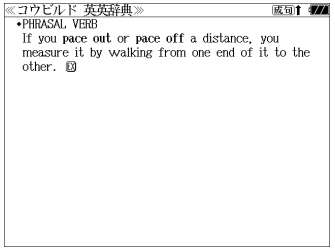
2 必要に応じて画面をスクロールします。

例：[次ページ] を1回押します。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ

[前ページ] / [次ページ] ：ページごと



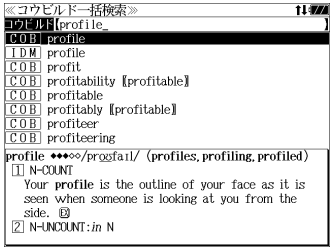
「Collins Dictionary of Idioms」の見出し語を検索する

例：「profile」を調べる

1 「コウビルド & Wordbank」の初期画面から、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「profile」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

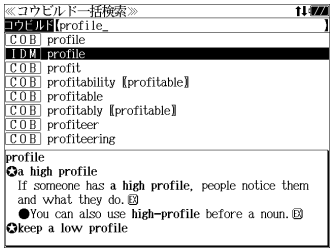
2 [▽] / [△] を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「[IDM] profile」を選択

＜見出しリストのスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ

[次見出し] / [前見出し] ：ページごと



3 [決定・訳] を押します。

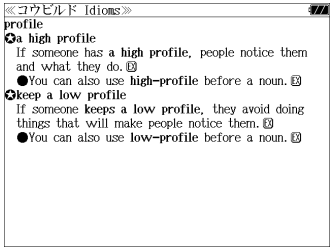
選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ

[前ページ] / [次ページ] ：ページごと

[次見出し] / [前見出し] ：同一辞書見出しリスト順



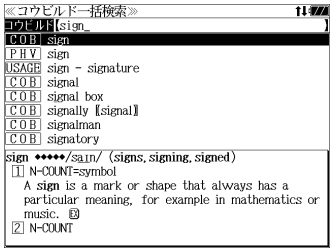
「Collins Dictionary of Phrasal Verbs」の見出し語を検索する

例：「sign」を調べる

1 「コウビルド & Wordbank」の初期画面から、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「sign」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「＊」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

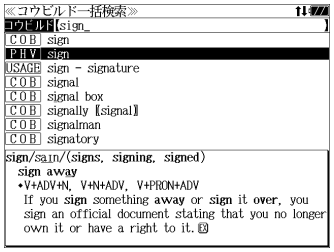
2 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「PHV sign」を選択

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



3 決定・訳 を押します。

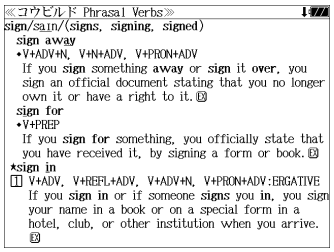
選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：同一辞書見出しリスト順



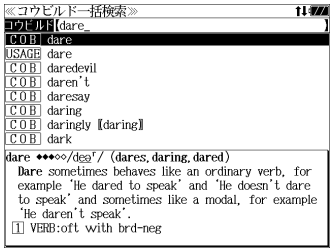
「Collins English Usage for Learners」の見出し語を検索する

例：「dare」を調べる

1 「コウビルド & Wordbank」の初期画面から、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「dare」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「＊」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

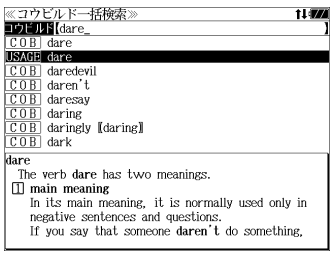
2 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「USAGE dare」を選択

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



3 決定・訳 を押します。

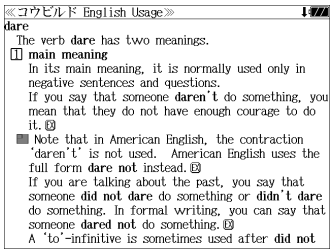
選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：同一辞書見出しリスト順



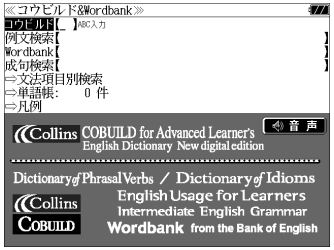
「コウビルドの辞典」の例文を検索する

入力した英単語（単数または複数）を使った例文を、「コウビルド英英辞典 New digital edition」、「Collins Dictionary of Idioms」、「Collins Dictionary of Phrasal Verbs」、「Collins English Usage for Learners」、「Collins Intermediate English Grammar」に収録された全ての例文から検索します。

例：「top」と「high」を含む例文を調べる

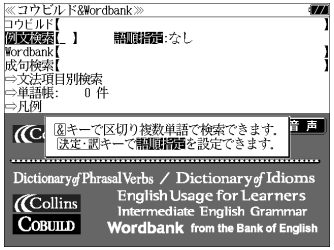
1 COBUILD を１回または２回押して、「コウビルド & Wordbank」の画面にします。

COBUILD を押すたびに「コウビルド &Wordbank」と「コリンズ類語辞典」の初期画面が交互に表示されます。



2 ▽ / △ を使って、［例文検索］を選択します。

［例文検索］が反転表示されます。

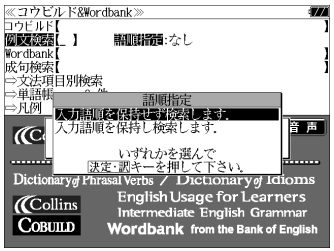


3 決定・訳 を押し、▽ / △ を使って、［語順指定］を設定します。

例：「入力語順を保持せず検索します。」を選択

- 複数の単語を入力した場合、「入力語順を保持せず検索します。」を選択すると、入力した順に関係なく単語を使う例文を検索します。

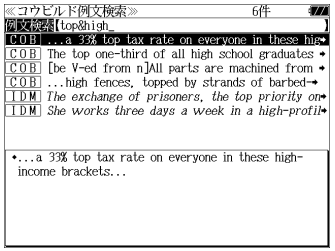
  「入力語順を保持し検索します。」を選択すると、入力した順に単語を使う例文を検索します。



4 決定・訳 を押し、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「top&high」と入力

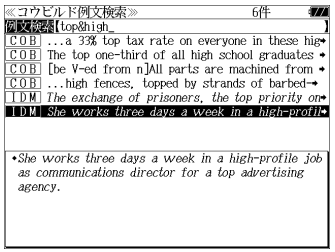
入力した英単語を含む例文リストと、プレビュー（例文解説の一部）が表示されます。



- 画面の右上に該当する例文の数が表示されます。1000以上ある場合は「1000件以上」と表示されます。
- 複数の英単語を チェック ?*& を使って「 & 」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む例文リストが表示されます。
- 「 & 」を入力する前は前方一致です。
- 「英単語 &」と入力すると、その英単語の変化形を使っている例文も検索します。
  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている例文を検索します。
- 入力した英単語を含む例文がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

5 ▽ / △ を使って、調べたい例文を選択します。

例：「IDM She works three days a week in a high-profil ➡ 」を選択



＜記号の説明＞

GRAM Collins Intermediate English Grammar

（他の記号の説明 ☞ 94 ページ）

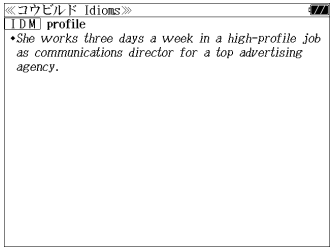
＜例文リストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

6 決定・訳 を押します。

選択した例文の解説が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：見出しリスト順

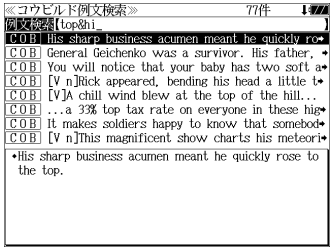
- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または 1 つ前の例文解説を表示することができます。手順 **4** で表示した例文リストの順で表示されます。

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、例文を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで例文を検索できます。

例：「top&hi」と入力

ただし、「＆」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。



「Wordbank」の例文を検索する

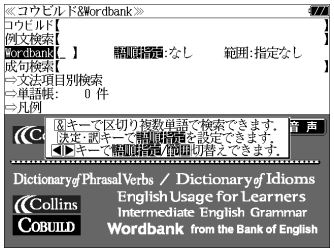
入力した英単語（単数または複数）を使った例文を、Wordbank * から検索します。

＊ Wordbank とは『The Bank of English』から採られた用例データです。

例：「book」と「game」を含む例文を調べる

1 「コウビルド & Wordbank」の初期画面から ▽ / △ を使って、[Wordbank] を選択します。

［Wordbank］が反転表示されます。

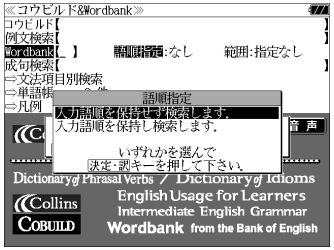


2 決定・訳 を押し、▽ / △ を使って、［語順指定］を設定します。

例：「入力語順を保持せず検索します。」を選択

- 複数の単語を入力した場合、「入力語順を保持せず検索します。」を選択すると、入力した順に関係なく単語を使う例文を検索します。

  「入力語順を保持し検索します。」を選択すると、入力した順に単語を使う例文を検索します。

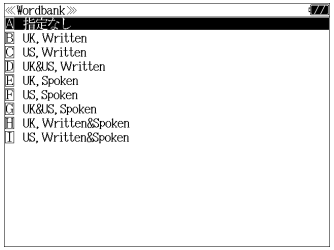


3 決定・訳 を押し、前ページ / 次ページ を使って、［範囲］を選択し、決定・訳 を押します。

例：「A 指定なし」を選択

例文を使用する範囲を指定する場合は ▽ / △ を使って選択します。

- 先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。



4 決定・訳 を押し、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「book&game」と入力

入力した英単語を含む例文リストと、プレビュー（例文解説の一部）が表示されます。

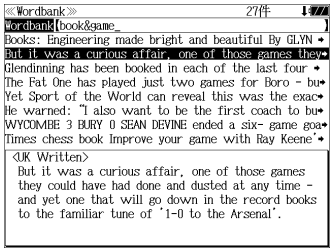
- 画面の右上に該当する例文の数が表示されます。1000以上ある場合は「1000件以上」と表示されます。
- 複数の英単語を チェック ?*& を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む例文リストが表示されます。
- 「＆」を入力する前は前方一致です。
- 「英単語＆」と入力すると、その英単語の変化形を使っている例文も検索します。
  例：「take&」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている例文を検索します。
- 入力した英単語を含む例文がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

5 ▽ / △ を使って、調べたい例文を選択します。

例：「But it was a curious affair, one of those games they ➡ 」を選択

＜例文リストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ
▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

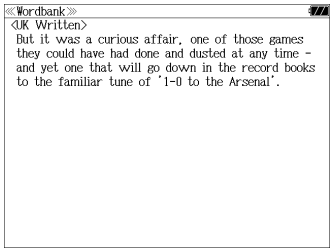


6 決定・訳 を押します。

選択した例文の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ
◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：見出しリスト順



- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または 1 つ前の例文解説を表示することができます。手順 **4** で表示した例文リストの順で表示されます。

特定の英単語を含む成句を検索する

入力した英単語（単または複数）を含む成句を、「コウビルド英英辞典 New digital edition」、「Collins Dictionary of Idioms」、「Collins Dictionary of Phrasal Verbs」に収録された全ての成句から検索します。

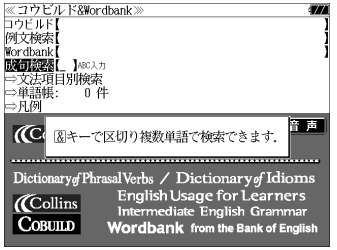
例：「through」を含む成句を調べる

1 COBUILD を 1 回または 2 回押して、「コウビルド＆Wordbank」の画面にします。

COBUILD を押すたびに「コウビルド＆Wordbank」と「コリンズ類語辞典」の初期画面が交互に表示されます。

2 ▽ / △ を使って、［成句検索］を選択します。

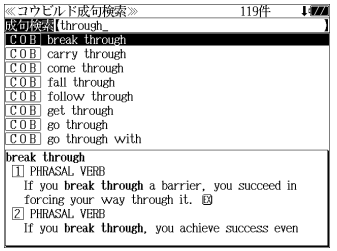
［成句検索］が反転表示されます。



3 文字 / 数字入力キーを使って、調べたい成句に含まれる英単語のスペルを入力します。

例：「through」と入力

入力した英単語を含む成句リストと、プレビュー（成句解説の一部）が表示されます。



- 複数の英単語を チェック ?*& を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む成句リストが表示されます。
- 「&」を入力する前は前方一致です。
- 入力した英単語を含む成句がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

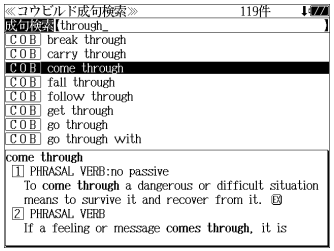
4 ▽ / △ を使って、調べたい成句を選択します。

例：「come through」を選択

＜成句リストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



5 決定・訳 を押します。

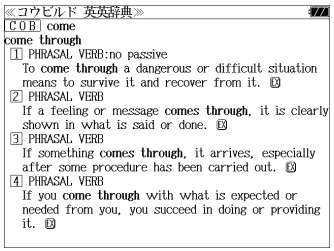
選択した成句の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

◁ / ▷ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：成句リスト順



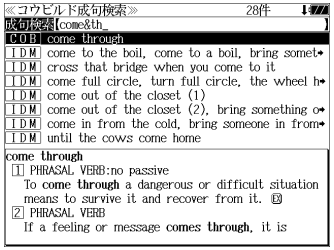
- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次の成句解説を表示することができます。手順**3**で表示した成句リストの順で表示されます。

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、成句を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで成句を検索できます。

例：「come&th」と入力

ただし、「&」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。



文法についての項目を検索する（1）

文法についての項目を、「Collins Intermediate English Grammar」または「Collins English Usage for Learners」の「Grammar Section」と「Topics Section」から検索します。

例：「Collins Intermediate English Grammar」を使って調べる

1 COBUILD を1回または2回押して、「コウビルド & Wordbank」の画面にします。

COBUILD を押すたびに「コウビルド&Wordbank」と「コリンズ類語辞典」の初期画面が交互に表示されます。

2 ▽ / △ を使って、[文法項目別検索]を選択し、決定・訳 を押します。

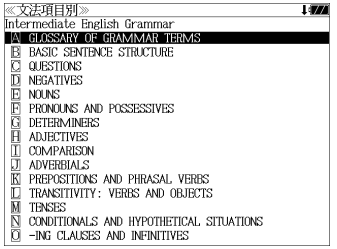
3つのセクションが表示されます。

A Intermediate English Grammar
B English Usage (Grammar Section)
C English Usage (Topics Section)

3 ▽ / △ を使って、セクションを選択し、決定・訳 を押します。

例：そのまま「A Intermediate English Grammar」を選択

文法項目が表示されます。

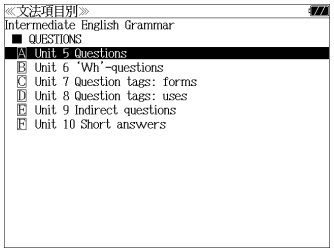


- セクションの先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。

4 ▽ / △ **を使って、文法項目を選択し、** 決定・訳 **を押します。**

例：「C QUESTIONS」を選択

選択した項目に含まれる文法ユニットが表示されます。



- 項目の先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。

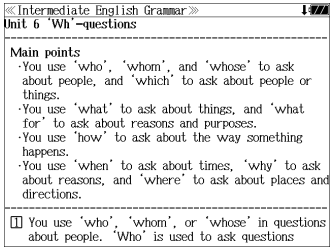
＜文法項目のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ
前ページ / 次ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

5 ▽ / △ **を使って、文法ユニットを選択し、** 決定・訳 **を押します。**

例：「B Unit 6 ' Wh' - questions」を選択

選択した文法ユニットの解説が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ
前ページ / 次ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：文法ユニット順

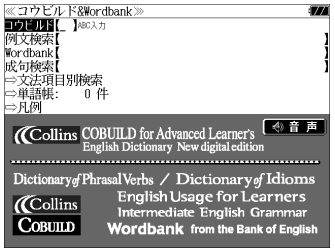
- 文法ユニットの先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。

文法についての項目を検索する（2）

例：「English Usage (Grammar Section)」を使って調べる

1 COBUILD **を 1 回または 2 回押して、「コウビルド & Wordbank」の画面にします。**

COBUILD を押すたびに「コウビルド &Wordbank」と「コリンズ類語辞典」の初期画面が交互に表示されます。



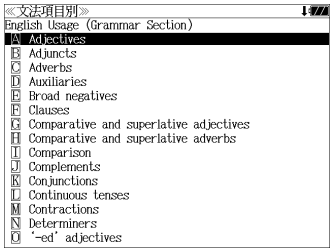
2 ▽ / △ **を使って、［文法項目別検索］を選択し、** 決定・訳 **を押します。**

3 つのセクションが表示されます。
A Intermediate English Grammar
B English Usage (Grammar Section)
C English Usage (Topics Section)

3 ▽ / △ **を使って、セクションを選択し、** 決定・訳 **を押します。**

例：「B English Usage (Grammar Section)」を選択

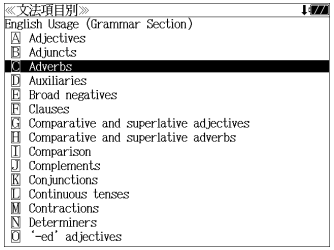
文法項目が表示されます。



- セクションの先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。

4 **▽ / △ を使って、文法項目を選択します。**

例：「C Adverbs」を選択



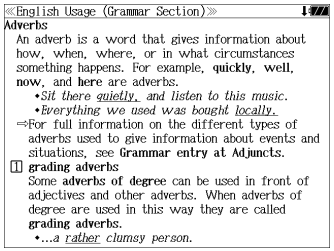
- 項目の先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。

＜文法項目のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ
前ページ / 次ページ ：ページごと
次見出し / 前見出し ：ページごと

5 **決定・訳 を押します。**

選択した項目の解説が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ
前ページ / 次ページ ：ページごと
次見出し / 前見出し ：手順 **3** の文法項目順

- 「B Adjuncts」等、小項目がある文法項目は ジャンプ を押してから ▽ / △ を使って小項目を選択すると、直接解説画面を表示することもできます。

「コリンズ類語辞典」を使う

コリンズ「コリンズ 類語辞典」の内容を収録しました。

- 入力した英単語の類語を表示。英単語の幅が広がります。

見出し語を検索する

例：「bloom」の類語を調べる

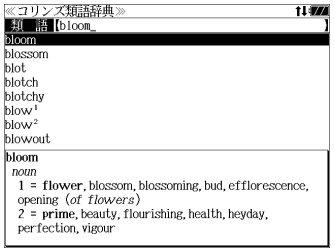
1 **COBUILD を 1 回または 2 回押して、「コリンズ類語辞典」の画面にします。**

COBUILD を押すたびに「コウビルド &Wordbank」と「コリンズ類語辞典」の初期画面が交互に表示されます。

2 **文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。**

例：「bloom」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（類語の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

3 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

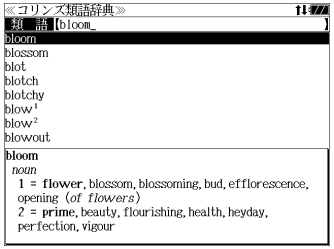
例：「bloom」を選択

この例では既に目的の見出し語「bloom」が選択されています。

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



4 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の類語が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：見出しリスト順

スペルチェック（うろ覚えのスペルでも簡単検索）

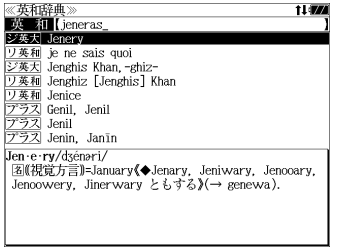
英和、英和活用、英英、類語辞典をひく場合、正確なスペルがわからない場合でも英単語を調べることができます。

例：英和辞典で、「generous」をあいまいな「jeneras」から調べる

1 文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：英和辞典で「jeneras」と入力

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、もっとも近い見出し語から順に表示されます。



2 スペル を押します。

入力した文字列に該当する見出し語と、発音やスペルが似ている英単語（候補）のリストが表示されます。プレビュー（英和訳の一部）も同時に表示されます。

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、候補のリストだけが表示されます。

3 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語 / 候補を選択します。

例：「ジ英大 generous」を選択

＜見出しリストのスクロール＞

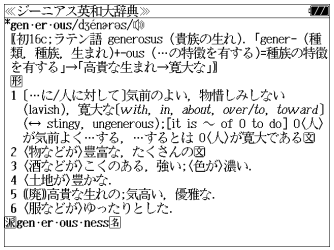
▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

4 決定・訳 **を押します。**

画面がジーニアス英和大辞典に変わり、選択した見出し語／候補の英和訳が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

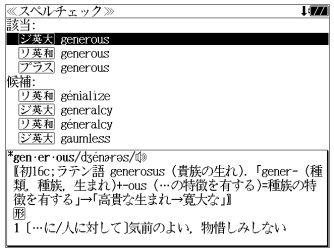
▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

正しいスペルを入力した場合

入力したスペルが正しい場合も、似ている英単語の候補が表示されます。

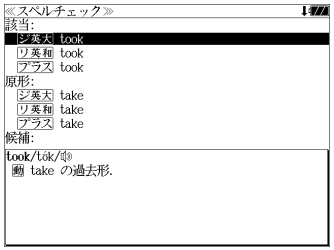
例：「generous」と入力



変化形を入力した場合

入力したスペルが変化形の場合は、原形と、似ている英単語の候補が表示されます。

例：「took」と入力



「英英百科事典」を使う

「Britannica Concise Encyclopedia」の内容を収録しました。

- 部分的にしかわからない、うろ覚えの単語を検索できます。

【キーワード】

- 説明文に含まれる言葉から見出し語を検索します。

見出し語を検索する

例：「roman」の意味を調べる

1 ブリタニカ国際百科 **を 1 回または 2 回押して、「Britannica Concise Encyclopedia」の画面にします。**

ブリタニカ国際百科 を押すたびに「Britannica Concise Encyclopedia」と「ブリタニカ国際大百科事典」の初期画面が交互に表示されます。

2 決定・訳 **を押し、** ▽ / △ **を使って、［分野］を指定します。**

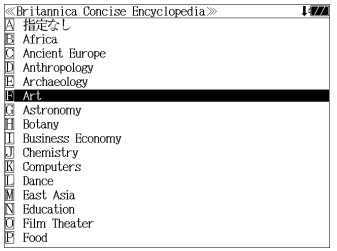
例：「F Art」を選択

＜分野リストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

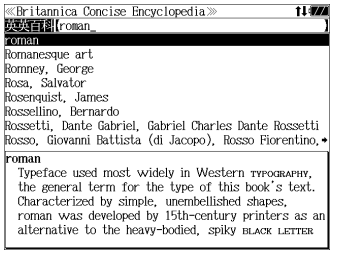
次見出し / 前見出し ：ページごと



3 決定・訳 **を押し、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。**

例：「roman」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

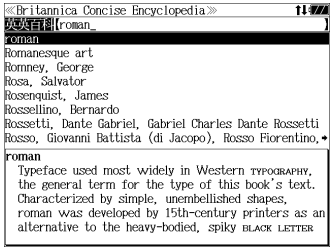
4 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「roman」を選択

この例では既に目的の見出し語「roman」が選択されています。

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ
▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

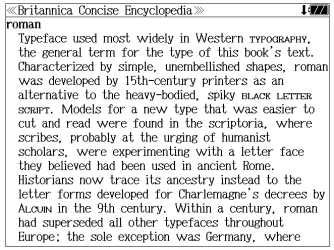


5 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の解説が全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ
前ページ / ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：見出しリスト順



キーワードから見出し語を検索する

説明文に含まれる言葉から逆に見出し語を検索します。

例：「mercury」をキーワードにして見出し語を調べる

1 ブリタニカ百科 を1回または2回押して、「Britannica Concise Encyclopedia」の画面にします。

ブリタニカ百科 を押すたびに「Britannica Concise Encyclopedia」と「ブリタニカ国際大百科事典」の初期画面が交互に表示されます。

2 ▽ / △ を使って、［キーワード］を選択します。

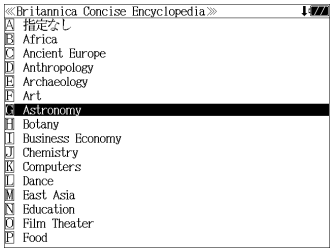
［キーワード］が反転表示されます。

3 決定・訳 を押し、▽ / △ を使って、［分野］を指定します。

例：「G Astronomy」を選択

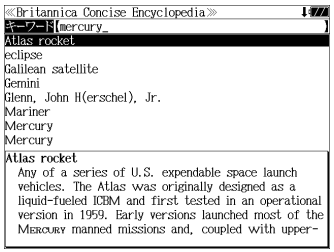
＜分野リストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ
前ページ / ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



4 決定・訳 を押し、文字/数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

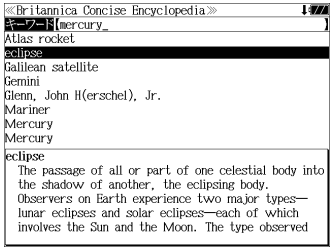
例：「mercury」と入力



- 入力した文字列に該当するキーワードを有する解説文を表示します。
- 複数の語句を [?*&] を使って「＆」で区切って入力することができます。
- 「&」を入力する前は前方一致です。
- 入力した単語を含むキーワードがない場合、「該当する候補がありません。」と表示されます。

5 [▽] / [△] を使って、調べたい解説文を選択します。

例：「eclipse 」を選択



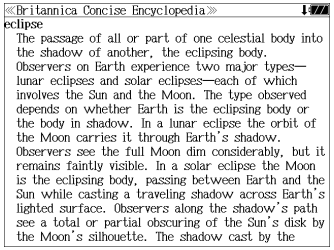
＜解説リストのスクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ

[▼次見出し] / [▲前見出し] ：ページごと

6 [決定・訳] を押します。

選択した解説文が全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ

[前ページ] / [次ページ] ：ページごと

[▼次見出し] / [▲前見出し] ：見出しリスト順

「ブリタニカ国際大百科事典」を使う

「ブリタニカ国際大百科事典 電子辞書対応小項目版」の内容を収録しました。

- 見出し語は日本語と英語の両方から検索できます。
- 同音異義語は見出し語のリスト表示で、検索も簡単です。
- 部分的にしかわからない、うろ覚えの単語を検索できます。

【キーワード】

- 説明文に含まれる言葉から見出し語を検索します。

【ジャンル別事典】

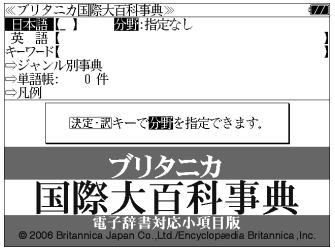
- ６つのジャンルに該当する見出し語を集めました。

日本語で見出し語を検索する

例：「行司」の意味を調べる

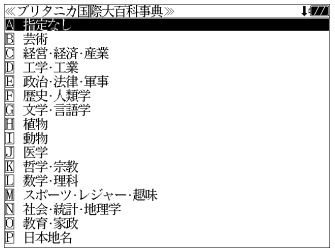
1 [ブリタニカ百科] を 1 回または 2 回押して、「ブリタニカ国際大百科事典」の画面にします。

[ブリタニカ百科] を押すたびに「Britannica Concise Encyclopedia」と「ブリタニカ国際大百科事典」の初期画面が交互に表示されます。



2 [決定・訳] を押し、[▽] / [△] を使って、［分野］を指定します。

例：そのまま「A 指定なし」を選択



＜分野リストのスクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ

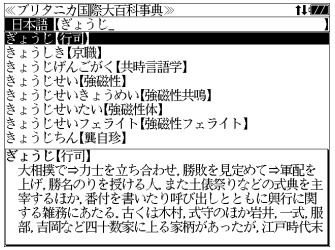
[前ページ] / [次ページ] ：ページごと

[▼次見出し] / [▲前見出し] ：ページごと

3 [決定・訳] を押し、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい日本語を入力します。

例：ローマ字で、「GYOUJI」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストと、プレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

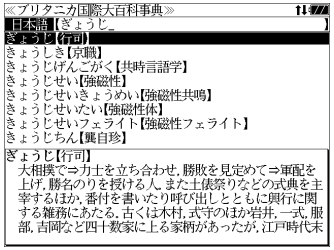
4 [▽] / [△] を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「ぎょうじ【行司】」を選択

この例では既に目的の見出し語「行司」が選択されています。

＜見出しリストのスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ
[次見出し] / [前見出し] ：ページごと

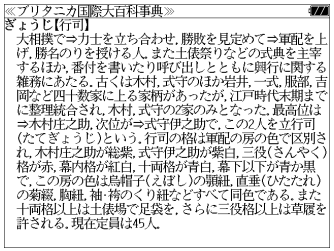


5 [決定・訳] を押します。

選択した見出し語の解説が全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1行ずつ
[前ページ] / [次ページ] ：ページごと
[次見出し] / [前見出し] ：見出しリスト順

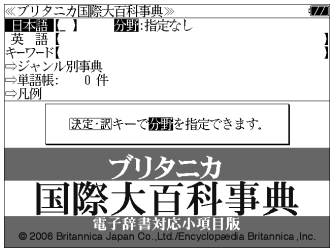


英語で見出し語を検索する

例：「Jacobian」の意味を調べる

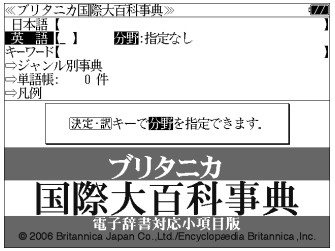
1 [ブリタニカ百科] を1回または2回押して、「ブリタニカ国際大百科事典」の画面にします。

[ブリタニカ百科] を押すたびに「Britannica Concise Encyclopedia」と「ブリタニカ国際大百科事典」の初期画面が交互に表示されます。



2 [▽] / [△] を使って、［英語］を選択します。

［英語］が反転表示されます。

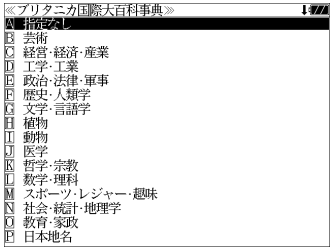


3 [決定・訳] を押し、[▽] / [△] を使って、［分野］を指定します。

例：そのまま「A 指定なし」を選択

＜分野リストのスクロール＞

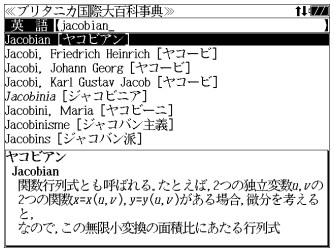
[▽] / [△] ：1行ずつ
[前ページ] / [次ページ] ：ページごと
[次見出し] / [前見出し] ：ページごと



4 決定・訳 を押し、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。

例：「jacobian」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

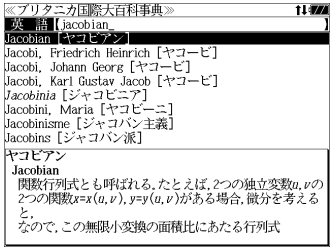
5 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「Jacobian」を選択

この例では既に目的の見出し語「Jacobian」が選択されています。

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ
▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

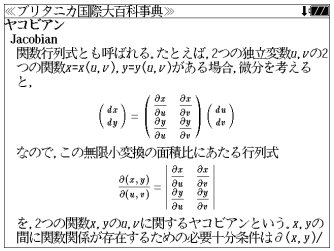


6 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の解説が全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ
◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと



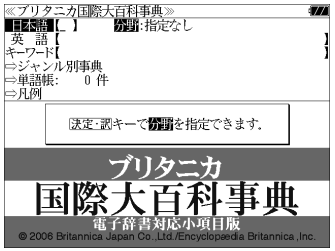
キーワードから見出し語を検索する

説明文に含まれる言葉から逆に見出し語を検索します。

例：「アザミ」をキーワードにして見出し語を調べる

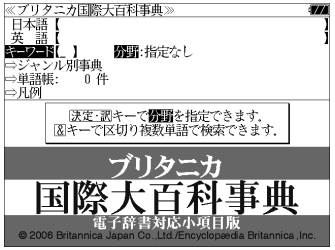
1 ブリタニカ百科 を 1 回または 2 回押して、「ブリタニカ国際大百科事典」の画面にします。

ブリタニカ百科 を押すたびに「Britannica Concise Encyclopedia」と「ブリタニカ国際大百科事典」の初期画面が交互に表示されます。



2 ▽ / △ を使って、［キーワード］を選択します。

［キーワード］が反転表示されます。



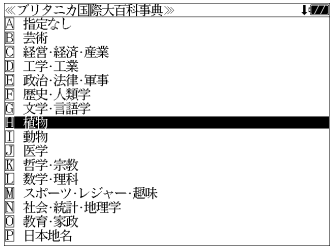
3 決定・訳 を押し、▽ / △ を使って、［分野］を指定します。

例：「H 植物」を選択

（または H を押します。）

＜分野リストのスクロール＞

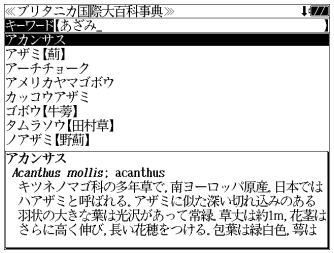
▽ / △ ：1 行ずつ
◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



4 決定・訳 を押し、文字 / 数字入力キーを使って、調べたいキーワードを入力します。

例：ローマ字で、「AZAMI」と入力

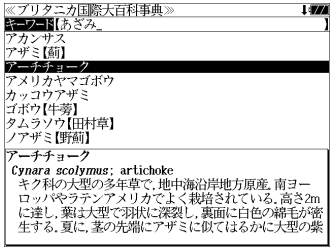
ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当するキーワードを有する解説文を表示します。
- 複数の語句を チェック ?*& を使って「 & 」で区切って入力することができます。
- 「&」を入力する前は前方一致です。
- 入力した単語を含むキーワードがない場合、「該当する候補がありません。」と表示されます。

5 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「アーチチョーク」を選択



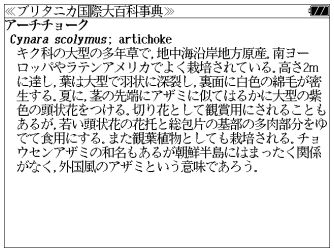
＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

6 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の解説が全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：見出しリスト順

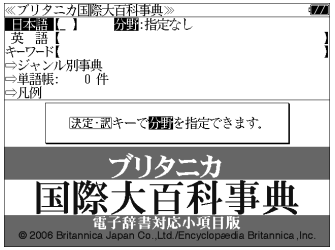
ジャンル別事典から検索する

6 つのジャンルに該当する見出し語を集めました。

例：「タオス」を調べる

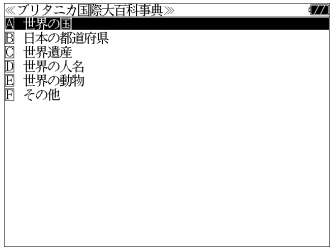
1 ブリタニカ百科 を 1 回または 2 回押して、「ブリタニカ国際大百科事典」の画面にします。

ブリタニカ百科 を押すたびに「Britannica Concise Encyclopedia」と「ブリタニカ国際大百科事典」の初期画面が交互に表示されます。



2 ▽ / △ を使って、[ジャンル別事典]を選択し、決定・訳 を押します。

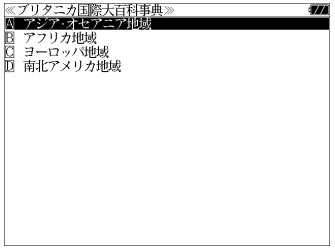
6 つのジャンルが順に表示されます。



3 ▽ / △ を使って「ジャンル」を選択し、決定・訳 を押します。

例：「C 世界遺産」を選択

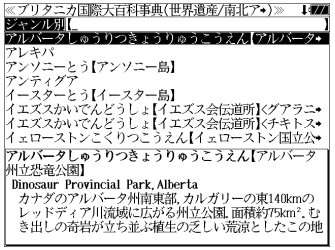
（または C を押します。）



4 ▽ / △ を使って「ジャンル」を選択し、決定・訳 を押します。

例：「D 南北アメリカ地域」を選択

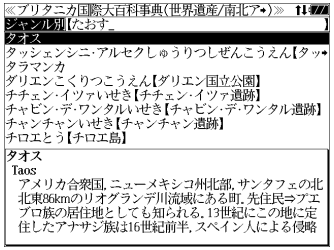
（または D を押します。）



5 **文字/数字入力キーを使って、調べたいことばの読みを入力します。**

例：ローマ字で、「TAOSU」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

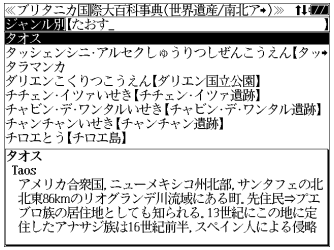
6 **▽/△を使って、調べたい見出し語を選択します。**

例：「タオス」を選択

この例では既に目的の見出し語「タオス」が選択されています。

＜見出しリストのスクロール＞

▽/△ ：1行ずつ
次見出し/前見出し ：ページごと

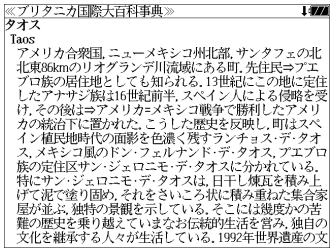


7 **決定・訳を押します。**

選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽/△ ：1行ずつ
前ページ/次ページ ：ページごと
次見出し/前見出し ：見出しリスト順



「大辞泉」を使う

小学館「大辞泉」および「逆引き大辞泉」の内容を収録しました。（写真、図表、付録は除く）

【大辞泉】

- 同音異義語は見出し語のリスト表示で、検索も簡単です。

【逆引き】

- 入力した文字が、ことばの末尾と一致する見出し語を検索できます。（後方一致検索）

【慣用句】

- 入力した単語（単数または複数）の読みを含む慣用句を、大辞泉のデータ（慣用句）からピックアップして、その意味を解説します。

【アルファベット】

- 部分的にしかわからない、うろ覚えの単語を検索できます。

【分野別小事典】

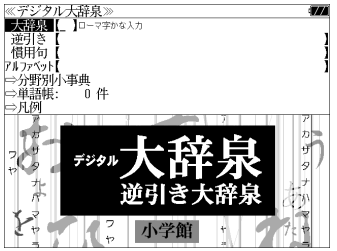
- 小百科、歳時記の２分野に該当する見出し語を大辞泉の見出し語から集めました。

見出し語を検索する（大辞泉）

例：「調和」の意味を調べる

1 **大辞泉・明鏡を1回または2回押して、「大辞泉」の画面にします。**

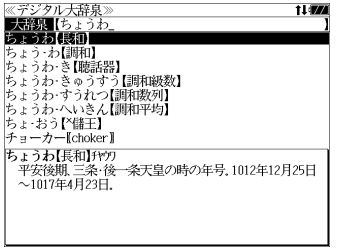
大辞泉・明鏡を押すたびに「大辞泉」と「明鏡国語辞典」の初期画面が交互に表示されます。



2 **文字/数字入力キーを使って、調べたいことばの読みを入力します。**

例：ローマ字で、「CHOUWA」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。

●「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

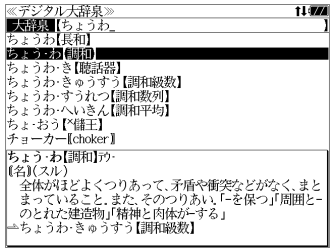
3 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「ちょう-わ【調和】」を選択

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

次見出し / 前見出し ：ページごと



4 決定・訳 を押します。

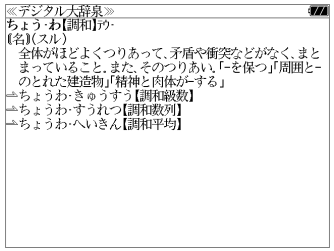
選択した見出し語の解説が全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

次見出し / 前見出し ：見出しリスト順



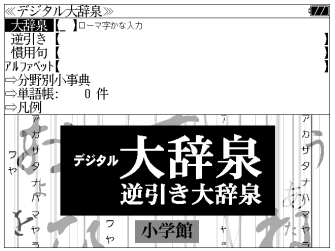
ことばの末尾から検索する（逆引き大辞泉）

入力した文字列が、ことばの末尾と一致する見出し語を検索することができます。

例：ことばの末尾が、「～わおん」で終わる見出し語を調べる

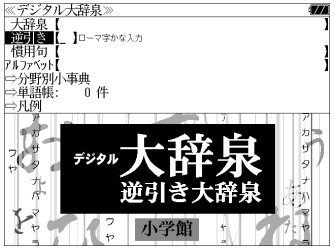
1 大辞泉/明鏡 を1回または2回押して、「大辞泉」の画面にします。

大辞泉/明鏡 を押すたびに「大辞泉」と「明鏡国語辞典」の初期画面が交互に表示されます。



2 ▽ / △ を使って、［逆引き］を選択します。

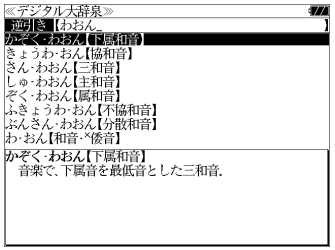
［逆引き］が反転表示されます。



3 文字/数字入力キーを使って、調べたいことばの末尾の読みを入力します。

例：ローマ字で、「WAONN」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。



●入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

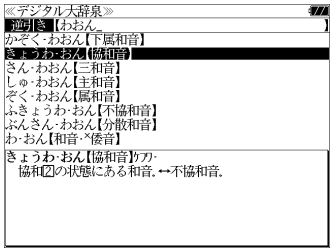
4 ▽ / △ **を使って、調べたい見出し語を選択します。**

例：「きょうわ - おん【協和音】」を選択

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



5 決定・訳 **を押します。**

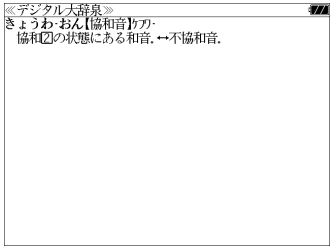
選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：大辞泉の見出し語順



- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと大辞泉に登録された見出し語の順で、次または1つ前の見出し語が表示されます。手順**3**で表示した見出しリストの順ではありません。

慣用句を検索する

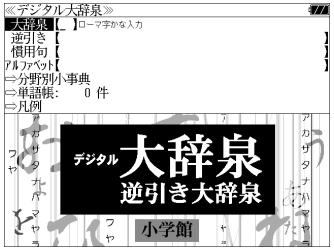
単語（単／複数）の読みを入力してその読みを含む慣用句を検索することができます。

（見出し語を検索した後で、ジャンプ機能を使って慣用句を調べることもできます。）

例：「おや」と「こ」を含む慣用句を調べる

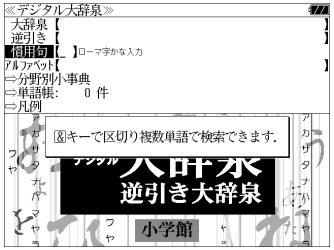
1 大辞泉·明鏡 **を１回または２回押して、「大辞泉」の画面にします。**

大辞泉·明鏡 を押すたびに「大辞泉」と「明鏡国語辞典」の初期画面が交互に表示されます。



2 ▽ / △ **を使って、［慣用句］を選択します。**

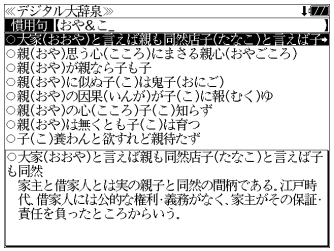
［慣用句］が反転表示されます。



3 **文字／数字入力キーを使って、調べたい慣用句に含まれる単語の読みを入力します。**

例：ローマ字で、「OYA＆KO」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、入力した読みを含む慣用句リストと、プレビュー（慣用句解説の一部）が表示されます。



- 複数の単語を ?*& を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての単語を含む慣用句リストが表示されます。
- 入力した単語を含む慣用句がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

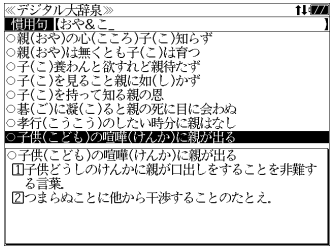
4 ▽ / △ を使って、調べたい慣用句を選択します。

例：「子供（こども）の喧嘩（けんか）に親が出る」を選択

＜慣用句リストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



5 決定・訳 を押します。

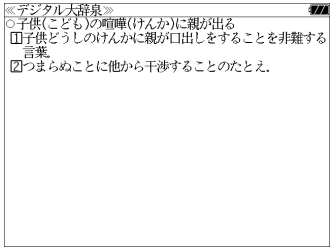
選択した慣用句の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：慣用句リスト順



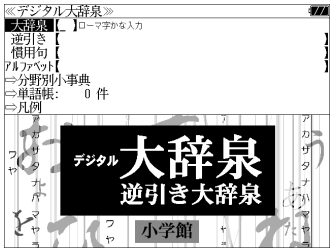
- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または 1 つ前の慣用句解説を表示することができます。手順 **3** で表示した慣用句リストの順で表示されます。

アルファベットで見出し語を検索する

例：「cutting」の意味を調べる

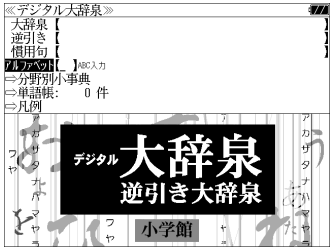
1 大辞泉・明鏡 を 1 回または 2 回押して、「大辞泉」の画面にします。

大辞泉・明鏡 を押すたびに「大辞泉」と「明鏡国語辞典」の初期画面が交互に表示されます。



2 ▽ / △ を使って、［アルファベット］を選択します。

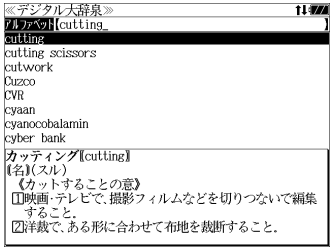
［アルファベット］が反転表示されます。



3 文字 / 数字入力キーを使って、調べたいことばの読みを入力します。

例：「CUTTING」と入力

該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。

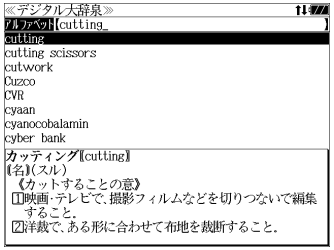


- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「＊」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

4 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「cutting」を選択



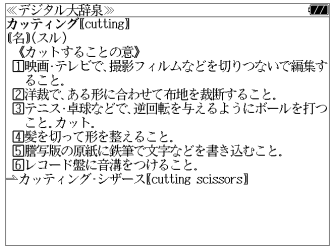
＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

次見出し / 前見出し ：ページごと

5 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の解説が全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

次見出し / 前見出し ：見出しリスト順

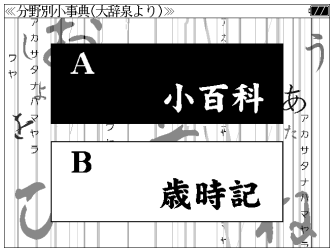
分野別小事典から検索する

小百科、歳時記の2分野に該当する見出し語を大辞泉の見出し語から集め、小事典としてまとめてあります。

例：秋の季語の「ききょう【桔梗】」を調べる

1 大辞泉の初期画面から ▽ / △ を使って［分野別小事典］を選択し、決定・訳 を押します。

分野別小事典の画面が表示され、［A 小百科］が反転表示されます。

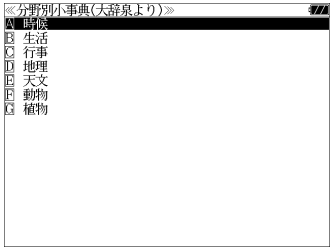


2 ▽ / △ / 前ページ / 次ページ を使って［B 歳時記］を選択し、決定・訳 を押します。

（または B を押します。）

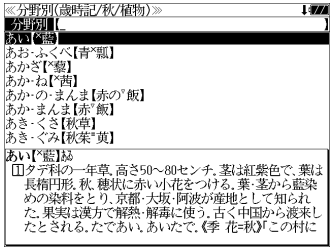
3 ▽ / △ を使って［D 秋］を選選択し、決定・訳 を押します。

（または D を押します。）



4 ▽ / △ を使って［G 植物］を選択し、決定・訳 を押します。

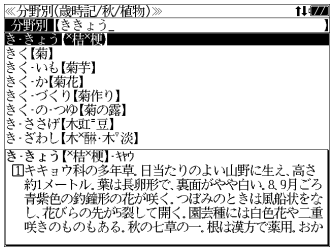
（または G を押します。）



5 文字 / 数字入力キーを使って、調べたいことばの読みを入力します。

例：ローマ字で、「KIKYOU」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。



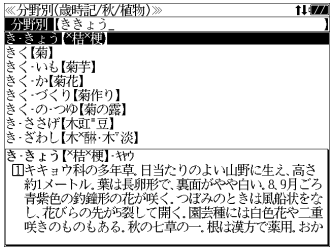
- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

6 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「き - きょう【桔梗】」を選択

この例では既に目的の見出し語「ききょう【桔梗】」が選択されています。



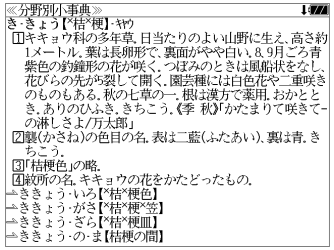
＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

次見出し / 前見出し ：ページごと

7 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

次見出し / 前見出し ：見出しリスト順

「明鏡国語辞典」を使う

大修館書店「明鏡国語辞典」の内容を収録しました。（図表、付録は除く）

- 同音異義語は見出し語のリスト表示で、検索も簡単です。

【類語】
- 入力した単語の類語を調べることができます。

【敬語コラム】
- 敬語に関するコラムを一つにまとめました。

見出し語を検索する

調べたいことばの読みをローマ字入力して、見出し語を検索することができます。

例：「公報」の意味を調べる

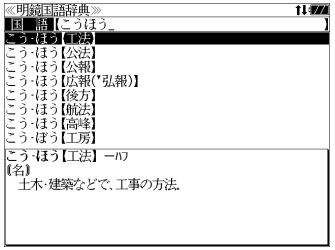
1 大辞泉・明鏡 を 1 回または 2 回押して、「明鏡国語辞典」の画面にします。

大辞泉・明鏡 を押すたびに「明鏡国語辞典」と「大辞泉」の初期画面が交互に表示されます。

2 文字入力キーを使って、調べたいことばの読みを入力します。

例：ローマ字で、「KOUHOU」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

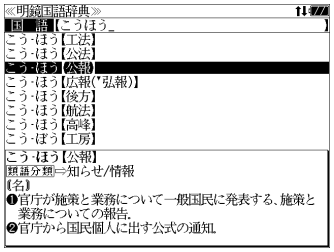
3 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「こう - ほう【公報】」を選択

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



4 決定・訳 を押します。

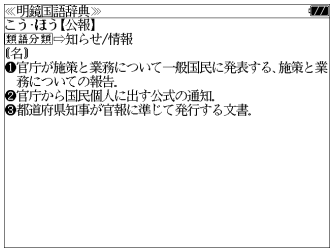
選択した見出し語の解説が全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：見出しリスト順



●ジャンプ機能（☞ 188ページ）を使って見出し語「公報」の類語を調べることができます。

類語を検索する

[類語]を使って、調べたいことばの読みをローマ字入力して、類語を検索することができます。

例：「仲介」の類語を調べる

1 大辞泉・明鏡 を 1 回または 2 回押して、「明鏡国語辞典」の画面にします。

大辞泉・明鏡 を押すたびに「明鏡国語辞典」と「大辞泉」の初期画面が交互に表示されます。

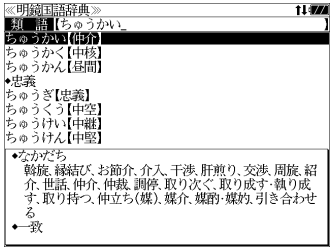
2 ▽ / △ を使って、［類語］を選択します。

［類語］が反転表示されます。

3 文字入力キーを使って、調べたいことばの読みを入力します。

例：ローマ字で、「CHUUKAI」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当するリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。



●類語グループを代表する大分類の頭には ● マークが付きます。

●類語グループに属する中分類の頭には ◆ マークが付きます。

●入力した文字列が類語の情報を持たない場合は、類語の情報を持つ最も近い単語から順に表示されます。リストをスクロールすると、入力文字を含まない単語も順に表示されます。

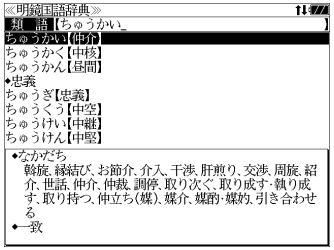
●「？」または「＊」を入力した場合、該当する候補がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

4 ▽ / △ **を使って、調べたい見出し語を選択します。**

例：「ちゅうかい【仲介】」を選択

この例では既に目的の見出し語「ちゅうかい【仲介】」が選択されています。



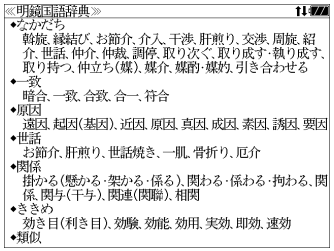
＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

5 決定・訳 **を押します。**

「仲介」が属する中分類「◆なかだち」から始まる類語群が全画面表示されます。



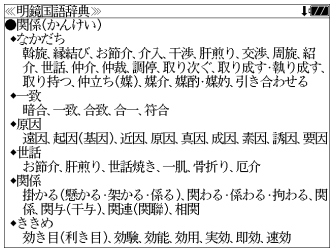
＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

6 △ **を押します。**

中分類「◆なかだち」の属する大分類が「●関係」であることがわかります。



- 全画面表示から ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、登録されている順で、次の大分類または 1 つ前の大分類が表示されます。手順 **4** で表示したリストの順ではありません。
- ジャンプ機能（☞ 188 ページ）を使って類語の意味を調べることができます。

敬語コラムを見る

[敬語コラム]を使って、敬語表現を選択して見ることができます。

例：「姉」の敬語表現を調べる

1 大辞泉・明鏡 **を 1 回または 2 回押して、「明鏡国語辞典」の画面にします。**

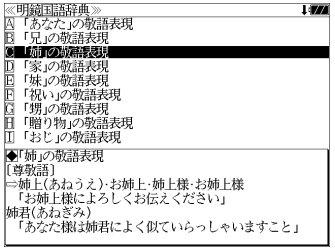
大辞泉・明鏡 を押すたびに「明鏡国語辞典」と「大辞泉」の初期画面が交互に表示されます。

2 ▽ / △ **を使って、［敬語コラム］を選択します。、** 決定・訳 **を押します。**

[敬語コラム]が反転表示されます。

3 決定・訳 **を押し、** ▽ / △ **を使って、調べたい敬語表現を選択します。**

例：「C 「姉」の敬語表現」を選択



＜リストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

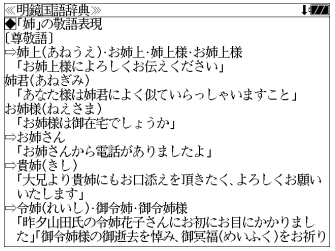
前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

- 敬語表現の先頭の数字と同じ数字キーを押すと直接、選択できます。

4 決定・訳 **を押します。**

選択した敬語表現の解説が全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：敬語リスト順

MEMO

「新 漢語林」を使う

大修館書店「新 漢語林」を収録しました。

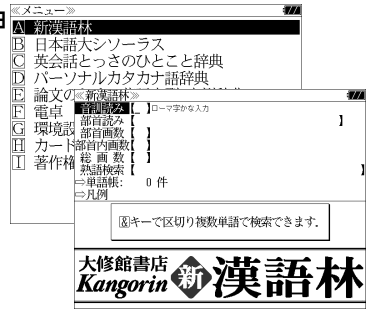
- 目的の漢字を５種類の検索方法で単独または自由に組み合わせて検索できます。
- 漢字の「部首解説」は［例文・解説］キーを使って簡単に見ることができます。
- 付随する熟語は［成句・熟語］キーを使って簡単に見ることができます。

漢字を部首画数、部首内画数で検索する

例：「縞」を部首画数と部首内画数で調べる

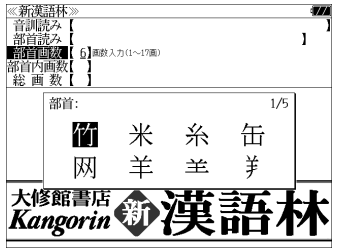
1 **メニュー を押して、決定・訳 または A を押します。**

「新漢語林」の画面が表示されます。



2 **▽ / △ または 次見出し / 前見出し を使って、［部首画数］を選択します。**

［部首画数］が反転表示されます。



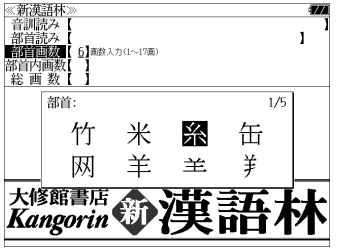
3 **文字 / 数字入力キーを使って、［部首画数］を入力します。**

例： γ 6 (6) を入力

６画の部首リストが表示されます。

4 **▽ / △ / 前ページ / 次ページ を使って、部首を選択します。**

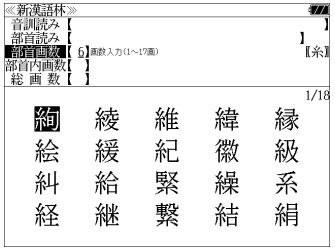
例：「糸」を選択



- 次見出し / 前見出し を使うと、部首リストをページごと送ることができます。

5 決定・訳 を押します。

部首が「糸」の漢字候補が表示されます。



- 漢字が表示される順序は、シフトJISの文字コード順です。

6 ▼次見出し / ▲前見出し を使って、併用する検索方法［部首内画数］を選択します。

［部首内画数］が反転表示されます。
部首内画数とは総画数から部首画数を引いたものです。

7 文字/数字入力キーを使って、［部首内画数］を入力します。

例： Q 1 P 0 （10）を入力

部首が「糸」で部首内画数が10画の漢字候補が表示されます。

8 ▽ / △ / ◁前ページ / ▷次ページ を使って、目的の漢字を選択します。

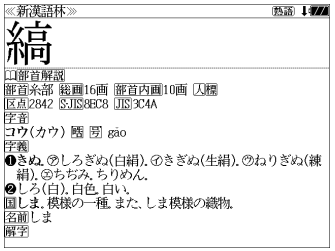
例：「縞」を選択

9 決定・訳 を押します。

選択した漢字の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ
◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと



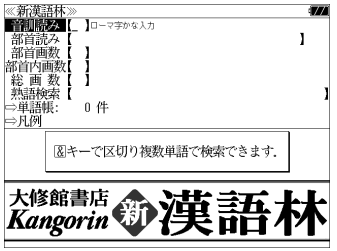
- 解説の全画面表示で ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、新漢語林に登録されている順で、次の漢字または1つ前の漢字の解説が表示されます。

漢字を音訓読み、部首読みで検索する

例：「縁」を音訓読みと部首読みで調べる

1 「新漢語林」の初期画面を表示させます。

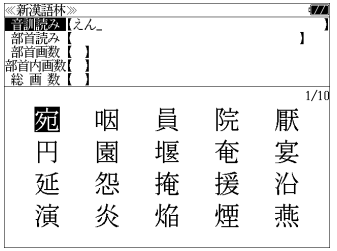
- 「新漢語林」の初期画面は、☞143ページ



2 文字/数字入力キーを使って、漢字の読みを入力します。

例：ローマ字で「ENN」と入力

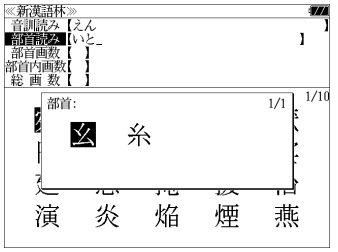
読みが「えん」に該当する漢字候補が表示されます。



- 漢字の読みが2つ以上ある場合、「&」で区切って複数の読みを入力して候補を絞ることもできます。
- 入力した文字は、カーソルを移動して修正することができません。修正するときは、削除して入れなおしてください。

3 ▼次見出し / ▲前見出し を使って、併用する検索方法［部首読み］を選択します。

［部首読み］が反転表示されます。



4 文字/数字入力キーを使って、部首の読みを入力します。

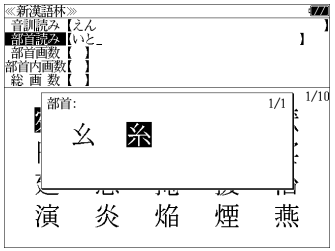
例：ローマ字で「ITO」と入力

読みが「いと」の部首を持つ部首が表示されます。

5 **[▽] / [△] / [前ページ] / [次ページ] を使って、部首を選択します。**

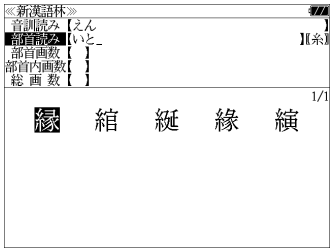
例：「糸」を選択

- [▼次見出し] / [▲前見出し] を使うと、部首リストをページごと送ることができます。



6 **[決定・訳] を押します。**

読みが「えん」で部首が「糸」の漢字候補が表示されます。



7 **[▽] / [△] / [前ページ] / [次ページ] を使って、目的の漢字を選択します。**

この例では既に目的の漢字「縁」が選択されています。

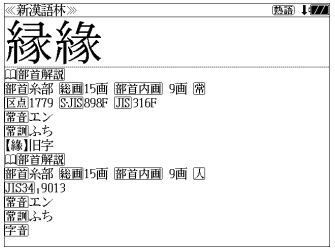
8 **[決定・訳] を押します。**

選択した漢字の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ
[前ページ] / [次ページ] ：ページごと

- 解説の全画面表示で [▼次見出し] / [▲前見出し] を使うと、新漢語林に登録されている順で、次の漢字または 1 つ前の漢字の解説が表示されます。



漢字の部首解説を見る

漢字の「部首解説」は別画面で見ることができます。

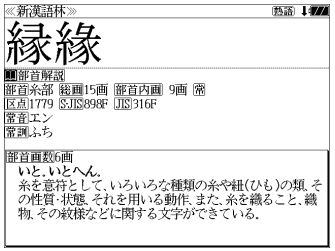
例：「縁」の漢字の「部首解説」を見る

1 **「縁」の全画面表示から [部首解説] を押します。**

漢字の「部首解説」のプレビューが表示されます。

- 再度 [部首解説] または [戻る・クリア] を押すと全画面表示に戻ります。
- 解説は、全画面表示に解説マークがあるときに見ることができます。解説マークが表示されていないときは、予め画面をスクロールし、解説マークが見えるようにします。

  解説マーク: 🕮
- 画面に解説マークがない場合は、「例文・解説がありません。」と表示されます。



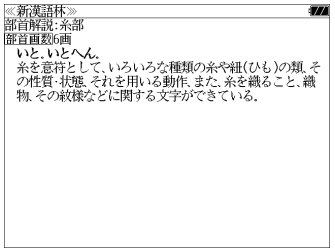
2 **[決定・訳] を押します。**

選択した「部首解説」の内容が、全画面表示されます。

＜スクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ
[前ページ] / [次ページ] ：ページごと

- [▼次見出し] / [▲前見出し] を使うと、新漢語林に登録されている順で、次の漢字または 1 つ前の漢字の解説が表示されます。

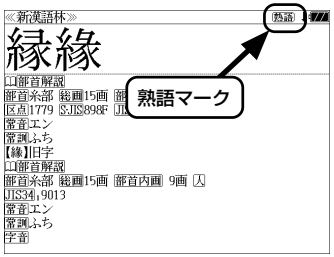


特定の漢字から始まる熟語を検索する

調べた漢字から始まる熟語を検索することができます。

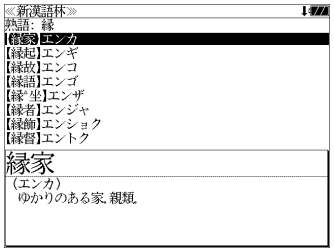
例：「縁」から始まる熟語を調べる

調べた漢字から始まる熟語があるときは、解説の全画面表示の右上に、[熟語] マークが表示されています。



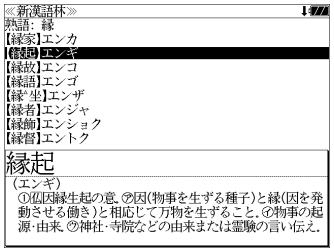
1 漢字の解説の全画面表示から 成句熟語 を押します。

調べた漢字から始まる熟語リストとプレビュー（熟語解説の一部）が表示されます。



2 ▽ / △ を使って、調べたい熟語を選択します。

例：「【縁起】エンギ」を選択

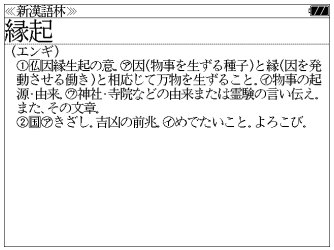


＜熟語リストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ
前ページ / 次ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

3 決定・訳 を押します。

選択した熟語の解説が、全画面表示されます。



＜全文画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ
前ページ / 次ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：熟語リスト順

- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、全画面表示のまま、次または1つ前の熟語解説を表示することができます。手順 **1** で表示した熟語リストの順で表示されます。

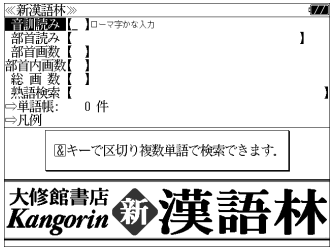
新漢語林に収録されている熟語を検索する

新漢語林に収録されている熟語を検索します。

例：「演技」を調べる

1 「新漢語林」の初期画面を表示させます。

- 「新漢語林」の初期画面は、☞143ページ



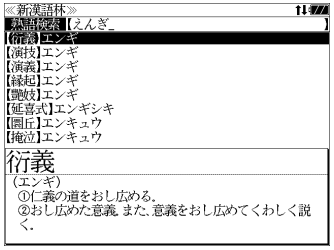
2 ▽ / △ または ▼次見出し / ▲前見出し を使って、[熟語検索] を選択します。

[熟語検索] が反転表示されます。

3 文字/数字入力キーを使って、調べたい熟語の読みを入力します。

例：ローマ字で、「ENGI」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する熟語リストと、プレビュー（熟語解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する熟語がない場合は、もっとも近い熟語から順に表示されます。熟語リストをスクロールすると、入力文字を含まない熟語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する熟語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ
「一部を省略した入力」27ページ

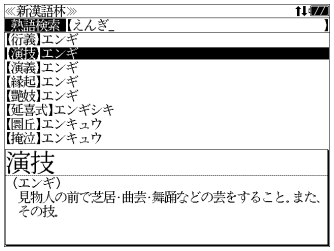
4 **▽ / △ を使って、調べたい熟語を選択します。**

例：「【演技】エンギ」を選択

＜熟語リストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



5 **決定・訳 を押します。**

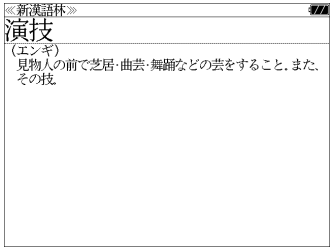
選択した熟語の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：熟語リスト順



- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと新漢語林に登録された順で、次または 1 つ前の熟語が表示されます。手順**3**で表示した熟語リストの順ではありません。

「日本語大シソーラス」を使う

大修館書店「類語検索大辞典 日本語大シソーラス」の内容を収録しました。

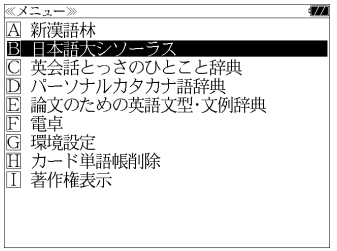
- 類語のグループを入力した単語、または言葉の分類から検索できます。

単語を入力して検索する

例：「納得」の類語を調べる

1 **メニュー を押し、▽ / △ を使って「日本語大シソーラス」を選択します。**

［日本語大シソーラス］が反転表示されます。



2 **決定・訳 を押します。**

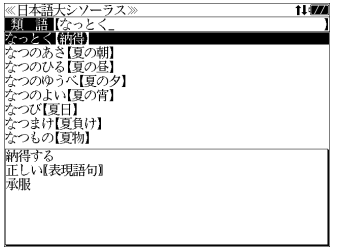
「日本語大シソーラス」の画面が表示され、［類語］が反転表示されます。

- 直接 B を押しても選択することができます。

3 **文字 / 数字入力キーを使って、調べたいことばの読みを入力します。**

例：ローマ字で、「NATTOKU」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。



- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「＊」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

4 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

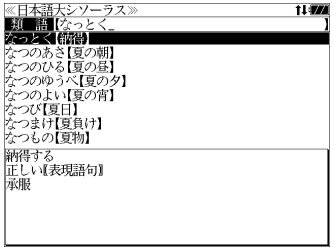
例：「なっとく【納得】」を選択

この例では既に目的の見出し語「なっとく【納得】」が選択されています。

＜見出しリストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



5 決定・訳 を押します。

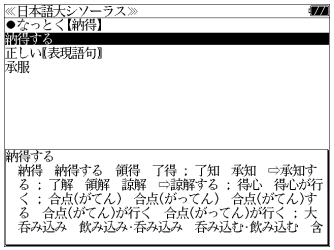
「納得」の類語「納得する」「正しい【表現語句】」「承服」とその解説の一部（プレビュー画面）が表示されます。

- 類語グループを代表する単語の頭には ● マークが付きます。

＜全画面のスクロール＞

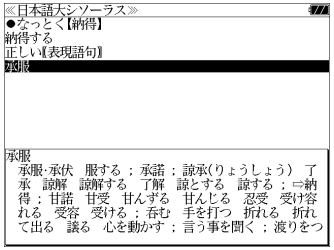
▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと



6 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「承服」を選択



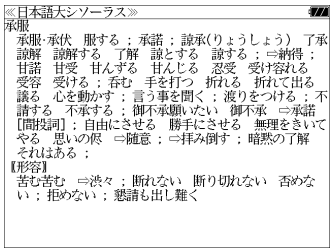
7 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の類語や解説が全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

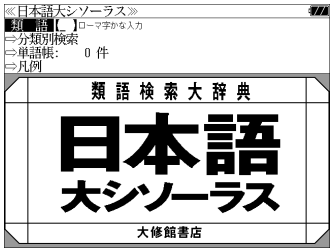


言葉の分類から検索する

例：「有能」に分類される類語を調べる

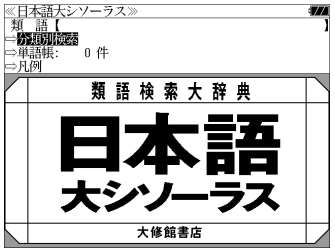
1 「日本語大シソーラス」の初期画面を表示させます。

- 「日本語大シソーラス」の初期画面は、☞151ページ



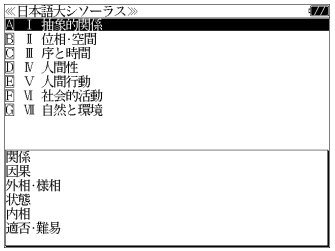
2 ▽ / △ を使って［分類別検索］を選択します。

［分類別検索］が反転表示されます。



3 決定・訳 を押します。

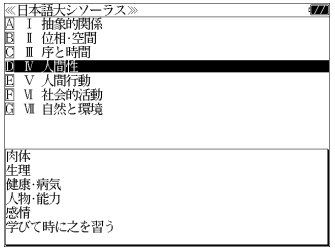
7の大分類が表示されます。



4 ▽ / △ を使って、大分類を選択します。

例：「D Ⅳ 人間性」を選択

大分類に属する類語とプレビューが表示されます。



5 決定・訳 を押し、▽ / △ を使って、**中分類を選択します。**

例：「D 人物・能力」を選択

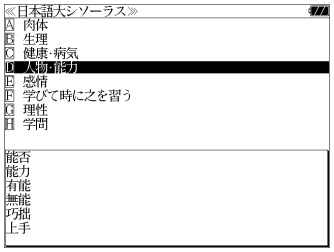
中分類に属する類語とプレビューが表示されます。

- 大分類の先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。

＜中分類のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ 前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



6 決定・訳 を押し、▽ / △ を使って、**小分類を選択します。**

例：「C 有能」を選択

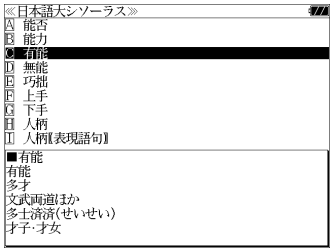
小分類に属する類語とプレビューが表示されます。

- 中分類の先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。

＜小分類のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ 前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



7 決定・訳 を押し、▽ / △ を使って、**項目を選択します。**

例：「C 多才」を選択

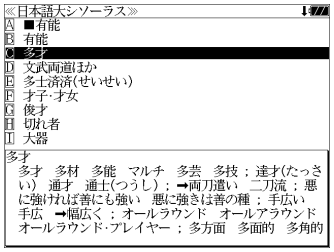
項目に属する類語とプレビューが表示されます。

- 小分類の先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。

＜項目リストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ 前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと



8 決定・訳 を押します。

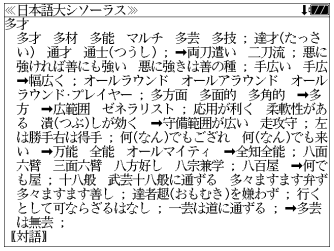
「多才」の類語解説が全画面表示されます。

- 項目の先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ 前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：見出しリスト順



「英会話とっさのひとこと辞典」を使う

DHC「英会話とっさのひとこと辞典」巽一朗、巽スカイ・ヘザー著 の内容を収録しました。

- 会話文はその場面別の検索に加え、会話で使われている日本語と英語の単語から簡単に検索できます。

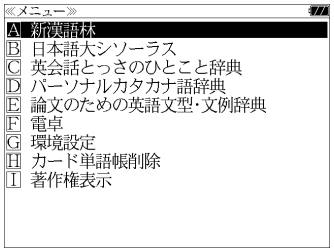
会話文（日本語）の語句から検索する

使いたい語句（単／複数）を入力して会話文を検索することができます。

例：「みる」と「えいが」を使う会話文を調べる

1 メニュー を押し、▽ / △ または ▼次見出し / ▲前見出し **を使って、「英会話とっさのひとこと辞典」を選択します。**

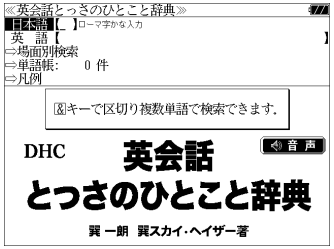
「英会話とっさのひとこと辞典」が反転表示されます。



2 決定・訳 **を押します。**

「英会話とっさのひとこと辞典」の画面が表示され、［日本語］が反転表示されます。

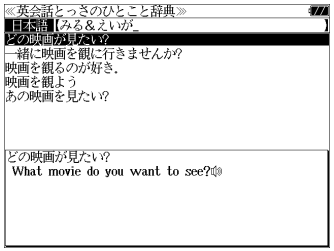
- 直接 C を押しても選択することができます。
- 反転表示されていない場合は △ を使って反転表示にします。



3 **文字／数字入力キーを使って、使いたい語句を入力します。**

例：ローマ字で、「MIRU&EIGA」と入力

入力した語句を含む日本語会話文リストと、プレビューが表示されます。



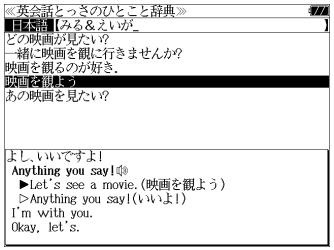
- 複数の語句を チェック ?*& を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての語句を含む日本語会話文リストが表示されます。
- 見出し文、会話例、類似表現の日本語会話文が検索対象になります。

●入力した語句を含む日本語会話文がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ

4 ▽ / △ を使って、調べたい会話文を選択します。

例：「映画を観よう」を選択



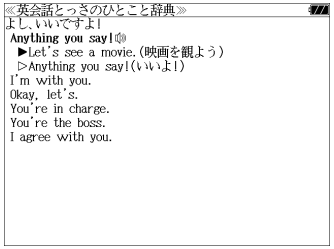
＜会話文リストのスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ
▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

5 決定・訳 発音 を押します。

選択した会話文（を含む見出し文）の解説画面が表示されます。

●「映画を観よう」を選択すると見出し文「よし、いいですよ！」の解説画面が表示されます。



① 選択した「**日本語見出し文**」
② 対応する「**英語見出し文**」（太字）
③ 見出し文を使った「**会話例**」
▷ 英語見出し文を使った会話文です。
▶ 対応する会話文です。
④ 英語見出し文の「**類似表現**」
英語見出し文とほぼ同じ意味を持つ言い換え表現。但し、全く同じ意味とは限りません。

＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ
◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと
▼次見出し / ▲前見出し ：会話文リスト順

＜画面上の記号の説明＞

←→ ：反意文を表します。
→ ：応答表現です。

●▼次見出し / ▲前見出し を使うと、リストの次または1つ前の会話文（を含む見出し文）の解説画面を表示することができます。

手順**3**で表示した会話文リストの順ですが、次または1つ前の会話文が同じ見出し文の解説の中にある場合は、次または1つ前の見出し文の解説画面を表示します。

決定・訳 発音 （発音）を押すと、🔊 マーク付きの会話文を発音します。

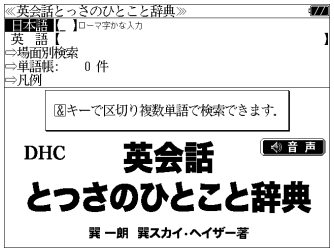
会話文（英語）の語句から検索する

使いたい語句（単／複数）を入力して会話文を検索することができます。

例：「have」と「money」を使う会話文を調べる

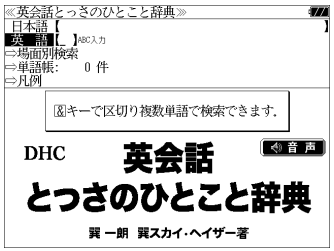
1 「英会話とっさのひとこと辞典」の初期画面を表示させます。

●「英会話とっさのひとこと辞典」の初期画面は、
☞155ページ



2 ▽ / △ または ▼次見出し / ▲前見出し を使って、［英語］を選択します。

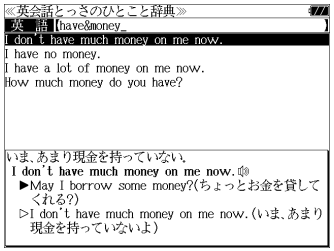
［英語］が反転表示されます。



3 文字／数字入力キーを使って、使いたい英単語を入力します。

例：「have&money」と入力

入力した英単語を含む英語会話文リストと、プレビューが表示されます。



●複数の英単語を チェック ?*& を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む英語会話文リストが表示されます。

●「＆」を入力する前は前方一致です。

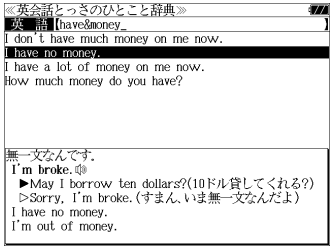
●見出し文、会話例、類似表現の英語会話文が検索対象になります。

●入力した英単語を含む英語会話文がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞「文字入力」26ページ
「入力文字の訂正」26ページ

4 ▽ / △ を使って、調べたい会話文を選択します。

例：「I have no money.」を選択



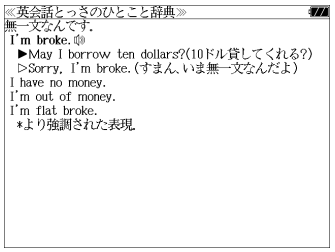
＜会話文リストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

5 決定・訳 を押します。

選択した会話文（を含む見出し文）の解説画面が表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

◁前ページ / ▷次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：会話文リスト順

- ▼次見出し / ▲前見出し を使うと、リストの次または 1 つ前の会話文（を含む見出し文）の解説画面を表示することができます。

  手順**3**で表示した会話文リストの順ですが、次または 1 つ前の会話文が同じ見出し文の解説の中にある場合は、次または 1 つ前の見出し文の解説画面を表示します。

決定・訳（発音）を押すと、🔊 マーク付きの会話文を発音します。

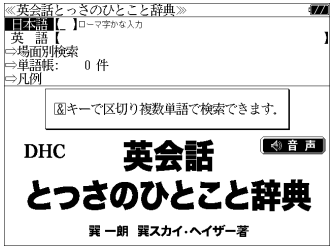
場面から検索する

会話を使う場面から会話文を検索できます。

例：「道をたずねる」表現を調べる

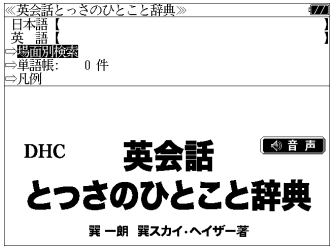
1 「英会話とっさのひとこと辞典」の初期画面を表示させます。

- 「英会話とっさのひとこと辞典」の初期画面は、☞155 ページ



2 ▽ / △ または ▼次見出し / ▲前見出し を使って、［場面別検索］を選択します。

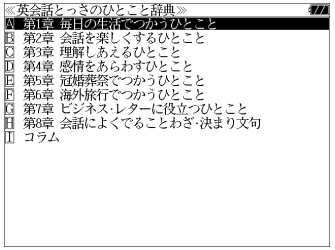
［場面別検索］が反転表示されます。



3 決定・訳 を押します。

場面別に 8 つの章が表示されます。

- 第8章の後にコラムが収録されています。内容は「あんな英語、こんな英語」「意外な英語」「会話をつなぐ英語」「動物の鳴き声をあらわす英語」「人の動きをあらわす英語」「物の動きをあらわす英語」の6コラムです。

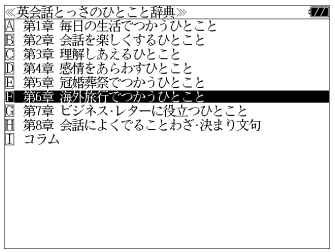


4 ▽ / △ と 決定・訳 を使って、調べたい場面を探していきます。

例：

- **章**を選択

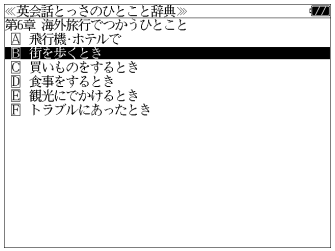
  「F 第６章 海外旅行でつかうひとこと」を選択します。



↓

- **中カテゴリー**を選択

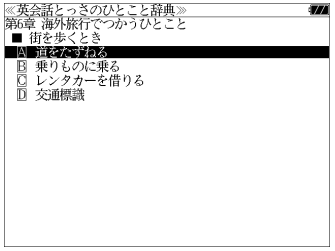
「B 街を歩くとき」を選択します。



↓

- **小カテゴリー**を選択

「A 道をたずねる」を選択します。



＜場面リストのスクロール＞

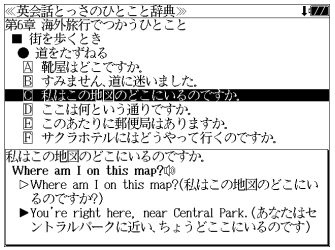
▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

●文頭のアルファベットと同じキーでも選択できます。

5 ▽ / △ を使って、調べたい日本語見出し文を選択します。

例：「C 私はこの地図のどこにいるのですか。」を選択



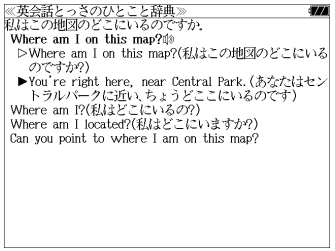
＜見出し文リストのスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

▼次見出し / ▲前見出し ：ページごと

6 決定・訳 を押します。

見出し文の解説画面が表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1 行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

▼次見出し / ▲前見出し ：会話文リスト順

●▼次見出し / ▲前見出し を使うと、同じ小カテゴリー内の次または 1 つ前の見出し文の解説画面を表示することができます。手順 **5** で表示した見出し文リストの順で表示されます。

決定・訳（発音）を押すと、🔊 マーク付きの会話文を発音します。

「カタカナ語辞典」を使う

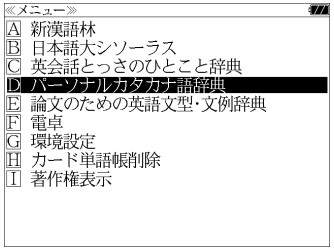
学習研究社「パーソナルカタカナ語辞典」の内容を収録しました。（図表は除く）

- カタカナ語の他に、アルファベットの略語の意味を調べることもできます。

例：カタカナ語の「サーバー」を調べる

1 メニュー を押し、▽ / △ または ▼次見出し / ▲前見出し を使って、「D パーソナルカタカナ語辞典」を選択します。

「D パーソナルカタカナ語辞典辞典」が反転表示されます。



2 決定・訳 を押します。

「パーソナルカタカナ語辞典」の画面が表示され、［読み］が反転表示されます。

- 直接 D を押しても選択することができます。

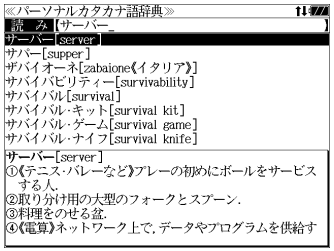
3 ▽ / △ または ▼次見出し / ▲前見出し を使って、［読み］または［略語］を選択します。

例：そのまま［読み］を選択

4 文字 / 数字入力キーを使って、調べたいカタカナ語の読みを入力します。

例：ローマ字で、「SA-BA-」と入力

ローマ字がカタカナに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。



- アルファベットの略語を検索する場合は、略語の入力エリアに英文字で入力します。
- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、もっとも近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「?」または「*」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」26 ページ
「入力文字の訂正」26 ページ
「一部を省略した入力」27 ページ

5 [▽] / [△] を使って、調べたい見出し語を選択します。

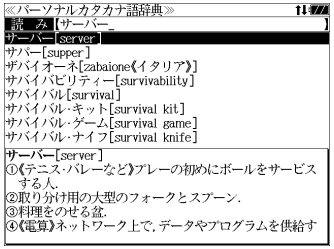
例：「サーバー【server】」を選択

この例では既に目的の見出し語「サーバー【server】」が選択されています。

＜見出しリストのスクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ

[次見出し] / [前見出し] ：ページごと



6 [決定・訳] を押します。

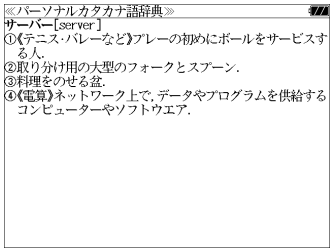
選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ

[前ページ] / [次ページ] ：ページごと

[次見出し] / [前見出し] ：見出しリスト順



「英語文型・文例辞典」を使う

小倉書店「科学技術論文、報告書その他の文書に必要な英語文型・文例辞典」の内容を収録しました。

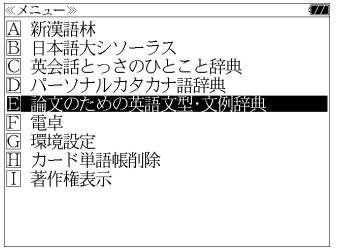
- 目次から文型、文例を検索できます。
- 入力した英単語（単数または複数）を使った例文を「英語文型・文例辞典」の中から検索します。

目次から検索する

例：「書簡文に必要な文型・文例集」を調べる

1 [メニュー] を押し、[▽] / [△] または [次見出し] / [前見出し] を使って「E 論文のための英語文型・文例辞典」を選択します。

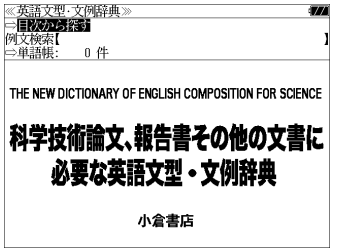
「E 論文のための英語文型･文例辞典」が反転表示されます。



2 [決定・訳] を押します。

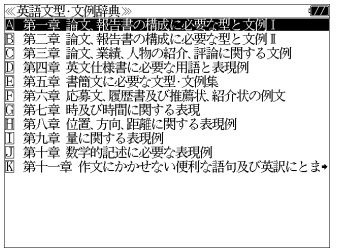
「英語文型・文例辞典」の初期画面が表示され、［目次から探す］が反転表示されます。

- 直接 [E 3] を押しても選択することができます。
- 反転表示されていない場合は [△] を使って反転表示にします。



3 [決定・訳] を押します。

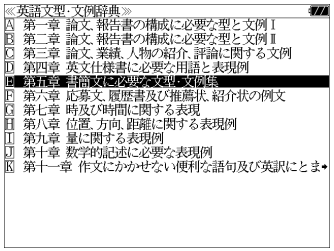
第一章から第十一章までのタイトルが表示されます。



4 ▽ / △ **を使って、調べたい章を選択します。**

例：「E 第五章 書簡文に必要な文型・文例集」を選択

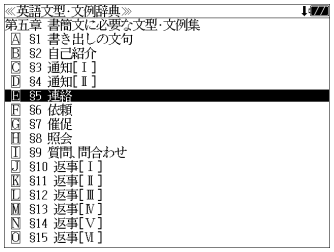
- 文頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。



5 決定・訳 **を押し、** ▽ / △ **を使って、調べたい項目を選択します。**

例：「E §5 連絡」を選択

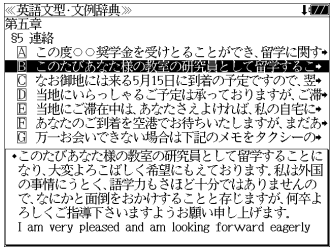
- 文頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。



6 決定・訳 **を押し、** ▽ / △ **を使って、調べたい文例を選択します。**

例：「B このたびあなた様の教室の研究員として留学するこ➡」を選択

- 文頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと直接選択できます。



＜文型・文例リストのスクロール＞

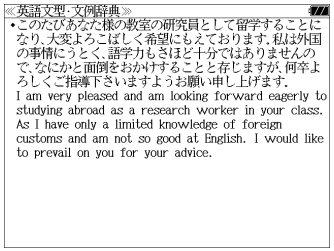
▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / ページ ：ページごと

▼見出し / ▲前見出し ：ページごと

7 決定・訳 **を押します。**

選択した文例の解説が全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / ページ ：ページごと

▼見出し / ▲前見出し ：手順 **5** の文型・文例リスト順

例文を検索する

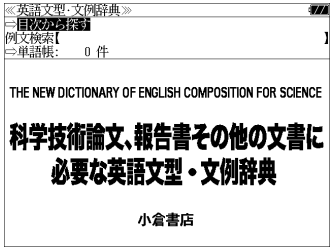
入力した英単語（単数または複数）を使った例文を、英語文型・文例辞典に収録された全ての例文から検索します。

例：「study」と「report」を含む例文を調べる

1 **「英語文型・文例辞典」の初期画面を表示させます。**

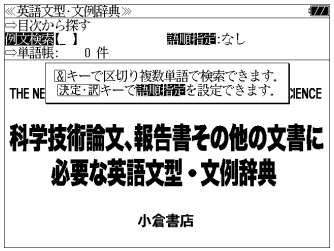
［目次から探す］が反転表示されます。

- 「英語文型・文例辞典」の初期画面は、☞163ページ



2 ▽ / △ **を使って、［例文検索］を選択します。**

［例文検索］が反転表示されます。

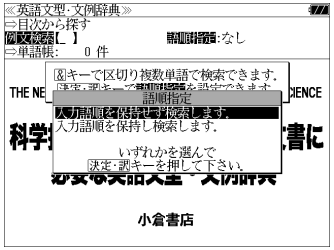


3 決定・訳 **を押し、** ▽ / △ **を使って、［語順指定］を設定します。**

例：「入力語順を保持せず検索します。」を選択

- 複数の単語を入力した場合、「入力語順を保持せず検索します。」を選択すると、入力した順に関係なく単語を使う例文を検索します。

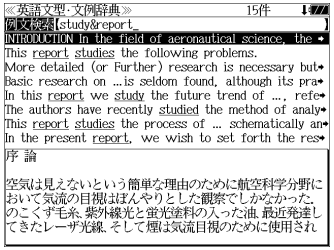
「入力語順を保持し検索します。」を選択すると、入力した順に単語を使う例文を検索します。



4 決定・訳 **を押し、文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。**

例：「study&report」と入力

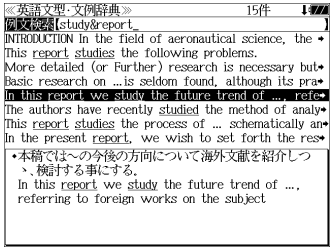
入力した英単語を含む例文リストと、プレビュー（例文解説の一部）が表示されます。



- 例文中の入力した英単語には下線が付きます。
- 複数の英単語を [チェック ?*&] を使って「＆」で区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む例文リストが表示されます。
- 「＆」を入力する前は前方一致です。
- 英単語の変化形を使っている例文も検索します。
  例：「take」と入力
  take、takes、taking、took、takenを使っている例文を検索します。
- 入力した英単語を含む例文がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

5 [▽] / [△] を使って、調べたい例文を選択します。

例：「In this report we study the future trend of ..., refe ➡」を選択

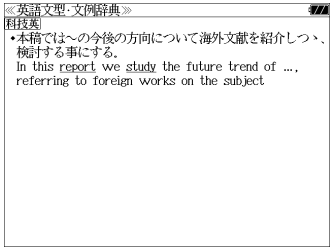


＜例文リストのスクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ
[▼次見出し] / [▲前見出し] ：ページごと

6 [決定・訳 =] を押します。

選択した例文の解説が、全画面表示されます。



＜全画面のスクロール＞

[▽] / [△] ：1 行ずつ
[前ページ] / [次ページ] ：ページごと
[▼次見出し] / [▲前見出し] ：見出しリスト順

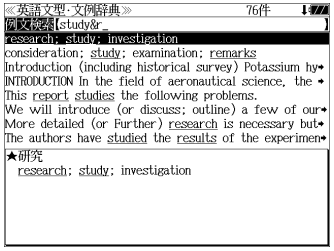
- [▼次見出し] / [▲前見出し] を使うと、全画面表示のまま、次または 1 つ前の例文を表示することができます。手順 **4** で表示した例文リストの順で表示されます。

不完全な英単語を入力した場合

入力文字の最後の英単語が不完全なスペルでも、例文を検索することができます。英単語をひとつだけ入力した場合も、不完全なスペルで例文を検索できます。

例：「study&r」と入力

ただし、「＆」の前の英単語が不完全な場合は検索できません。



電卓 を使う

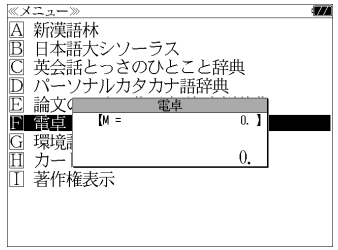
12 桁 1 メモリーの四則演算ができます。

電卓機能を選択する

[メニュー] を押します。

[▽] / [△] または [▼次見出し] / [▲前見出し] を使って［F. 電卓］を選択し、[決定・訳 =] を押します。
（または [F M+] を押します。）

電卓画面が表示されます。



電卓用キーの使い方

[Q 1] (1) ～ [P 0] (0)、[A .] (.) ..... 数字と小数点を入力する。
[V ÷] (÷)、[B ×] (×)、[N −] (−)、[M +] (+) ..... 四則演算を指定する。
[決定・訳 =] (=) ..... 計算を実行し結果を表示する。
[G +/−] (+/−) ..... 入力した数値の＋／－を反転する。
[F M+] (M+) ..... メモリーに現在の計算結果を加算する。
[D MR] (MR) ..... メモリーの内容を呼び出す。
[S MC] (MC) ..... メモリーの内容をクリアする。
[Z C/CE] ..... 1 度押すと直前の入力数値や、計算エラーをクリアする。2 度押すと全てをクリアする。（但し、メモリー内に記憶された数値は保持されます。）

メモリー計算

- [F M+] （M+）を使ってメモリーに数値を記憶させると、記憶させた数値の合計値が画面の上段に表示されます。
- メモリーに入れた計算結果は、電源を切ったり電卓モードを終了しても記憶しています。（但し、リセット操作を行った場合には、消去されます。）
- メモリーの内容を消去したい場合は、[S MC] (MC) を押します。

クリア、訂正

- クリア（ご破算）して、はじめから計算をやり直すときは、[Z C/CE]（C）を２回押します。
- メモリーの内容を消したいときは、[S MC]（MC）を押します。
- 数値を入れ間違えたときは、[Z C/CE]（C）を１回押して正しく入れ直します。四則演算のキーを間違えたときは、そのまま正しいキーを入れ直します。
- 計算途中または計算結果が表示された画面から、英和辞書など他のモードに切り換えた場合、画面はオールクリア（ご破算）になります。（但し、メモリー内に記憶された数値は保持されます。）

エラー表示とその解除

次の場合にエラーマーク［E］が表示されます。

・計算結果がオーバーフローした
・メモリー内容がオーバーフローした
・除数０で割り算をした

エラーマークを解除しないと計算できません。エラーマークを解除するには、[Z C/CE]（C）を１回押します。

計算例

計算の種類	計算例	キー操作	表示結果*
加減乗除	25 × 42 − 50	25 [B ×] 42 [N −] 50 [決定・訳 =]	1,000.
負数計算	(− 25)÷(− 4)	25 [G +/−] [V ÷] 4 [G +/−] [決定・訳 =]	6.25
メモリー計算	メモリー内に数値が残っている場合（M=数値を表示）[S MC] でメモリーの内容をクリアしてから、次のメモリー計算を行います。		
	(12 × 11)+(51 × 8)	12 [B ×] 11 [F M+]	M=132. 132.
		51 [B ×] 8 [F M+] [D MR]	M=540. 540.
	540 ÷ 27	[V ÷] 27 [決定・訳 =]	M=540. 20.
	540 × 12	[D MR] [B ×] 12 [決定・訳 =]	M=540. 6,480.

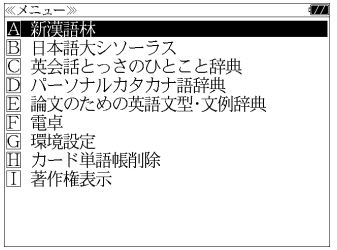
*表示結果のコンマ（,）は、画面上では数値の上に表示されます。

操作環境の設定と著作権表示

「環境設定」では、操作確認音のオン / オフ、オートパワーオフ時間、オートデモのオン / オフ、メモリ消去を設定し、使いやすい操作環境に調整することができます。
また「著作権表示」では、本機に収録の辞書の著作権表示を見ることができます。

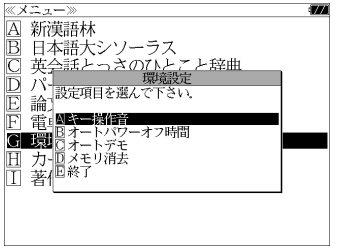
環境設定の設定項目を表示する

[メニュー] を押します。



[▽] / [△] または [▼次見出し] / [▲前見出し] を使って［G. 環境設定］を選択し、[決定・訳 =] を押します。（または [G +/−] を押します。）

［環境設定］の設定項目が表示されます。
設定項目は [▽] / [△] を使って選択します。



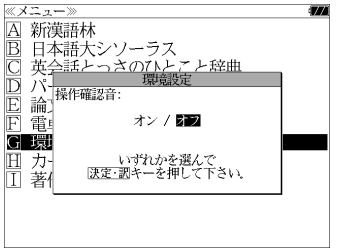
操作確認音のオン / オフを設定する

環境設定メニューで［A キー操作音］を選択し、[決定・訳 =] を押します。（または [A ·] を押します。）

本機は、キー入力に対して操作確認の音を出すことができます。

[◁ 前ページ] / [▷ 次ページ] で［オン］か［オフ］を選択し、[決定・訳 =] を押します。

音を出したいときは［オン］、消したいときは［オフ］を選択します。

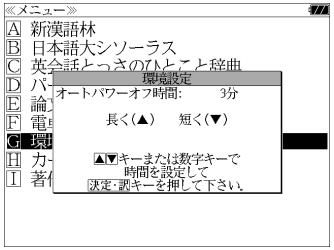


電源が切れるまでの時間（オートパワーオフ）を設定する

環境設定メニューで［B オートパワーオフ時間］を選択し、決定・訳 を押します。（または B を押します。）

本機は、何も操作せずしばらく時間が経つと自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間を、1分～99分の範囲で設定することができます。

文字/数字入力キーで時間（分）を入力するか、▽ / △ を使って時間を設定します。時間を設定したら 決定・訳 を押します。

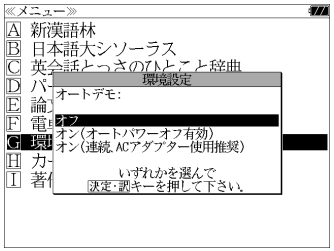


オートデモのオン / オフを設定する

環境設定メニューで［C オートデモ］を選択し、決定・訳 を押します。（または C を押します。）

オートデモのオン/オフを設定することができます。

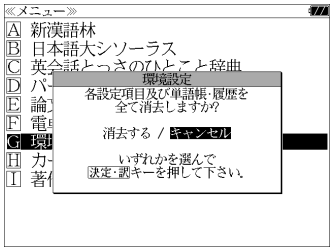
▽ / △ を使って［オフ］か［オン（オートパワーオフ有効）］、［オン（連続、ACアダプター使用推奨）］を選択し、決定・訳 を押します。



メモリ内容を消去する

環境設定メニューで［D メモリ消去］を選択し、決定・訳 を押します。（または D を押します。）

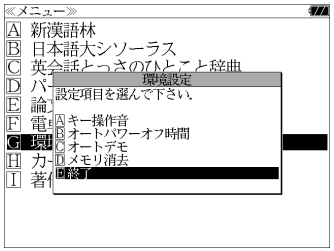
前ページ / 次ページ で［消去］か［キャンセル］を選択し、決定・訳 を押します。



環境設定を終了する

環境設定メニューで［E 終了］を選択し、決定・訳 を押します。（または E を押します。）

- 辞書のモードキーを押すと、環境設定を終了し直接その辞書モードに入ることができます。

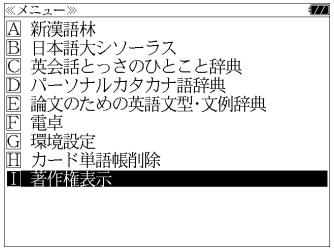


著作権表示を見る

メニュー を押します。

▽ / △ または 次見出し / 前見出し を使って［I 著作権表示］を選択し、決定・訳 を押します。（または I を押します。）

著作権表示が順に表示されます。

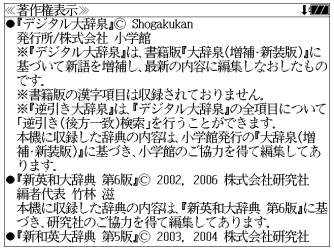


＜著作権表示のスクロール＞

▽ / △ ：1行ずつ

前ページ / 次ページ ：ページごと

次見出し / 前見出し ：ページごと

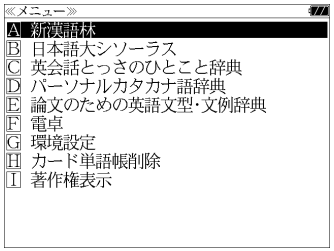


カード単語帳削除

シルカカード内蔵の各辞書から単語帳に登録された単語を全て削除する場合、メニューから実行することができます。

1 [メニュー] を押します。

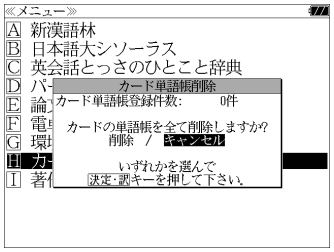
メニュー画面が表示されます。



2 [▽] / [△] または [▼次見出し] / [▲前見出し] を使って［H. カード単語帳削除］を選択し、[決定・訳] を押します。

（または [H] を押します。）

- カード単語帳登録件数には、実際にカードを使って単語帳に登録した件数が表示されます。

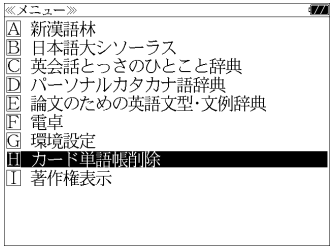


3 [前ページ] / [次ページ] で［削除］を選択して、[決定・訳] を押します。

シルカカード内蔵の各辞書から単語帳に登録された単語が全て削除され、メニュー画面に戻ります。

（削除をやめる場合）

[前ページ] / [次ページ] 使って「キャンセル」を選択し、[決定・訳] を押します。



お気に入り辞書登録

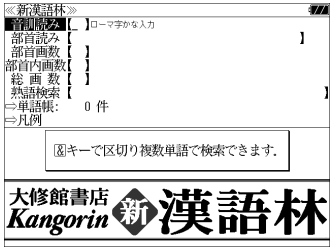
よく使う辞書２冊を「お気に入り 1」または「お気に入り 2」として割り当て、使いやすくすることができます。

例：「新 漢語林」をお気に入り 1 に登録する

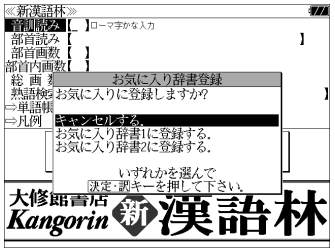
1 お気に入り辞書に割り当てたい辞書の初期画面を表示させます。

例：「新 漢語林」

- 「新漢語林」の初期画面は。☞143 ページ



2 [登録・削除] を押します。



3 [▽] / [△] を使って、登録するキーを選択し、[決定・訳] を押します。

例：「お気に入り辞書 1 に登録する。」を選択

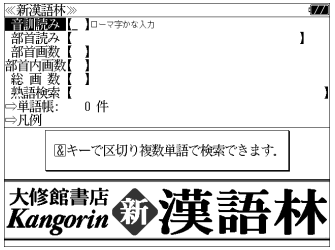
（辞書の登録をやめる場合）

[▽] / [△] を 使って「キャンセルする。」を選択し、[決定・訳] を押します。

- 他の辞書を登録することにより、お気に入り辞書は変更することができます。

4 [お気に入り 1] を押します。

登録したお気に入り辞書が表示されるようになります。



ジャンプ機能（辞書から辞書へ関連語検索）

辞書内ジャンプ：

日本語、英単語や参照記号から、同じ辞書の中の解説画面や訳画面にジャンプします。

辞書間ジャンプ：

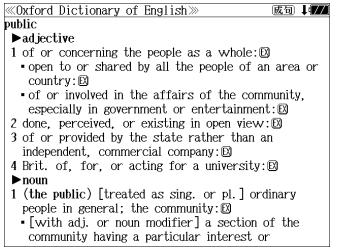
解説 / 訳画面の中の日本語の語句、英単語や漢字から、他の辞書の見出し語や漢字を検索し、その解説 / 訳画面にジャンプします。

- ジャンプ先辞書記号は、☞28ページ
- ⇨例文検索　　**例文検索**へジャンプします。
  ⇨成句検索　　**成句検索**へジャンプします。
- シルカカードの場合は、辞書記号の頭にカードマーク（ ■ ）が表示されます。

英単語を調べる（1）辞書内 / 辞書間ジャンプ

全画面表示中の英単語を英和辞典、英和活用辞典、英英辞典、類語辞典、百科事典、カタカナ語辞典または例文検索を使って調べることができます。

例：Oxford Dictionary of Englishの「public」の全画面表示（☞ 82ページ）

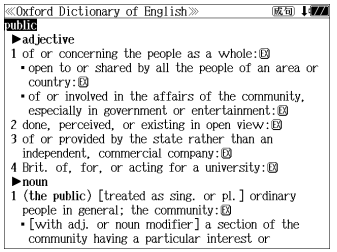


例：Oxford Dictionary of English画面中の「community」を英和辞典で調べる

1 [ジャンプ] **を押します。**

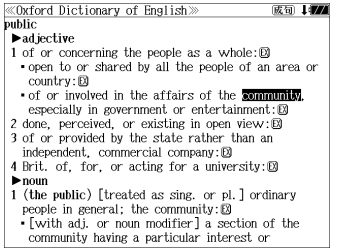
画面にある最初の英単語が、選択（反転表示）されます。

- 再度 [ジャンプ] または [戻る・クリア] を押すと元に戻ります。



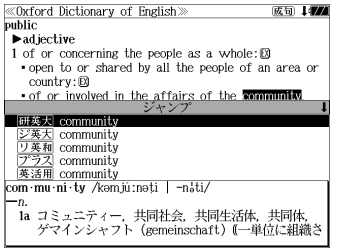
2 [▽] / [△] / [前ページ] / [次ページ] **を使って英単語を選択します。**

例：「community」を選択



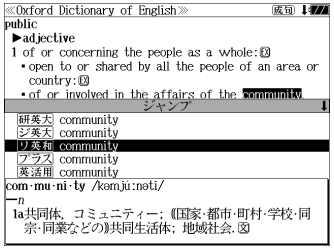
3 [決定・訳 / 発音] **を押します。**

選択した語に該当するジャンプ先の候補（見出し語）が表示されます。



4 ▽ / △ を使って見出し語を選択します。

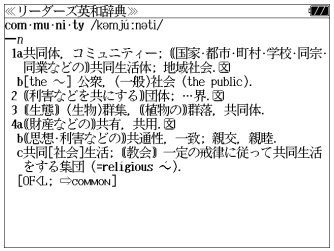
例：「リ英和 community」を選択。



5 決定・訳 を押します。

ジャンプ先の辞書画面が表示されます。

- 選択された英単語の綴りで、自動的に英和辞典、英和活用辞典、英英辞典、類語辞典、百科事典、カタカナ語辞典または例文を検索しています。意味的にリンク（関連付け）しているわけではないので、ご注意ください。

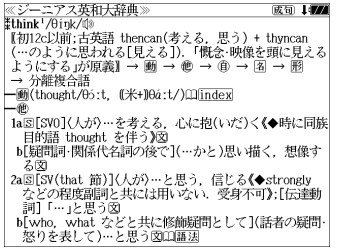


英単語を調べる（2） 辞書内ジャンプ

（英和品詞ジャンプ）

冒頭の「品詞の略号」を選択して、見たい品詞の画面をすばやく検索することができます。

例：ジーニアス英和大辞典の「think[1]」の全画面表示

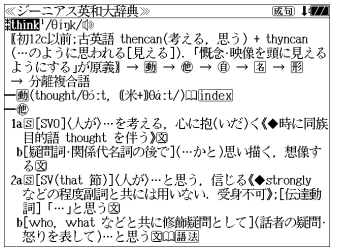


例：ジーニアス英和大辞典の「think[1]」の名詞解説の画面にジャンプする

1 ジャンプ を押します。

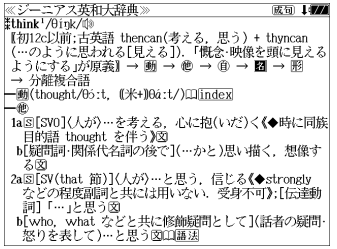
画面にある最初の英単語が、選択（反転表示）されます。

- 再度 ジャンプ または 戻る・クリア を押すと元に戻ります。



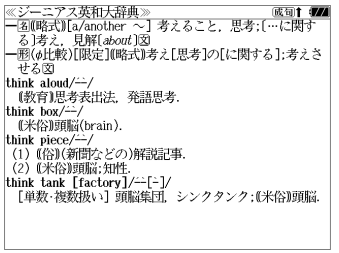
2 ▽ / △ / 前ページ / 次ページ を使って品詞の略号を選択します。

例：名詞の略号（ 名 ）を選択



3 決定・訳 を押します。

選択した品詞部分の解説が表示されます。

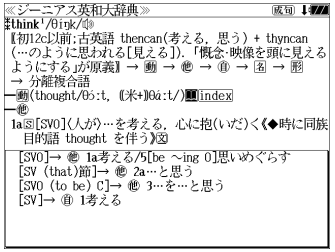


英単語を調べる（3） 辞書内ジャンプ

（英和文型インデックスジャンプ）

重要な動詞には冒頭に文型インデックスがあります。文型を選択して、見たい画面をすばやく検索することができます。

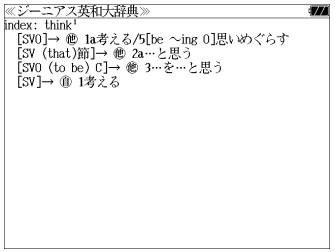
例：ジーニアス英和大辞典の「think[1]」の全画面表示から 次候補 を押してindexの解説マーク（ 🕮 ）を選択します。



例：ジーニアス英和大辞典の「think[1]」の動詞解説の画面にジャンプする

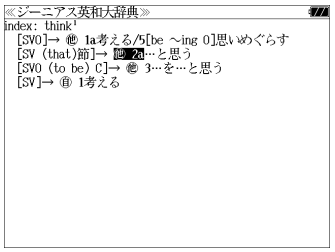
1 決定·訳 を押します。

動詞の文型のインデックスが表示されます。



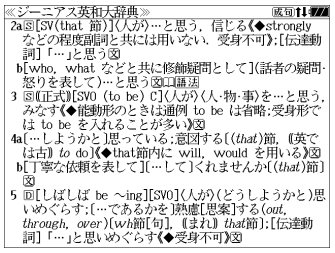
2 ジャンプ を押し、▽ / △ / 前ページ / 次ページ を使って動詞の型を選択します。

例：「他 2a」を選択



3 決定·訳 を押します。

選択した動詞の型の部分の解説が表示されます。

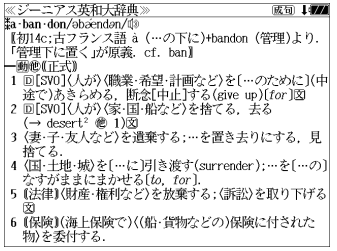


英単語を調べる（4） 辞書内ジャンプ

（英和語義ジャンプ）

文中の参照先の単語を選択して、該当する語義の画面をすばやく検索することができます。

例：ジーニアス英和大辞典の「abandon」の全画面表示

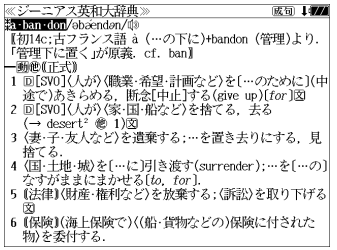


例：ジーニアス英和大辞典の「desert[2]」の該当する語義解説の画面にジャンプする

1 ジャンプ を押します。

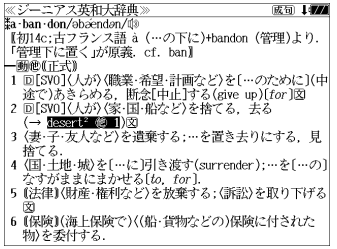
画面にある最初の英単語が、選択（反転表示）されます。

- 再度 ジャンプ または 戻る·クリア を押すと元に戻ります。



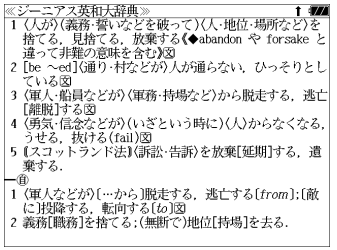
2 ▽ / △ / 前ページ / 次ページ を使って参照先の単語を選択します。

例：「desert[2] 他 1」を選択



3 決定·訳 を押します。

「desert[2]」の該当する語義の画面が表示されます。

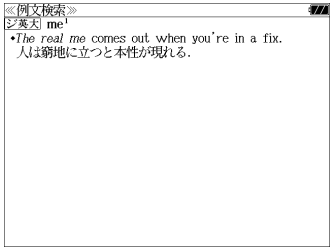


英単語を調べる（5） 辞書内ジャンプ

（見出し語ジャンプ）

英語例文検索の結果、選択した例文の全画面表示からその例文が含まれる見出し語の画面にジャンプします。

例：例文検索の全画面表示（☞ 41 ページ）

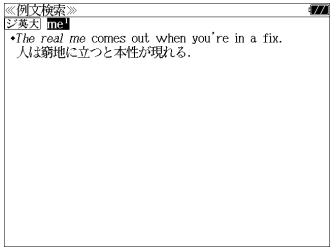


例：ジーニアス英和大辞典の見出し語「me¹」の画面にジャンプする

1 [ジャンプ] **を押します。**

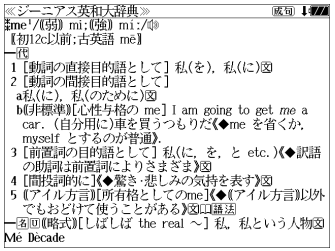
例文が含まれる見出し語が選択（反転表示）されます。

- 再度 [ジャンプ] または [戻る・クリア] を押すと元に戻ります。



2 [決定・訳] **を押します。**

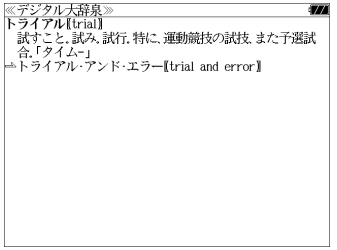
見出し語の画面が表示されます。



英単語を調べる（6） 辞書間ジャンプ

大辞泉に出てくる英単語から英和辞典、英和活用辞典、英英辞典、類語辞典、百科事典、カタカナ語辞典または例文検索の例文にジャンプします。

例：大辞泉の「トライアル」の全画面表示

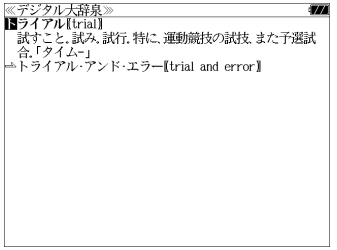


例：大辞泉の「トライアル」の表記「trial」を英英辞典で調べる

1 [ジャンプ] **を押します。**

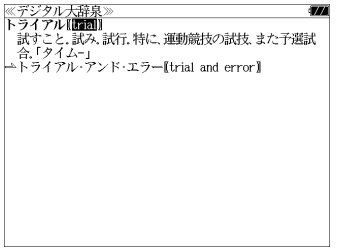
画面にある最初の 1 文字が選択（反転表示）されます。

- 再度 [ジャンプ] または [戻る・クリア] を押すと元に戻ります。



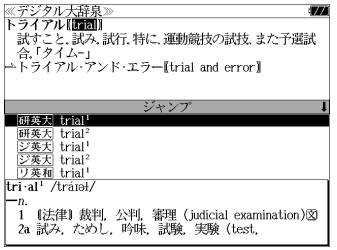
2 [▽] / [△] / [前ページ] / [次ページ] **を使って、英単語を選択します。**

例：「trial」を選択



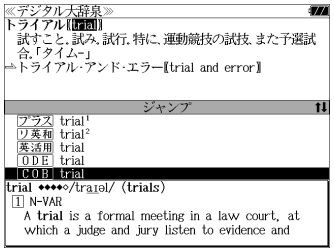
3 [決定・訳] **を押します。**

選択した語に該当するジャンプ先の候補（見出し語）が表示されます。



4 ▽ / △ を使って見出し語を選択します。

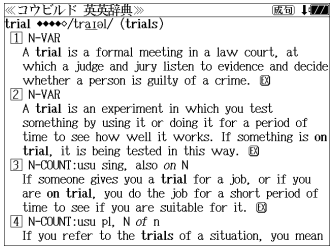
例：「COB trial」を選択



5 決定・訳 を押します。

ジャンプ先の辞書画面が表示されます。

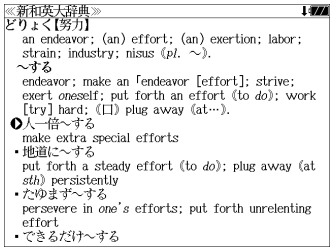
- 選択された英単語の綴りで、自動的に英和辞典、英和活用辞典、英英辞典、類語辞典、百科事典、カタカナ語辞典または例文を検索しています。意味的にリンク（関連付け）しているわけではないので、ご注意ください。



例文・成句を調べる　辞書内 / 辞書間ジャンプ

全画面表示中の英単語を使った例文検索や成句検索をすることができます。

例：新和英大辞典の「努力」の全画面表示

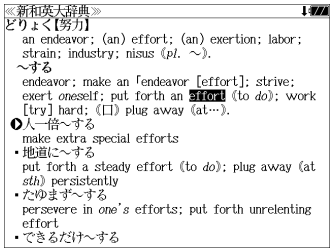


例：新和英大辞典画面中の「effort」を使った例文を調べる

1 ジャンプ を押し、▽ / △ / ◁ / ▷ を使って英単語を選択します。

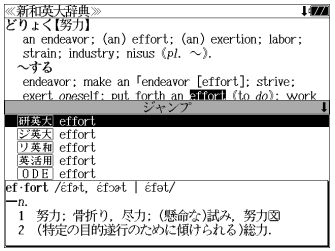
例：「effort」を選択

- 再度 ジャンプ または 戻る・クリア を押すと元に戻ります。



2 決定・訳 を押します。

選択した語に該当するジャンプ先の候補（見出し語）と例文検索が表示されます。

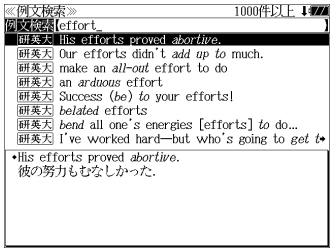


3 ▽ / △ を使って「 ⇨例文検索 」を選択します。

4 決定・訳 を押します。

選択した英単語を含む例文リストと、プレビュー（例文解説の一部）が表示されます。

- 例文リストは「英和優先」「語順指定：なし」の条件で表示されます。（☞ 40 ページ）

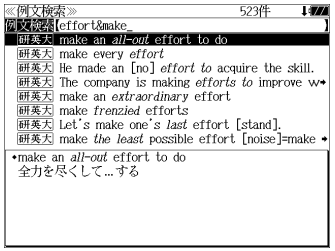


5 例文検索をする英単語の変更をすることができます。

必要に応じて、英単語を追加したり、変更、削除することができます。

例：「&make」を追加入力

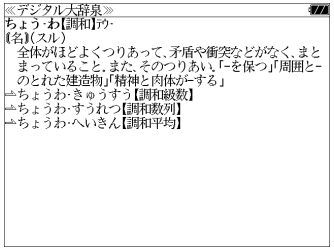
- スペルを全て削除すると、手順**3**の画面に戻ります。



日本語を調べる（1） 辞書内 / 辞書間ジャンプ

全画面表示中の日本語を大辞泉、明鏡国語辞典、日本語大シソーラス、新漢語林、カタカナ語辞典、和英辞典、百科事典を使って調べることができます。

例：大辞泉の「調和」の全画面表示
（☞ 128 ページ）

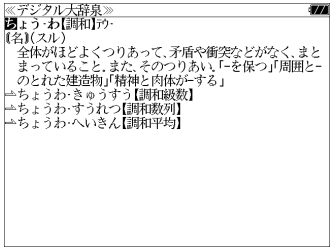


例：大辞泉の「調和」の解説画面から、「矛盾」の解説へジャンプする

1 ジャンプ を押します。

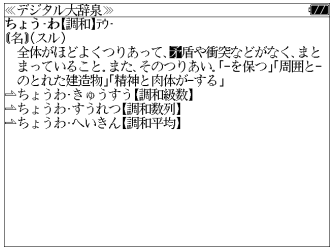
画面にある最初の 1 文字が選択（反転表示）されます。

- 再度 ジャンプ または 戻る·クリア を押すと元に戻ります。



2 ▽ / △ / ◁ / ▷ を使って、調べたい語の最初の 1 文字を選択します。

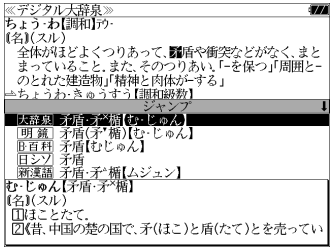
例：［矛］を選択



3 決定·訳 を押します。

選択した語に該当するジャンプ先の候補（見出し語）が表示されます。

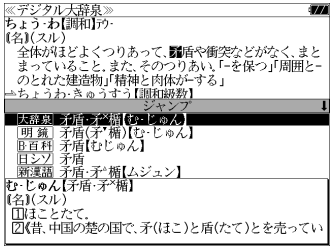
- カーソル位置の文字を先頭に画面に表示された単語を取り込み、検索します。
- 検索結果は、一致した文字数の多い見出し語から順に表示されます。



4 ▽ / △ を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「大辞泉 矛盾【む·じゅん】」を選択

この例では既に目的の見出し語「大辞泉 矛盾【む·じゅん】」が選択されています。

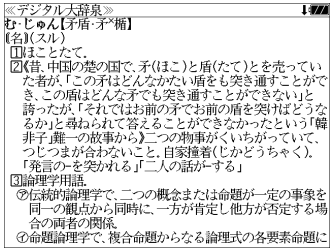


5 決定·訳 を押します。

選択した見出し語の解説が表示されます。

- 選択された文字で始まる日本語を大辞泉あるいは、他の辞書で自動的に検索しています。

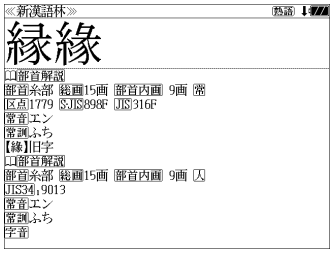
  意味的にリンク（関連付け）しているわけではないので、ご注意ください。



日本語を調べる（2） 辞書間ジャンプ

新漢語林の漢字から、大辞泉の見出し語へジャンプします。
読めない漢字から辞典を引くことができます。

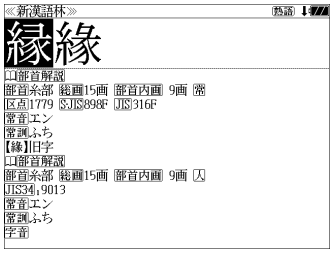
例：新漢語林の「縁」の全画面表示
（☞ 146 ページ）



例：新漢語林の「縁」から大辞泉の「縁」を含む見出し語へジャンプする

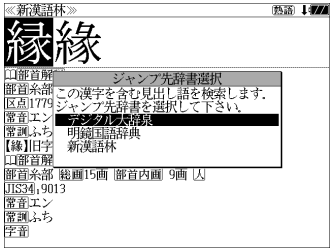
1 ジャンプ を押します。

●再度 ジャンプ または 戻る・クリア を押すと元に戻ります。



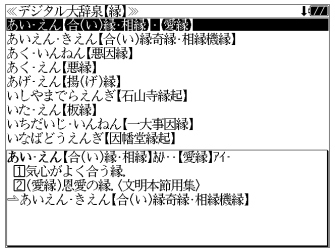
2 決定・訳 を押します。

ジャンプ先の辞書を選択する画面になります。



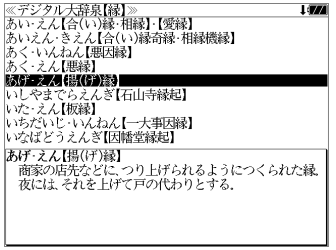
3 ▽ / △ を使ってジャンプ先の辞書を選択して 決定・訳 を押します。

この場合、単に 決定・訳 を押すと、指定された漢字を含む、大辞泉の見出しリストになります。



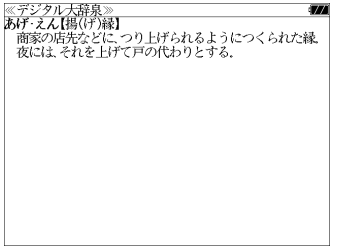
4 ▽ / △ を使って見出し語を選択します。

例：「あげ - えん【揚(げ)縁】」を選択



5 決定・訳 を押します。

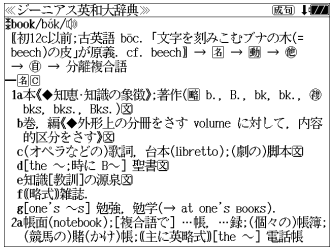
選択した見出し語の解説が全画面表示されます。



参照記号からのジャンプ 辞書内ジャンプ

参照記号が示す見出し語や慣用句などの解説（同じ辞書内）へジャンプします。

例：ジーニアス英和大辞典の「book」の全画面表示

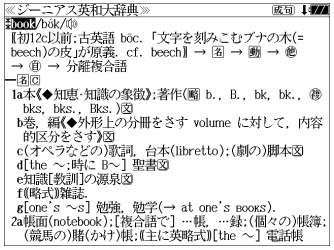


例：ジーニアス英和大辞典で、「book」の解説画面から「book」の慣用句の解説へジャンプする

1 ジャンプ を押します。

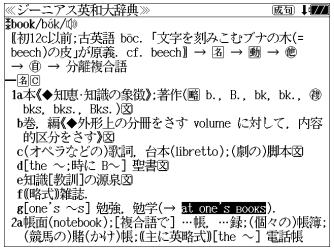
画面にある最初の１語が選択（反転表示）されます。

- 再度 ジャンプ または 戻る・クリア を押すと元に戻ります。



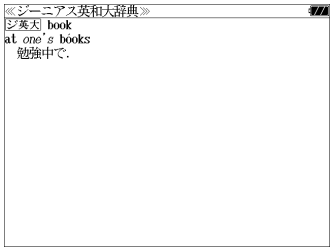
2 ▽ / △ / ◁ / ▷ を使って参照記号「→」のある語句を選択します。

例：「at one's books」を選択



3 決定・訳 を押します。

参照先の解説が表示されます。



他にも、次のような参照記号があります。

➡ ⇨ ⇨ → ⇒ cf. = ⟷

いずれも、「相手方を見よ」の意味です。解説が相手方にあります。

ジャンプ先から戻る

ジャンプ先の解説文からさらに別の解説文へジャンプすることができます。つづけて 10 回までジャンプできます。

元の解説へ戻るには 戻る・クリア を押します。何度もつづけてジャンプした場合は、その順番をさかのぼって戻ります。

- ジャンプした先の解説画面や訳画面で、文字サイズを変更する（☞ 192 ページ）と、元の画面に戻ったとき、リスト画面やカーソル反転が省略されることがあります。

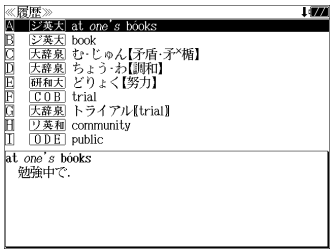
履歴機能

一度検索した見出し語は100件まで履歴として記録します。もう一度同じ単語を調べるときは、履歴を使って簡単に調べることができます。(シルカカードをお使いの場合は、シルカカードも含みます。)

1 履歴 を押します。

履歴のリストが表示されます。

- シルカカードの場合は、辞書記号の頭にカードマーク(■)が表示されます。



〔一例〕

2 / を使って、調べたい履歴を選択します。

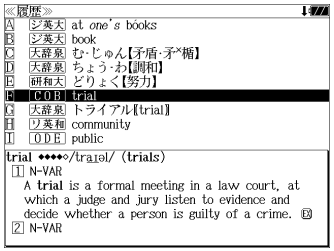
例:「COB trial」を選択

<履歴リストのスクロール>

/ :1行ずつ

/ :ページごと

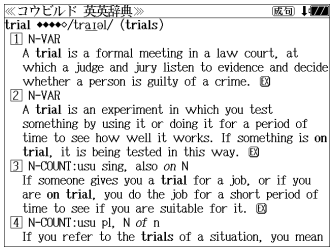
/ :ページごと



3 決定・訳 を押します。

選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

- 履歴の先頭のアルファベットマークと同じアルファベットキーを押すと全画面表示が直接表示されます。



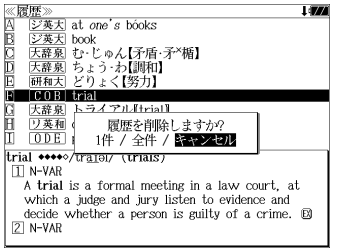
履歴の削除

(選択した単語のみ削除する)

/ を使って、単語帳から削除したい単語を選んで 登録・削除 を押します。

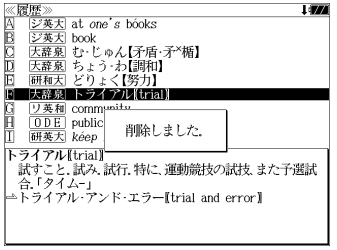
例:「COB trial」を削除する

/ を使って「1件」を選択し、決定・訳 を押します。



(全ての履歴を削除する)

/ を使って「全件」を選択し、決定・訳 を押します。



(履歴の削除をやめる)

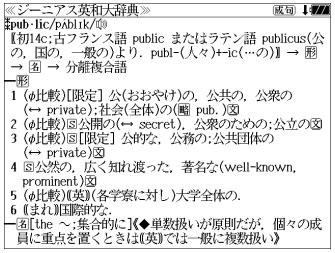
/ を使って「キャンセル」を選択し、決定・訳 を押します。

文字サイズ切替機能

文字サイズ を押すと、画面表示の文字サイズを辞書ごとに切り替えることができます。
文字サイズ を押すたびに、文字のサイズが切り替わります。

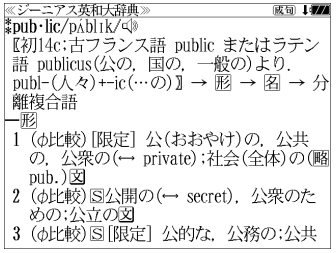
文字サイズ を押すたびに、標準表示→ 大きい表示→ もっとも大きい表示→ もっとも小さい表示→ 小さい表示→ （標準表示）と５段階に切替わります。

（例）



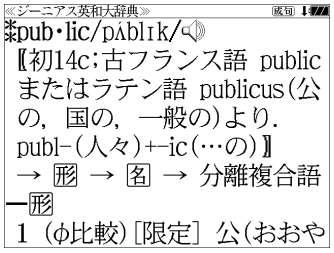
〔標準表示〕

文字サイズ →



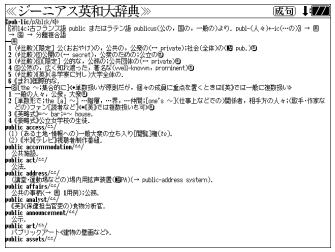
〔大きい表示〕

↓ 文字サイズ



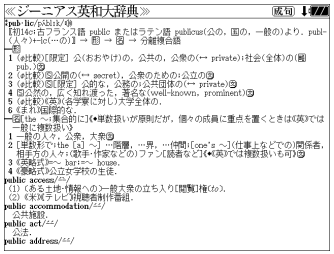
〔もっとも大きい表示〕

↓ 文字サイズ



〔もっとも小さい表示〕

文字サイズ ←



〔小さい表示〕

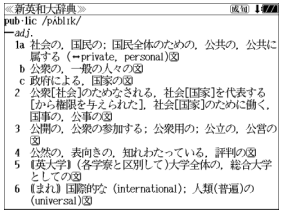
●「新漢語林」では、（もっとも小さい表示）はありません。

訳表示切替機能

辞書の全画面表示で、訳表示切替 を押して「全画面表示（標準）」、「早見表示（標準）」、「全画面表示（全文）」、「早見表示（全文）」と順番に切替えて見ることができます。（全画面表示：プレビューなしの全画面を使って表示する。早見表示：訳とその解説の１部のみの表示と解説のプレビューを表示する。標準：例文・成句は別途収録表示する。全文：例文・成句も全て表示する。）を切替えて見ることができます。「早見表示」では、訳の簡易表示から、目的の訳を選択し全文表示への移行を容易に行えます。

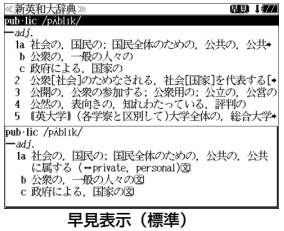
1 使用している辞書で、検索語の全画面表示にします。

例：「新英和大辞典」の全画面表示（標準）

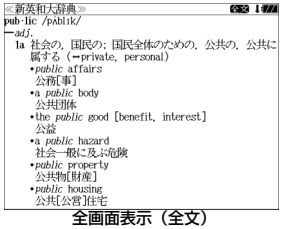


2 訳表示切替 を押します。

- 訳表示切替 を押す度に、「全画面表示（標準）」「早見表示（標準）」「全画面表示（全文）」「早見表示（全文）」が交互に切り替わります。
- 「標準」と「全文」の区別のない辞書の場合は、「全画面表示」と「早見表示」の切替となります。
- 「早見」と「全文」は、画面右上の表示でわかります。

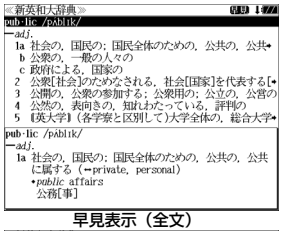


早見表示（標準）

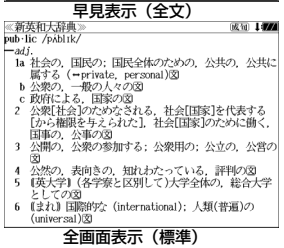


全画面表示（全文）

- 早見表示では、▽ / △ を使って簡易訳文を選択し、反転表示にさせ、決定・訳 を押すと、選択した簡易訳文を先頭にした全画面表示にすることができます。



早見表示（全文）



全画面表示（標準）

表示スタイル切替機能

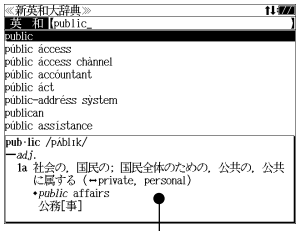
プレビュー画面を表示する画面の場合は、表示スタイル を押すとプレビュー画面を画面の下側に表示するか、画面の右側に表示するかを切替えることができます。
全画面表示*の場合は、表示スタイル を押すと全画面表示*の行間：標準/行間：大/行間：罫線を順番に切替えて表示することができます。早見表示*の場合は、プレビュー画面を表示する場合となり、表示スタイル を押すとプレビュー画面を画面の下側に表示するか、画面の右側に表示するかを切替えます。(*：全画面表示：全画面表示（標準）と全画面表示（全文）のことをさします。早見表示：早見表示（標準）と早見表示（全文）のことをさします。(「訳表示切替機能」 ☞ 193ページ))
例文・成句検索のリスト画面では、表示スタイル を押すと入力キーワードを中央にそろえて表示するセンタリング機能がはたらき、例文・成句検索の標準リスト画面と切替えて見ることができます。(入力キーワードが複数の場合は、それぞれについてセンタリング表示切替が行われます。)

(プレビュー画面を表示する画面の場合)

1 使用している辞書で、検索文字を入力しプレビュー画面表示をさせます。

例：「新英和大辞典」

- プレビュー画面内の行間設定は、全画面表示での「表示スタイル切替機能」での設定にしたがい表示されます。行間設定は、全画面表示から 表示スタイル を押して設定し直します。



2 表示スタイル を押します。

プレビュー画面が画面の右側に替わります。

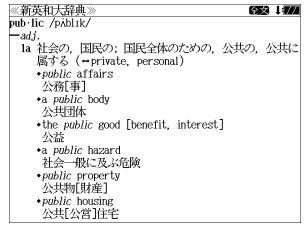
- 表示スタイル を押すたびに、プレビュー画面の位置が「下側」と「右側」に交互に切り替わります。

(全画面表示の場合)

1 使用している辞書で、全画面表示させます。

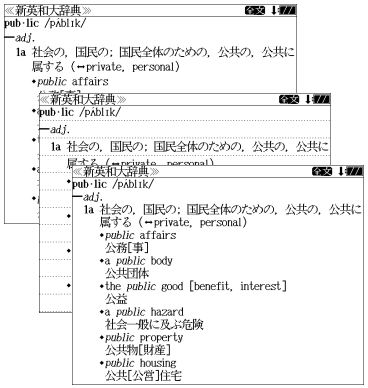
例：「新英和大辞典」の全画面表示（全文）

- 全画面表示：全画面表示（標準）と全画面表示（全文）のことをさします。「訳表示切替機能」(☞ 193ページ)



2 表示スタイル を押します。

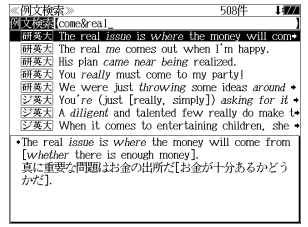
- 表示スタイル を押す度に、全画面表示の行間が大/罫線/標準に順番に切り替わります。



(例文・成句検索リスト画面の場合)

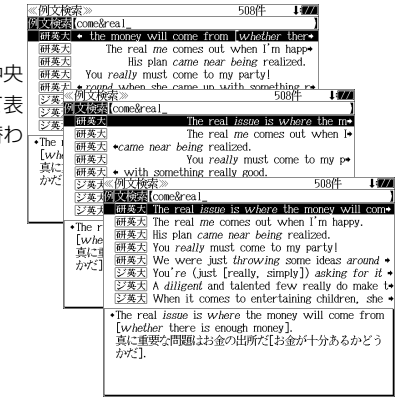
1 例文・成句検索画面で、検索文字を入力し、リスト表示画面を表示させます。

例：例文検索で「come&real」を入力



2 表示スタイル を押します。

- 表示スタイル を押す度に、入力キーワード「come」を中央にそろえて表示する/「real」を中央にそろえて表示する/標準表示（左詰め表示）に順番に切り替わります。



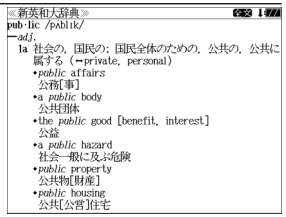
ツイン検索機能

辞書の全画面表示*で、[ツイン検索] を押すと、全画面表示*のまま「複数辞書一括検索」を起動し、画面の下半分に表示して、見出し語を入力検索することができます。ツイン検索機能は連続 10 回まで可能ですが、早見表示*では使用できません。

*：全画面表示：全画面表示（標準）と全画面表示（全文）のことをさします。早見表示：標準早見表示（標準）と早見表示（全文）のことをさします。（「訳表示切替機能」 ☞ 193ページ）

1 使用している辞書で、検索語の全画面表示にします。

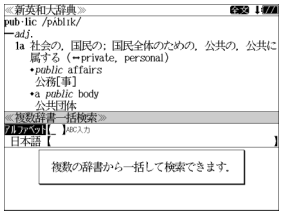
例：「新英和大辞典」の全文全画面表示



2 [ツイン検索] を押します。

複数辞書一括検索が起動し、画面の下半分一括検索の初期画面が表示されます。

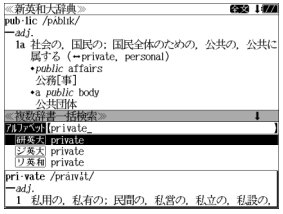
- [戻る・クリア] を押すと、前の画面に戻ることができます。



3 文字／数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペル（アルファベット）またはことば（日本語）を入力します。

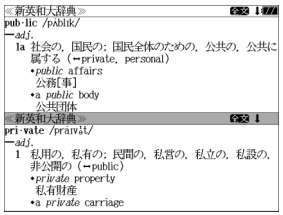
例：「研和大 private」の意味を調べる

- 「複数辞書一括検索」の使い方は、☞ 37ページを参照してください。



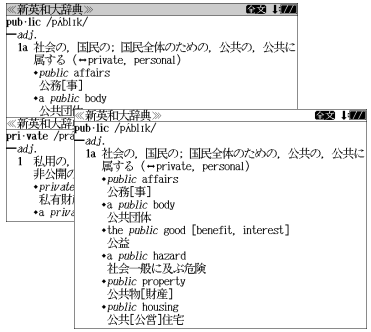
4 [決定・訳] を押すと、使用中の辞書を表示したまま、入力したことばの検索をすることができます。

- [戻る・クリア] を押すと、前の画面に戻ることができます。



5 [ツイン検索] を押す度に、操作が有効となる画面（上下の画面）を切替えることができます。さらに、[決定・訳] を押すと、有効画面をそのまま全画面表示にすることができます。

- 有効画面は、各タイトルバーが灰色表示されます。
- ツイン検索画面では、有効画面においてカーソルキー以外は使用できません。
- 有効画面を全画面表示にしたのちは、カーソルキー以外のキーも通常に使用できます。
- [戻る・クリア] を押すと、前の画面に戻ることができます。



補助機能

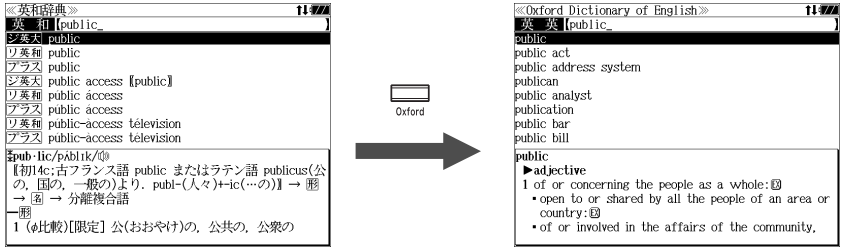
オートリピート機能（同じキーの連続入力）

[▽] / [△] / [前ページ] / [次ページ] / [▼次見出し] / [▲前見出し] のキーは、押したままにすると、繰り返し入力した場合と同じ結果（早送りする）になります。

文字列リンク機能（操作の途中で辞書切り換え）

見出しリストが表示されている状態で、辞書モードを切り換えたとき、既に入力した文字列はそのまま次の辞書モードに引き継がれます。

例：英和辞典で見出し語を入力した後、英英辞典モードに切り換えると、英和辞典で入力した見出し語が既に入力された状態で表示されます。



ただし、ローマ字入力の辞書と英字入力の辞書の間で切り換えた場合、入力文字は引き継がれません。

モードキーパワーオン機能

電源が切れた状態から各辞書のモードキーまたはメニューキーを押すと、電源オンになり各モードに直接入ります。

オープンオン機能

電源が切れた状態から本機の上蓋を開けると、電源オンになり各モードに直接入ります。上蓋を閉じても、電源オフにはなりません。

レジューム機能（電源を切る前の状態の保持）

電源を切っても、最後に使っていた状態（画面）が保持されます。

[入/切] を押して次に電源を入れたとき、前に使っていた状態の画面が表示されます。

オートパワーオフ機能（なにも操作せずしばらく時間が経つと、自動的に電源が切れる機能）

設定した時間、キー操作がない場合は自動的に電源が切れて、電源のムダな消耗を防ぎます。ただし、辞書のモードキーを押して電源を入れた場合は、電源を切る前の状態には戻りません。

ジーニアス英和大辞典のデータについて

●世界の国名英語略表記●

A＝国名
B＝略号（国際オリンピック委員会による表記）
C＝URLドメイン名
D＝国際電話国番号

A	B	C	D
Afghanistan	AFG	af	93
Albania	ALB	al	355
Algeria	ALG	dz	213
Andorra	AND	ad	376
Angola	ANG	ao	244
Antigua and Barbuda	ANT	ag	1
Argentina	ARG	ar	54
Armenia	ARM	am	374
Australia	AUS	au	61
Austria	AUT	at	43
Azerbaidjan	AZE	az	994
Bahamas	BAH	bs	1
Bahrain	BRN	bh	973
Bangladesh	BAN	bd	880
Barbados	BAR	bb	1
Belarus	BLR	by	375
Belgium	BEL	be	32
Belize	BIZ	bz	501
Benin	BEN	bj	229
Bhutan	BHU	bt	975
Bolivia	BOL	bo	591
Bosnia and Herzegovina	BIH	ba	387
Botswana	BOT	bw	267
Brazil	BRA	br	55
Brunei	BRU	bn	673
Bulgaria	BUL	bg	359
Burkina Faso	BUR	bf	226
Burundi	BDI	bi	257
Cambodia	CAM	kh	855
Cameroon	CMR	cm	237
Canada	CAN	ca	1
Cape Verde	CPV	cv	238
Central African Republic	CAF	cf	236
Chad	CHA	td	235
Chile	CHI	cl	56
China	CHN	cn	86
Colombia	COL	co	57
Comoros	COM	km	269
Congo	CGO	cg	242
Costa Rica	CRC	cr	506
Cote d'Ivoire	CIV	ci	225
Croatia	CRO	hr	385
Cuba	CUB	cu	53
Cyprus	CYP	cy	357
Czech Republic	CZE	cz	420
Democratic People's Republic of Korea	PRK	kp	850
Democratic Republic of the Congo	なし	cd	243
Denmark	DEN	dk	45
Djibouti	DJI	dj	253
Dominica	DMA	dm	1
Dominican Republic	DOM	do	1
East Timor	なし	tp	670
Ecuador	ECU	ec	593
Egypt	EGY	eg	20
El Salvador	ESA	sv	503
Equatorial Guinea	GEQ	gq	240
Eritrea	ERI	er	291
Estonia	EST	ee	372
Ethiopia	ETH	et	251
Fiji	FIJ	fj	679
Finland	FIN	fi	358
France	FRA	fr	33
Gabon	GAB	ga	241
Gambia	GAM	gm	220
Georgia	GEO	ge	995
Germany	GER	de	49
Ghana	GHA	gh	233
Greece	GRE	gr	30
Grenada	GRN	gd	1
Guatemala	GUA	gt	502
Guinea	GUI	gn	224
Guinea-Bissau	GBS	gw	245
Guyana	GUY	gy	592
Haiti	HAI	ht	509
Honduras	HON	hn	504
Hungary	HUN	hu	36
Iceland	ISL	is	354
India	IND	in	91
Indonesia	INA	id	62
Iran	IRI	ir	98
Iraq	IRQ	iq	964
Ireland	IRL	ie	353
Israel	ISR	il	972
Italy	ITA	it	39
Jamaica	JAM	jm	1
Japan	JPN	jp	81
Jordan	JOR	jo	962
Kazakhstan	KAZ	kz	7
Kenya	KEN	ke	254
Kiribati	なし	ki	686
Korea	KOR	kr	82
Kuwait	KUW	kw	965
Kyrgyz	KGZ	kg	996
Laos	LAO	la	856
Latvia	LAT	lv	371
Lebanon	LIB	lb	961
Lesotho	LES	ls	266
Liberia	LBR	lr	231
Libya	LBA	ly	218
Liechtenstein	LIE	li	423
Lithuania	LTU	lt	370
Luxembourg	LUX	lu	352
Macedonia	MKD	mk	389
Madagascar	MAD	mg	261
Malawi	MAW	mw	265
Malaysia	MAS	my	60
Maldives	MDV	mv	960
Mali	MLI	ml	223
Malta	MLT	mt	356
Marshall Islands	なし	mh	692
Mauritania	MTN	mr	222
Mauritius	MRI	mu	230
Mexico	MEX	mx	52
Micronesia	FSM	fm	691
Moldova	MDA	md	373
Monaco	MON	mc	377
Mongolia	MGL	mn	976
Morocco	MAR	ma	212
Mozambique	MOZ	mz	258
Myanmar	MYA	mm	95
Namibia	NAM	na	264
Nauru	NRU	nr	674
Nepal	NEP	np	977
Netherlands	NED	nl	31
New Zealand	NZL	nz	64
Nicaragua	NCA	ni	505
Niger	NIG	ne	227
Nigeria	NGR	ng	234
Norway	NOR	no	47
Oman	OMA	om	968
Pakistan	PAK	pk	92
Palau	PLW	pw	680
Panama	PAN	pa	507
Papua New Guinea	PNG	pg	675
Paraguay	PAR	py	595
Peru	PER	pe	51
Philippines	PHI	ph	63
Poland	POL	pl	48
Portugal	POR	pt	351
Qatar	QAT	qa	974
Romania	ROM	ro	40
Russia	RUS	ru	7
Rwanda	RWA	rw	250
Saint Christopher and Nevis	SKN	kn	1
Saint Lucia	LCA	lc	1
Saint Vincent and the Grenadines	VIN	vc	1
Samoa	SAM	ws	685
San Marino	SMR	sm	378
Sao Tome and Principe	STP	st	239
Saudi Arabia	KSA	sa	966
Senegal	SEN	sn	221
Seychelles	SEY	sc	248
Sierra Leone	SLE	sl	232
Singapore	SIN	sg	65
Slovakia	SVK	sk	421
Slovenia	SLO	si	386
Solomon Islands	SOL	sb	677
Somalia	SOM	so	252
South Africa	RSA	za	27
Spain	ESP	es	34
Sri Lanka	SRI	lk	94
Sudan	SUD	sd	249
Suriname	SUR	sr	597
Swaziland	SWZ	sz	268
Sweden	SWE	se	46
Switzerland	SUI	ch	41
Syria	SYR	sy	963
Tadzhikistan	TJK	tj	992
Taiwan	TPE	tw	886
Tanzania	TAN	tz	255
Thailand	THA	th	66
Togo	TOG	tg	228
Tonga	TGA	to	676
Trinidad and Tobago	TRI	tt	1
Tunisia	TUN	tn	216
Turkey	TUR	tr	90
Turkmenistan	TKM	tm	993
Tuvalu	なし	tv	688
Uganda	UGA	ug	256
Ukraine	UKR	ua	380
United Arab Emirates	UAE	ae	971
United Kingdom	GBR	uk	44
United States	USA	us	1
Uruguay	URU	uy	598
Uzbekistan	UZB	uz	998
Vanuatu	VAN	vu	678
Vatican City	なし	va	39
Venezuela	VEN	ve	58
Vietnam	VIE	vn	84
Yemen	YEM	ye	967
Yugoslavia	YUG	yu	381
Zambia	ZAM	zm	260
Zimbabwe	ZIM	zw	263

リーダーズ英和辞典のデータについて

発音記号表

/記号/	例語	/記号/	例語	/記号/	例語
/aɪ/	ice, mine, sky	/f/	fox, offer, if	/ʃ/	ship, station, fish
/aʊ/	out, bound, cow	/g/	gum, beggar, big	/t/	top, better, tent
/ɑ; ɔ/	ox, cotton	/h/	house, behind	/ʧ/	chair, pitcher, match
/ɑː/	alms, father, ah	/ɪ/	ink, sit, city	/θ/	think, pithy, both
/ɑː*r*/	art, card, star	/i/	easy, curious	/ʊ/	good
/æ/	attic, hat	/iː/	eat, seat, see	/u/	mutual, sensuous
/æ; ɑː/	ask, branch	/ɪə*r*/	ear, beard, hear	/uː/	ooze, food, too
/b/	bed, rubber, cab	/j/	yes	/ʊə*r*/	poor, tour
/d/	desk, rudder, good	/k/	call, lucky, desk	/v/	vine, cover, love
/ʤ/	gem, adjective, judge	/l/	leg, melon, call	/ʌ/	up, blood
/ð/	this, other, bathe	/m/	man, summer, aim	/w/	way
/ɛ/	end, bell	/n/	note, dinner, moon	/z/	zoo, busy, lose
/eɪ/	aim, name, may	/ŋ/	ink, sing	/ʒ/	measure, rouge
/ɛə*r*, *ær/	air, care, heir, prayer, there	/oʊ; əʊ/	open, most, show		
		/ɔ(ː), ɑ/	dog, orange, soft		
/ə/	ability, silent, lemon, upon, banana	/ɔː/	all, fall, saw	/ ´ /	第 1 アクセント
		/ɔː*r*/	order, cord, more	/ ˊ /	第 2 アクセント
/ə*r*/	butter, actor	/ɔɪ/	oil, coin, boy	/ ` /	第 3 アクセント
/əː*r*/	earn, bird, stir	/p/	pay, upper, cup		
/əː, ʌ; ʌ/	courage, hurry, nourish	/r/	rain, sorry		
		/s/	cent, fussy, kiss		

★ (1) 丸括弧：略しうる音：/stéɪʃ(ə)n/＝/stéɪʃən, stéɪʃn̩/ // /(h)wɛ́n/＝/hwɛ́n, wɛ́n/

(2) /ʼ/：次の子音が音節主音であることを表わす：/bátʼl/＝/bátl̩/.

(3) /æ; ɑː/ などのセミコロン（；）の左は米音，右は英音を表わす：**ask** /ǽsk; áːsk/ は米音 /ǽsk/, 英音 /áːsk/ の意．**wélfare stàte** /；ˊ— ˊ—/ は英では **wélfare státe** の意．

(4) /(ː)/ は一般に長母音と短母音の両方の発音があることを表わすが，/ɔ(ː)/ は，米音 /ɔː/, 英音 /ɔ/ の意．

(5) /ɑː*r*/ /ɛə*r*, *ær/ /əː*r*/ /ə*r*/ /ɪə*r*/ /ɔː*r*/ /ʊə*r*/ の /*r*/ は，英音では切れ目なしに母音が続く場合にのみ発音される /r/ を表わす．すなわち子音の前と語末であとに母音がすぐ続かないときは発音されない．米音では先行する /ə/ に影響を与えてそれとともに /ɚ/ と表わされる「r 音色のついた母音 (*r*-colored vowel)」になる．また米音では，/ɑː*r*/ は /ɑɚ/, /ɔː*r*/ は /ɔɚ/ と発音される．/*ə*/ は英音でのみ発音され，米音では発音されない /ə/ 表わす．

(6) /, *…/ /, ″…/ の…はそれぞれ「米音[英音]としては…の発音もある」の意 (⇨「凡例」2.3b).

(7)「発音表記のない本見出し語の発音」については「凡例」2.10, 2.11 参照．

非英語音およびその他の記号

/ʏ/	Bürger, Lunéville (唇をまるめて /ɪ/ を発音する)	/x/	Bach, loch (後舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音)
/y/	Psychologie (唇をまるめて /i/ を発音する)	/ɥ/	ennui, nuit blanche (/y/ に対応する半母音)
/ø/	feu², Neuchâtel (唇をまるめて /e/ を発音する)	/ɲ/	Bourgogne, Montaigne (口蓋化した /n/)
/œ/	jeunesse, œuf (唇をまるめて /ɛ/ を発音する)	/ɯ/	ugh (唇をまるめない /ʊ/; 日本語の「ウ」)
/ɑ̃/	pensée, sans (鼻音化した /ɑ/)	/Φ/	phew (両唇をせばめて出す無声摩擦音；日本語の「フ」の子音)
/ɛ̃/	Maintenon, vin rosé (鼻音化した /ɛ/)	/ʔ/	uh-oh /ʔʌ́ʔòʊ/ (声門閉鎖音；日本語の「アッ」(驚きの声)の「ッ」の音)
/ɔ̃/	bonsoir, garçon (鼻音化した /ɔ/)	/ ̥ /	hem /m̥m/ (無声化した /m/)
/œ̃/	chacun à son goût (鼻音化した /œ/)		
/ç/	Brecht, nicht wahr (中舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音)		

発音省略語尾一覧表

A **-abil·i·ty** /əbíləti/ **-able** /əb(ə)l/ **-ably** /əbli/ **-adel·phous** /ədɛ́lfəs/ **-age** /ɪʤ/ **-al** /(ə)l/ **-an** /ən/ **-ance** /(ə)ns/ **-an·cy** /(ə)nsi/ **-an·drous** /ǽndrəs/ **-ant** /(ə)nt/ **-arch** /àː*r*k/ **-ar·chy** /àː*r*ki/ **-ard** /ə*r*d/ **-ary** /ˊ—èri, ˊəri; ˊ(—)əri/ **-as·ter** /æ̀stə*r*, ǽs-/ **-ate** /ət, èɪt/ **-a·tion** /éɪʃ(ə)n/

B **-bi·ont** /báɪɑ̀nt/ **-bi·o·sis** /baɪóʊsəs, bi-/ (*pl* **-ses** /-sìːz/) **-blast** /blæ̀st; blɑ̀ːst/ **-blas·tic** /blǽstɪk/

C **-carp** /kɑ̀ː*r*p/ **-car·pic** /kɑ́ː*r*pɪk/ **-car·pous** /kɑ́ː*r*pəs/ **-car·py** /kɑ̀ː*r*pi/ **-cene** /sìːn/ **-cen·tric** /sɛ́ntrɪk/ **-ce·phal·ic** /səfǽlɪk, kɛ-/ **-ceph·a·lous** /sɛ́fələs/ **-ceph·a·ly** /sɛ́fəli/ **-cer·cal** /səː́*r*k(ə)l/ **-chore** /kɔ̀ː*r*/ **-chrome** /kròʊm/ **-ci·dal** /sáɪdʼl/ **-cide** /sàɪd/ **-cli·nal** /kláɪnʼl/ **-cline** /klàɪn/ **-cli·nous** /kláɪnəs/ **-coc·cus** /kɑ́kəs/ **-coel** /sìːl/ **-coele** /sìːl/ **-cot·yl** /kɑ́t(ə)l/ **-crat** /kræ̀t/ **-crat·ic** /krǽtɪk/ **-cy** /si/ **-cyst** /sɪ̀st/ **-cyte** /sàɪt/

D **-dac·ty·lous** /dǽktələs/ **-dac·ty·ly** /dǽktəli/ **-den·dron** /dɛ́ndrən/ **-derm** /dəː̀*r*m/ **-der·ma** /dəː́*r*mə/ **-der·mic** /dəː́*r*mɪk/ **-der·mis** /dəː́*r*məs/ **-dom** /dəm/ **-drome** /dròʊm/

E **-ean** /iən/ **-ec·to·my** /ɛ́ktəmi/ **-ed** /əd, d, t/ **-ee** /íː/ **-eer** /íə*r*/ **-en** /(ə)n/ **-ence** /(ə)ns/ **-en·cy** /(ə)nsi/ **-ent** /(ə)nt/ **-er** /ə*r*/ **-ern** /ə*r*n/ **-ery** /(ə)ri/ **-es** /əz, ɪz, z, s/ **-ese** /íːz, íːs/ **-ess** /əs, ɪs, ɛ̀s/ **-est** /əst, ɪst/ **-eth** /əθ, ɪθ/

F **-fa·cient** /féɪʃ(ə)nt/ **-fac·tion** /fǽkʃ(ə)n/ **-fac·tive** /fǽktɪv/ **-fest** /fɛ̀st/ **-flo·rous** /flɔ́ːrəs/ **-fold** /fòʊld/ **-form** /fɔ̀ː*r*m/ **-fuge** /ˊ—fjùːʤ/ **-ful** /fʊl, f(ə)l/

G **-gam·ic** /gǽmɪk/ **-ge·net·ic** /ʤənɛ́tɪk/ **-gen·ic** /ʤɛ́nɪk, ʤíːnɪk/ **-glot** /glɑ̀t/ **-gon** /ˊ—gɑ̀n, -gən; -gən/ **-grade** /grèɪd/ **-gram** /græ̀m/ **-graph** /græ̀f; grɑ̀ːf/ **-graph·ic** /grǽfɪk/ **graph·i·cal** /grǽfɪk(ə)l/

H **-he·dral** /híːdrəl, ″hɛ́d-/ **-he·dron** /híːdrən, ″hɛ́d-/ (*pl* **～s, -dra** /-drə/) **-hip·pus** /hípəs/ **-hood** /hʊ̀d/

I **-ian** /iən/ **-ibil·i·ty** /əbíləti/ **-ible** /əb(ə)l/ **-ibly** /əbli/ **-ic** /ˊ ɪk/ **-i·cal** /ˊ ɪk(ə)l/ **-ing** /ɪŋ/ **-ish** /ɪʃ/ **-ism** /ɪ̀z(ə)m/ **-ist** /ɪst/ **-ite** /àɪt/ **-ive** /ˊ ɪv/ **-iza·tion** /əzéɪʃ(ə)n; àɪ-/ **-ize** /àɪz/

L **-less** /ləs/ **-let** /lət/ **-like** /làɪk/ **-li·ness** /lɪnəs/ **-ling** /lɪŋ/ **-lite** /làɪt/ **-lith** /lɪ̀θ/ **-lith·ic** /líθɪk/ **-ly** /li, i/ **-lyte** /làɪt/

M **-ma·nia** /méɪniə, -njə/ **-ment** /mənt/ **-mer** /mə*r*/ **-mere** /mɪ̀ə*r*/ **-m·er·ism** /mərɪ̀z(ə)m/ **-met·ric** /mɛ́trɪk/ **-met·ri·cal** /mɛ́trɪk(ə)l/ **-m·e·try** /ˊ mətri/ **-mo·bile** /moʊbìːl, mə-/ **-morph** /mɔ̀ː*r*f/ **-mor·phic** /mɔ́ː*r*fɪk/ **-mor·phism** /mɔ́ː*r*fɪ̀z(ə)m/ **-mor·pho·sis** /mɔ́ː*r*fəsəs/ (*pl* **-ses** /-sìːz/) **-mor·phous** /mɔ́ː*r*fəs/ **-mor·phy** /mɔ̀ː*r*fi/ **-most** /mòʊst, ″məst/ **-my·cete** /máɪsìːt, ˏ ˊ/ **-my·cin** /máɪs(ə)n/

N **-ness** /nəs/

O **-o·dont** /ədɑ̀nt/ **-oid** /ɔ̀ɪd/ **-or** /ə*r*/ **-os·to·sis** /ɑstóʊsəs/ (*pl* **-ses** /-sìːz/, **～·es**) **-ous** /əs/

P **-path** /pæ̀θ/ **-path·ic** /pǽθɪk/ **-ped** /pɛ̀d/ **-pede** /pìːd/ **-phage** /fèɪʤ, fɑ̀ːʒ/ **-pha·gia** /fèɪʤiə/ **-phane** /fèɪn/ **-phil** /fɪl/ **-phile** /fàɪl/ **-phil·ia** /fíliə/ **-phil·ic** /fílɪk/ **-phobe** /fòʊb/ **-pho·bia** /fóʊbiə/ **-pho·bic** /fóʊbɪk/ **-phone** /fòʊn/ **-phore** /fɔ̀ː*r*/ **-pho·re·sis** /fəríːsəs/ (*pl* **-ses** /-sìːz/) **-phyll** /fɪl/ **-phyl·lous** /fíləs/ **-phyte** /fàɪt/ **-phyt·ic** /fítɪk/ **-pla·sia** /pléɪʒ(i)ə; plǽziə/ **-pla·sy** /plèɪsi, plæ̀si/ **-plasm** /plæ̀z(ə)m/ **-plast** /plǽst/ **-plas·tic** /plǽstɪk/ **-plas·ty** /plæ̀sti/ **-ple·gia** /plíːʤ(i)ə/ **-ple·gy** /plíːʤi/ **-ploid** /plɔ̀ɪd/ **-pod** /pɑ̀d/ **-poi·e·sis** /pɔɪíːsəs/ (*pl* **-ses** /-sìːz/) **-poi·et·ic** /pɔɪɛ́tɪk/

R **-ress** /rəs/ **-ry** /ri/

S **-s** /s, z/ **-saur** /sɔ̀ː*r*/ **-sau·rus** /sɔ́ːrəs/ **-scape** /skèɪp/ **-scope** /skòʊp/ **-sep·al·ous** /sɛ́pələs/ **-ship** /ʃɪp/ **-some**[1,2] /səm/ **-some**[3] /sòʊm/ **-so·mic** /sóʊmɪk/ **-spore** /spɔ̀ː*r*/ **-spor·ous** /—spɔ́ːrəs, ˊ spərəs/ **-sta·sis** /stéɪsəs, stǽs-, ˊ stəsəs/ (*pl* **-ses** /-sìːz/) **-stat** /stæ̀t/ **-stat·ic** /stǽtɪk/ **-ster** /stə*r*/ **-stome** /stòʊm/ **-style** /stàɪl/

T **-tax·is** /tǽksəs/ (*pl* **-tax·es** /-sìːz/) **-th** /θ/ **-the·ci·um** /θíːʃiəm, -si-/ **-the·ism** /θiɪ̀z(ə)m/ **-the·ist** /ˊ—θìːɪst, ˊ θiɪst/ **-therm** /θəː̀*r*m/ **-ther·my** /θəː̀*r*mi/ **-tome** /tòʊm/ **-to·nia** /tóʊniə/ **-tron** /trɑ̀n/ **-trope** /tròʊp/ **-troph·ic** /trɑ́fɪk, tróʊ-/ **-tro·phy** /ˊ trəfi/ **-trop·ic** /trɑ́pɪk, tróʊ-/ **-tro·pism** /ˊ trəpɪ̀z(ə)m, tróʊpɪ̀z(ə)m/ **-tro·pous** /ˊ trəpəs/ **-tro·py** /ˊ trəpi/ **-ty** /ti/ **-type** /tàɪp/

W **-ward** /wə*r*d/ **-wards** /wə*r*dz/

Y **-y** /i/

Z **-zoa** /zóʊə/ **-zo·ic** /zóʊɪk/ **-zoon** /zóʊɑ̀n, *-ən/ (*pl* **-zoa** /zóʊə/) **-zy·gous** /záɪgəs, zíg-/ **-zyme** /zàɪm/

Oxford Dictionary of English のデータについて

これは書籍版辞典の説明です。

Introduction

The *Oxford Dictionary of English* has been compiled according to principles which are quite different from those of traditional dictionaries. New types of evidence are now available in sufficient quantity to allow lexicographers to construct a picture of the language that is more accurate than has been possible before. The approach to structuring and organizing within individual dictionary entries has been rethought, as has the approach to the selection and presentation of information in every aspect of the dictionary: definitions, choice of examples, grammar, word histories, and every other category. New approaches have been adopted in response to a reappraisal of the workings of language in general and its relationship to the presentation of information in a dictionary in particular. The aim of this introduction is to give the reader background information for using this dictionary and, in particular, to explain some of the thinking behind these new approaches.

Structure: Core Sense and Subsense

The first part of speech is the primary one for that word: thus, for **bag** and **balloon** the senses of the noun are given before those for the verb, while for **babble** and **bake** the senses of the verb are given before those of the noun.

nose
core sense
the part projecting above the mouth on the face of a person or animal, containing the nostrils and used for breathing and smelling.

subsense	subsense	subsense
the sense of smell, especially a dog's ability to track something by its scent: *a dog with a keen nose.*	figurative an instinctive talent for detecting something: *he has a **nose for** a good script.*	the aroma of a particular substance, especially wine.

Within each part of speech the first definition given is the **core sense**. The general principle on which the senses in the *Oxford Dictionary of English* are organized is that each word has at least one core meaning, to which a number of subsenses may be attached. If there is more than one core sense (see below), this is introduced by a bold sense number. Core meanings represent typical, central uses of the word in question in modern standard English, as established by research on and analysis of the Oxford English Corpus and other language databases. The core meaning is the one accepted by native speakers as the most literal and central in ordinary modern usage. This is not necessarily the same as the oldest meaning, because word meanings change over time. Nor is it necessarily the most frequent meaning, because sometimes the most frequently used modern sense of a word is a figurative one.

The core sense also acts as a gateway to other, related subsenses. These subsenses are grouped under the core sense, each one being introduced by a solid square symbol.

nose ▶ noun **1** the part projecting above the mouth on the face of a person or animal, containing the nostrils and used for breathing and smelling.
■ [in sing.] the sense of smell, especially a dog's ability to track something by its scent: *a dog with a keen nose.*
■ [in sing.] figurative an instinctive talent for detecting something: *he has **a nose for** a good script.* ■ the aroma of a particular substance, especially wine.

There is a logical relationship between each subsense and the core sense under which it appears. The organization of senses according to this logical relationship is designed to help the user, not only in being able to navigate the entry more easily and find relevant senses more readily, but also in building up an understanding of how senses in the language relate to one another and how the language is constructed on this model. The main types of relationship of core sense to subsense are as follows:

(a) figurative extension of the core sense, e.g.

logjam
core sense a crowded mass of logs blocking a river.
subsense ■ figurative a situation that seems irresolvable: *the president can use his power to **break the logjam** over this issue.*
subsense ■ figurative a backlog: *keeping a diary may ease the logjam of work.*

bankrupt
core sense (of a person or organization) declared in law as unable to pay their debts.
subsense ■ figurative completely lacking in a particular good quality: *their cause is morally bankrupt.*

(b) specialized case of the core sense, e.g.

ball[1]
core sense a single throw, kick, or other movement of the ball in the course of a game, in particular:
subsense ■ Cricket a delivery of the ball by the bowler to the batsman.
subsense ■ Baseball a pitch delivered outside the strike zone which the batter does not attempt to hit.

basement
core sense the floor of a building which is partly or entirely below ground level.
subsense ■ Geology the oldest formation of rocks underlying a particular area.

(c) other extension or shift in meaning, retaining one or more elements of the core sense, e.g.:

bamboo
core sense [mass noun] a giant woody grass which is grown chiefly in the tropics.
subsense ■ the hollow jointed stem of this plant, used as a cane or to make furniture and implements.

management
core sense the process of dealing with or controlling things or people.
subsense ■ [treated as sing. or pl.] the people managing a company or organization, regarded collectively: *management were extremely cooperative.*

ambassador
core sense an accredited diplomat sent by a state as its permanent representative in a foreign country.
subsense ■ a representative or promoter of a specified activity: *he is a good ambassador for the industry.*

Many entries have just one core sense. However some entries are more complex and have different strands of meaning, each constituting a core sense. In this case, each core sense is introduced by a bold sense number, and each potentially has its own block of subsenses relating to it.

belt
core sense **1** a strip of leather or other material worn, typically round the waist, to support or hold in clothes or to carry weapons.
subsenses ■ short for **SEAT BELT**. ■ a belt worn as a sign of rank or achievement: *he was awarded the victor's belt.* ■ a belt of a specified colour, marking the attainment of a particular level in judo, karate, or similar sports: [as modifier] *brown-belt level.* ■ a person who has reached such a level: *Shaun became a brown belt in judo.* ■ **(the belt)** the punishment of being struck with a belt.
core sense **2** a strip of material used in various technical applications, in particular:
subsenses ■ a continuous band of material used in machinery for transferring motion from one wheel to another. ■ a conveyor belt. ■ a flexible strip carrying machine-gun cartridges.
core sense **3** a strip or encircling area that is different in nature or composition from its surroundings: *the asteroid belt | a belt of trees.*
core sense **4** informal a heavy blow: *she administered a good belt with her stick.*

Specialist Vocabulary

One of the most important uses of a dictionary is to provide explanations of terms in specialized fields which are unfamiliar to a general reader. Yet in many traditional dictionaries the definitions have been written by specialists as if for other specialists, and as a result the definitions are often opaque and difficult for the general reader to understand.

One of the primary aims of the *Oxford Dictionary of English* has been to break down the barriers to understanding specialist vocabulary. The challenge has been, on the one hand, to give information which is comprehensible, relevant, and readable, suitable for the general reader, while on the other hand maintaining the high level of technical information and accuracy suitable for the more specialist reader.

This has been achieved in some cases, notably entries for plants and animals and chemical substances, by separating out technical information from the rest of the definition:

balloonfish
definition a tropical porcupine fish which lives in shallow water and can inflate itself when threatened.
technical information ● *Diodon holocanthus*, family Diodontidae.

benzopyrene
definition [mass noun] Chemistry a compound which is the major carcinogen present in cigarette smoke, and also occurs in coal tar.
technical information ● A polycyclic aromatic hydrocarbon; chem. formula: $C_{20}H_{12}$.

In other cases, it is achieved by giving additional explanatory information within the definition itself:

curling
definition [mass noun] a game played on ice, especially in Scotland and Canada, in which large round flat stones are slid across the surface towards a mark. Members of a team use brooms to sweep the surface of the ice in the path of the stone to control its speed and direction.
additional information

cuttlebone ▶ noun the flattened oval internal skeleton of the cuttlefish, which is made of white lightweight chalky material. It is used as a dietary supplement for cage birds and for making casts for precious metal items.
additional information

As elsewhere, the purpose is to give information which is relevant and interesting, aiming not just to define the word but also to describe and explain its context in the real world. Additional information of this type, where it is substantial, is given in the form of separate boxed features:

earth
core sense (also **Earth**) the planet on which we live; the world: *the diversity of life **on earth**.*
additional boxed information
The earth is the third planet from the sun in the solar system, orbiting between Venus and Mars at an average distance of 149.6 million km from the sun, and has one natural satellite, the moon. It has an equatorial diameter of 12,756 km, an average density 5.5 times that of water, and is believed to have formed about 4,600 million years ago. The earth, which is three-quarters covered by oceans and has a dense atmosphere of nitrogen and oxygen, is the only planet known to support life.

Eocene
core sense Geology relating to or denoting the second epoch of the Tertiary period, between the Palaeocene and Oligocene epochs.
subsense ■ [as noun **the Eocene**] the Eocene epoch or the system of rocks deposited during it.
additional boxed information
The Eocene epoch lasted from 56.5 to 35.4 million years ago. It was a time of rising temperatures, and there was an abundance of mammals, including the first horses, bats, and whales.

An especially important feature of the *Oxford Dictionary of English* is the coverage of animals and plants. In-depth research and a thorough review have been carried out for animals and plants throughout the world and, as a result, a large number of entries have been included which have never before appeared in general dictionaries. The style and presentation of these entries follow the general principles for specialist vocabulary in the *Oxford Dictionary of English*: the entries not only give the technical information, but also describe, in everyday English, the appearance and other characteristics (of behaviour, medicinal or culinary use, mythological significance, reason for the name, etc.) and the typical habitat and distribution:

mesosaur
core sense an extinct small aquatic reptile of the early Permian period, with an elongated body, flattened tail, and a long, narrow snout with numerous pointed teeth.
technical information ● Genus *Mesosaurus*, order Mesosauria, subclass Anapsida.

kowari
core sense a small carnivorous marsupial with a pointed snout, large eyes, and a black bushy tip to the tail, found in central Australia.
technical information ● *Dasycercus byrnei*, family Dasyuridae.

hiba
core sense a Japanese conifer with evergreen scale-like leaves which form flattened sprays of foliage, widely planted as an ornamental and yielding durable timber.
technical information ● *Thujopsis dolabrata*, family Cupressaceae.

Encyclopedic Material

Some British dictionaries do not include entries for the names of people and places and other proper names. The argument for this is based on a distinction between 'words' and 'facts', by which dictionaries are about 'words' while encyclopedias and other reference works are about 'facts'. The distinction is an interesting theoretical one but in practice there is a considerable overlap: names such as *Shakespeare* and *England* are as much part of the language as words such as *drama* or *language*, and belong in a large dictionary.

The *Oxford Dictionary of English* includes all those terms forming part of the enduring common knowledge of English speakers, regardless of whether they are classified as 'words' or 'names'. The information given is the kind of information that people are likely to need from a dictionary, however that information may be traditionally classified. Both the style of definitions in the *Oxford Dictionary of English* and the inclusion of additional material in separate blocks reflect this approach.

The *Oxford Dictionary of English* includes more than 4,500 place-name entries, 4,000 biographical entries, and just under 3,000 other proper names. The entries are designed to provide not just the basic facts (such as birth and death dates, full name, and nationality), but also a brief context giving information about, for example, a person's life and why he or she is important.

For a few really important encyclopedic entries—for example, countries—a fuller treatment is given and additional information is given in a separate boxed note.

Grammar

In recent years grammar has begun to enjoy greater prominence than in previous decades. It is once again being taught explicitly in state schools throughout Britain and elsewhere. In addition there is a recognition that different meanings of a word are closely associated with different lexical and syntactic patterns. The *Oxford Dictionary of English* records and exemplifies the most important of these patterns at the relevant senses of each word, thus giving guidance on language use as well as word meaning.

For example, with the word **bomb**, it is possible to distinguish the main senses of the verb simply on the basis of the grammar: whether the verb takes a direct object, no direct object, or no direct object plus an obligatory adverbial:

core sense attack *(a place or object)* with a bomb or bombs: *they bombed *the city* at dawn.*
grammar [with obj.]

(the asterisks match the direct object in the example with the bracketed item in the definition)

core sense informal (of a film, play, or other event) fail badly: *it just became another big-budget film that bombed.*
grammar [no obj.]
core sense Brit. informal move very quickly: *we were bombing *down the motorway* at breakneck speed.*
grammar [no obj., with adverbial of direction]

(asterisks show adverbial in example)

This has particular relevance for a dictionary such as the *Oxford Dictionary of English*, where the aim is to present information in such a way that it helps to explain the structure of the language itself, not just the meanings of individual senses. For this reason, special attention has been paid to the grammar of each word, and grammatical structures are given explicitly.

Where possible, the syntactic behaviour of a word is presented directly: for example, if a verb is normally found in a particular sense followed by a certain preposition, this is indicated before the definition, in bold:

build
. . . (**build on**) use as a basis for further development: *Britain should build on the talents of its workforce.*

In other cases, collocations which are typical of the word in use, though not obligatory, are shown highlighted within the example sentence:

cushy
. . . (of a job or situation) undemanding, easy, or secure: *the Caribbean posting is not **a cushy number**.*

end
. . . (**end up**) eventually come to a specified place or situation: *I **ended up in** Eritrea | you could **end up with** a higher income.*

Great efforts have been made to use a minimum of specialist terminology. Nevertheless, a small number of terms are essential in explaining the grammar of a word. The less familiar terms are explained below. All terms are, of course, defined and explained under their own entries in the dictionary.

Terms relating to nouns

Nouns and senses of nouns are generally categorized in this dictionary as being either [**mass noun**] or [**count noun**]. A mass noun is one which is not ordinarily found in the plural and is not used in the singular with the indefinite article 'a' (it is normal to talk about 'bacon', for example, but not 'a bacon' or 'three bacons'), while a count noun is one which can be used with the indefinite article 'a' and can take a plural (e.g. shirt, shirts).

bacon
[mass noun] cured meat from the back or sides of a pig.

badminton
[mass noun] a game with rackets in which a shuttlecock is hit back and forth across a net.

banking[1]
[mass noun] the business conducted or services offered by a bank.

By default all nouns in this dictionary are to be regarded as count nouns unless stated otherwise. The label [**count noun**] is used to mark those senses of nouns which can take a plural where this is in contrast with an already stated mass noun.

ballet
core sense [mass noun] an artistic dance form performed to music, using precise and highly formalized set steps and gestures.
subsense ■ [count noun] a creative work of this form or the music written for it.

brokerage
core sense [mass noun] the business of acting as a broker.
subsense ■ [count noun] a company that buys or sells goods or assets for clients.

However, there are particular types of mass noun which nevertheless can take a plural form in certain circumstances. For example, the noun 'cheese' normally behaves as a mass noun (e.g. *their meals consisted mostly of bread and cheese*) but it can take a plural when referring to different types of cheese (e.g. *the panel tasted a range of cheeses*). For native speakers of English, this use is predictable and well recognized, and the same principle can apply to any food or drink. Not all these predictable uses are recorded for individual entries in the dictionary, for reasons of space and conciseness. Nevertheless, it is useful to record that these groups of nouns can take a plural, particularly for word games. The *Oxford Dictionary of English* is the official dictionary of the television word game *Countdown*, and for this and other word games the main categories of mass noun in which a plural may be used are listed here.

1 Types or varieties of:
- food and drink, e.g. yogurt/yogurts, pasta/pastas, rum/ rums.
- plants: e.g. clover/clovers, barley/barleys.
- fabric: e.g. gingham/ginghams, silk/silks.
- certain languages or subjects: e.g. English/Englishes, music/musics.
- metals and alloys: e.g. steel/steels, solder/solders.
- rocks: e.g. granite/granites, lava/lavas, clay/clays.
- chemical compounds: e.g. fluoride/fluorides, hydride/hydrides.
- other substances or materials: e.g. rind/rinds, soil/soils, sealskin/sealskins, suncream/suncreams.

2 Portions or units of something, especially food and drink: e.g. lager (glasses/bottles of lager = lagers), paella (portions of paella = paellas).

3 Shades of colours: e.g. pink/pinks, scarlet/scarlets, grey/ greys.

4 An instance of:
- an action or process: e.g. completion (an instance of completing a property sale = completions), genocide (an act of genocide = genocides), lambing (an act of lambing = lambings).
- a surgical operation: e.g. circumcision/circumcisions.
- an emotion, pain, or feeling: e.g. backache/backaches, grief (an instance or cause of grief = griefs).

5 An area of land of a specified type: e.g. bogland/boglands, terrain/ terrains.

Other terms relating to nouns:

[**as modifier**]: used to mark a noun which can be placed before another noun in order to modify its meaning, e.g.

boom
[often as modifier] a movable arm over a television or film set, carrying a microphone or camera: *a boom mike.*

bedside
the space beside a bed (used especially with reference to an invalid's bed): *he was summoned to the bedside of a dying man* | [as modifier] *a bedside lamp.*

[**treated as sing.**]: used to mark a noun which is plural in form but is used with a singular verb, e.g. 'mumps' in *mumps is one of the major childhood diseases* or 'genetics' in *genetics has played a major role in this work*.

[**treated as sing. or pl.**]: used to mark a noun which can be used with either a singular or a plural verb without any change in meaning or in the form of the headword (often called *collective nouns*, because they typically denote groups of people considered collectively), e.g. *the government are committed to this policy or the government is trying to gag its critics*.

[**in sing.**]: used to mark a noun which is used as a count noun but is never or rarely found in the plural, e.g. **ear** in *an ear for rhythm and melody*.

Terms relating to verbs

[**with obj.**]: used to mark a verb which takes a direct object, i.e. is transitive (the type of direct object being shown in brackets in the definition), e.g.

belabour
[with obj.] argue or discuss (a subject) in excessive detail: *there is no need to belabour the point.*

[**no obj.**]: used to mark a verb which takes no direct object, i.e. is intransitive, e.g.

bristle
[no obj.] (of hair or fur) stand upright away from the skin, typically as a sign of anger or fear.

[**with adverbial**]: used to mark a verb which takes an obligatory adverbial, typically a prepositional phrase, without which the sentence in which the verb occurs would sound unnatural or odd, e.g.

barge
[no obj., with adverbial of direction] move forcefully or roughly: *we can't just **barge into** a private garden.*

Terms relating to adjectives

[**attrib.**]: used to mark an adjective which is normally used attributively, i.e. comes before the noun which it modifies, e.g. **certain** in *a certain man* (not *the man is certain*, which means something very different). Note that attributive use is standard for many adjectives, especially those in specialist or technical fields: the [attrib.] label is not used in such cases.

[**predic.**]: used to mark an adjective which is normally used predicatively, i.e. comes after the verb, e.g. **ajar** in *the door was ajar* (not *the ajar door*).

[**postpositive**]: used to mark an adjective which is used postpositively, i.e. it typically comes immediately after the noun which it modifies. Such uses are unusual in English and generally arise because the adjective has been adopted from a language where postpositive use is standard, e.g. **galore** in *there were prizes galore*.

Terms relating to adverbs

[**sentence adverb**]: used to mark an adverb which stands outside a sentence or clause, providing commentary on it as a whole or showing the speaker's or writer's attitude to what is being said, rather than the manner in which something was done. Sentence adverbs most frequently express the speaker's or writer's point of view, although they may also be used to set a context by stating a field of reference, e.g.

certainly
[sentence adverb] used to emphasize the speaker's belief that what is said is true: *the prestigious address certainly adds to the firm's appeal.*

[**as submodifier**]: used to mark an adverb which is used to modify an adjective or another adverb, e.g.

comparatively
[as submodifier] to a moderate degree as compared to something else; relatively: *inflation was comparatively low.*

Evidence and Illustrative Examples

The information presented in the dictionary about individual words is based on close analysis of how words behave in real, natural language. Behind every dictionary entry are examples of the word in use—often hundreds and thousands of them—which have been analysed to give information about typical usage, about distribution (whether typically British or typically US, for example), about register (whether informal or derogatory, for example), about currency (whether archaic or dated, for example), and about subject field (whether used only in Medicine, Finance, Chemistry, or Sport, for example).

1. Oxford English Corpus

The *Oxford Dictionary of English* was compiled using the Oxford English Corpus, which is the source both for material added to this second edition and also for updating and revising the text of the first edition. The Oxford English Corpus is the collective name for our holdings of language databases amounting to hundreds of millions of words of written and spoken English in machine-readable form, available for computational analysis. Among these language resources are the British National Corpus (100 million words) and the database of the Oxford Reading Programme (see below). In addition we have compiled a brand-new 100 million word corpus, incorporating real English of the 21st century and made up of a balanced selection of texts from all subject fields, and covering genres as diverse as Internet chatroom 'speech', academic and scholarly journals, fiction, and journalism. By using concordancing techniques, each word can be viewed almost instantaneously in the immediate contexts in which it is used. Whereas compilers of previous dictionaries were able to base their work on only a limited selection of citations, lexicographers on the *Oxford Dictionary of English* analysed hundreds of examples of each word to see how real language behaves today.

```
food_a tions are over , but that does n't mean the fun has to end . Autumn in California , like the rest of the nati
fictio ur last hours together , wishing the night would never end . But the moon still rose and the crowd did drift
fictio e . Well , it would be an adventure that would have to end . Gault had already received the communique for th
busine on record . Ward 's forecasts vehicle inventories will end March 1.8 % below their Feb. 28 level , helping to
chatro o listen hough ... : People were saying the boom would end a : year ago . They were wrong . What was the down
travel cinating as it often is -- can be very tiring , and to end a journey in a city where shopping , dining , nigh
genera always made it clear that all paramilitary groups must end all forms of terrorist activity -- that includes c
fictio  was the undisputed master of the school , the jock to end all jocks . Nearly eighteen years old , built like
genera r , the risk of sustaining a serious injury that could end a sporting career is never far away . Look at the
genera said it was not clear when the war on terrorism would end but noted it could only end " in victory for Ameri
busine l Houari Boumedienne overthrows Ben Bella , pledges to end corruption . 1976 - Boumedienne introduces a new c
genera  . The administration has resisted Israeli pressure to end diplomatic contact with Mr Arafat . However , it d
genera ls Queen Mother 31.07 . 2001 : Storms will sweep in to end heatwave 30.07 . 2001 : Home is where the heat is
genera Banzer 's current five-year presidential term , due to end in August 2002 . In his inauguration speech last s
chatro yourself in front of a train is almost always going to end in a quick and painless death . Not only does the
genera   vicious   circle   with   no   beginning   and   no end in sight . Ultimately , unless we so decide it ca
gener     .Will     Mr     Putin     's     strategy     also end   in   tears   ?   Will   he   be   floored   by   a   b
genera time instead of the normal four , and beer sales will end in the sixth inning instead of the seventh . City
food_a's contract , according to the statement , was set to end officially on Sept. 15,200 2 . Canelle , however ,
genera ate to secure a right-wing majority in parliament , to end the " cohabitation " between left and right which
milita  to June , 1862 Major General McClellan 's strategy to end the Confederate rebellion did not go as planned an
chatro en panicked and begin cancelling bids , in a frenzy to end the auction , I think AS must have been one of the
genera 00 high school seniors from three different schools to end their school year with the country music star . St
comput ven remotely forthcoming . The WOA announcement should end the long-running speculation on what chip Amiga ha
genera ree-thinking Labour MP , Graham Allen . He suggests we end the pretence and admit we have a UK presidency . T
food_a ity and safety , " she said . Still , the job does n't end there . Consumers need a hand in handling seafood
genera ceasefire was declared on Sunday as part of a plan to end the six-month rebellion . Rebels told Reuters that
generaral Democrats toy with legalisation . And they want to end the tough mandatory sentences for drug dealers . I
genera . <p> ID:034405 To the relief of many , the Nikkei did end the year above the 11,000 mark Japan kicked off it
gay_an ife living it for others . I do n't really know how to end this ... this was more of a rant than an article .
genera y good NATO is coming into the country because it will end this six-month crisis . " <p> ID:056237 WASHINGTON
chatro compensate people for hurting their feelings you would end up a pauper . ) ) Personally I think they will los
busine nations currently estimated at $ 3.4 bn a year , could end up as Thailand 's first bilateral trade deal . Aus
genera he World Cup but afterwards the fear is that they will end up as expensive white elephants because attendance
chatro  a real central government the states would eventually end up at war with each other . The democrats and repu
comput  , the technology , as well as secure messages , could end up coming out scrambled . ? Related Link AuthXML h
garden awn has a very bumpy surface , dropping the blades may end up creating " bald " patches . So in setting blade
busine violation of its loan covenants . Basically , it could end up defaulting . Byron points to the December 22 re
busine t our goal . " If he plays his cards right , Feng will end up doing both . Write to Asiaweek at mail@web.asia
genera ure she enjoyed her free time . That way she would n't end up feeling like a love slave who 'd sell her story
genera r and make their way to the training camps . Most will end up fighting for the Taliban or in the vicious conf
fictio of the rules , I 'd have to stay where I was , or I 'd end up going to Whitburn . So we worked out this arran
unknow my fin-covered feet . It 's a bit ironic that I should end up here , halfway around the world with a scuba ta
pets__ r have to worry that his or her pet , if stolen , will end up in a research laboratory . Any dealer who knowi
unknow een for the door-to-door job . Ultimately , they might end up in charge of hundreds of people . So it was a s
chatro een the remains of a few accidents and I never want to end up in one . The closest I have come was a few year
chatro  concept . If you go in a boat the intention is not to end up in the water . The buoyancy aid is insurance in
health ight loss goal . What 's worse , chronic dieters often end up in worse shape than when they started . At the
busine rs and the companies . We believe that e-commerce will end up lowering prices and improving efficiency and re
busine e top 3 per cent who provide half the comments - could end up paying $ 5 a month , if they accept ads on the
geneti Major broadcasters are now so powerful that they could end up posing a threat to existing national leagues an
interi  the borders . Be sure they are snug so that they will end up properly at the wall and leave a good finished
fictio  be the greatest mistake he would ever make . He would end up putting a pyromaniac in jail for 5 years and go
food_a  sour cream and taco chips , for example ) , you could end up with a decent , interesting salad . <p> ID:0399
interi your wine age prematurely and taste bad , or you could end up with excessive mold that will make the labels u
busine m abroad , and to find innovations they can pass on to end users . Last year 's show drew more than 23,000 pe
busine mpany recognizes revenue from product sold directly to end users at the time of shipment . " Dictaphone says
genera lestinian leadership must make a 100 percent effort to end violence and to end terror . There must be real re
genera to leave on Tuesday . Giuliani 's eight-year term will end when he swears in fellow Republican Michael Bloomb
food_a k " weight-loss fast . In fact , those effects needn't end when your cleanse does . Think of it as a sneak pr
```

Figure 1: Extract from a concordance from the Oxford English Corpus, showing the word 'end'.

Concordances show at a glance that some combinations of words (called 'collocations') occur together much more often than others. For example, in Figure 1 above, 'end in', 'end the', and 'end up' all occur quite often. But are any of these combinations important enough to be given special treatment in the dictionary?

Recent research has focused on identifying combinations that are not merely frequent but also statistically significant. In the Oxford English Corpus, the two words 'end the' occur very frequently together but they do not form a statistically significant unit, since the word 'the' is the commonest in the language. The combinations **end up** and **end in**, on the other hand, are shown to be more significant and tell the lexicographer something about the way the verb **end** behaves in normal use. Of course, a dictionary for general use cannot go into detailed statistical analysis of word combinations, but it can present examples that are typical of normal usage. In the *Oxford Dictionary of English* particularly significant or important patterns are highlighted, in bold or in bold italics, e.g.

end

[no obj.] (**end in**) have as its final part or result: *the match ended in a draw.*

[no obj.] (**end up**) eventually come to a specified place or situation: *I **ended up in** Eritrea | you could **end up with** a higher income.*

For further details, see the section on *Grammar*.

2. Oxford Reading Programme

The citation database created by the Oxford Reading Programme is an ongoing research project in which readers around the world select citations from a huge variety of specialist and non-specialist sources in all varieties of English. This database currently stands at around 77 million words and is growing at a rate of 6 million words a year.

3. Specialist reading

A general corpus does not, by definition, contain large quantities of specialized terminology. For this reason, a directed reading programme was set up specially for the *Oxford Dictionary of English*, enabling additional research and collection of citations in a number of important fields, for example food and cooking, health and fitness, boats and sailing, photography, genetics, martial arts, and complementary medicine.

4. Examples

The *Oxford Dictionary of English* contains many more examples of words in use than any other comparable dictionary. Generally, they are there to show typical uses of the word or sense. All examples are authentic, in that they represent actual usage. In the past, dictionaries have used made-up examples, partly because not enough authentic text was available and partly through an assumption that invented examples were somehow better in that they could be tailored to the precise needs of the dictionary entry. Such a view finds little favour today, and it is now generally recognized that the 'naturalness' provided by authentic examples is of the utmost importance in providing an accurate picture of language in use.

Word Histories

The etymologies in standard dictionaries explain the language from which a word was brought into English, the period at which it is first recorded in English, and the development of modern word forms. While the *Oxford Dictionary of English* does this, it also goes further. It explains sense development as well as morphological (or form) development. Information is presented clearly and with a minimum of technical terminology, and the perspective taken is that of the general reader who would like to know about word origins but who is not a philological specialist. In this context, the history of how and why a particular meaning developed from an apparently quite different older meaning is likely to be at least as interesting as, for example, what the original form was in Latin or Greek.

For example, the word history for the word **oaf** shows how the present meaning developed from the meaning 'elf', while the entry for **conker** shows how the word may be related both to 'conch' and 'conquer' (explaining how the original game of conkers was played with snail shells rather than the nut of the horse chestnut):

oaf

definition a stupid, boorish, or clumsy man.

origin – ORIGIN early 17th cent.: variant of obsolete *auf*, from Old Norse *álfr* 'elf'. The original meaning was 'elf's child, changeling', later 'idiot child' and 'halfwit', generalized in the current sense.

conker

definition Brit. the hard, shiny dark brown nut of a horse chestnut tree.

■ (**conkers**) [treated as sing.] a children's game in which each has a conker on the end of a string and takes turns in trying to break another's with it.

origin – ORIGIN mid 19th cent. (a dialect word denoting a snail shell, with which the game, or a form of it, was originally played): perhaps from **CONCH**, but associated with (and frequently spelled) **CONQUER** in the 19th and early 20th cents: an alternative name was *conquerors*.

Additional special features of the *Oxford Dictionary of English* include 'internal etymologies' and 'folk etymologies'. Internal etymologies are given within entries to explain the origin of particular senses, phrases, or idioms. For example, how did the figurative use of **red herring** come about? Why do we call something a **flash in the pan**?

red herring

definition **1** a dried smoked herring, which is turned red by the smoke.
2 a clue or piece of information which is or is intended to be misleading or distracting: *the argument about women's choices is largely a red herring.*

origin [ORIGIN so named from the practice of using the scent of red herring in training hounds.]

flash

definition **flash in the pan** a thing or person whose sudden but brief success is not repeated or repeatable: *our start to the season was just a flash in the pan.*

origin [ORIGIN with allusion to priming of a firearm, the flash arising from an explosion of gunpowder within the lock.]

The *Oxford Dictionary of English* presents the information in a straightforward, user-friendly fashion immediately following the relevant definition.

In a similar vein, folk etymologies—those explanations which are unfounded but nevertheless well known to many people—have traditionally simply been ignored in dictionaries. The *Oxford Dictionary of English* gives an account of widely held but often erroneous folk etymologies for the benefit of the general reader, explaining competing theories and assessing their relative merits where applicable.

posh

origin – ORIGIN early 20th cent.: perhaps from slang *posh*, denoting a dandy. There is no evidence to support the folk etymology that posh is formed from the initials of *port out starboard home* (referring to the more comfortable accommodation, out of the heat of the sun, on ships between England and India).

snob

origin – ORIGIN late 18th cent. (originally dialect in the sense 'cobbler'): of unknown origin; early senses conveyed a notion of 'lower status or rank', later denoting a person seeking to imitate those of superior social standing or wealth. Folk etymology connects the word with Latin *sine nobilitate* 'without nobility' but the first recorded sense has no connection with this.

Researching word histories is similar in some respects to archaeology: the evidence is often partial or not there at all, and etymologists must make informed decisions using the evidence available, however inadequate it may be. From time to time new evidence becomes available, and the known history of a word may need to be reconsidered. In this, the *Oxford Dictionary of English* has been able to draw on the extensive expertise and ongoing research of the *Oxford English Dictionary*.

Usage Notes

Interest in questions of good usage is widespread among English speakers everywhere, and many issues are hotly debated. In the *Oxford Dictionary of English*, traditional issues have been reappraised, and guidance is given on various points, old and new. The aim is to help people to use the language more accurately, more clearly, and more elegantly, and to give information and offer reassurance in the face of some of the more baffling assertions about 'correctness' that are sometimes made.

This reappraisal has involved looking carefully at evidence of actual usage (in the Oxford English Corpus, the citations collected by the Oxford Reading Programme, and other sources) in order to find out where mistakes are actually being made, and where confusion and ambiguity actually arise. The issues on which journalists and others tend to comment have been reassessed and a judgement made about whether their comments are justified.

From the 15th century onwards, traditionalists have been objecting to particular senses of certain English words and phrases, for example 'aggravate', 'due to', and 'hopefully'. Certain grammatical structures, too, have been singled out for adverse comment, notably the split infinitive and the use of a preposition at the end of a clause. Some of these objections are founded on very dubious arguments, for example the notion that English grammatical structures should precisely parallel those of Latin or that meaning change of any kind is inherently suspect.

preposition

usage note **USAGE** There is a traditional view, first set forth by the 17th-century poet and dramatist John Dryden, that it is incorrect to put a preposition at the end of a sentence, as in *where do you come **from**? or she's not a writer I've ever come **across***. The rule was formulated on the basis that, since in Latin a preposition cannot come after the word it governs or is linked with, the same should be true of English. The problem is that English is not like Latin in this

respect, and in many cases (particularly in questions and with phrasal verbs) the attempt to move the preposition produces awkward, unnatural-sounding results. Winston Churchill famously objected to the rule, saying *'This is the sort of English* ***up with*** *which I will not* ***put***.' In standard English the placing of a preposition at the end of a sentence is widely accepted, provided the use sounds natural and the meaning is clear.

due

usage note **USAGE** **Due to** in the sense 'because of', as in *he had to retire* ***due to*** *an injury*, has been condemned as incorrect on the grounds that **due** is an adjective and should not be used as a preposition; **owing to** is often recommended as a better alternative. However, the prepositional use, first recorded at the end of the 19th century, is now common in all types of literature and is regarded as part of standard English.

aggravate

usage note **USAGE** **Aggravate** in the sense 'annoy or exasperate' dates back to the 17th century and has been so used by respected writers ever since. This use is still regarded as incorrect by some traditionalists on the grounds that it is too radical a departure from the etymological meaning of 'make heavy'. It is, however, comparable to meaning changes in hundreds of other words which have long been accepted without comment.

The usage notes in the *Oxford Dictionary of English* take the view that English is English, not Latin, and that English is, like all languages, subject to change. Good usage is usage that gets the writer's message across, not usage that conforms to some arbitrary rules that fly in the face of historical fact or current evidence. The editors of the *Oxford Dictionary of English* are well aware that the prescriptions of pundits in the past have had remarkably little practical effect on the way the language is actually used. A good dictionary reports the language as it is, not as the editors (or anyone else) would wish it to be, and the usage notes must give guidance that accords with observed facts about present-day usage.

This is not to imply that the issues are straightforward or that there are simple solutions, however. Much of the debate about use of language is highly political and controversy is, occasionally, inevitable. Changing social attitudes have stigmatized long-established uses such as the word 'man' to denote the human race in general, for example, and have highlighted the absence of a gender-neutral singular pronoun meaning both 'he' and 'she' (for which purpose 'they' is increasingly being used). Similarly, words such as 'race' and 'native' are now associated with particular problems of sensitivity in use, and the ways that disability is referred to have come under close examination. The usage notes in the *Oxford Dictionary of English* offer information and practical advice on such issues.

man

usage note **USAGE** Traditionally the word **man** has been used to refer not only to adult males but also to human beings in general, regardless of sex. There is a historical explanation for this: in Old English the principal sense of **man** was 'a human being', and the words **wer** and **wif** were used to refer specifically to 'a male person' and 'a female person' respectively. Subsequently, **man** replaced **wer** as the normal term for 'a male person', but at the same time the older sense 'a human being' remained in use.
In the second half of the twentieth century the generic use of **man** to refer to 'human beings in general' (as in *reptiles were here long before man appeared on the earth*) became problematic; the use is now often regarded as sexist or at best old-fashioned. In some contexts, alternative terms such as **the human race** or **humankind** may be used. Fixed phrases and sayings such as *time and tide wait for no* ***man*** can be easily rephrased, e.g. *time and tide wait for* ***nobody***. However, in other cases, particularly in compound forms, alternatives have not yet become established: there are no standard accepted alternatives for **manpower** or the verb **man**, for example.

native

usage note **USAGE** In contexts such as *a* ***native*** *of Boston* the use of the noun **native** is quite acceptable. But when used as a noun without qualification, as in *this dance is a favourite with the* ***natives***, it is more problematic. In modern use it is used humorously to refer to the local inhabitants of a particular place (*New York in the summer was too hot even for the* ***natives***). In other contexts it has an old-fashioned feel and, because of being closely associated with a colonial European outlook on non-white peoples living in remote places, it may cause offence.

disabled

usage note **USAGE** The word **disabled** came to be used as the standard term in referring to people with physical or mental disabilities in the second half of the 20th century, and it remains the most generally accepted term in both British and US English today. It superseded outmoded, now often offensive, terms such as **crippled**, **defective**, and **handicapped** and has not been overtaken itself by newer coinages such as **differently abled** or **physically challenged**.
Although the usage is very widespread, some people regard the use of the adjective as a plural noun (as in *the needs of the disabled*) as dehumanizing because it tends to treat people with disabilities as an undifferentiated group, defined merely by their capabilities. To avoid offence, a more acceptable term would be **people with disabilities**.

Standard English

Unless otherwise stated, the words and senses recorded in this dictionary are all part of standard English; that is, they are in normal use in both speech and writing everywhere in the world, at many different levels of formality, ranging from official documents to casual conversation. Some words, however, are appropriate only in particular contexts, and these are labelled accordingly. The technical term for a particular level of use in language is **register**.

The *Oxford Dictionary of English* uses the following register labels:

formal: normally used only in writing, in contexts such as official documents.

informal: normally used only in contexts such as conversations or letters among friends.

dated: no longer used by the majority of English speakers, but still encountered occasionally, especially among the older generation.

archaic: very old-fashioned language, not in ordinary use at all today, but sometimes used to give a deliberately old-fashioned effect or found in works of the past that are still widely read.

historical: still used today, but only to refer to some practice or artefact that is no longer part of the modern world, e.g.

baldric
historical a belt for a sword or other piece of equipment, worn over one shoulder and reaching down to the opposite hip.

almoner
historical an official distributor of alms.

literary: found only or mainly in literature written in an 'elevated' style.

technical: normally used only in technical and specialist language, though not necessarily restricted to any specific subject field.

rare: not in normal use.

humorous: used with the intention of sounding funny or playful.

dialect: not used in the standard language, but still widely used in certain local regions of the English-speaking world. A distinction is made between traditional dialect, which is generally to do with rural society and agricultural practices which have mostly died out, and contemporary dialect, where speakers may not even be aware that the term is in fact a regionalism. The *Oxford Dictionary of English* aims to include the main contemporary dialect terms, but does not set out to record traditional dialect.

offensive: language that is likely to cause offence, particularly racial offence, whether the speaker intends it or not.

Oxford Dictionary of Englishのデータについて

derogatory: language intended to convey a low opinion or cause personal offence.

euphemistic: mild or indirect language used to avoid making direct reference to something unpleasant or taboo.

vulgar slang: informal language that may cause offence, often because it refers to the bodily functions of sexual activity or excretion, which are still widely regarded as taboo.

World English

English is spoken as a first language by more than 300 million people throughout the world, and used as a second language by many millions more. It is the language of international communication in trade, diplomacy, sport, science, technology, and countless other fields.

The main regional standards are British, US and Canadian, Australian and New Zealand, South African, Indian, West Indian, and SE Asian. Within each of these regional varieties, a number of highly differentiated local dialects may be found. For example, within British English, Scottish and Irish English have a long history and a number of distinctive features, which have in turn influenced particular North American and other varieties.

The scope of a dictionary such as the *Oxford Dictionary of English*, given the breadth of material it aims to cover, must be limited in the main to the vocabulary of the standard language throughout the world rather than local dialectal variation. Nevertheless, the *Oxford Dictionary of English* includes thousands of regionalisms encountered in standard contexts in the different English-speaking areas of the world, e.g.

bakkie
S. African **1** a light truck or pickup truck.

larrikin
Austral./NZ a boisterous, often badly behaved young man.
■ a person with apparent disregard for convention; a maverick: [as modifier] *the larrikin trade union leader.*

ale
[mass noun] chiefly Brit. any beer other than lager, stout, or porter: *a draught of ale* | [count noun] *traditional cask-conditioned ales.*
■ N. Amer. beer brewed by top fermentation.

history-sheeter
▶ **noun** Indian a person with a criminal record.

sufferation
▶ **noun** [mass noun] W. Indian unpleasant experiences; suffering: *our sufferation shall be no more.*

The underlying approach has been to get away from the traditional, parochial notion that 'correct' English is spoken only in England and more particularly only in Oxford or London. A network of consultants in all parts of the English-speaking world has assisted in this by giving information and answering queries—by email, on a regular, often daily basis—on all aspects of the language in a particular region. Often, the aim has been to find out whether a particular word, sense, or expression, well known and standard in British English, is used anywhere else. The picture that emerges is one of complex interactions among an overlapping set of regional standards.

The vast majority of words and senses in the *Oxford Dictionary of English* are common to all the major regional standard varieties of English, but where important local differences exist, the *Oxford Dictionary of English* records them. There are more than 14,000 geographical labels on words and senses in this dictionary, but this contrasts with more than ten times that number which are not labelled at all.

The complexity of the overall picture has necessarily been simplified, principally for reasons of space and clarity of presentation. For example, a label such as 'chiefly Brit.' implies but does not state that a term is not standard in American English, though it may nevertheless be found in some local varieties in the US. In addition, the label 'US' implies that the use is typically US (and probably originated in the US) and is not standard in British English, but it might be found in other varieties such as Australian or South African English. The label 'Brit.', on the other hand, implies that the use is found typically in standard British English but is not found in standard American English, though it may be found elsewhere.

Spelling

It is often said that English spelling is both irregular and illogical, and it is certainly true that it is only indirectly related to contemporary pronunciation. English spelling reflects not modern pronunciation but the pronunciation of the 14th century, as used by Chaucer. This traditional spelling was reinforced in the 16th and 17th centuries, in particular through the influence of the works of Shakespeare and the Authorized Version of the Bible. However, in the two centuries between Chaucer and Shakespeare English pronunciation had undergone huge changes, but spelling had failed to follow.

In the 18th century standard spelling became almost completely fixed. The dictionaries written in this period, particularly Samuel Johnson's *Dictionary of the English Language* (1755), helped establish this national standard, which, with only minor change and variation, is the standard accepted in English today. The complex history of the English language, together with the absence of any ruling body imposing 'spelling reform', has ensured that many idiosyncrasies and anomalies in standard spelling have not only arisen but have also been preserved.

The *Oxford Dictionary of English* gives advice and information on spelling, particularly those cases which are irregular or which otherwise cause difficulty for native speakers. The main categories are summarized below.

Variant spellings

The main form of each word given in the *Oxford Dictionary of English* is always the standard British spelling. If there is a standard variant, e.g. a standard US spelling variant, this is indicated at the top of the entry and is cross-referred if its alphabetical position is more than three entries distant from the main entry. The entries below show that **filo** is the form most commonly used, but **phyllo** is equally correct and acceptable, although found less frequently.

filo /ˈfiːləʊ/ (also **phyllo**)

phyllo variant spelling of **FILO**.

aluminium (US **aluminum**)

Other variants, such as archaic, old-fashioned, or informal spellings, are cross-referred to the main entry, but are not themselves listed at the parent entry.

Esquimau archaic spelling of **ESKIMO**.

-ise or ize?

Many verbs end with the suffix **-ize** or **ise**. The form **-ize** has been in use in English since the 16th century, and, despite what some people think, is not an Americanism. The alternative form **-ise** is found more commonly in British than in American English. For most verbs of this class either **-ize** or **-ise** is acceptable; this dictionary has used **-ize** spellings, with **-ise** given as an equally correct, alternative spelling. For some words, however, **-ise** is obligatory: first, where it forms part of a larger word element, such as **-mise** (= sending) in **compromise**, and **-prise** (= taking) in **surprise**; and second, in verbs corresponding to nouns with **-s-** in the stem, such as **advertise** and **televise**.

Hyphenation

Although standard spelling in English is fixed, the use of hyphenation is not. In standard English a few general rules are followed, and these are outlined below.

Hyphenation of noun compounds: There is no hard-and-fast rule saying whether, for example, **airstream**, **air stream**, or **air-stream** is correct. All forms are found in use: all are recorded in the Oxford English Corpus and other standard texts. However, there is a broad tendency to avoid hyphenation for noun compounds in modern English (except when used to show grammatical function: see below). Thus there is, for example, a preference for **airstream** rather than **air-stream** and for **air raid** rather than **air-raid**. Although this is a tendency in both British and US English there is an additional preference in US English for the form to be one word and in British English for the form to be two words, e.g. **buck tooth** tends to be the commonest form in British English, while **bucktooth** tends to be the commonest form in US English. To save space and avoid confusion, only one of the three potential forms of each noun compound (the standard British one) is used as the headword form in the *Oxford Dictionary of English*. This does not, however, imply that other forms are incorrect or not used.

Grammatical function: Hyphens are also used to perform certain grammatical functions. When a noun compound made up of two separate words (e.g. **credit card**) is placed before another noun and used to modify it, the general rule is that the noun compound becomes hyphenated, e.g. *I used my credit card* but *credit-card debt*. This sort of regular alternation is seen in example sentences in the *Oxford Dictionary of English* but is not otherwise explicitly mentioned in the dictionary entries.

A similar alternation is found in compound adjectives such as **well intentioned**. When used predicatively (i.e. after the verb), such adjectives are unhyphenated, but when used attributively (i.e. before the noun), they are hyphenated: *his remarks were well intentioned* but *a well-intentioned remark*.

A general rule governing verb compounds means that, where a noun compound is two words (e.g. **beta test**), any verb derived from it is normally hyphenated (to **beta-test**: *the system was beta-tested*). Similarly, verbal nouns and adjectives are more often hyphenated than ordinary noun or adjective compounds (e.g. **glass-making**, **nation-building**).

Phrasal verbs such as 'take off', 'take over', and 'set up' are not hyphenated, but nouns formed from phrasal verbs are hyphenated, or, increasingly, written as one word: *the plane accelerated for take-off*; *a hostile takeover*; *he didn't die, it was a set-up*. There is an increasing tendency to hyphenate the verb form as well (*food available to take-away*) but this is not good writing style and should be avoided.

Inflection

Compared with other European languages, English has comparatively few inflections, and those that exist are remarkably regular. We add an *-s* to most nouns to make a plural; we add *-ed* to most verbs to make a past tense or a past participle, and *-ing* to make a present participle.

Occasionally, a difficulty arises: for example, a single consonant after a short stressed vowel is doubled before adding *-ed* or *-ing* (**hum**, **hums**, **humming**, **hummed**). In addition, words borrowed from other languages generally bring their foreign inflections with them, causing problems for English speakers who are not proficient in those languages.

In all such cases, guidance is given in the *Oxford Dictionary of English*. The main areas covered are outlined below.

Verbs

The following forms are regarded as regular and are therefore not shown in the dictionary:

- third person singular present forms adding *-s* to the stem (or *-es* to stems ending in *-s*, *-x*, *-z*, *-sh*, or soft *-ch*), e.g. **find** → **finds** or **possess** → **possesses**
- past tenses and past participles dropping a final silent *e* and adding *-ed* to the stem, e.g. **change** → **changed** or **dance** → **danced**
- present participles dropping a final silent *e* and adding *-ing* to the stem, e.g. **change** → **changing** or **dance** → **dancing**

Other forms are given in the dictionary, notably for:

- verbs which inflect by doubling a consonant, e.g. **bat** → **batting**, **batted**
- verbs ending in *-y* which inflect by changing *-y* to *-i*, e.g. **try** → **tries**, **tried**
- verbs in which past tense and past participle do not follow the regular *-ed* pattern, e.g. **feel** → PAST and PAST PARTICIPLE **felt**; **awake** → PAST **awoke**; PAST PARTICIPLE **awoken**
- present participles which add *-ing* but retain a final *e* (in order to make clear that the pronunciation of *g* remains soft), e.g. **singe** → **singeing**

Nouns

Plurals formed by adding *-s* (or *-es* when they end in *-s*, *-x*, *-z*, *-sh*, or soft *-ch*) are regarded as regular and are not shown.

Other plural forms are given in the dictionary, notably for:

- nouns ending in *-i* or *-o*, e.g. **agouti** → **agoutis**; **albino** → **albinos**
- nouns ending in *-a*, *-um*, or *-us* which are or appear to be Latinate forms, e.g. **alumna** → **alumnae**; **spectrum** → **spectra**; **alveolus** → **alveoli**
- nouns ending in *-y*, e.g. **fly** → **flies**
- nouns with more than one plural form, e.g. **storey** → **storeys** or **stories**
- nouns with plurals showing a change in the stem, e.g. **foot** → **feet**
- nouns with plurals unchanged from the singular form, e.g. **sheep** → **sheep**

Adjectives

The following forms for comparative and superlative are regarded as regular and are not shown in the dictionary:

- words of one syllable adding *-er* and *-est*, e.g. **great** → **greater**, **greatest**
- words of one syllable ending in silent *e*, which drop the *-e* and add *-er* and *-est*, e.g. **brave** → **braver**, **bravest**
- words which form the comparative and superlative by adding 'more' and 'most'

Other forms are given in the dictionary, notably for:

- adjectives which form the comparative and superlative by doubling a final consonant, e.g. **hot** → **hotter**, **hottest**
- two-syllable adjectives which form the comparative and superlative with *-er* and *-est* (typically adjectives ending in *-y* and their negative forms), e.g. **happy** → **happier**, **happiest**; **unhappy** → **unhappier**, **unhappiest**

Pronunciations

Generally speaking, native speakers of English do not need information about the pronunciation for ordinary, everyday words such as **bake**, **baby**, **beach**, **bewilder**, **boastful**, or **budget**. For this reason, no pronunciations are given for such words (or their compounds and derivatives) in the *Oxford Dictionary of English*. Words such as **baba ganoush**, **baccalaureate**, **beatific**, **bijouterie**, **bucolic**, and **buddleia**, on the other hand, are less familiar and may give problems. Similarly, difficulties are often encountered in pronouncing names of people and places, especially foreign ones, such as **Dehra**, **Dun**, **Kieslowski**, and **Althusser**.

In the *Oxford Dictionary of English*, the principle followed is that pronunciations are given where they are likely to cause problems for the native speaker of English, in particular for foreign words, foreign names, scientific and other specialist terms, rare words, words with unusual stress patterns, and words where there are alternative pronunciations or where there is a dispute about the standard pronunciation.

Oxford Dictionary of Englishのデータについて

The *Oxford Dictionary of English* uses the International Phonetic Alphabet (IPA) to represent the standard accent of English as spoken in the south of England (sometimes called Received Pronunciation or RP). The transcriptions reflect pronunciation as it actually is in modern English, unlike some longer-established systems, which reflect the standard pronunciation of broadcasters and public schools in the 1930s. It is recognized that, although the English of southern England is the pronunciation given, many variations are heard in standard speech in other parts of the English-speaking world.

The symbols used for English words, with their values, are given below. In multi-syllable words the symbol ˈ is used to show that the following syllable is stressed (as in kəˈbal); ˌ indicates a secondary stress (as in ˌkaləˈbriːs).

Consonants: *b*, *d*, *f*, *h*, *k*, *l*, *m*, *n*, *p*, *r*, *s*, *t*, *v*, *w*, and *z* have their usual English values. Other symbols are used as follows:

g	**g**et	x	lo**ch**	ð	**th**is	j	**y**es
tʃ	**ch**ip	ŋ	ri**ng**	ʃ	**sh**e		
dʒ	**j**ar	θ	**th**in	ʒ	deci**s**ion		

Vowels

SHORT VOWELS		LONG VOWELS (ː indicates length)		DIPHTHONGS		TRIPHTHONGS	
a	c**a**t	ɑː	**ar**m	ʌɪ	m**y**	ʌɪə	**fire**
ɛ	b**e**d	ɛː	h**air**	aʊ	h**ow**	aʊə	s**our**
ə	**a**go	əː	h**er**	eɪ	d**ay**		
ɪ	s**i**t	iː	s**ee**	əʊ	n**o**		
i	cos**y**	ɔː	s**aw**	ɪə	n**ear**		
ɒ	h**o**t	uː	t**oo**	ɔɪ	b**oy**		
ʌ	r**u**n			ʊə	p**oor**		
ʊ	p**u**t						

(ə) before /l/, /m/, or /n/ indicates that the syllable may be realized with a syllabic **l**, **m**, or **n**, rather than with a vowel and a consonant, e.g. /ˈbʌt(ə)n/ rather than /ˈbʌtən/.
(r) indicates an **r** that is sometimes sounded when a vowel follows, as in dra**w**er, cha-cha**i**ng.

Foreign pronunciations

Foreign words and phrases, whether naturalized or not, are always given an anglicized pronunciation. The anglicized pronunciation represents the normal pronunciation used by native speakers of standard English (who may not be speakers of other languages) when using the word in an English context. A foreign pronunciation is also given for words taken from other languages (principally French, Dutch, German, Italian, Russian, and Spanish) where this is appreciably different from the anglicized form and where the other language is familiar to a reasonable number of English speakers.

Where the native form of a foreign place name is given in addition to the anglicized form, only the foreign pronunciation of this form is given, e.g.

Wisła /ˈviswa/
Polish name for **Vistula**.

Foreign-language transcriptions are based on current national standards. Regional variations have not been given, except in the case of Spanish transcriptions, where both Castilian and American Spanish variants are given (if distinct). Transcriptions are broad, and many symbols, identical to those used for transcribing English, have similar values to those of RP. In a few cases, where there is no English equivalent to a foreign sound, a symbol has been added to the inventory. The additional symbols used to represent foreign pronunciations are given below.

Consonants

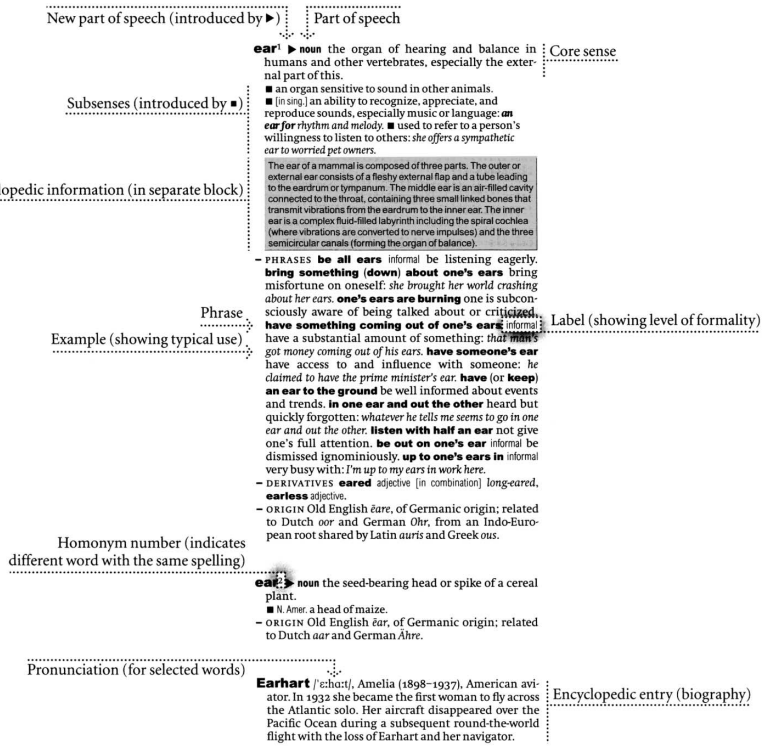
ç	(German)	Ehrli**ch**, gemütli**ch**
ɲ	(French)	Monsei**gn**eur, Auver**gn**e, Daubi**gn**y
	(Italian)	Emilia-Roma**gn**a
	(Portuguese)	Mi**nh**o
	(Spanish)	Espa**ñ**a, Bu**ñ**uel
β	(Spanish)	Bil**b**ao
ɣ	(Spanish)	Bur**g**os
ʎ	(Italian)	Ca**gl**iari
z	(Hungarian)	Ma**gy**arország
ʀ	French 'r'	Anve**r**s, A**r**les
r	all other values of 'r' in other featured languages	(German) B**r**aunschweig (Italian) Alber**t**i (Russian) G**r**odno (Spanish) Algeci**r**as, za**r**zuela

Vowels

SHORT VOWELS			LONG VOWELS (ː indicates length)		
ɐ	(German)	Abitu**r**	aː	(Dutch)	Den H**aa**g
				(German)	**Aa**chen
ɑ	(Dutch)	Nederl**a**nd			
e	(French)	abb**é**	eː	(German)	W**eh**rmacht
	(Italian)	Croc**e**		(Dutch)	N**e**derland
	(Spanish)	Albac**e**te		(Irish)	G**ae**ltacht
o	(French)	**au**berge	oː	(German)	verb**o**ten
	(Italian)	Pali**o**		(Hungarian)	Brass**ó**
	(Spanish)	C**o**rtes			
ɔ	(French)	B**o**nnard			
	(German)	durchk**o**mponiert			
	(Greek)	Dhil**o**s			
	(Hungarian)	Br**a**ssó			
	(Italian)	B**o**rgia			
œ	(French)	Past**eur**			
ø	(French)	Jussi**eu**	øː	(German)	Gasth**ö**fe
u	(French)	Anj**ou**			
	(Italian)	Duccio			
	(Spanish)	As**u**nción			
y	(French)	cr**u**	yː	(German)	gem**ü**tlich
ʏ	(German)	M**ü**nchen			
ʲ	(Irish)	Dáil			
	(Russian)	Arkhang**e**lsk			
ˈ	(French)	**H**orta			

NASALIZED VOWELS (˜ indicates nasality)			DIPHTHONGS		
ɑ̃	pi**n**cette	used for anglicized French pronunciations	aɪ	(German)	Gl**ei**chschaltung
ɔ̃	cord**on** bleu				
ɑ̃	(French)	D**an**ton, Lac Le**m**an			
ɛ̃	(French)	Ami**ens**, Rod**in**			
œ̃	(French)	Verd**un**			
ɔ̃	(French)	arr**on**dissement			

How to use this dictionary



ear[1] ▶ **noun** the organ of hearing and balance in humans and other vertebrates, especially the external part of this.

■ an organ sensitive to sound in other animals.

■ [in sing.] an ability to recognize, appreciate, and reproduce sounds, especially music or language: ***an ear for*** *rhythm and melody.* ■ used to refer to a person's willingness to listen to others: *she offers a sympathetic ear to worried pet owners.*

The ear of a mammal is composed of three parts. The outer or external ear consists of a fleshy external flap and a tube leading to the eardrum or tympanum. The middle ear is an air-filled cavity connected to the throat, containing three small linked bones that transmit vibrations from the eardrum to the inner ear. The inner ear is a complex fluid-filled labyrinth including the spiral cochlea (where vibrations are converted to nerve impulses) and the three semicircular canals (forming the organ of balance).

– PHRASES **be all ears** informal be listening eagerly. **bring something (down) about one's ears** bring misfortune on oneself: *she brought her world crashing about her ears.* **one's ears are burning** one is subconsciously aware of being talked about or criticized. **have something coming out of one's ears** informal have a substantial amount of something: *that man's got money coming out of his ears.* **have someone's ear** have access to and influence with someone: *he claimed to have the prime minister's ear.* **have** (or **keep**) **an ear to the ground** be well informed about events and trends. **in one ear and out the other** heard but quickly forgotten: *whatever he tells me seems to go in one ear and out the other.* **listen with half an ear** not give one's full attention. **be out on one's ear** informal be dismissed ignominiously. **up to one's ears in** informal very busy with: *I'm up to my ears in work here.*

– DERIVATIVES **eared** adjective [in combination] *long-eared,* **earless** adjective.

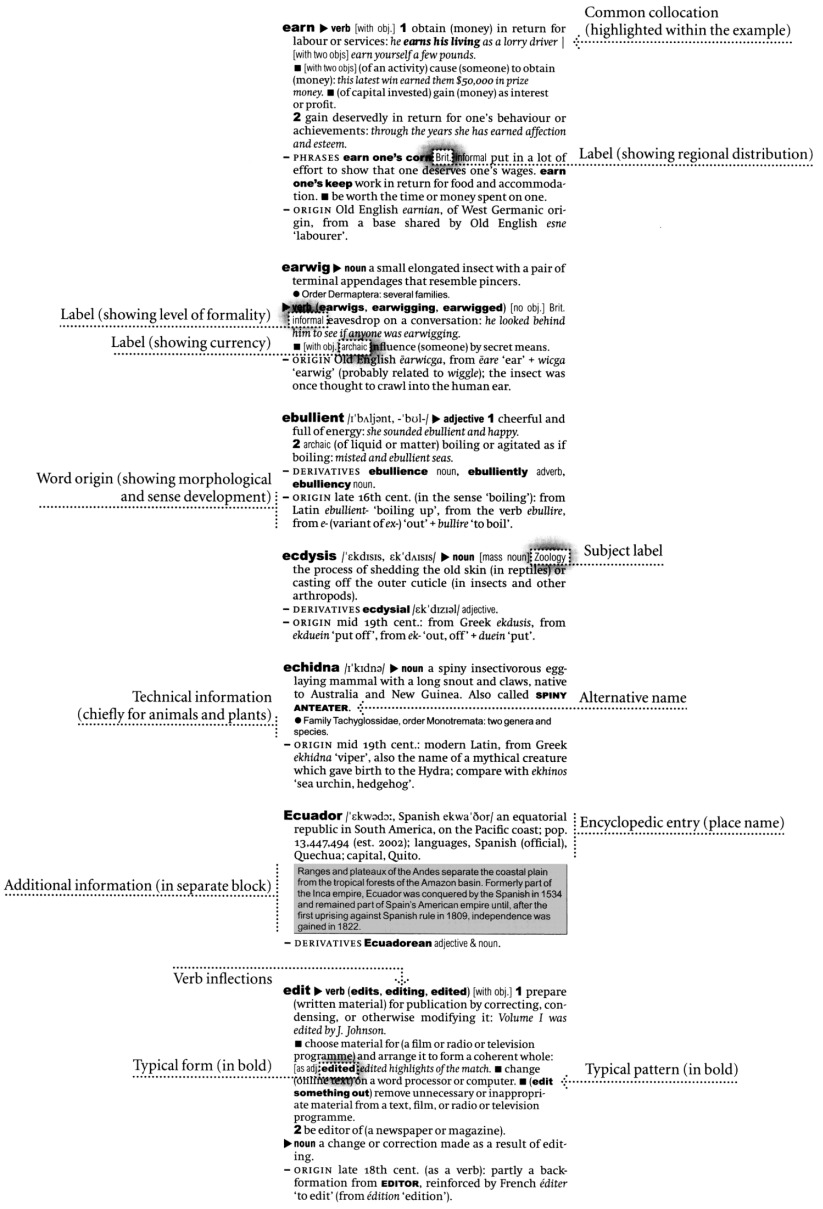
– ORIGIN Old English *ēare,* of Germanic origin; related to Dutch *oor* and German *Ohr,* from an Indo-European root shared by Latin *auris* and Greek *ous.*

ear[2] ▶ **noun** the seed-bearing head or spike of a cereal plant.

■ N. Amer. a head of maize.

– ORIGIN Old English *ēar,* of Germanic origin; related to Dutch *aar* and German *Ähre.*

Earhart /ˈɛːhɑːt/, Amelia (1898–1937), American aviator. In 1932 she became the first woman to fly across the Atlantic solo. Her aircraft disappeared over the Pacific Ocean during a subsequent round-the-world flight with the loss of Earhart and her navigator.



earn ▶ **verb** [with obj.] **1** obtain (money) in return for labour or services: *he* ***earns his living*** *as a lorry driver* | [with two objs] *earn yourself a few pounds.*

■ [with two objs] (of an activity) cause (someone) to obtain (money): *this latest win earned them $50,000 in prize money.* ■ (of capital invested) gain (money) as interest or profit.

2 gain deservedly in return for one's behaviour or achievements: *through the years she has earned affection and esteem.*

– PHRASES **earn one's corn** Brit. informal put in a lot of effort to show that one deserves one's wages. **earn one's keep** work in return for food and accommodation. ■ be worth the time or money spent on one.

– ORIGIN Old English *earnian,* of West Germanic origin, from a base shared by Old English *esne* 'labourer'.

earwig ▶ **noun** a small elongated insect with a pair of terminal appendages that resemble pincers.

● Order Dermaptera: several families.

▶ **verb** (**earwigs, earwigging, earwigged**) [no obj.] Brit. informal eavesdrop on a conversation: *he looked behind him to see if anyone was earwigging.*

■ [with obj.] archaic influence (someone) by secret means.

– ORIGIN Old English *ēarwicga,* from *ēare* 'ear' + *wicga* 'earwig' (probably related to *wiggle*); the insect was once thought to crawl into the human ear.

ebullient /ɪˈbʌljənt, -ˈbʊl-/ ▶ **adjective 1** cheerful and full of energy: *she sounded ebullient and happy.*

2 archaic (of liquid or matter) boiling or agitated as if boiling: *misted and ebullient seas.*

– DERIVATIVES **ebullience** noun, **ebulliently** adverb, **ebulliency** noun.

– ORIGIN late 16th cent. (in the sense 'boiling'): from Latin *ebullient-* 'boiling up', from the verb *ebullire,* from *e-* (variant of *ex-*) 'out' + *bullire* 'to boil'.

ecdysis /ˈɛkdɪsɪs, ɛkˈdʌɪsɪs/ ▶ **noun** [mass noun] Zoology the process of shedding the old skin (in reptiles) or casting off the outer cuticle (in insects and other arthropods).

– DERIVATIVES **ecdysial** /ɛkˈdɪzɪəl/ adjective.

– ORIGIN mid 19th cent.: from Greek *ekdusis,* from *ekduein* 'put off', from *ek-* 'out, off' + *duein* 'put'.

echidna /ɪˈkɪdnə/ ▶ **noun** a spiny insectivorous egg-laying mammal with a long snout and claws, native to Australia and New Guinea. Also called **SPINY ANTEATER.**

● Family Tachyglossidae, order Monotremata: two genera and species.

– ORIGIN mid 19th cent.: modern Latin, from Greek *ekhidna* 'viper', also the name of a mythical creature which gave birth to the Hydra; compare with *ekhinos* 'sea urchin, hedgehog'.

Ecuador /ˈɛkwədɔː, Spanish ekwaˈðor/ an equatorial republic in South America, on the Pacific coast; pop. 13,447,494 (est. 2002); languages, Spanish (official), Quechua; capital, Quito.

Ranges and plateaux of the Andes separate the coastal plain from the tropical forests of the Amazon basin. Formerly part of the Inca empire, Ecuador was conquered by the Spanish in 1534 and remained part of Spain's American empire until, after the first uprising against Spanish rule in 1809, independence was gained in 1822.

– DERIVATIVES **Ecuadorean** adjective & noun.

edit ▶ **verb** (**edits, editing, edited**) [with obj.] **1** prepare (written material) for publication by correcting, condensing, or otherwise modifying it: *Volume 1 was edited by J. Johnson.*

■ choose material for (a film or radio or television programme) and arrange it to form a coherent whole: [as adj.] **edited** *edited highlights of the match.* ■ change (text) on a word processor or computer. ■ (**edit something out**) remove unnecessary or inappropriate material from a text, film, or radio or television programme.

2 be editor of (a newspaper or magazine).

▶ **noun** a change or correction made as a result of editing.

– ORIGIN late 18th cent. (as a verb): partly a back-formation from **EDITOR**, reinforced by French *éditer* 'to edit' (from *édition* 'edition').

Plural form

elf ▶ **noun** (pl. **elves**) a supernatural creature of folk tales, typically represented as a small, delicate, elusive figure in human form with pointed ears, magical powers, and a capricious nature.

Derivatives (in alphabetical order)

– DERIVATIVES **elfish** adjective, **elven** adjective (literary), **elvish** adjective.

– ORIGIN Old English, of Germanic origin; related to German *Alp* 'nightmare'.

enter ▶ **verb 1** come or go into (a place): [with obj.] *she entered the kitchen* | [no obj.] *the door opened and Karl entered.* ■ [no obj.] used as a stage direction to indicate when a character comes on stage: *enter Hamlet.* ■ [with obj.] come or be introduced into: *the thought never entered my head.* ■ [with obj.] penetrate (something): *the bullet entered his stomach.* ■ [with obj.] (of a man) insert the penis into the vagina of (a woman).
2 [with obj.] begin to be involved in: *in 1941 America entered the war.* ■ become a member of or start working in (an institution or profession): *he entered the army as a cadet.* ■ register as a competitor or participant in a tournament, race, or examination: *they won every race they entered* | *the horse was entered in the Martell Cup at Aintree.* ■ start or reach (a stage or period of time) in an activity or situation: *the election campaign entered its final phase.* ■ [no obj.] (of a particular performer in an ensemble) start or resume playing or singing.
3 write or key (information) in a book, computer, etc.: *children can* ***enter*** *the data* ***into*** *the computer.*
4 Law submit (a statement) in an official capacity: *a solicitor entered a plea of guilty on her behalf.*
▶ **noun** (also **enter key**) a key on a computer keyboard which is used to perform various functions, such as executing a command or selecting options on a menu.

Grammatical information (in square brackets)

– ORIGIN Middle English: from Old French *entrer*, from Latin *intrare*, from *intra* 'within'.

Phrasal verbs (introduced by ▶)

▶ **enter into** become involved in (an activity or situation): *they have entered into a relationship.* ■ undertake to bind oneself by (an agreement or other commitment): *the council entered into an agreement with a private firm.* ■ form part of or be a factor in: *medical ethics also enter into the question.*
enter on/upon 1 formal begin (an activity or job); start to pursue (a particular course in life): *he entered upon a turbulent political career.* **2** Law (as a legal entitlement) go freely into (property) as or as if the owner.

Cross reference entry

eon ▶ **noun** US spelling of **AEON**.

Variant spelling

epicentre (US **epicenter**) ▶ **noun** the point on the earth's surface vertically above the focus of an earthquake. ■ the central point of something, typically a difficult or unpleasant situation: *the epicentre of labour militancy was the capital itself.*

– DERIVATIVES **epicentral** adjective.

– ORIGIN late 19th cent.: from Greek *epikentros* 'situated on a centre', from *epi* 'upon' + *kentron* 'centre'.

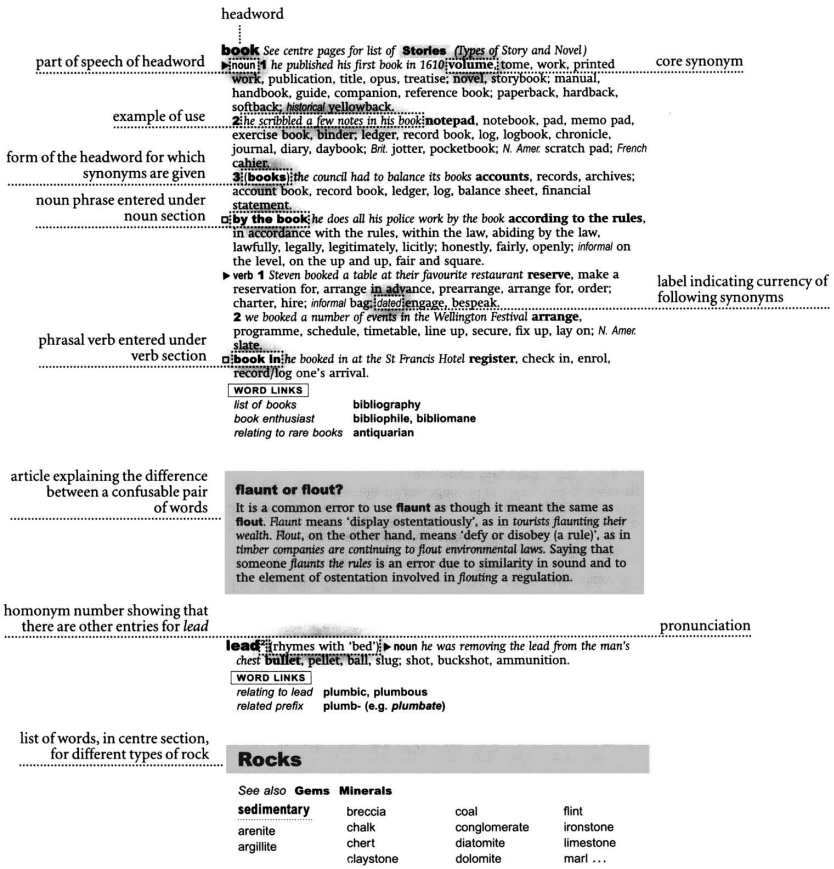
Note on trademarks and proprietary status

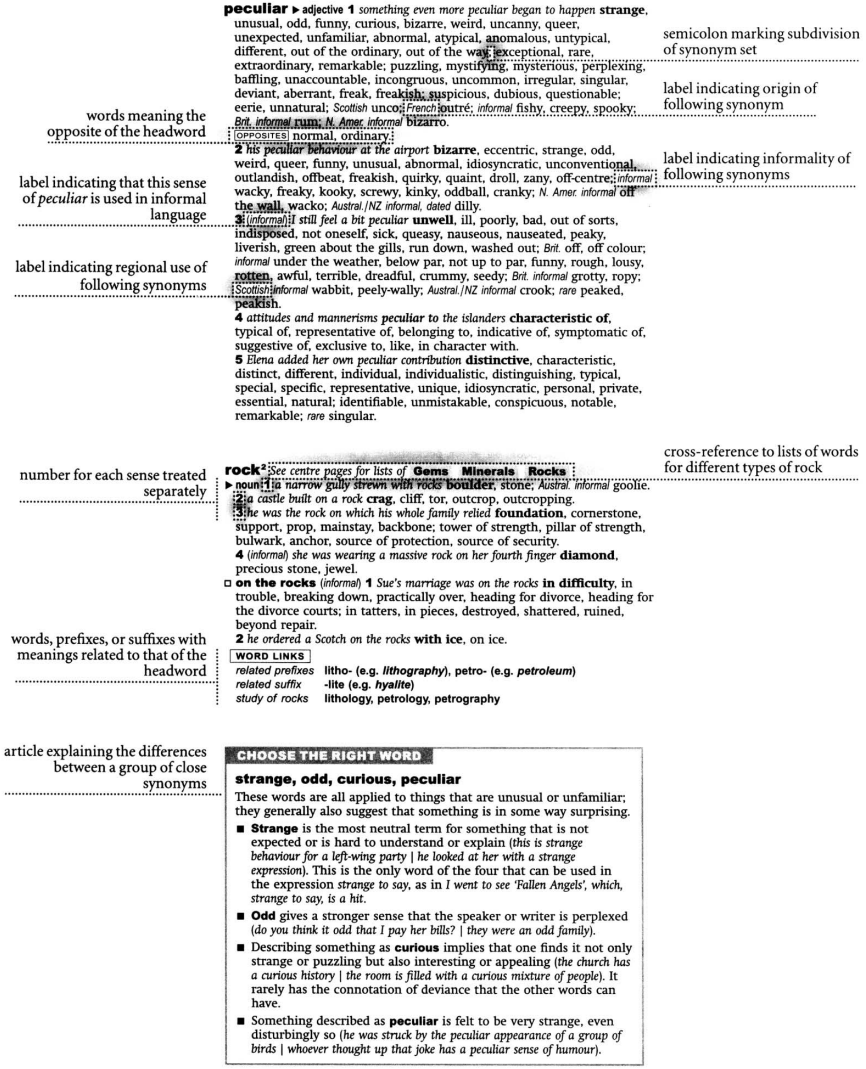
This dictionary includes some words which have, or are asserted to have, proprietary status as trademarks or otherwise. Their inclusion does not imply that they have acquired for legal purposes a non-proprietary or general significance, nor any other judgement concerning their legal status. In cases where the editorial staff have some evidence that a word has proprietary status this is indicated in the entry for that word by the label trademark, but no judgement concerning the legal status of such words is made or implied thereby.

MEMO

これは書籍版辞典の説明です。

How to use this thesaurus

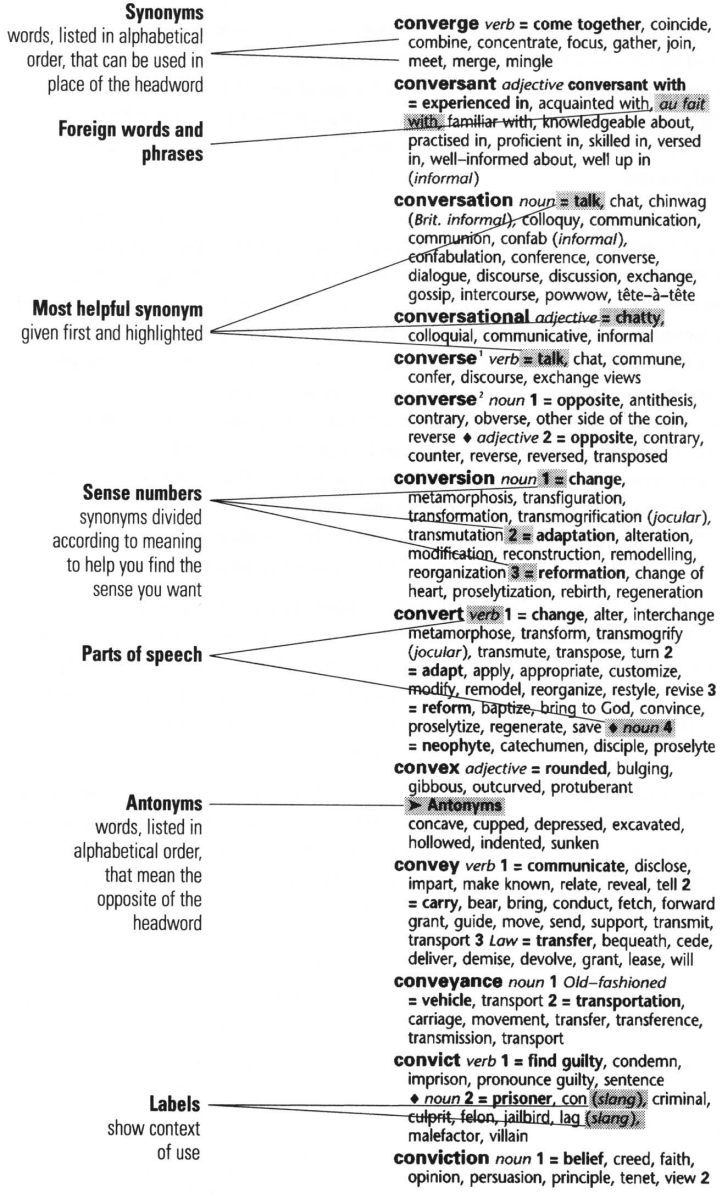




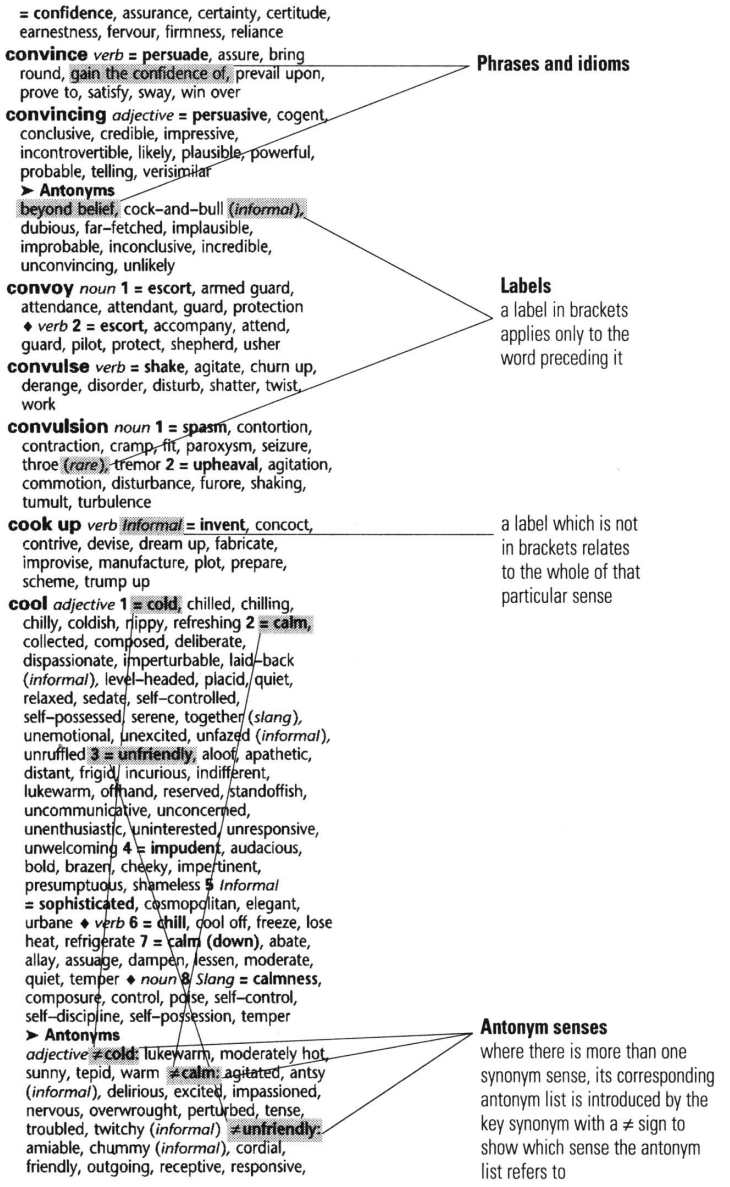
コリンズ類語辞典のデータについて

これは書籍版辞典の説明です。

FEATURES OF THE THESAURUS



FEATURES OF THE THESAURUS



文型・文例辞典 のデータについて

これはCD版辞典から一部抜粋した説明です。

第一章　論文、報告書の構成に必要な型と文例 I

§3 目次（TABLE OF CONTENTS or CONTENTS）

目次の見出し語は、すべて大文字で書き、この項目のすべての行には terminal punctuation を用いない。

大文字、小文字の使い方は例によって示すが、こうした書き方については多数の参考書があるので形式的なことは省く。

また目次は卒論、学位請求論またはレポートには書くが学会誌にのせたり、学会が発表する場合には省くのが通例である。

例　（1）

概要	ABSTRACT	page ii
目次	TABLE OF CONTENTS	iv
よく用いられる記号	TABLE OF OFTEN USED SYMBOLS	vi
謝辞	ACKNOWLEDGMENTS	vii
表目次	LIST OF TABLES	ix
図目次	LIST OF FIGURES	x
第一章　序	CHAPTER 1 INTRODUCTION	2
	1.1 Theory of nmr Chemical Shift	2
	1.2 Theory of Nuclear Spin-Nuclear Spin Coupling Constants	8
	1.3 Nuclear Double Resonance	12
	1.4 Tin 119 High Resolution nmr	17
第二章　実験	CHAPTER II EXPERIMENTAL	20
	2.1 Instrumentation	20
	2.2 Material	22
第三章　結果	CHAPTER III RESULTS	24
	3.1 Sn119 Nuclear Magnetic Resonance	24
第四章　討論	CHAPTER IV DISCUSSION	39
	4.1 Dilution Study of Methyltinhalides	39
	4.2 Calculation of Chemical Shifts of Some Orgnotin Compounds	46
文献	BIBLIOGRAPHY	119

例　（2）

概要	Abstract	Page i
データの呈示法	Presentation of Data	ii
表目次	List of Tables	vi
図目次	List of Figures	vii
謝辞	Acknowledgement	ix
動機	Motivation	I
［中略］	・ ・ ・	
文献	Bibliography	174
付録A　コンピュータプログラム	Appendix A Some Computer Programs	A
付録B　［略］	Appendix B ...	B
付録C　［略］	Appendix C ...	C

例　（3）

写真目録	Photo Index (or List of Photos)	Page 1
図目録	Figure Index (or List of Figures)	2,3
概要	Summary	4
本文	Report Body	
序論	Introduction	5
模型風洞と機器の説明	Description of Model Tunnel and Equipment	8
実験方法	Testing Procedure	13
結果と論究	Results and Discussion	14
結論	Conclusions	18
文献	References (or Bibliography)	20

（LIST OFTABLESの例）

Ⅰ－1　ＰＦ2片のＸ線資料による原子軸系	LIST OFTABLES I-1 Atomic coordinates of the PF2 fragment from X-ray data	page 1
Ⅰ－2　分離されたＰＦ2のnmrスペクトルの固有エネルギーと固有関数	I-2 Eigenenergies and eigenfunctions of the nmr spectrum of the isolated PF2 fragment	12
（注）n,m,rはnuclear magnetic resonance		
Ⅰ－3　nmr遷移の相対強度	I-3 Relative intensities of nmr transitions	13
Ⅰ－4　第８図に示したパラメータの表	I-4 Tabulation of parameters illustrated in Figure 8	36
Ⅱ－1　HLの計算	II-1 Calculation of HL	64
［中略］	・ ・ ・	
V－4　ＰＯ2H-とＰＯ2F-ラジカルのハイパーファイン（超微細）相互作用テンソル	V-4 Principal values of the hyperfine interaction tensors for PO2H- and PO2F- radicals	115

（LIST OF FIGURES の例）

第一図 単結晶のesr測定装置	LIST OF FIGURES Fig. 1 Apparatus for esr measurements on single crystals	page 77
第二図 X線照射したマロンアミド単結晶のesrスペクトル	Fig. 2 Esr spectrum of X-ray irradiated single crystal of malonamide	80
第五図 マロンアミド中の-CONHの窒素による分裂（Hはx-z面内）	Fig.5 Nitrogen splittings for -CONH in malonamide (H in x-z plane)	91
第六図 シアノアセトアミド単結晶の参照軸	Fig.6 Reference axes of cyno-actamide single crystal	93
第七図 X線照射したシアノアセトアミド単結晶のesrスペクトル	Fig.7 Esr spectrum of X-ray iradiated cyanoacetamide single crystal	94
［中略］	・ ・ ・	
第十図 -CONHラジカルのMO（分子軌道法）計算の結果	Fig.10 Results of MO Calculation of -CONH Radical	109
第十一図 計算によるesrの線形	Fig.11 Calculated esr Line Shapes	119

写真目録

写真	題名	ページ
1	追加部なしの8×12基礎模型風洞	21
2	75フィートの増築を追加した模型風洞	21
3	8×12測定部にある測圧器	22
4	21×19測定部にある測圧器	22

PHOTO INDEX

Photo Title	Page
1 Basic 8x12 Model Tunnel Without Extension	21
2 Model Tunnel With 75 Foot Extension Added	21
3 Survey Probe in 8x12 Test Section	22
4 Survey Probe in 21x19 Test Section	22

図目録

図	題名	ページ
1	大測定部の基礎寸法	23
2	測定器の目盛定め曲線	24
3	模型風洞の送風機の性能	25
4	8×12測定部のトラニオンの垂直面における上向き流れ	26
5	8×12測定部のトラニオンの垂直面における横向き流れ	27
6	8×12測定部のトラニオンの垂直面における動圧分布	28
7	21×19測定部における流れの角度、ステーション1	29
8	21×19測定部における流れの角度、ステーション3	30
9	21×19測定部における流れの角度、ステーション5	31
10	21×19測定部、ステーション1における動圧分布	32
11	21×19測定部、ステーション3における動圧分布	32
12	21×19測定部、ステーション5における動圧分布	34
13	模型送風機の117インチ下流における速度分布におよぼす捩り偏流器の効果	35
14	模型送風機の187インチ下流における速度分布におよぼす捩り偏流器の効果	36

FIGURE INDEX (or List of Figures)

	Figure Title	Page
1	Basic Dimensions of the Large Test Section	23
2	Probe Calibration Curves	24
3	Model Tunnel Propeller Performance	25
4	Upflow in Vertical Plane of Trunnion 8x12 Test Section	26
5	Crossflow in Vertical Plane of Trunnion 8x12 Test Section	27
6	Dynamic Pressure Distribution in Vertical Plane of Trunion 8x12 Test Section	28
7	Flow Angles in 21x19 Test Section, Station 1	29
8	Flow Angles in 21x19 Test Section, Station 3	30
9	Flow Angles in 21x19 Test Section, Station 5	31
10	Dynamic Pressure Distribution in Station 1, 21x19 Test Section	32
11	Dynamic Pressure Distribution in Station 3, 21x19 Test Section	33
12	Dynamic Pressure Distribution in Station 5, 21x19 Test Section	34
13	Effect of Propeller Antiswirl Vanes on Velocity Profile at 117 in. Model Scale Downstream of Propeller	35
14	Effect of Propeller Antiswirl Vanes on velocity Profile at 187 in. Model Scale Downstream of Propeller	36

第六章　応募文、履歴書及び推薦状、紹介状の例文

Application for Employment

1-2, Kakinokizaka 3 chome
Meguroku, Tokyo 152
March 9, 1982

A Motors Corporation
4-5 Kashimada
Saiwaiku, Kawasaki 211

Gentlemen:

I would like to have you consider my application for the position of research engineer which you advertised in theMarch 8 issue of the Japan Times.

I am a graduate of Mechanical Engineering, Faculty of Technology at Tokyo University and have a doctor's degree by completing graduate studies. The details of my education and experience are given on the enclosed RESUME, but I emphasize here that my major is on the performance and motion of torque converter and transmission, making several treatises and Japanese translations from American SAE journals. I am also a member of Japan Society of Automotive Engineering.

I am anxious to work for a automotive company and I would be happy if I could have a personal interview at your convenience.

Sincerely yours,
(Signature)
Ichiro Honda

Enclosure: RESUME

RESUME

Name: Ichiro HONDA　本田　一郎
Date of Birth: July 4, 1953(Age:28)
Present Address: 3-1-2, Kakinokizaka,Meguroku, Tokyo 152
Phone No. 718-3456

Education:

1975-81 Graduate School of Mechanical Engineering, Tokyo University 1975 Graduated from Faculty of Technology,T.U. 1973 Completed general and preparatory course of the above 1971 Graduated Kaisei High School Extracurricular Activities: Athletic, track and field 100 meter dash: 11.6 seconds in High School 11.3 seconds in preparatory course, T.U. Work Experience: 1981-82 An assistant researcher of automotive engineering under Professor Dr. K. Uchiyama, Production Engineering Laboratory, Tokyo University. Personal

Data: Height 164 cm Weight 62 kg Health excellent, Married to-be, October, 1982 Hobbies, car driving and mountain climbing Affiliations: Member of Japan Soceity of Automotive Engineering Member of Meguro Mountain Climbing References: Soichiro Koga, Personnel Manager, Tokyo Univ. Production Eng. Laboratory, Phone: 123-4567 Ext.890

Application Letter

6-7-8, Honkomagome,
Bunkyouku, Tokyo 113
May 10, 1982

Personnel Manager, Labor Dept.
A Tokyo Steel Industry Ltd.
9-1-2, Nihonbashi
Chuo-ku Tokyo 103

Dear Sir:

I found your advertisement for an engineer in today's Asahi Evening News and I would like to apply for that positions.

I am twenty-eight years old and a graduate of Kyushu Institute of Technology.For the past five years I have been employed at West Heavy Industries Co., Ltd.
I am enclosing my personal record.

In West Heavy Industries, I have been working in Purchasing and I am a cost and value analyst of metals and raw materials.

I hope that I should be given the opportunity of an interview as soon as possible.

Very truly yours,
(Signature)
Yasuo Toyoda

Enclosure: PERSONAL RECORD

PERSONAL RECORD

of
Yasuo Toyoda
6-7-8, Honkomagome
Bunkyoku, Tokyo 113
(Telephone; 978-6543)

Personal Data:

Date of Birth:	January 23, 1954
Place of Birth:	Futsukaichi,Fukuoka Pref.
Marital Status:	Single

Education:

1973-77	Kyushu Institute of Technology (K.I.T.) Bachelor of Science,March 1977 Major: Metallurgy Minors: Mining,Oil chemistry

Activities in K.I.T.:
Swimming Club; 2 years
English Speaking Society; 3 years

Work experience:

1977 to date:	purchasing of raw and rough materials in West Heavy Industries

Talent:
Cost and value analyzing, especially of steel, casting and forging
Speak good English

References:
Dr.Hachiro Imai, President of Kyushu Institute of Technology, Fukuoka
(Phone: 092-345-6789)
Dr. Koichi Kubo, Professor of Metallurgy, Kyushu Institute of Technology
(ph. 092-234-5678)
Mr. Ushimatsu Yanagida, chief of personnel department,West Heavy Industries

Letter of Recommendation

March 5, 1982

To whom it may concern:

Mr. Ichiro Honda has been an excellent assistant in my research works at Production Engineering Laboratory, Tokyo University.He showed himself to be aggressive and enthusiastic in every way for a past year. I feel confident that he will prove an active engineer and be able to fulfill his study in manufacturing and engineering area at the new Corporation he wishes to enter.

Respectfully yours
(Signature)
Katsuji Uchiyama
Professor Dr. of Production
Engineering Laboratory
Tokyo University

Letter of Recommendation

March 23, 1982

Dear Mr. Carl K. Thompson

I have known Mr. Koichiro Fujii over a period several years. I believe him to be a young man of good character and, furthermore,have always found him very able and adaptable. I consider that he is a most suitable student to be sent abroad for.I am sure that he would prove himself worthy of any scholarship he might receive.

Henry S. Blacksmith
Representative in Japan
Britoil Commonwealth Film Corp. Ltd.
705, Chiyoda Building
4-3-2, Kyobashi, Chuoku, Tokyo,
Japan 104

Letter of Introduction

3-2-1 Higashi Sendai,
Miyagi pref. Japan 983
March 18, 1982

Professor George F. Smith
Faculty of Electronics
University of Michigan
Ann Arbor, Mich. USA

Dear Professor Smith:

I am herewith introducing Mr. Yasushi Matsushita, a student in my class, who is going to study computer electronics and programming at your University. He has been majoring computer programming in college and now going to research its electronics under ... scholarship. I assume he is capable to do any assignment of the science in U.S. and I hope you will give him your best guidance during his stay at the University of Michigan.

Sincerely yours,
(Signature)
Dr. Koichiro Yamaguchi
Professor of Electric Science
Sendai Technical College

MEMO

ローマ字 / かな対応表

	あ	い	う	え	お
あ行	あ A	い I	う U	え E	お O
か行	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ行	さ SA	し SI (SHI)	す SU	せ SE	そ SO
た行	た TA	ち TI (CHI)	つ TU (TSU)	て TE	と TO
な行	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は行	は HA	ひ HI	ふ HU (FU)	へ HE	ほ HO
ま行	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や行	や YA		ゆ YU		よ YO
ら行	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ行	わ WA	ゐ WYI		ゑ WYE	を WO
ん	ん NN	「n」の次が母音（a，i，u，e，o）または、（y）以外のときは、「N」キーを1回押しただけでも、「ん」と表示します。			
が行	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ行	ざ ZA	じ ZI (JI)	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ行	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば行	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ行	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO

●小さい字は直前に「X」または「L」を押します。
（例）小さい「ゃ」はXYAまたはLYA

きゃ行	きゃ KYA		きゅ KYU		きょ KYO
ぎゃ行	ぎゃ GYA		ぎゅ GYU		ぎょ GYO
しゃ行	しゃ SYA (SHA)		しゅ SYU (SHU)	しぇ SYE (SHE)	しょ SYO (SHO)
じゃ行	じゃ JYA (JA) ZYA	じぃ JYI	じゅ JYU (JU) ZYU	じぇ JYE (JE) ZYE	じょ JYO (JO) ZYO
ちゃ行	ちゃ TYA CYA (CHA)	ちぃ CYI	ちゅ TYU CYU (CHU)	ちぇ TYE CYE (CHE)	ちょ TYO CYO (CHO)
ぢゃ行	ぢゃ DYA		ぢゅ DYU		ぢょ DYO
てゃ行		てぃ THI	てゅ THU		
でゃ行		でぃ DHI	でゅ DHU		
にゃ行	にゃ NYA		にゅ NYU		にょ NYO
ひゃ行	ひゃ HYA		ひゅ HYU		ひょ HYO
ぴゃ行	ぴゃ PYA		ぴゅ PYU		ぴょ PYO
びゃ行	びゃ BYA		びゅ BYU		びょ BYO
ふぁ行	ふぁ FA	ふぃ FI		ふぇ FE	ふぉ FO
みゃ行	みゃ MYA		みゅ MYU		みょ MYO
りゃ行	りゃ RYA		りゅ RYU		りょ RYO
ゔぁ行	ゔぁ VA	ゔぃ VI	ゔ VU	ゔぇ VE	ゔぉ VO
くぁ行	くぁ QA (KWA)	くぃ QI (KWI)		くぇ QE (KWE)	くぉ QO (KWO)
うぁ行		うぃ WHI (WI)		うぇ WHE (WE)	うぉ WHO
つぁ行	つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
その他	ぐぁ GWA		とぅ　どぅ TWU　DWU ふゅ　ゔゅ FYU　VYU	いぇ YE	

故障かなと思うまえに

電子辞書の具合がわるいときは、この表でチェックしてみましょう。それでも正常に動作しないときは、弊社「CPサービスセンター」(☞246)ページにご相談ください。

症　状	原　因	直し方
表示文字が出ない	電池残量が少ない	電池を充電してください。（☞19ページ）
文字が正しく表示されない	―	本機の裏にあるリセットスイッチ（丸い孔）を細い棒で押して、リセット操作を行ってください。（☞20ページ）
正常に動作しない	―	カードが正しく装着されていることを確認してください。（☞20ページ）
表示文字が出ない、または見えにくい 画面が暗い 表示文字が尾をひく 検索中に表示文字が薄くなる	電池残量が少ない	表示画面の電池マークを確認し、電池残量が少ない場合は充電してください。（☞18ページ）
電池の消耗が異常に早い 動作が不安定で表示に時間がかかる 動作停止	―	本機の裏にあるリセットスイッチ（丸い孔）を細い棒で押して、リセット操作を行ってください。（☞20ページ）
リセット操作をしていないのにリセット時の画面が表示される	電池残量が少ない	表示画面の電池マークを確認し、電池残量が少ない場合は充電します。（☞18ページ）
音声が聞こえない	イヤホンの接続不良	イヤホンを正しく確実につないでください。（☞22ページ）
	音量調整が適切でない	音量調整をしてください。（☞22ページ）
	電池残量が少ない	表示画面の電池マークを確認し、電池残量が少ない場合は充電してください。（☞18ページ）
	―	カードが正しく装着されていることを確認してください。（☞20ページ）

製品仕様

● 製品仕様

1. 表示構成　：640 × 480 ドットマトリックス
   ハイコントラスト TFT 白黒液晶
   ＊文字表示　全角 26 文字 × 20 行（24 ドット）
   半角 52 文字 × 20 行（24 ドット）
   ＊画面サイズ　80.5（縦）× 105.4（横）mm
2. キー　：QWERTY 配列プラスチック 60 キー
3. 使用温度範囲：0℃～40℃
4. 使用電池　：充電式リチウムイオン電池× 1 個（3.7V, 920mAh）
   付属 AC アダプタ（5V, 700mA) による充電方式
   （充電時間：約 3 時間（空状態からフル充電まで））
5. 電池寿命　：約 25 時間 （連続表示）
   約 22 時間 （繰り返し表示）
   ＊測定時の温度条件：常温
   ＊繰り返し表示とは、1 時間あたり表示状態を 55 分、検索を 5 分間行った場合
6. スピーカー　：ダイナミックスピーカー内蔵
7. イヤホン　：Φ 3.5mm、32 Ω（ステレオタイプ）
8. サイズ　：（閉）142.3（W）× 109.5（D）mm × 最厚部：25.0（H）mm
   最薄部：9.5（H）mm
9. 重さ　：約 252g（電池込み）

＊ 製品仕様は、予告なく変更する場合があります。
＊ 電池寿命は、ご使用状態により変動することがあります。

MEMO

索引

A-Z
AC アダプタ 8,18,19

あ行
一括検索 13, 37
印刷字体 5
イヤホン 8, 22
エラー表示 168
お気に入り辞書登録 12, 173
オートパワーオフ 14, 197
オートリピート機能 14, 197
オープンオン機能 14, 197
音訓読み 145
音声ボリューム 22

か行
カードスロット 20
解説 28
解説マーク 49
画面のスクロール 29
環境設定（環境設定機能）..... 18, 169
慣用句 131
キーワード 12, 117
逆引き大辞泉 129

さ行
参照記号 189
辞書間ジャンプ 174
辞書内ジャンプ 174
辞書モード 25
ジャンル 125
熟語 148, 149
熟語マーク 148
シルカカード 12, 20
ジャンプ機能 13 174
充電ランプ 19
スクロール 29
ストラップ 23
スペルチェック（機能）..... 13, 113
成句 50, 60, 64, 90, 96,105
成句検索 .. 50, 60, 64, 90, 96,105
成句マーク 50, 60
全画面表示 193
全画面表示（全文）..... 193
全画面表示（標準）..... 193
センタリング機能 194
操作確認音 169

た行
タイトルバー 26
単語帳 13, 31
著作権 15, 169
ツイン検索 12, 196
電卓（電卓機能）..... 14, 167
電池 4, 12, 19

な行
入力フィールド 26
入力文字の訂正 26

は行
早見表示（全文）..... 193
早見表示（標準）..... 193
文字列リンク機能 14, 197
派生語 51, 61
発音 12, 61, 94, 156
凡例 35
表示字体 5
表示スタイル切替 12, 194
複合語 51, 61, 85
補助機能 197
部首解説 147
部首画数 143
部首内画数 143
部首読み 145
プレビュー（プレビュー機能）..... 13, 26
文法項目 107, 109
分野別小事典 135
変化形検索 13, 114

ま、や行
マルチ例文検索 12, 45
見出し語 28
メモリー計算 167
メモリ消去 170
モード 25
モードキーパワーオン機能 ... 14, 197
文字サイズ 14, 192
文字入力 26
訳語検索 75
訳表示切替機能 12, 193
用例 67, 70

ら行
リアルタイム検索 13, 26
履歴機能 13, 190
例文 39,45,49,59,83,95,100
例文検索 52, 62, 73, 88, 103
例文マーク 49,59,83,95
レジューム機能 14, 197
リセット操作 18, 20
連語 70, 73

わ行
ワイルドカード 27

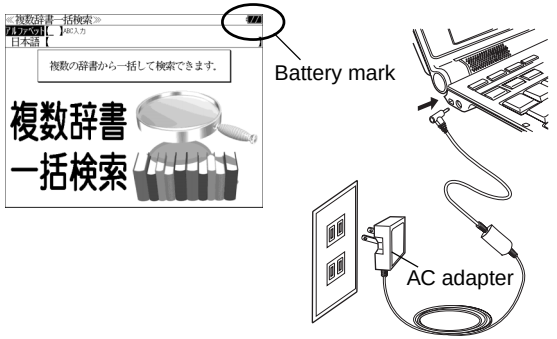
Operating Manual

Getting started

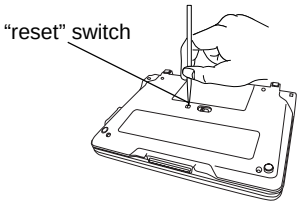
1. The built-in lithium ion battery powers this unit and the unit will be automatically powered on when the lid is opened. Check the battery mark that will appear on the upper right corner of the screen. Recharge the battery using the AC adapter that came with the unit if necessary.

The battery marks you will see on the screen are as follows:

- Fully charged
- Medium
- Low
- Exhausted



2. Reset the unit.
Before you use the unit, gently press the “reset” switch on the bottom of the unit with a narrow tipped object.
In addition, reset the unit whenever the battery is recharged or the unit does not function correctly.



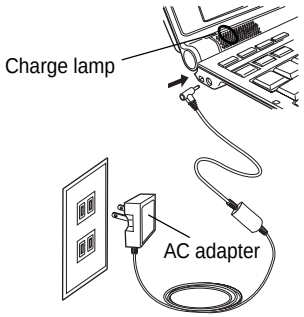
Note: An incorrect display or a battery drain due to an abnormal current flow may occur in case if you do not reset the unit.

⚠Caution

- Use the AC adapter that came with the unit in order to recharge the built-in lithium ion battery.
- The AC adapter is for home-use in Japan or North America.
- Do not touch the tip of the DC plug jack or the DC power jack.
- Never expose the unit to the liquid or other humidity as this may result in an electric shock or other accidents.
- Do not use the unit near the thermal appliance as this may result in heat generation or deformation.
- Stop using the unit immediately whenever the unit performed strangely.
- Plug off the AC adapter while you do not use it.

About battery

The battery low warning “電池がなくなりました。充電して下さい。” will be displayed when the battery is almost exhausted. Then, the unit will shut off. Recharge the battery using the AC adapter that came with the unit.
Be sure the unit is powered off and connect the AC acapter to the unit. Then, the charge lamp will be on. The light is orange while recharging and the light turns to be green when recharging is finished.



Note: It takes approx. 3 hours to fully recharge the battery.

Dictionary cards (sold separately)

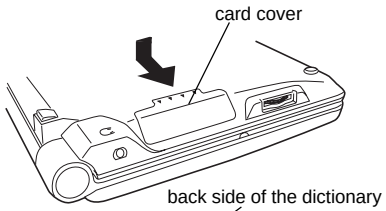
You can add a dictionary of your choice by inserting a dictionary card named “SILUCA RED” into the dictionary card slot.

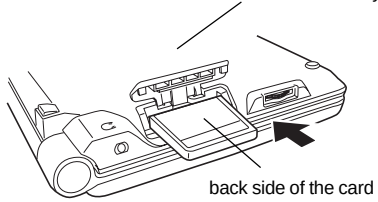
Warning: Never install or remove the dictionary card while your unit is on.

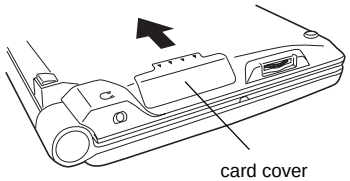
How to install a dictionary card

The slot for dictionary cards is located on the back of the unit.

1. Make sure the unit is powered off and the unit is closed.
2. Turn it over and lift the dictionary card cover by pushing up on the catch.
3. Insert the dictionary card fully. *The labeled side of the dictionary card should be downward.
4. Replace the cover on the dictionary card slot.







To remove a dictionary card, gently push the card into the slot and then release it. The card will partially eject and can then be removed.

Functions and features

A specialized dictionary geared to professional users.

This unit includes numbers of well-established English dictionaries and corpora published by leading dictionary makers. Sufficient example sentences are available.

Listed below are the dictionaries included in this unit:

- Shougakukan Digital Daijisen Japanese Dictionary
- Kenkyusha’s New English-Japanese Dictionary (6th edition)
- Kenkyusha’s New Japanese-English Dictionary (5th edition)
- The Kenkyusha Dictionary Of English Collocations (New edition)
- Kenkyusha’s English-Japanese Dictionary For The General Reader (2nd edition)
- Kenkyusha An Encyclopedic Supplement To The Dictionary For The General Reader
- Taishukan’s Unabridged Genius English-Japanese Dictionary
- Taishukan’s Nanotechnological English-Japanese Dictionary
- Taishukan’s Thesaurus of Japanese
- Taishukan’s Shin Kangorin Kanji Dictionary
- Taishukan’s Meikyo Japanese Dictionary
- Oxford Dictionary of English (2nd edition)
- Oxford Thesaurus of English (2nd edition)
- Collins COBUILD Advanced Learner’s English Dictionary New Digital Edition
- Collins Compact Thesaurus (2nd edition)
- Collins 5-million-Wordbank from the Bank of English
- Collins COBUILD Dictionary of Phrasal Verbs (2nd edition)
- Collins COBUILD Dictionary of Idioms (2nd edition)
- Collins COBUILD English Usage for Learners (2nd edition)
- Collins COBUILD Intermediate English Grammar (2nd edition)
- Audio Data from Collins COBUILD Advanced Learner’s English Dictionary (New digital edition)
- Britannica Concise Encyclopedia
- Britannica International Encyclopedia / Electronic Dictionary Version
- DHC Dictionary of English for Unexpected Situations
- Ogura Shoten The new dictionary of English composition for science
- Gakushukenkyusha Personal Katakana-go Dictionary (words from foreign source)

Wide and clear screen

A 5.2- inch screen with 640 x 480 dot (VGA size) enables to display large amount of text on the screen. In addition, 16 tones gray scale display enables to display illustrated descriptions in the encyclopedia clearly.

Pronunciation function (No Japanese words spoken)

If there is 🔊 symbol on the search result screen, you can hear the headword (or example sentences) to be pronounced by pressing [決定・訳 発音] key. Use the volume control on the side of the unit to adjust the volume. You can hear words spoken with or without earphones.

Lithium ion battery (with AC adapter)

The rechargeable lithium ion battery powers this unit. Use the AC adapter that came with the unit to recharge.

Multiple dictionary search mode

This mode enables you to view all the matched entries among the dictionaries in this unit. Press [一括検索] key and select the アルファベット (English) or 日本語 (Japanese) language option.

Multiple English Example Sentence Search

Below search options helps you to look up example sentences efficiently:

1. Includes all the entered words.
2. Includes one of the entered words.
3. Includes the entered phrase.

Press [例文・成句検索] key once or twice to display マルチ例文検索 screen.

English example sentence search

A single search enables you to look up example sentences from several English dictionaries. Press [例文・成句検索] key .
You can enter several words by separating them with a “&”.
Note : Japanese translations are not available for English sentences from Oxford or other dictionaries published by non-Japanese publishers.

Shortcut to your favorite dictionary

[お気に入り1] / [お気に入り2] keys can be used as a shortcut to a dictionary that is normally selected using [メニュー] key. First, display the initial screen of the dictionary you want to register, then press [メニュー] key.
The following message is displayed:

この辞書をお気に入りに登録しますか？
(Do you want to create a shortcut key for this dictionary?)
キャンセル
(Cancel)
お気に入り辞書１に登録する。
(Select [お気に入り1] key as the shortcut to this dictionary)
お気に入り辞書２に登録する。
(Select [お気に入り2] key to the shortcut to this dictionary)
いずれかを選んで決定／訳キーを押して下さい。
(Select one of the options above and press [決定・訳 発音] key.)

Real-time search

A list of words matching the entered characters is shown automatically as you type. Use the up/down arrow keys to select the word. For instance, if you type “migi” when you use the Japanese-English dictionary, you’ll see みぎ【右】みぎうえ【右上】みぎ打ち【右打ち】 みぎうで【右腕】etc.

Preview function

The screen is divided in two when you enter characters. The upper part of the screen shows a list of matched entries, and the lower part shows a preview of the explanation / translation for the word highlighted in the upper screen.

Quick reference function

You can view a brief description on the search result screen when the whole description is not displayed at once. Press [訳表示切替] key to view the brief description. Press again to back to the full description.

Double search screen

While the unit displays the previous search result, you can look up another word using the multiple dictionary search mode by pressing [ツイン検索] key.

Adjustable display style

The preview screen can be displayed below or to the right side of the list of matched entries.
In addition, line spacing on the search result screen can be adjusted. Press [表示スタイル] key to adjust the display style.

Jump function

This function enables you to quickly find the definitions of words from search results even if you don’t know how to read that word. The list of dictionary entries that appears after pressing the jump key is written in kanji and kana, and so gives the reading of the word as well.

1. Press [ジャンプ] key, then use the arrow keys to highlight the first letter of a word you want to look up.
2. Press [決定・訳 発音] key. Then you’ll see a list of words you can jump to.
3. Select a word and press [決定・訳 発音] key.

Word list function

This function enables you to create your own word lists by saving words from each dictionary. Up to 100 words can be saved to each list. Each dictionary has the 単語帳 option, and you can review your word list by selecting the 単語帳 option shown on the first screen of each dictionary mode. When you want to keep a word, press [決定・訳 発音] key first to see the full description. Then, press [登録・削除] key to save the word to your word list. The message “単語帳に登録しました。” confirms that the word was saved.To delete word(s) from you list, select the 単語帳 option first and press [登録・削除] key. Use [チェック ?*&] key to put a tick by the items in the list.

History function

Up to 100 previously searched words can be kept in memory. You can review the list and jump to any of the words. Press [履歴] key to

review the list. To delete a listed word, press 登録・削除 key. Select one of the following options using the arrow keys, and press 決定・訳 key.
1件 (Highlighted word only), 全件 (All the entries) or キャンセル (Cancel)

Spellchecker (English words only)

When you are not sure of the correct spelling, スペル key can help you. After you type a misspelled word, press スペル key. A list of possible words will show up.

Easy input

When you want to look up the same word with different dictionaries, you don't have to type it all over again.
You can switch dictionaries while you are at the preview screen. For instance, if you type やま in the 大辞泉 dictionary, you can view its meaning in Japanese. If you press 和英大辞典 dictionary key before you press 決定・訳 key, you can see the matching English words without typing やま again. If you have already pressed 決定・訳 key, press the 戻る・クリア key and go back to the preview screen.

Wildcard function (Works on both English words and Japanese words)

You can search for words even when you can only remember part of the spelling or reading. Use the "?" key as a replacement for a single letter when you are not sure of a spelling. Press the "?" key again to type an " ∗ ", which is used instead of two or more characters.

Text size change

Press 文字サイズ key to change the text size.

Calculator

Addition, subtraction, multiplication and division can be performed with up to 12 digits held in memory.

The set up menu

Select the option G環境設定 mode in メニュー key. Select the option below and press 決定・訳 key.

A キー操作音 (Key touch sound: off)
Choose オン (on) if you prefer the unit to make a sound on key strokes. Press 決定・訳 key.

B オートパワーオフ時間 (Automatic shutoff time)
Use ▽ / △ keys to adjust how long your unit stays on . Press 決定・訳 key. (The unit automatically turns off if not used for more than 3 minutes)

C オートデモ (Automatic Demo)
Choose オフ (off) to skip the demonstration and press 決定・訳 key.

D メモリ消去 (Deletes words in memory)
Choose 消去する to delete all the words in memory and press 決定・訳 key. Choose キャンセル to cancel.

E 終了 (Quit the set up menu)
Choose this option to quit the set up menu.

Basic Uses

Let's start with an explanation of basic uses of the unit using the Japanese dictionaries as an example.

1. Selecting a dictionary mode

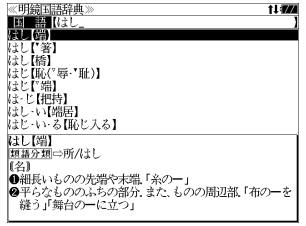
Press 大辞泉・明鏡 dictionary mode key.
Press again to switch dictionaries as the unit uses one key to access two dictionaries.

Select an option you wish to use by using ▽ / △.

2. Character entry

Type a word in Romaji.
The word appears in hiragana in the input box.

Example: はし

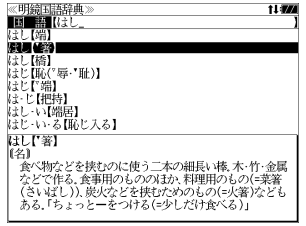


3. Selecting a headword

Select the headword using ▽ / △.
The preview screen will change in accordance with the selected headword.

Example: Select the second はし

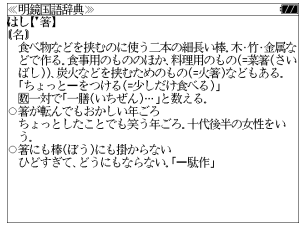
(Scrolling the headword list)
▽ / △ by line
▼次見出し / ▲前見出し by page



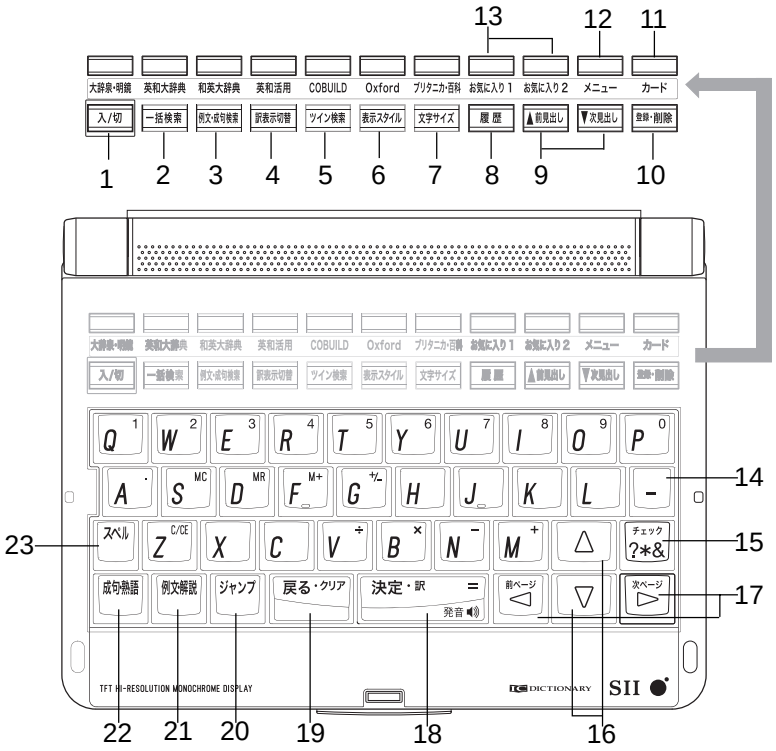
4. Displaying the whole text of an explanation/translation

Press 決定・訳 key.
The explanation of the selected headword appears.

(Scrolling the screen)
▽ / △ by line
◁ / ▷ by page
▼次見出し / ▲前見出し by headword list



Key Guide



1	入/切	Turns the power off/on.
2	一括検索	Multiple dictionary search key.
3	例文・成句検索	Search for English example sentences or idioms. Put “&” between words for phrase searches. Press again to change the search mode.
4	訳表示切替	Displays a brief description for quick reference in the search result screen.
5	ツイン検索	Enables to look up another word using the multiple dictionary search mode while the unit displays the previous search result on the upper half screen.
6	表示スタイル	Adjusts the placement of the preview screen and line spacing on the search result screen.
7	文字サイズ	Changes the text size on the screen.
8	履 歴	History function. Recalls up to 100 words you have entered.
9	▼次見出し / ▲前見出し	Scrolls the screen / Selects criteria for the Kanji dictionary.
10	登録・削除	Delete key. Also used as the Save (登録) key when you want to save a word to your word list. See the “Word list function” section for more details.
11	カード	Selects the contents in the dictionary card (option)
12	メニュー	Displays the set up menu, the calculator and additional dictionaries.
13	お気に入り 1 / お気に入り 2	Shortcut to a dictionary mode of your choice. See the “Shortcut” section.
14	—	Hyphen for long vowels such as アパート (Apartment)
15	チェック ?*&	Use チェック to select words in the Word list. ？ (＊) Replaces one (or more) letters when you are uncertain of a spelling. Can be used for both English and Japanese. ”&” is used to add additional words to the search criteria.
16	▽ / △	Moves the cursor up and down / Scrolls the screen line by line
17	前ページ / 次ページ	Moves the cursor right or left / Page up or down (前 previous / 次 next).
18	決定・訳 = 発音	Enter / Execute key. Press it to see the whole definition / translation. Press to hear a word spoken (Not available for Japanese words.)
19	戻る・クリア	Returns to the previous screen or mode.
20	ジャンプ	Transfers you to a different dictionary. Press ジャンプ key, highlight a word, and select a dictionary to jump to. See “Jump Function” section.
21	例文解説	Displays example sentences. Press again to hide them.
22	成句熟語	Displays set phrases. Press again to hide them.
23	スペル	Spellchecker (English words only).

Dictionary mode keys, Menu key and their functions.

- Some of the keys have two (or more) dictionary modes. Press again to switch the dictionary mode.
- Some dictionaries do not have a separate dictionary mode key. In this case, first press [一括検索] key. Then, select a dictionary with the [▽] / [△] key, and press [メニュー 決定・訳] key.
- 単語帳 (your word list) and 凡例 (explanatory notes) are available in each dictionary.
- Use [▽] / [△] key to select an option.

[一括検索] アルファベット 日本語	**Multiple Dictionary search key.** English option. Japanese option (Type a word in Romaji).
[例文・成句検索] **マルチ例文検索** 全ての単語を含む いずれかの単語を含む このフレーズを含む	**Search for English example sentences or idioms. Put “&” between words for phrase searches.** Search for English example sentences using below options. Includes all the entered words. Includes one of the entered words. Includes one of the entered phrase.
例文・成句検索 例文検索 成句検索	Search for English Example sentences. Put “&” between words when you enter 2 or more words. Search for English Phrases. Put “&” between words when you enter 2 or more words.
[大辞泉・明鏡] 大辞泉 逆引き 慣用句 アルファベット 分野別小辞典	**Japanese Dictionary mode 1 (Daijisen)** Basic search. This function enables you to search for a word when you don’t know the first couple of letters. For instance, if you enter “れる”, you’ll see あきれる, あくたれる, あけくれる etc. Idiom search. Use additional words, separated with an “&” , to narrow the search result. Search for definitions of words from foreign source. Search by categories: 小百科 (Cyclopedia) /(歳時記) a table of annual events.
国語 類語 敬語コラム	**Japanese Dictionary mode 2 (Meikyo)** Basic search. Thesaurus search. Example sentences for the correct use of honorific words.
[英和大辞典] 英和 例文検索 成句検索	**English-Japanese Dictionary mode 1** **(Kenkyusha’s New English-Japanese Dictionary)** Basic search. Example sentence search. Enter “&” before additional words and press the enter key to search. Idiom / phrase search. Enter “&” before additional words and press the enter key to search.

[英和大辞典] 🔊 英和 例文検索 成句検索 訳語検索	**English - Japanese Dictionary mode 2** **(Unabridged Genius, Readers and Readers Plus)** Basic search. Example sentence search. Enter “&” before additional words and press the enter key to search. Idiom / phrase search. Enter “&” before additional words and press the enter key to search. Japanese-English translator. Enter a Japanese word in romaji. *Pronunciation function available in Genius. Press [決定・訳] key to hear a word.
[和英大辞典] 和英	**Japanese-English Dictionary mode** **(Kenkyusha’s New Japanese-English Dictionary)** Basic search.
[英和活用] 英和 連語検索 例文検索 訳語検索	**Dictionary of English Collocations mode (in Japanese)** Basic search. Enter a word and press [決定・訳] key. Collocation Search. Enter “&” before additional words and press the enter key to search. Example sentence search. Enter “&” before additional words and press the enter key to search. Search by entering a Japanese word.
[COBUILD] 🔊 コウビルド 例文検索 Wordbank 成句検索 文法項目別検索	**English dictionaries and Wordbank mode** **(English dictionaries for non-native English speakers)** Basic search. Example sentence search. Enter “&” before additional words and press the enter key to search. Idiom / phrase search. Enter “&” before additional words and press the enter key to search. Search by grammatical category.
[COBUILD] 類語	**Collins Compact Thesaurus mode** Basic Search.
[Oxford] 英英 類語 例文検索 成句検索	**Oxford Dictionary of English and Oxford Thesaurus of English mode** Basic Search. Thesaurus search. Example sentence search. Enter “&” before additional words and press the enter key to search. Idiom / phrase search. Enter “&” before additional words and press the enter key to search.
[ブリタニカ百科] 英英百科 分野 キーワード 分野	**Brittanica Concise Encyclopedia mode (English)** Basic search. Press [決定・訳] first to select a category. Search by keyword. Press [決定・訳] first to select a category.
日本語 分野 英語 分野 キーワード 分野 ジャンル別辞典	**Brittanica Concise Encyclopedia mode (Japanese)** Search by Japanese words. Press [決定・訳] first to select a category. Search by English words. Press [決定・訳] first to select a category. Search by keyword. Press [決定・訳] first to select a category. Search by category. Select a category and press [決定・訳] key.

メニュー	**Menu key. 5 dictionaries, calculator and set up menu.**
A 新漢語林	**Kangorin Kanji dictionary mode**
音訓読み	ON / KUN reading. Enter the reading (s) that you know for the kanji. Enter “&” between each reading.
部首読み	Radical reading. Enter the name of the radical here
部首画数	Stroke count of radical.
部首内画数	Stroke count, excluding radical.
総画数	Total stroke count.
熟語検索	Kanji Compound Search.
B 日本語大シソーラス	**Japanese Thesaurus mode**
類語	Basic search.
分野別検索	Search by category.
C 英会話とっさのひとこと	**English Conversation Book for Unexpected Situations mode**
日本語	Search by entering a Japanese word.
英語	Search by entering an English word.
場面別検索	Search by circumstances.
D パーソナルカタカナ語	**Personal Katakana- go Dictionary mode. (Words from foreign source)**
読み	Basic search.
略語	Abbreviation search.
E 論文のための英語文型・文例辞典	
	English Example Sentences for Treatise on Science and Technology mode
目次から探す	Index.
例文検索	Example sentence search.
F 電卓	Calculator mode. Press 戻る・クリア to quit.
G 環境設定	The set up menu. See “The set up menu” section for details.
H カード単語帳削除	Word list deletion mode. Select this mode in order to delete all the words in your word lists. Choose 削除 to delete.
I 著作権表示	Copyright mode.

Repairs, inquiries

Reset the unit whenever the battery is recharged or the unit does not function correctly. If this fails to correct the problem, ask your local dealer, or the shop where you bought your dictionary, to arrange a repair. Or you can visit our web site and click the お問い合わせ (inquiry) icon to contact us.
Our official site is: http://www.sii.co.jp/cp/index.html

You can write in English although the format of the お問い合わせ page is in Japanese. Click 送信 to send. We’ll reply to you in English if inquiries are written in English.

Note: Our 1 year limited warranty is valid only in Japan. A broken LCD or a defect due to misuse such as liquid intrusion (spilled coffee etc) is not covered by warranty even during the warranty period.

保証、修理等について

■保証について

1. この製品には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しします。必ずお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間はお買上げの日より 1 年間です。保証期間内でも有料になることがありますので、内容を良くお読みください。
3. 本機のソフトウェアの記述内容を使用したことによる金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は一切その責任を負えません。
4. 権利者の許諾を得ることなく、本機のソフトウエアおよび取扱説明書の内容全部または一部を複製、および賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。
5. 取扱説明書に記載されている正常な使用状態で本機に故障が生じた場合、弊社は本機の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、本機の故障、誤操作等によりデータ等が正常に呼び出せない事によって発生した損害等につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、予めご了承ください。

■修理等について

1. 本機の具合が悪いときは、この説明書をもう 1 度お読みになってお調べください。それでも具合が悪いときは、お買上げ店または弊社「ＣＰサービスセンター」にご相談ください。ご相談の時はお買上げ日、製品名、型番、故障内容をできるだけ詳しくお知らせください。

＊ 修理は、故障内容の詳しいメモ等を添えて、お買上げ店へ製品と保証書をご持参、または弊社「CP サービスセンター」にご郵送の上、お申付けください。

＊ 弊社へ郵送される場合の郵便料金及び諸経費等はお客様のご負担となりますので予めご了承ください。郵送の際は適切な梱包の上、紛失等を防ぐため簡易書留のご利用をお薦めします。

2. 保証期間内の修理について
   保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
3. 保証期間経過後の修理について
   お買上げ日、製品名、型番、故障内容等できるだけ詳しくお知らせください。修理によって機能等が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。また、修理によって機能等が維持できない場合は、修理をお断りする場合があります。

修理等のご相談、お問い合わせは下記にお願いします。

〒272-0023　千葉県市川市南八幡 3-21-10
セイコーインスツル株式会社「CP サービスセンター」 電話：047（320）4696
［受付時間］9:00 ～ 12:00　13：00 ～ 17：00 月曜日～金曜日（土・日・祝日を除く）

無料修理規定

1. 保証期間はお買上げの日より 1 年間です。
2. 正常な使用状態（取扱説明書の注意に従った使用状態）で保証期間内に故障した場合には、お買上げの販売店、または弊社が無料で修理させていただきます。
3. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになられる場合には、お買上げの販売店へ製品と、この保証書をご持参または弊社「ＣＰサービスセンター」にご郵送の上、お申し付けください。
4. 弊社へご郵送される場合の郵便料金及び諸経費等はお客様のご負担となりますので予めご了承ください。
   ＊ご郵送の際には適切な梱包の上、紛失等を防ぐため簡易書留のご利用をお薦めします。
5. ご贈答、ご転居等で、この保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、弊社「ＣＰサービスセンター」に製品と、この保証書をご郵送ください。
6. 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
   (1)この保証書のご提示がない場合、お買上げの年月日・お客様名・お買上げ販売店名の記入がない場合、及びこの保証書の字句を書替えられた場合
   (2)他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   (3)お買上げ後の輸送、落下、電池の液漏れ（含付属サービス電池）などによる故障及び損傷
   (4)お取扱い上の不注意（表示画面ガラス割れ等）による故障及び損傷
   (5)火災、地震、風水害、落雷等の天変地異、公害、異常電圧等による故障及び損傷
   (6)一般家庭以外での使用（例えば業務用）での故障及び損傷
   (7)付属品（電池等）の消耗、液漏れ等による故障及び損傷
   (8)ご使用中に生じたキズ、汚れ、磨耗などによる外観上の損傷
   (9)ジュース、コーヒー等、液体の水濡れによる故障及び損傷
7. 付属のイヤホンは、保証の対象には含まれていません。。
8. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
9. この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

＊ この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書でお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＊ 日本国内で購入され、保証期間内に海外からの無料修理をお受けになられる場合にも、この保証書を添付の上、修理をお申し付けください。この保証書のご提示がない場合は、有料となりますので予めご了承ください。

＊ 保証期間経過後の修理などについてのご不明な点がありましたら、お買上げの販売店、または弊社「ＣＰサービスセンター」にお問い合わせください。